

青少年の意識等に関する調査
報告書

令和6年3月

岡山県

目 次

I 調査概要

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象者	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収結果	1
6 調査結果の見方	2

II 児童生徒編

II-1 属性	3
II-2 調査結果	4
1 朝食について	4
2 夕食について	5
3 就寝時間について	6
4 深夜の外出について	7
5 平日に費やす時間について	9
6 家庭での生活について	18
7 地域活動について	32
8 近所の人とのかかわりについて	37
9 相談相手について	40
10 自分自身の性格について	41
11 大人の悪いところについて	51
12 将来の夢について	53
13 住んでいる地域について	54
14 関心のあることについて	56
15 働くことについて	57
16 不良行為等について	61
17 薬物について	75
18 喫煙・飲酒について	76
19 インターネットの使い方について	78
20 危険な目にあうかもしれないと不安になることについて	82
21 不審者から子どもを守るための活動について	87
22 子どもの安全を守るために重要なことについて	88
23 「ヤングケアラー」という言葉の認知について	89
24 自由意見	92

Ⅲ 青年編

Ⅲ-1	属性	99
Ⅲ-2	調査結果	100
1	就労形態について	100
2	家庭での生活について	101
3	小・中学校、高校に通っていた頃の状況	108
4	近所の人との関わりや地域活動について	115
5	仕事について	131
6	青少年の健全育成について	135
7	インターネットについて	138
8	地域の安全・安心について	142
9	「ヤングケアラー」という言葉の認知について	144
10	自由意見	146

IV 保護者編

IV-1	属性	151
IV-2	調査結果	152
1	家庭の就労形態について	152
2	平日の家庭での生活について	153
3	子どもと一緒に過ごす時間について	156
4	子どもとの会話について	163
5	子どもへのしつけについて	167
6	学校に希望することについて	174
7	通学状況について	175
8	近所との関わりについて	178
9	地域活動について	179
10	相談相手について	183
11	子どもの人権が守られていないと思うときについて	184
12	子どもについてほしい職業（職場）について	185
13	不良行為等について	186
14	青少年の健全育成のために必要なことについて	199
15	非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要なことについて	200
16	薬物について	201
17	スマートフォン、携帯電話、パソコン等の所持について	202
18	フィルタリングの利用について	203
19	インターネットの利用について	206
20	望まない妊娠や性感染症の予防法について	212
21	不審者等の出沒について	213
22	子どもの安全を守るために行っている活動について	214
23	子どもの安全を守るために力を入れるべきことについて	215
24	「ヤングケアラー」という言葉の認知について	217
25	自由意見	219

V 資料編

1	調査票（小学生用）	225
2	調査票（中学生用）	235
3	調査票（高校生用）	249
4	調査票（青年用）	253
5	調査票（保護者用）	267

I 調査概要

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、青少年を取り巻く状況や社会問題について、青少年と保護者を対象に意識調査を行い、現状の県民意識や行政に対するニーズを把握するとともに、第3次岡山県子ども・若者育成支援計画（令和4～6年度）の次期計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査対象者

- ・ 県内在住の小学校5年生から高校3年生までの児童生徒、その保護者
- ・ 県内在住の18歳から39歳までの青年（住民基本台帳から無作為に抽出）

3 調査期間

令和5年10月～11月

4 調査方法

- ・ 小・中学生：学校で調査票を配布し、学校又は郵送で回収
- ・ 高校生：学校で調査票を配布し、インターネットで回収
- ・ 青年：郵送で調査票を配布し、郵送又はインターネットで回収
- ・ 保護者：学校で調査票を配布し、郵送又はインターネットで回収

5 回収結果

調査対象		配布数	有効回収数	有効回収率
児童生徒	小学生	1,003	668	66.6%
	中学生	896	756	84.4%
	高校生	840	654	77.9%
	計	2,739	2,078	75.9%
青年		2,486	964	38.8%
保護者	小学生の保護者	1,003	493	49.2%
	中学生の保護者	896	537	59.9%
	高校生の保護者	840	464	55.2%
	計	2,739	1,494	54.5%
合計		7,964	4,536	57.0%

<県民局別回収状況>

県民局	児童生徒			青年	保護者			計
	小学生	中学生	高校生		小学生	中学生	高校生	
備前県民局	322	297	277	484	290	228	186	2,084
備中県民局	281	366	215	392	162	231	186	1,833
美作県民局	65	93	162	88	41	78	92	619
計	668	756	654	964	493	537	464	4,536

注：保護者の学校種別は子どもが在籍する学校種別により区分しています。

6 調査結果の見方

- 報告書中の「n=」とあるのはパーセントを計算するときの母数となるサンプル数(回答者数)を示しています。
- 算出されたパーセントは小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合もあります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。
- 文字数が多い選択肢については、意味を損なわない程度に選択肢を省略しているものがあります。
- クロス集計表等での件数が 20 人以下の属性については、集計結果は参考のために記載していますが、分析コメントの対象からは除外しています。
- 青年編のクロス集計表では、集計に利用した他の調査項目(性別、年齢別)の無回答者を除いてクロス集計を行っているため、調査項目の全体の回答者数(n数)と、性別や年齢別の区分ごとのn数の合計が一致しない場合があります。

II 兒童生徒編

Ⅱ-1 属性

(1) 学校種別

	小学生	中学生	高校生	合計
回答数(人)	668	756	654	2,078
割合(%)	32.1	36.4	31.5	100.0

(2) 地域別

	備前県民局	備中県民局	美作県民局	合計
回答数(人)	896	862	320	2,078
割合(%)	43.1	41.5	15.4	100.0

(3) 同居している人<問1>(複数回答)

	父	母	兄弟・ 姉妹	祖父	祖母	叔父、 叔母、 その他の の親戚	その他 の人	無回答	合計
回答数(人)	1,774	2,007	1,705	308	436	60	27	1	2,078
割合(%)	85.4	96.6	82.1	14.8	21.0	2.9	1.3	0.0	100.0

II-2 調査結果

1 朝食について

問2 あなたは、朝食を食べていますか。《○は1つ》

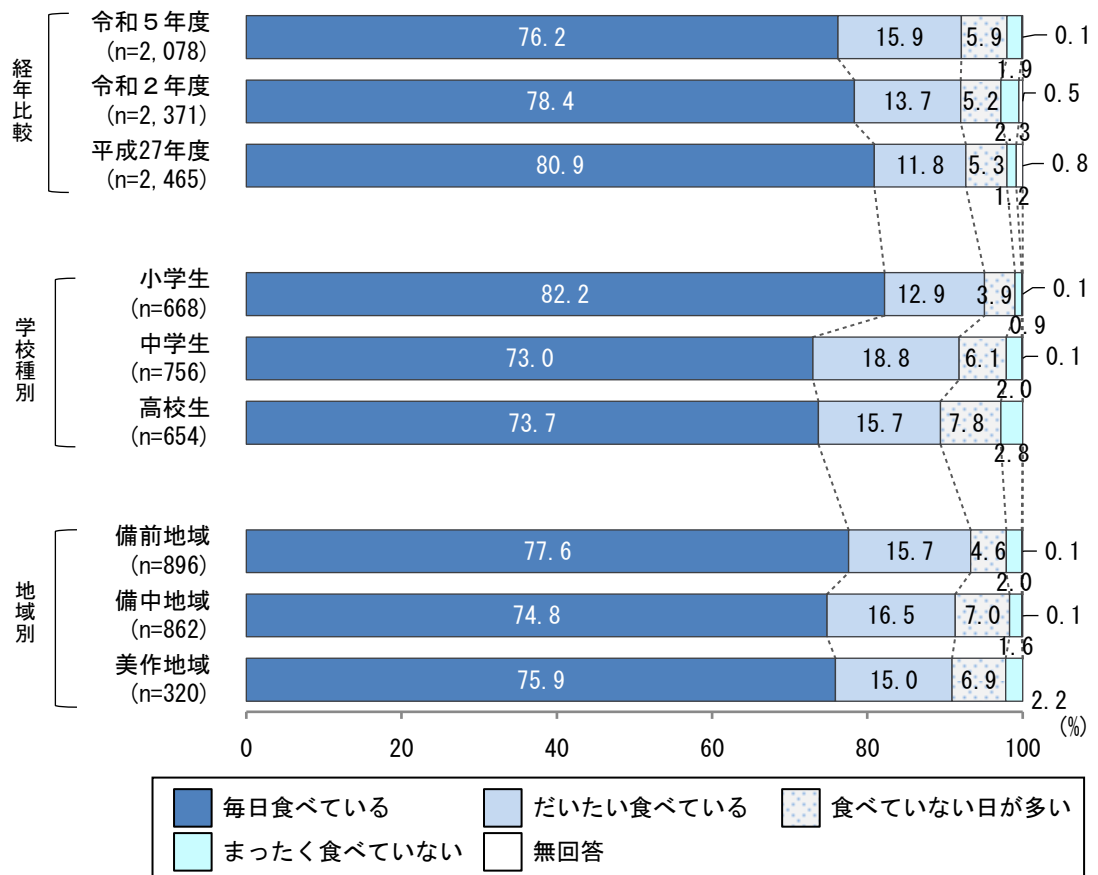
朝食の摂取状況について、「毎日食べている」との回答が76.2%と最も高く、次いで「だいたい食べている」(15.9%)、「食べていない日が多い」(5.9%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「毎日食べている」との回答は小学生が8割超と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 朝食の摂取状況（経年比較・学校種別・地域別）】



2 夕食について

問3 あなたは、誰と一緒に夕食を食べることが多いですか。《○はいくつでも》

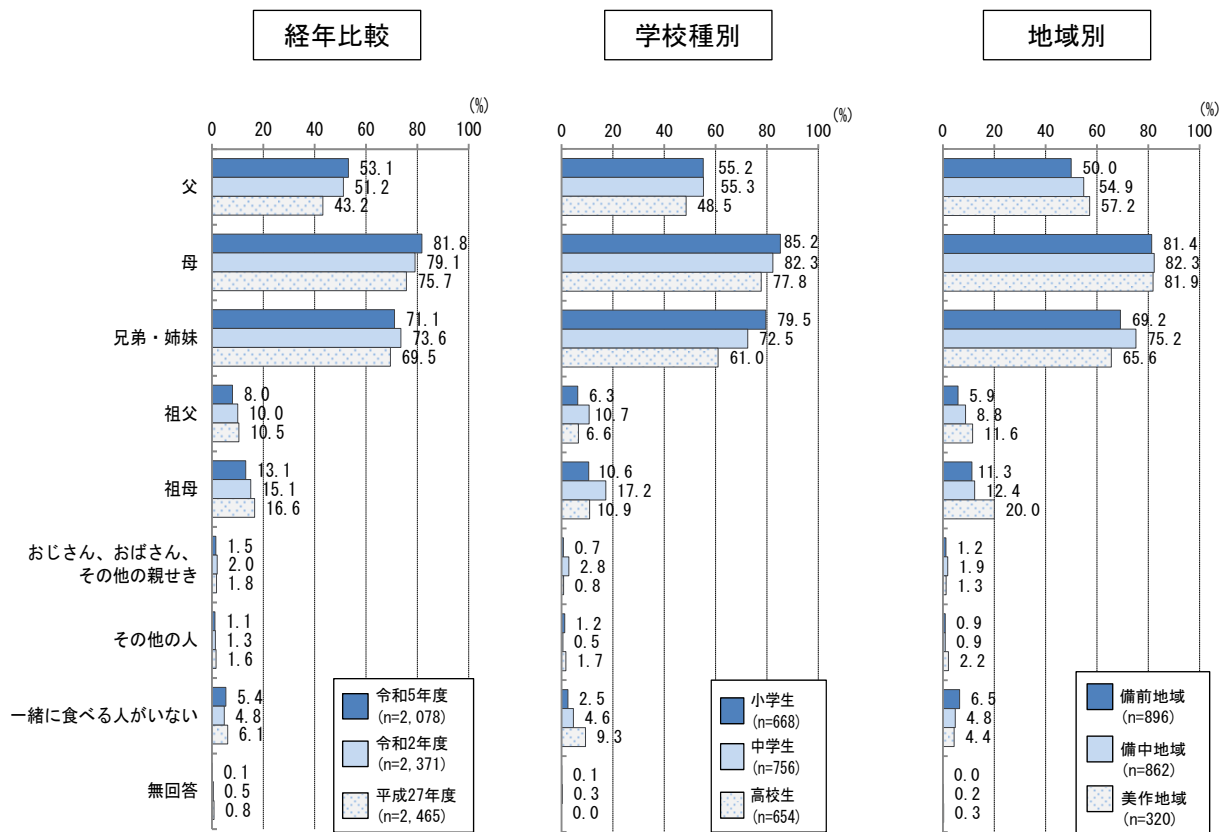
夕食を共に食べる人について、「母」との回答が81.8%と最も高く、次いで「兄弟・姉妹」(71.1%)、「父」(53.1%)などの順となっている。

経年比較すると、「父」との回答は今回調査が前回調査を1.9ポイント、「母」との回答は2.7ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「母」、「兄弟・姉妹」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「一緒に食べる人がいない」との回答は高校生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「兄弟・姉妹」との回答は備中地域で7割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 夕食を共に食べる人（経年比較・学校種別・地域別）】



3 就寝時間について

問4 あなたは、平日（翌日に学校がある日）は何時頃に寝ていますか。《○は1つ》

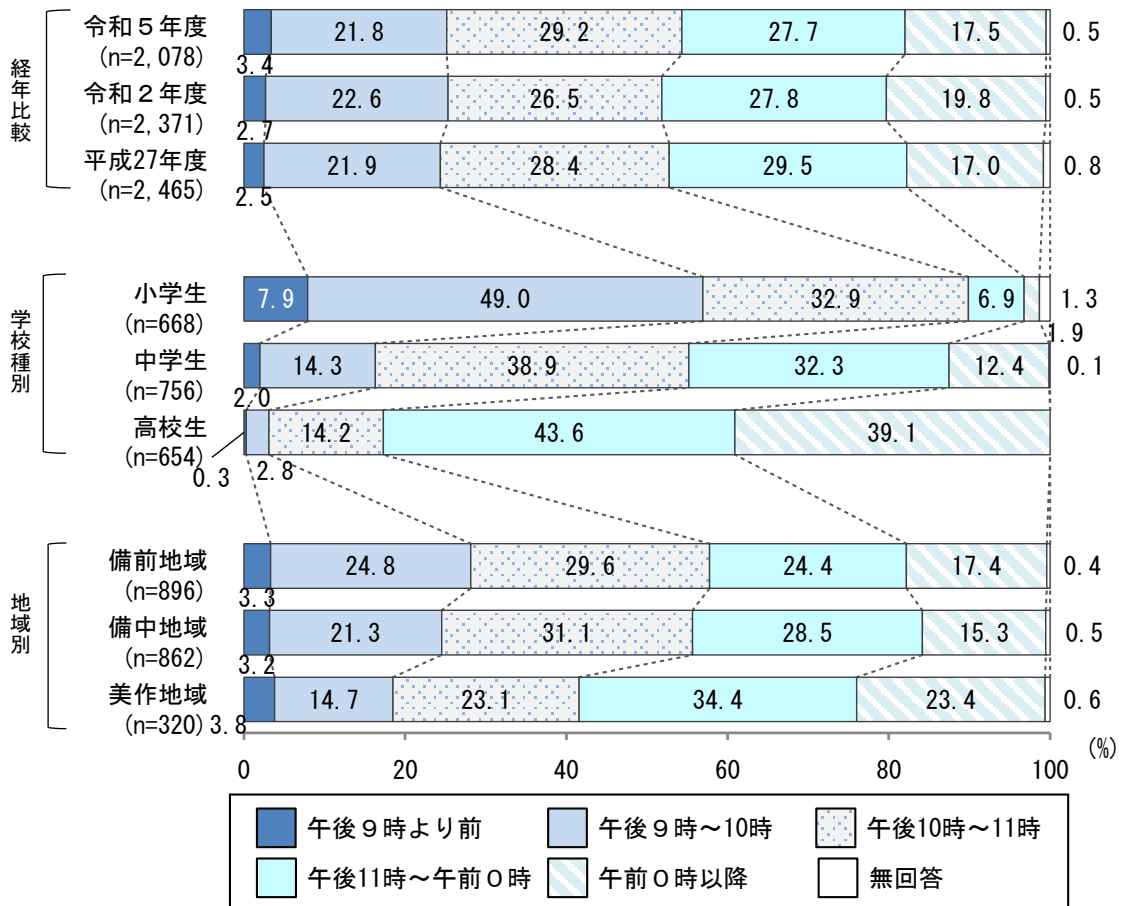
平日の就寝時間について、「午後10時～11時」との回答が29.2%と最も高く、次いで「午後11時～午前0時」（27.7%）、「午後9時～10時」（21.8%）、「午前0時以降」（17.5%）などの順となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、小学生は「午後9時～10時」、中学生は「午後10時～11時」、高校生は「午後11時～午前0時」が最も高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて就寝時間が遅くなっている。

地域別にみると、「午後11時～午前0時」との回答は美作地域で3割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 平日の就寝時間（経年比較・学校種別・地域別）】



4 深夜の外出について

問5 あなたは、深夜（午後11時以降）に外出していることがありますか。

《○は①と②それぞれ1つずつ》

① 保護者以外の人との深夜の外出

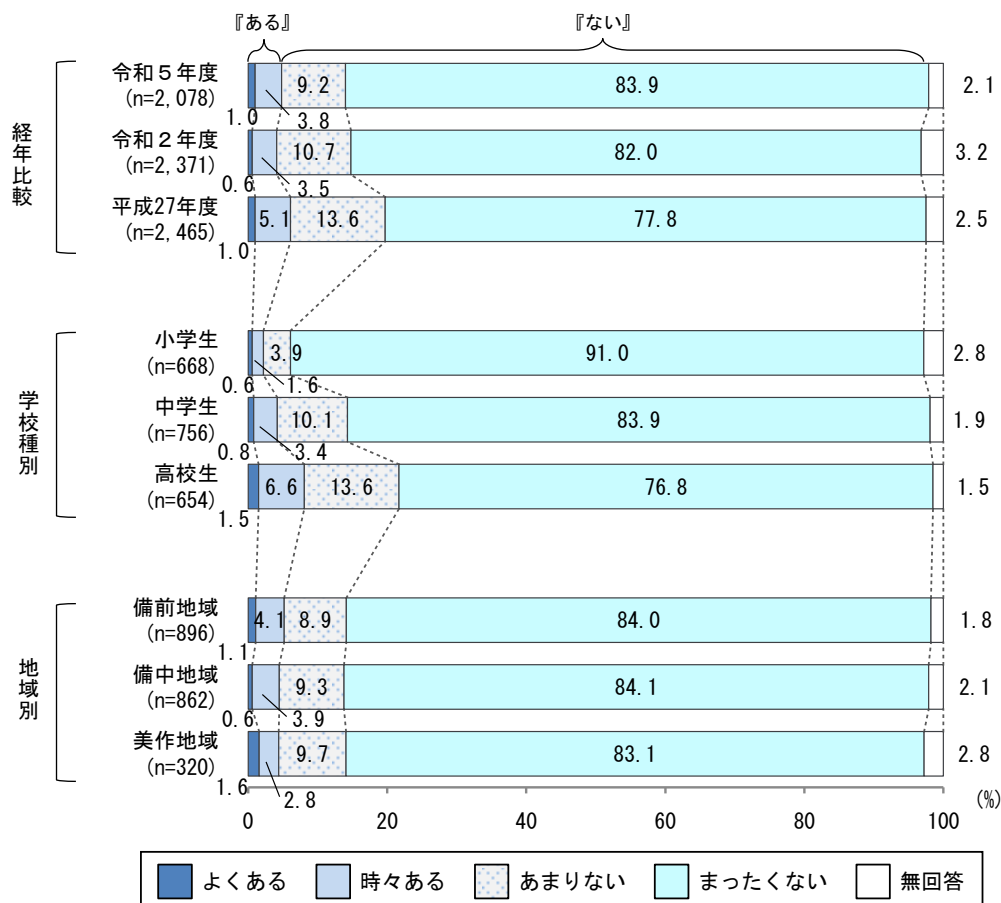
1人で、または友だちなど保護者以外の人との深夜の外出について、『ある』（「よくある」と「時々ある」を合わせた割合）との回答が4.8%、「ない」（「まったくない」と「あまりない」を合わせた割合）との回答が93.1%となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、『ある』との回答は小学生で低く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 保護者以外の人との深夜の外出（経年比較・学校種別・地域別）】



② 保護者の人との深夜の外出

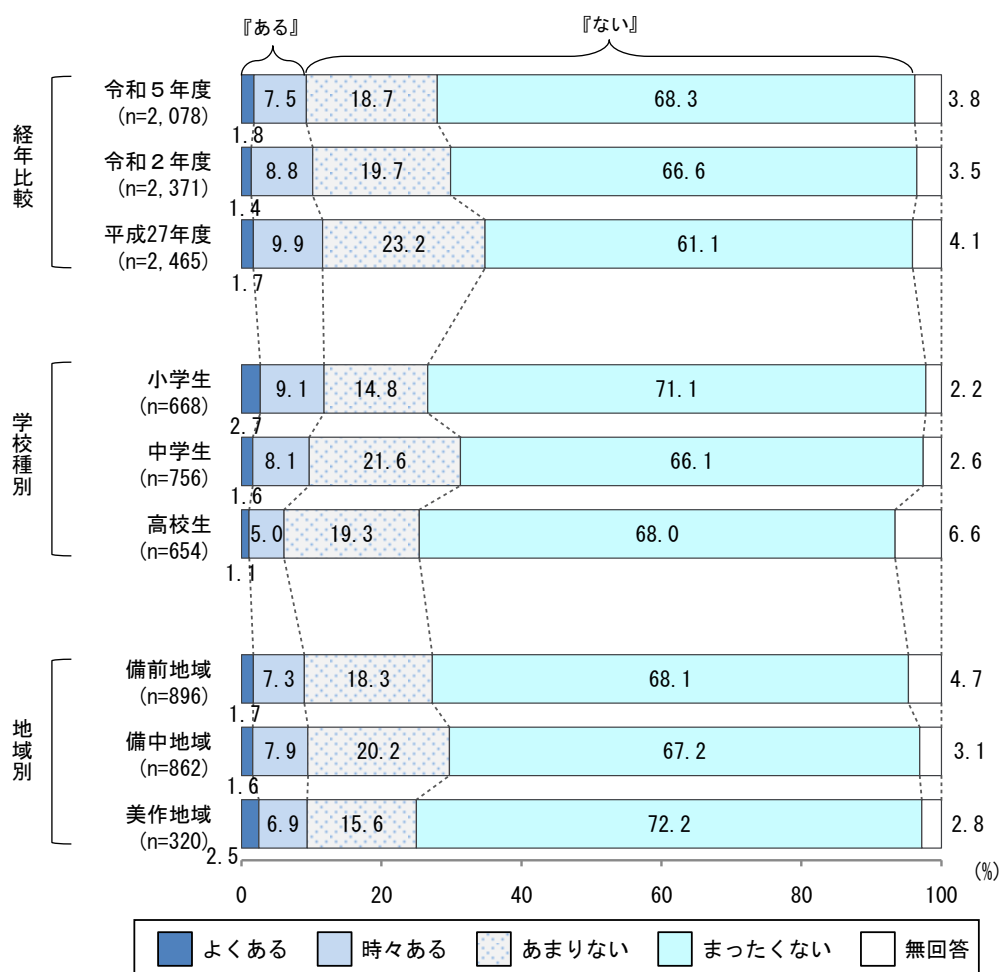
保護者の人との深夜の外出について、『ある』との回答が9.3%、『ない』との回答が87.0%となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、『ある』との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 保護者の人との深夜の外出（経年比較・学校種別・地域別）】



5 平日に費やす時間について

問6 あなたが、平日（学校がある日）に次のことをしている時間（1日平均）は、どれくらいですか。《○は①～④それぞれ1つずつ》

① 学校の授業以外で勉強する時間（家での学習、塾、家庭教師、インターネットを使った学習など）

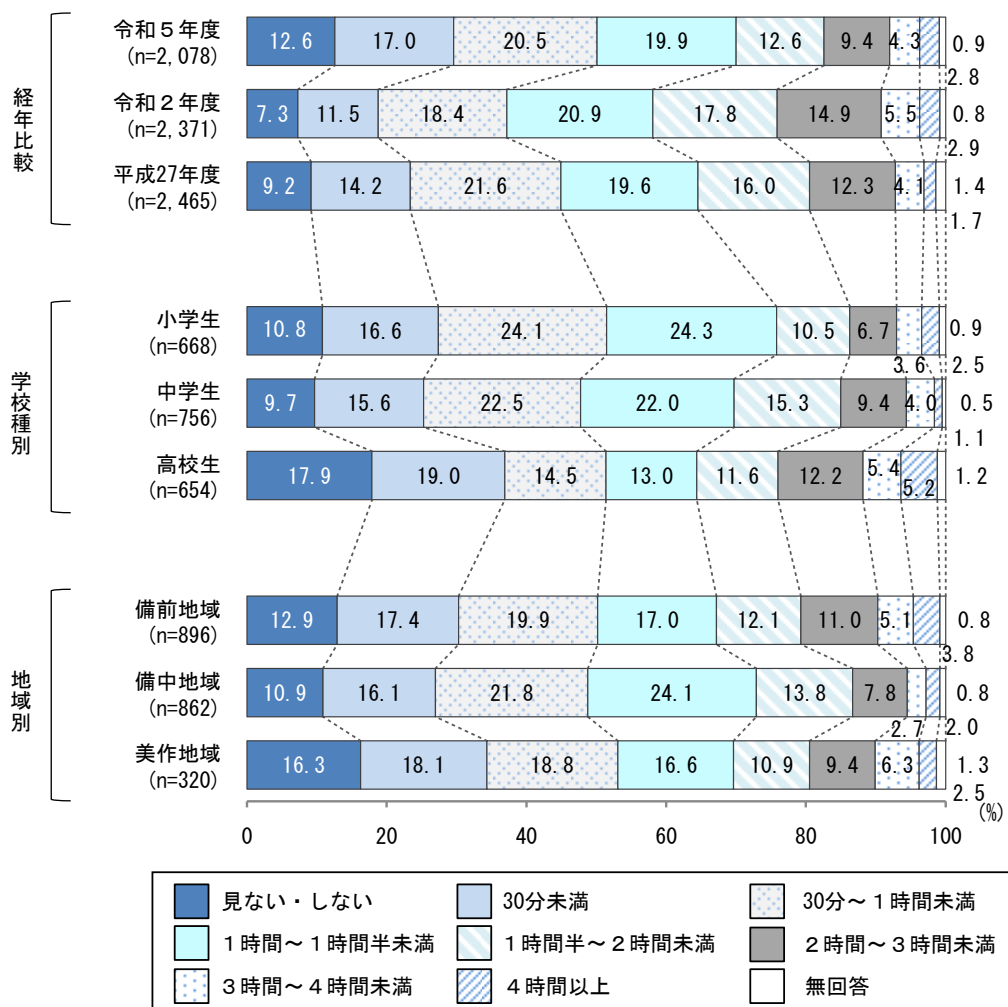
学校の授業以外で勉強する時間について、「30分～1時間未満」との回答が20.5%と最も高く、次いで「1時間～1時間半未満」（19.9%）、「30分未満」（17.0%）などの順となっている。

経年比較すると、「見ない・しない」との回答は今回調査が前回調査を5.3ポイント、「30分未満」との回答は5.5ポイント上回っている。

学校種別にみると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は高校生で、「30分～1時間未満」、「1時間～1時間半未満」との回答は小学生で高くなっている。

地域別にみると、「見ない・しない」との回答は美作地域で1割台半ば、「1時間～1時間半未満」との回答は備中地域で2割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 学校の授業以外で勉強する時間（経年比較・学校種別・地域別）】



② テレビやDVD、録画映像を見る時間

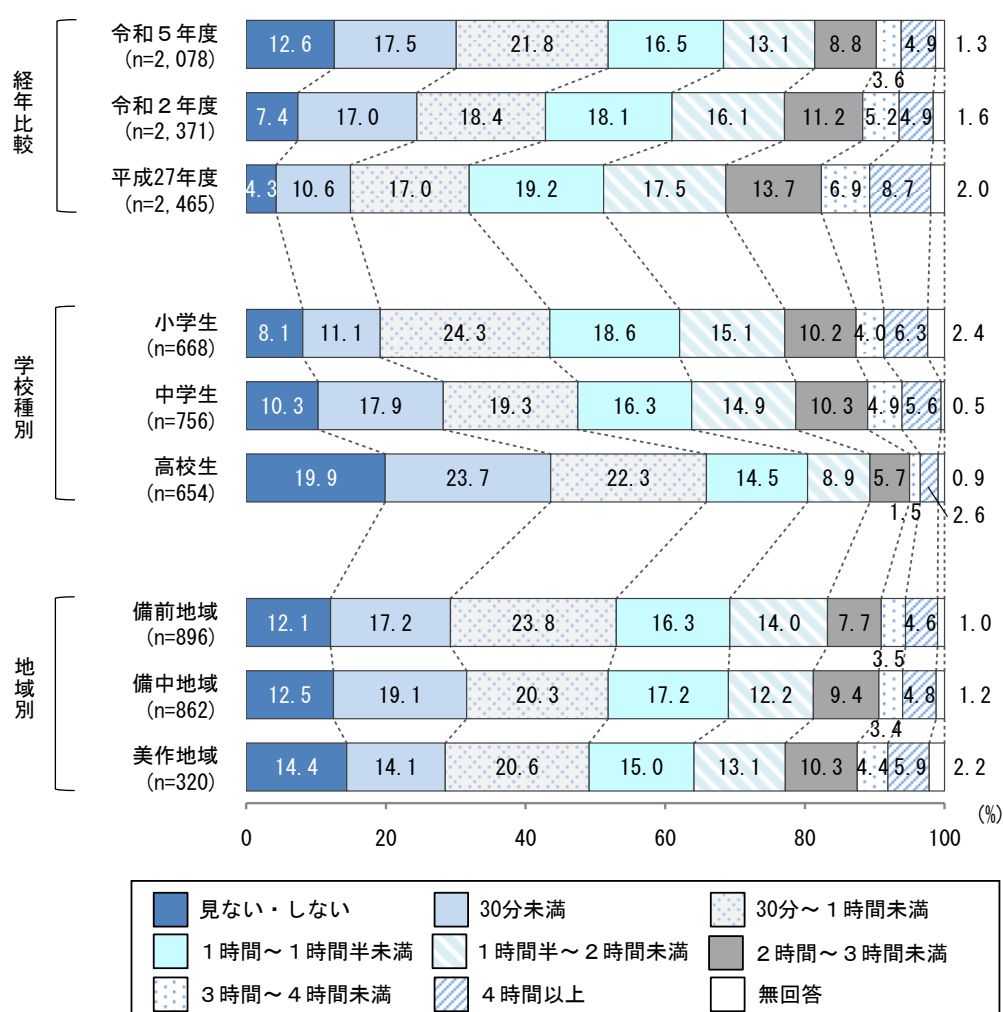
テレビやDVD、録画映像を見る時間について、「30分～1時間未満」との回答が21.8%と最も高く、次いで「30分未満」(17.5%)、「1時間～1時間半未満」(16.5%)などの順となっている。

経年比較すると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は高校生が高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 テレビやDVD、録画映像を見る時間（経年比較・学校種別・地域別）】



③ ゲーム（スマホやゲーム機器を使ったオンラインゲームを含む）をする時間

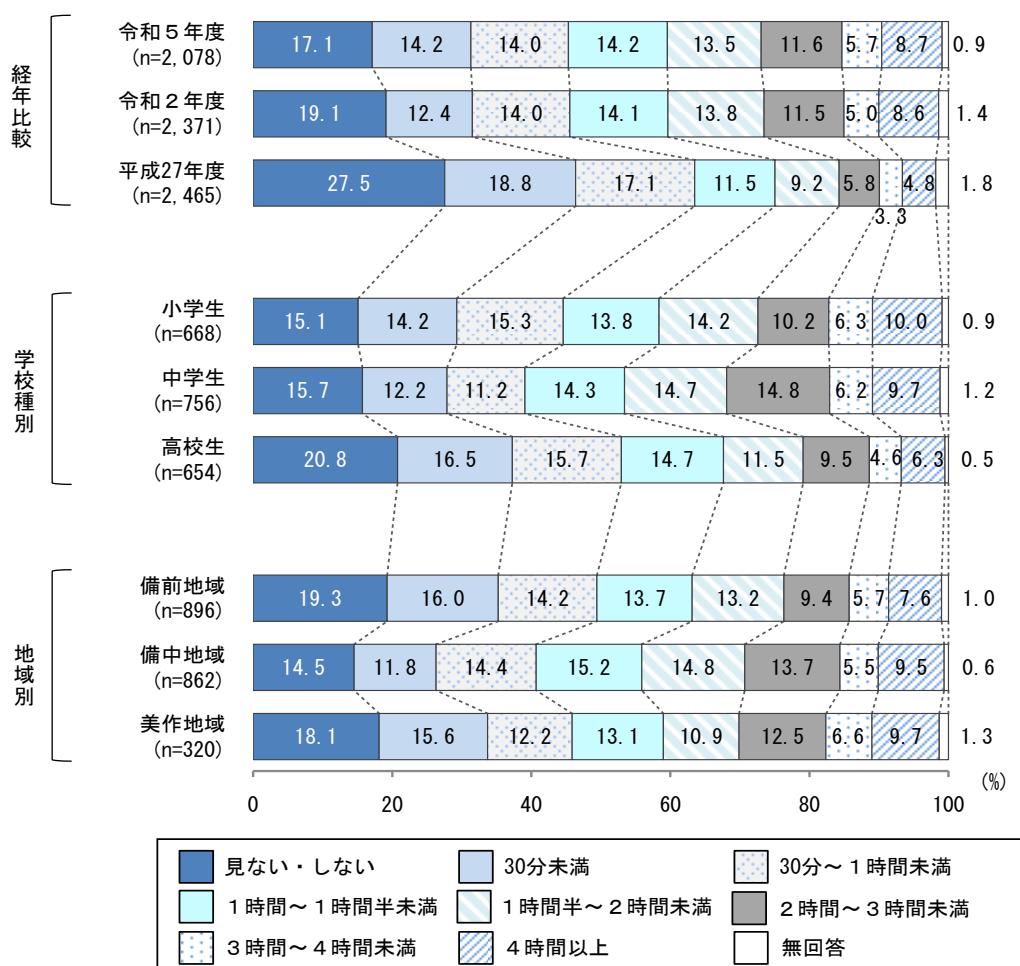
ゲームをする時間について、「見ない・しない」との回答が17.1%と最も高く、次いで「30分未満」、「1時間～1時間半未満」（ともに14.2%）、「30分～1時間未満」（14.0%）などの順となっている。

経年比較すると、「見ない・しない」との回答は今回調査が前回調査を2ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「見ない・しない」との回答は高校生で2割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は備中地域で2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

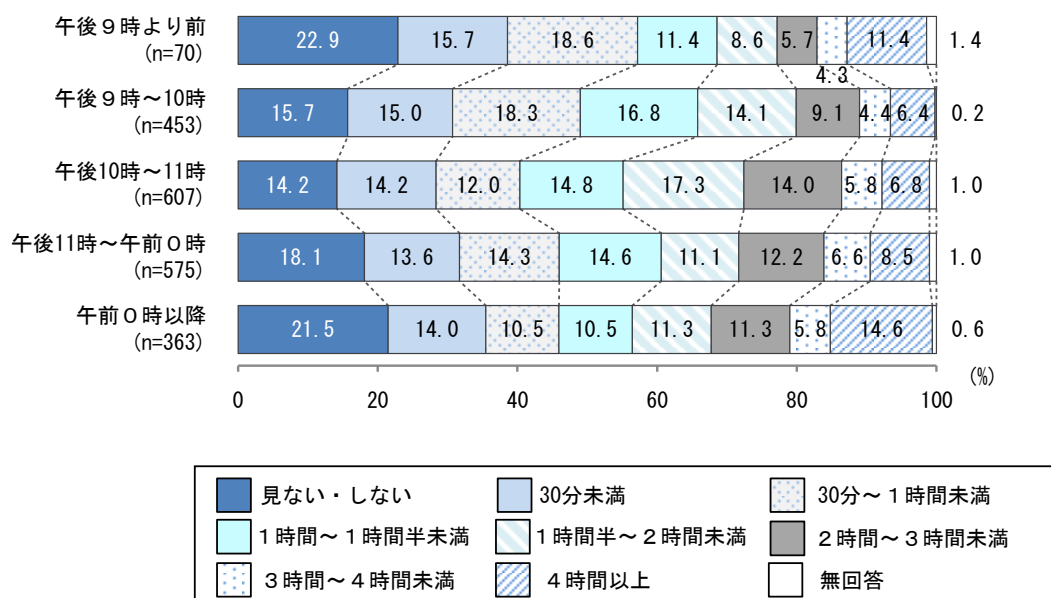
【図表 ゲームをする時間（経年比較・学校種別・地域別）】



<問6 平日の就寝時間との関係>

ゲームをする時間について、平日の就寝時間別にみると、「見ない・しない」との回答は就寝時間が午後9時より前の児童生徒、午前0時以降の児童生徒で2割超、「30分～1時間未満」との回答は就寝時間が午後10時より前の児童生徒で約2割と高くなっている。また、「4時間以上」との回答は就寝時間が午前0時以降の児童生徒で高く、就寝時間が遅くなるにつれてゲームをする時間が長くなっている。

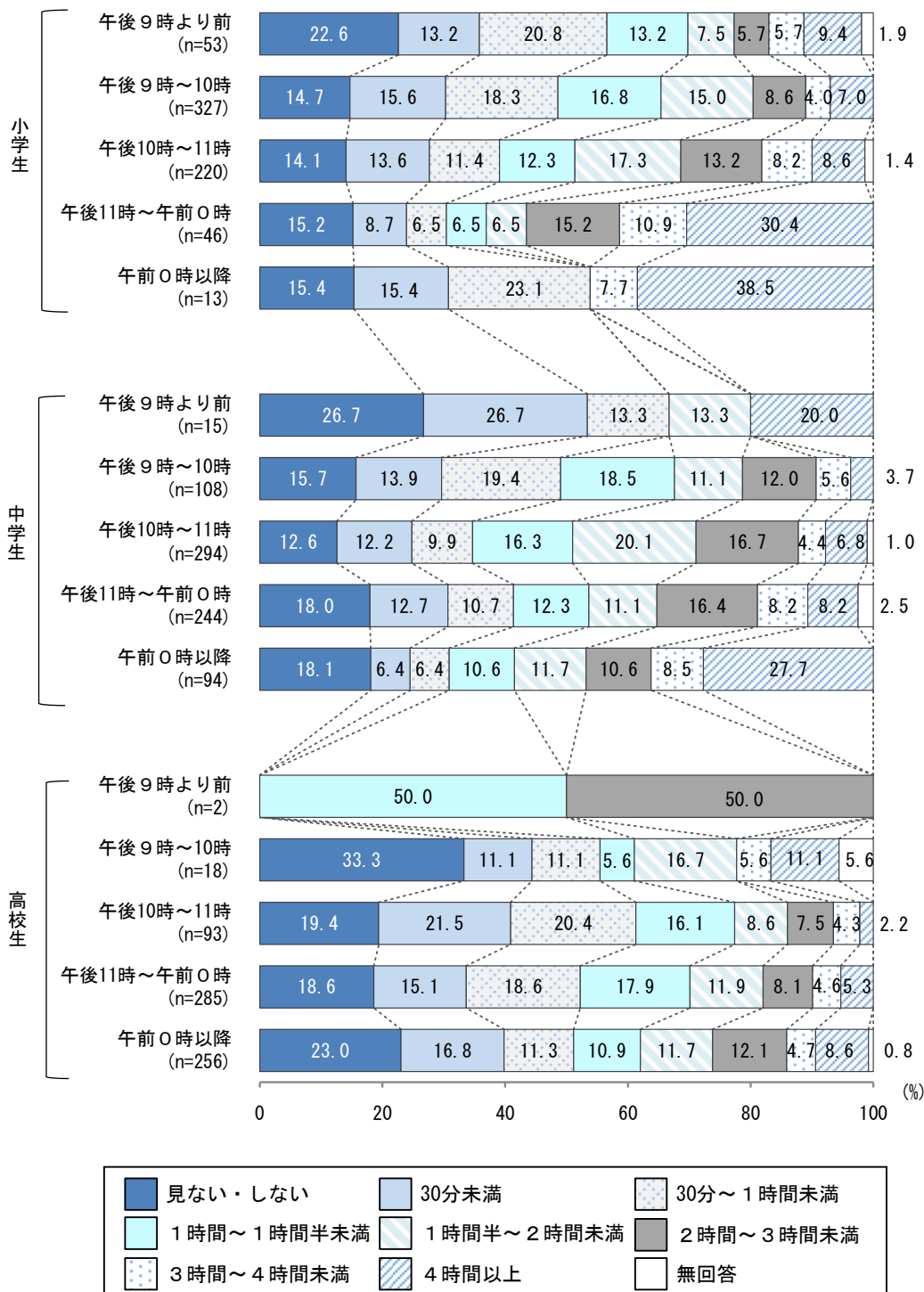
【図表 ゲームをする時間（平日の就寝時間別）】



＜問6 平日の就寝時間との関係：学校種別＞

ゲームをする時間について、平日の就寝時間別に学校種別でみると、小学生では、「見ない・しない」との回答が「就寝時間が午後9時より前」の児童生徒で2割超、中学生では、「4時間以上」との回答が「就寝時間が午前0時以降」の児童生徒で2割台後半と高く、就寝時間が遅くなるにつれてゲームをする時間が長くなる傾向がみられる。高校生でも同様に、「2時間以上」の回答の割合は就寝時間が遅くなるにつれて高くなっており、ゲームをする時間が長くなっている。

【図表 ゲームをする時間（平日の就寝時間別×学校種別）】



※20人以下の回答者の回答傾向は記述しないこととする。(以下同じ)

④ ゲーム以外でスマホやインターネット(動画視聴やLINEなどのSNSを含む)をする時間

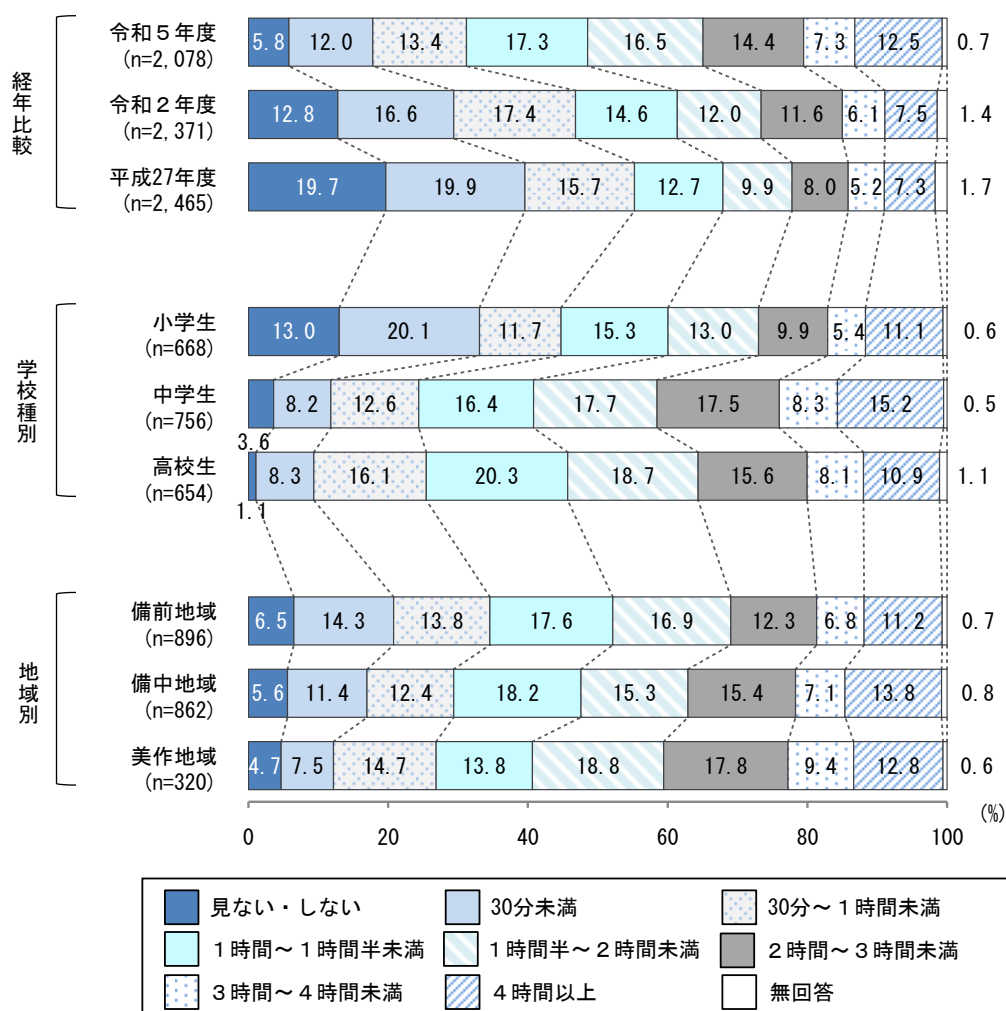
ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間について、「1時間～1時間半未満」との回答が17.3%と最も高く、次いで「1時間半～2時間未満」(16.5%)、「2時間～3時間未満」(14.4%)などの順となっている。

経年比較すると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

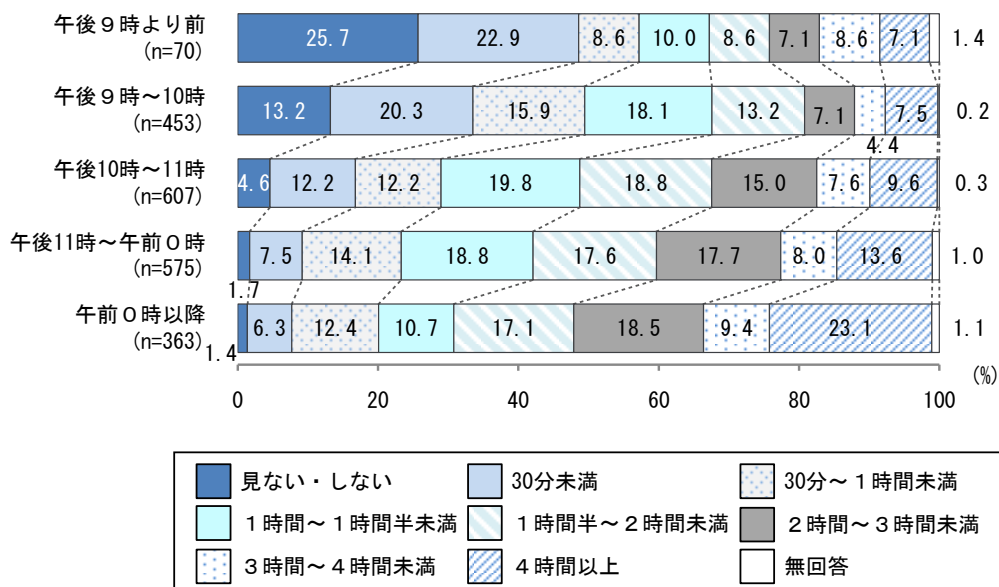
【図表 ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間(経年比較・学校種別・地域別)】



<問6 平日の就寝時間との関係>

ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間について、平日の就寝時間別にみると、「見ない・しない」との回答は就寝時間が午後9時より前の児童生徒で2割台半ばと最も高く、就寝時間が遅くなるにつれてゲーム以外でスマホやインターネットをする時間が長くなる傾向がみられる。

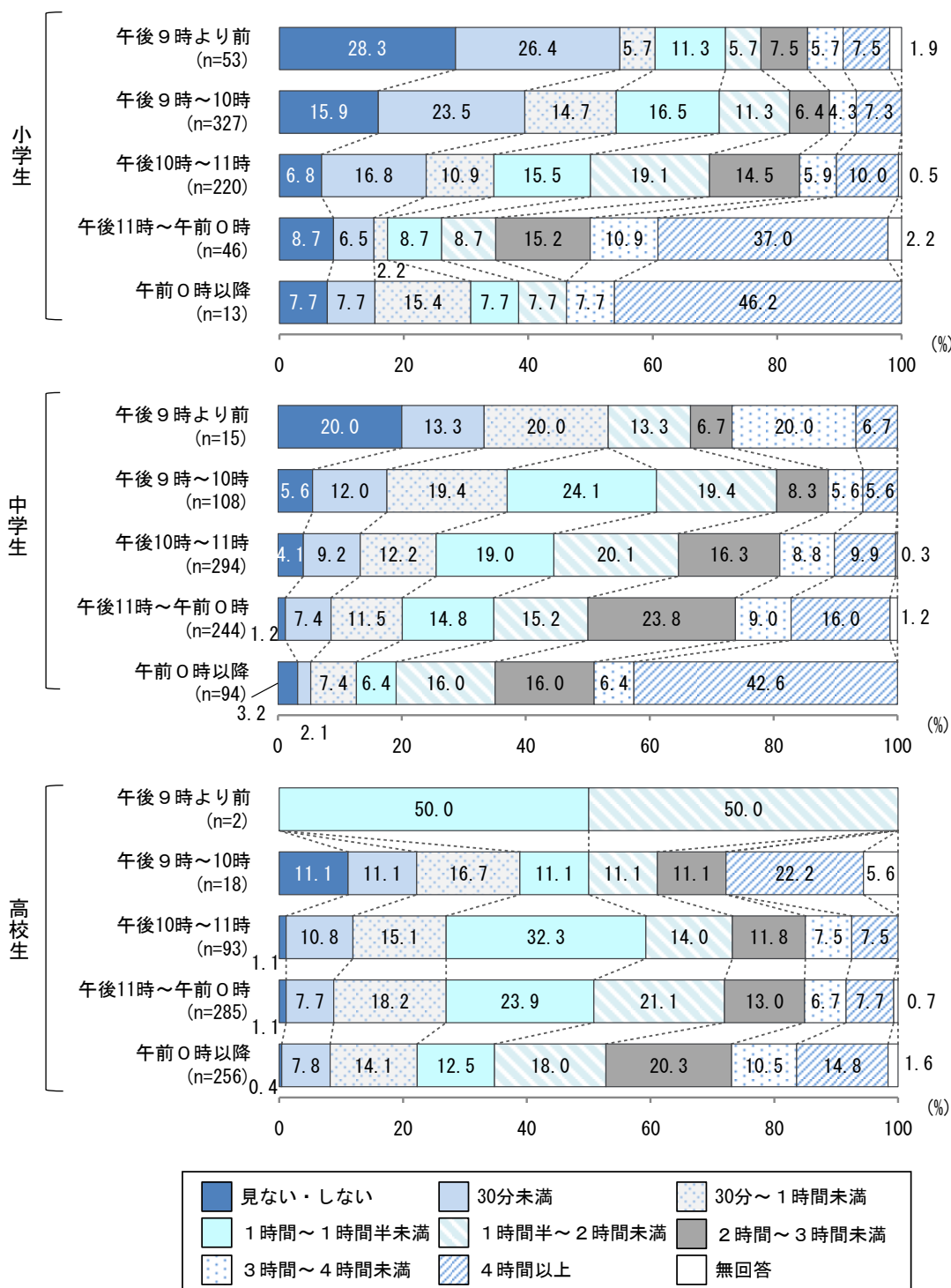
【図表 ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間（平日の就寝時間別）】



<問6 平日の就寝時間との関係：学校種別>

ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間について、平日の就寝時間別に学校種別で見ると、小学生では、「就寝時間が午後9時より前」の児童生徒で「見ない・しない」との回答が約3割と高く、就寝時間が遅くなるにつれてゲーム以外でスマホやインターネットをする時間が長くなっている。中学生では、「就寝時間が午後9時～10時」の児童生徒で「1時間～1時間半未満」との回答が2割台半ば、「就寝時間が午前0時以降」の児童生徒で「4時間以上」との回答が4割超と高くなっている。高校生でも同様に、「午前0時以降」の児童生徒で「2時間以上」との回答は4割台半ばと高く、就寝時間が遅くなるほど、インターネットの使用時間が長くなっている。

【図表 ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間（平日の就寝時間別×学校種別）】



(問6の②～④で「8(4時間以上)」に○がついた人だけお答えください。)

問6-1 自分の部屋などで1人きりでしていますか。《○は1つ》

(オンライン上では友だちとつながっていても、「1. はい」と教えてください)

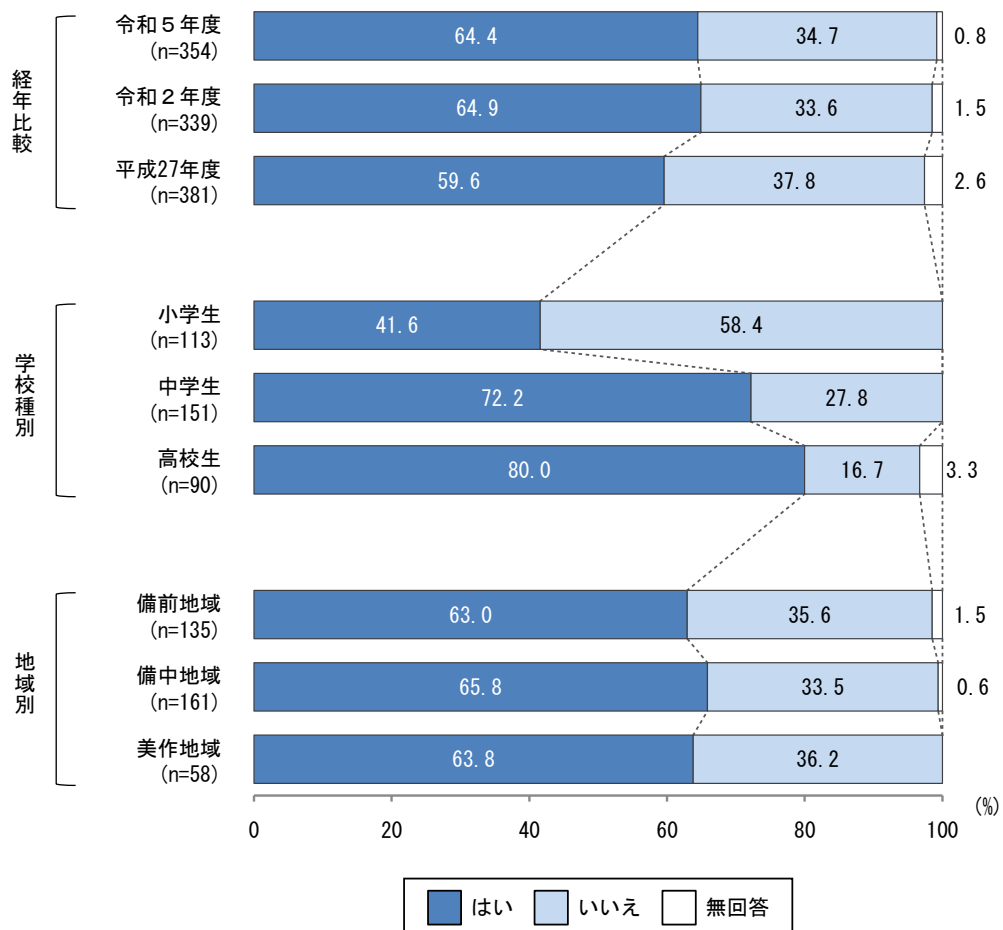
テレビやゲーム、インターネットなどを1人するかどうかについて、「はい」との回答が64.4%、「いいえ」との回答が34.7%となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「はい」との回答は高校生で8割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 テレビやゲーム、インターネットなどを1人するか(経年比較・学校種別・地域別)】



6 家庭での生活について

問7 あなたの家庭についておたずねします。《○は①～⑤それぞれ1つずつ》

① 家庭での生活は楽しい

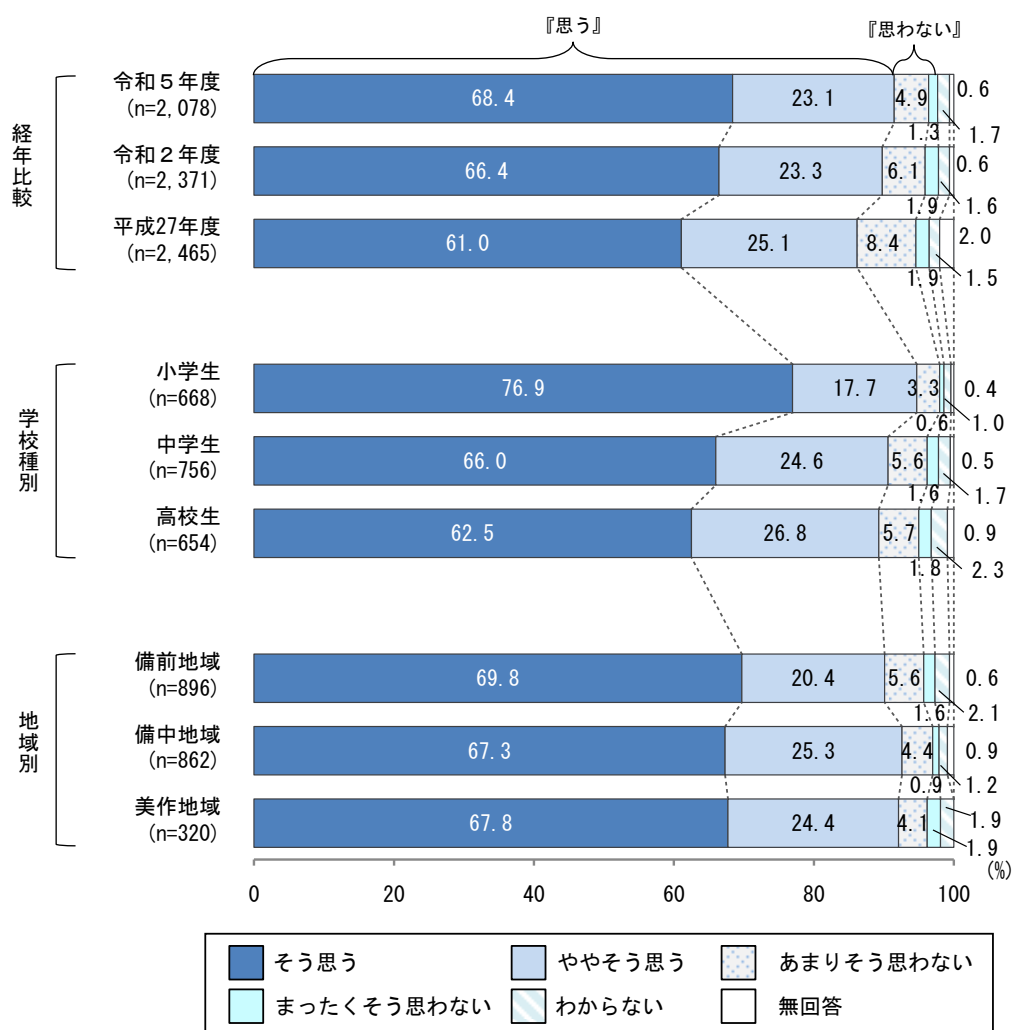
家庭での生活は楽しいかどうかについて、楽しいと『思う』（「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合）との回答が91.5%、『思わない』（「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合）との回答が6.2%となっている。

経年比較すると、『思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、『思う』との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

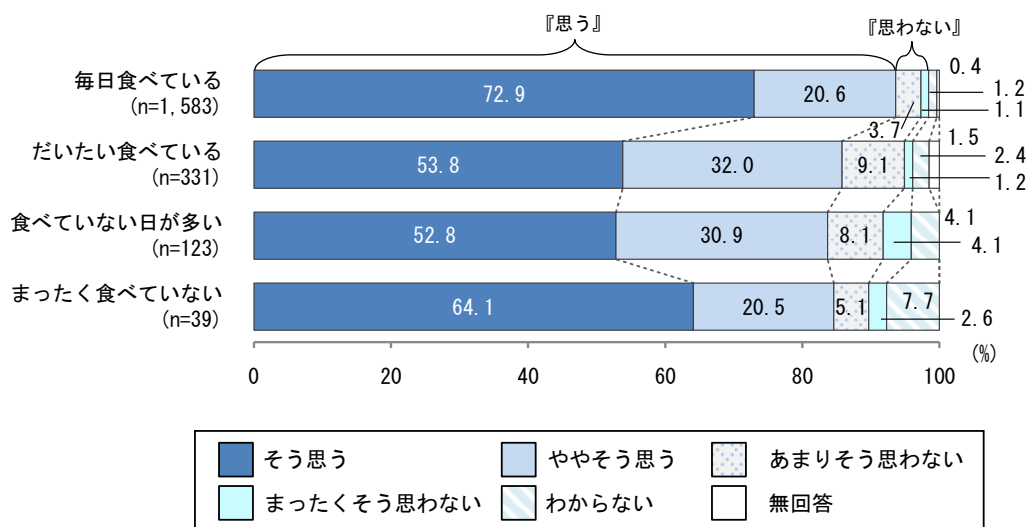
【図表 家庭での生活は楽しい（経年比較・学校種別・地域別）】



<問7 朝食の摂取状況との関係>

家庭での生活は楽しいかどうかについて、朝食の摂取状況別にみると、朝食を毎日食べている児童生徒は『思う』との回答が9割台半ばと高くなっている。

【図表 家庭での生活は楽しい（朝食の摂取状況別）】



② 家庭でのしつけや注意は厳しい

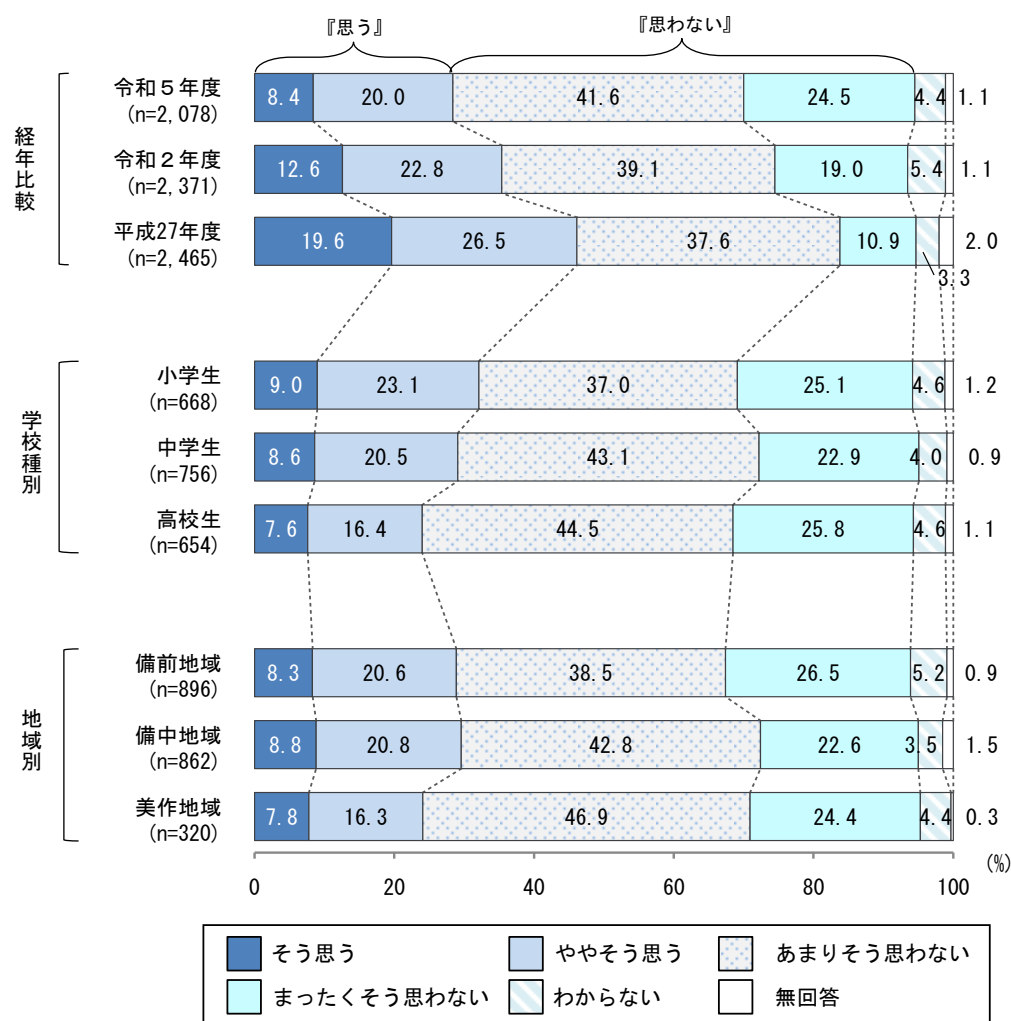
家庭でのしつけや注意は厳しいかどうかについて、厳しいと『思う』との回答が28.4%、『思わない』との回答が66.1%となっている。

経年比較すると、『思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で2割台半ばと低くなっている。

地域別にみると、『思う』との回答は美作地域で2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

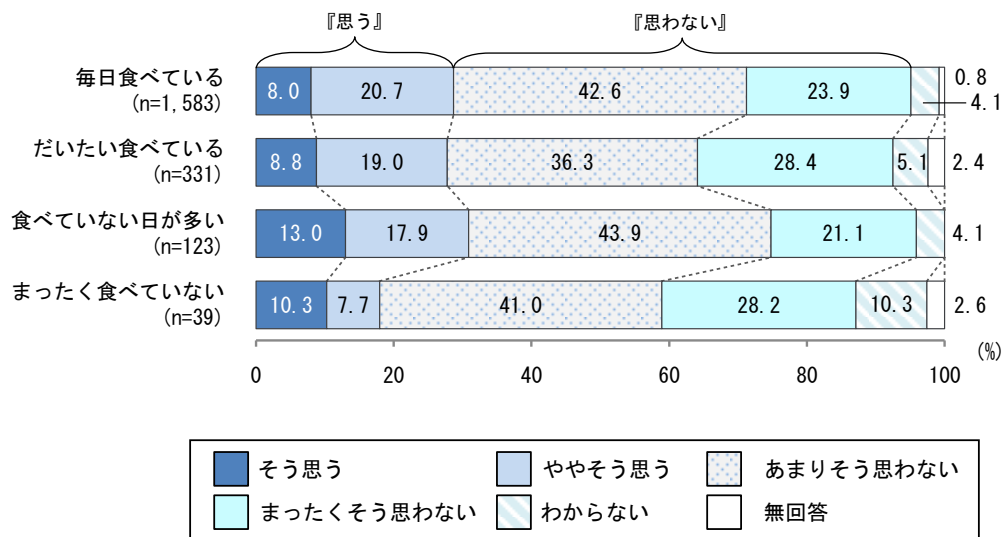
【図表 家庭でのしつけや注意は厳しい（経年比較・学校種別・地域別）】



<問7 朝食の摂取状況との関係>

家庭でのしつけや注意は厳しいかどうかについて、朝食の摂取状況別にみると、朝食を食べていない日が多い児童生徒は『思う』との回答が約3割と高くなっている。

【図表 家庭でのしつけや注意は厳しい（朝食の摂取状況別）】



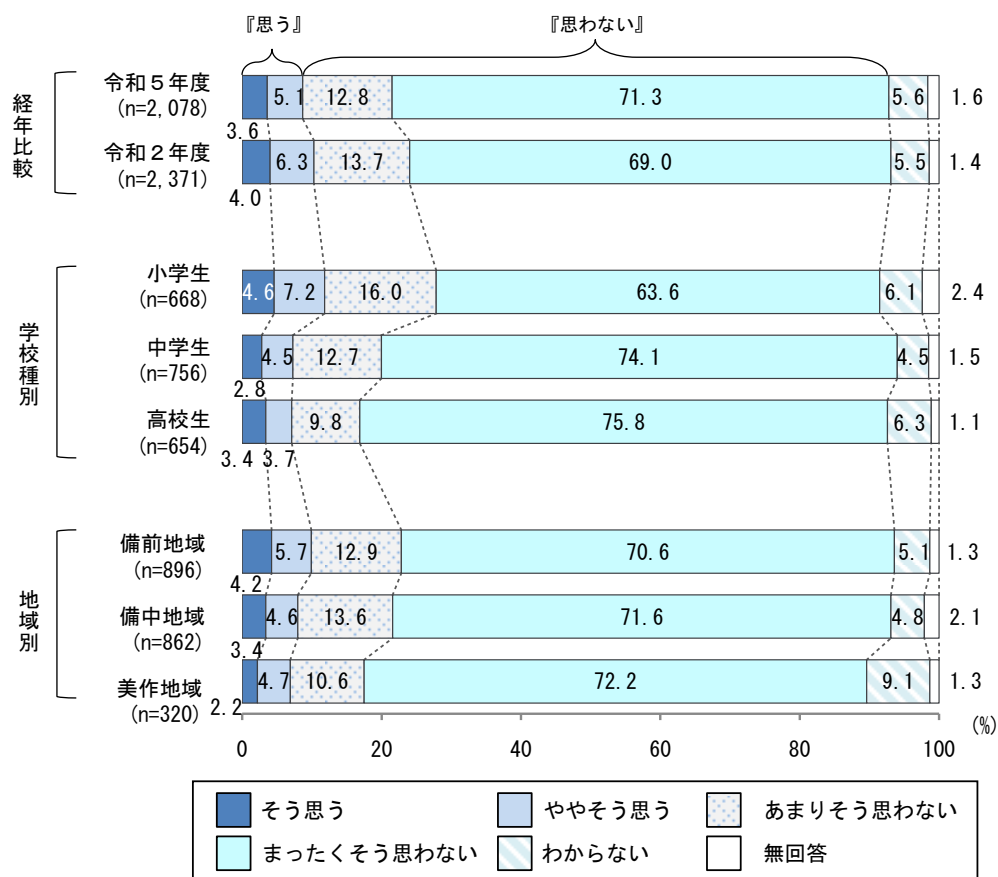
③ 保護者からたたかれることがある

保護者からたたかれることがあるかどうかについて、たたかれることがあると『思う』との回答が8.7%、『思わない』との回答が84.1%となっている。

学校種別にみると、『思わない』との回答は高校生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 保護者からたたかれることがある（経年比較・学校種別・地域別）】



④ 家に帰りたくない

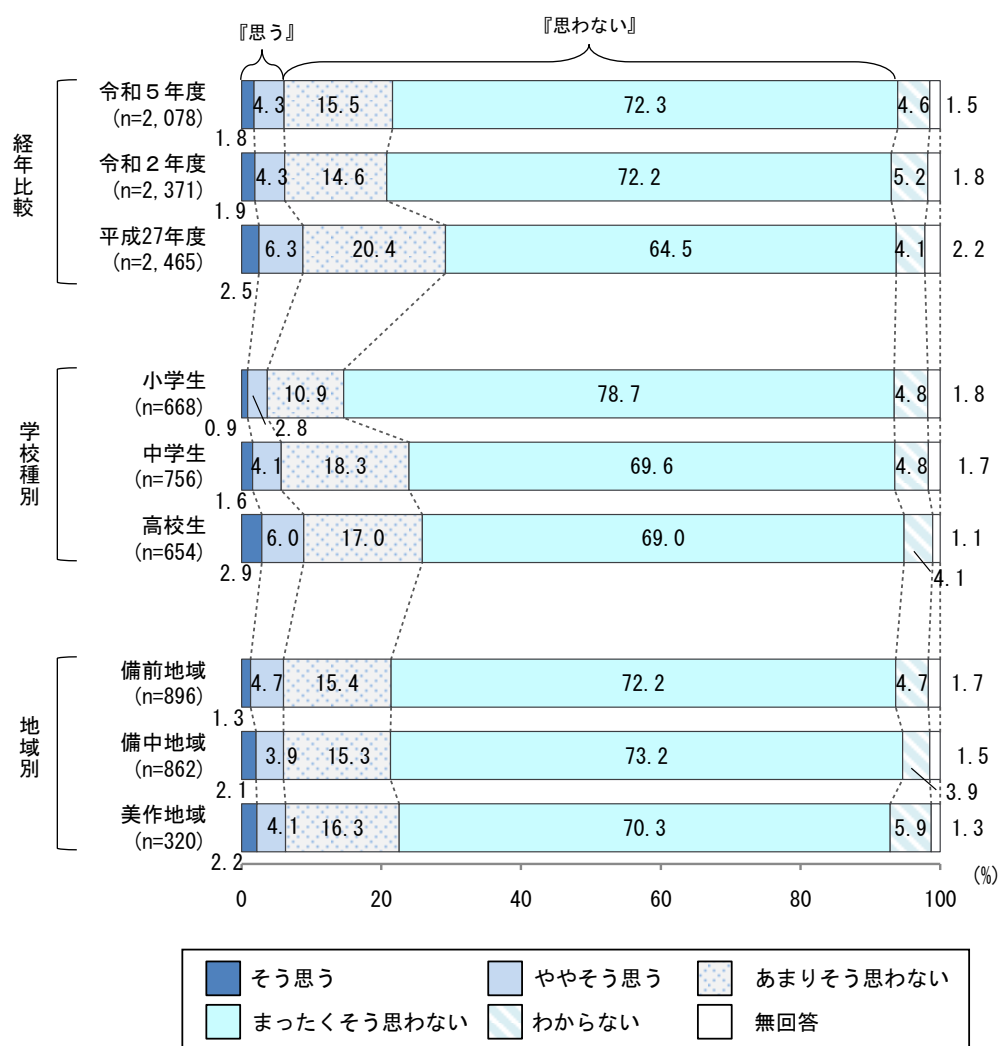
家に帰りたくないと思うかどうかについて、帰りたくないと『思う』との回答が6.1%、『思わない』との回答が87.8%となっている。

経年比較すると、『思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、『思う』との回答は小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 家に帰りたくない（経年比較・学校種別・地域別）】



⑤ 保護者とよく話をする

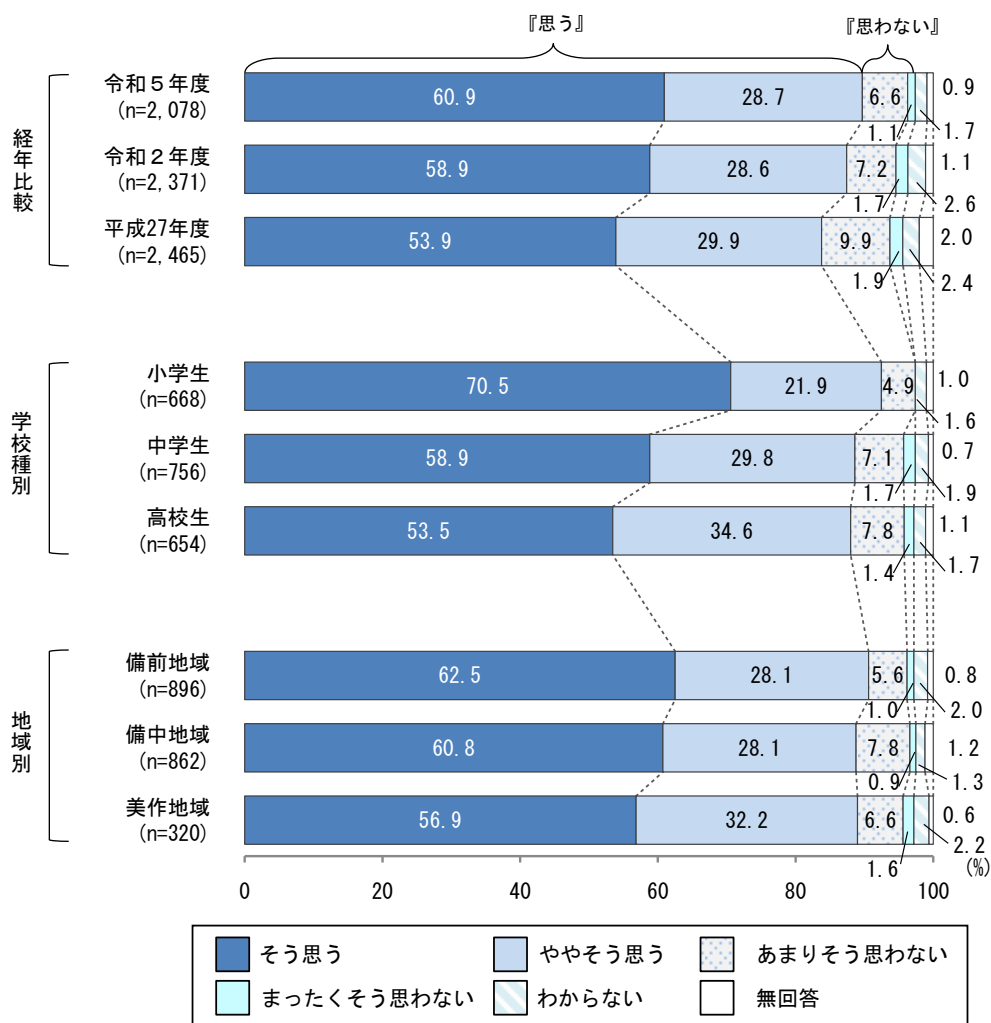
保護者とよく話をするかどうかについて、話をよくすると『思う』との回答が89.6%、『思わない』との回答が7.7%となっている。

経年比較すると、『思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「そう思う」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 保護者とよく話をする（経年比較・学校種別・地域別）】



（問7の⑤で「3. あまりそう思わない」または「4. まったくそう思わない」に○がついた人だけお答えください。）

問7-1 あなたが、保護者と話をしないのはなぜですか。《○はいくつでも》

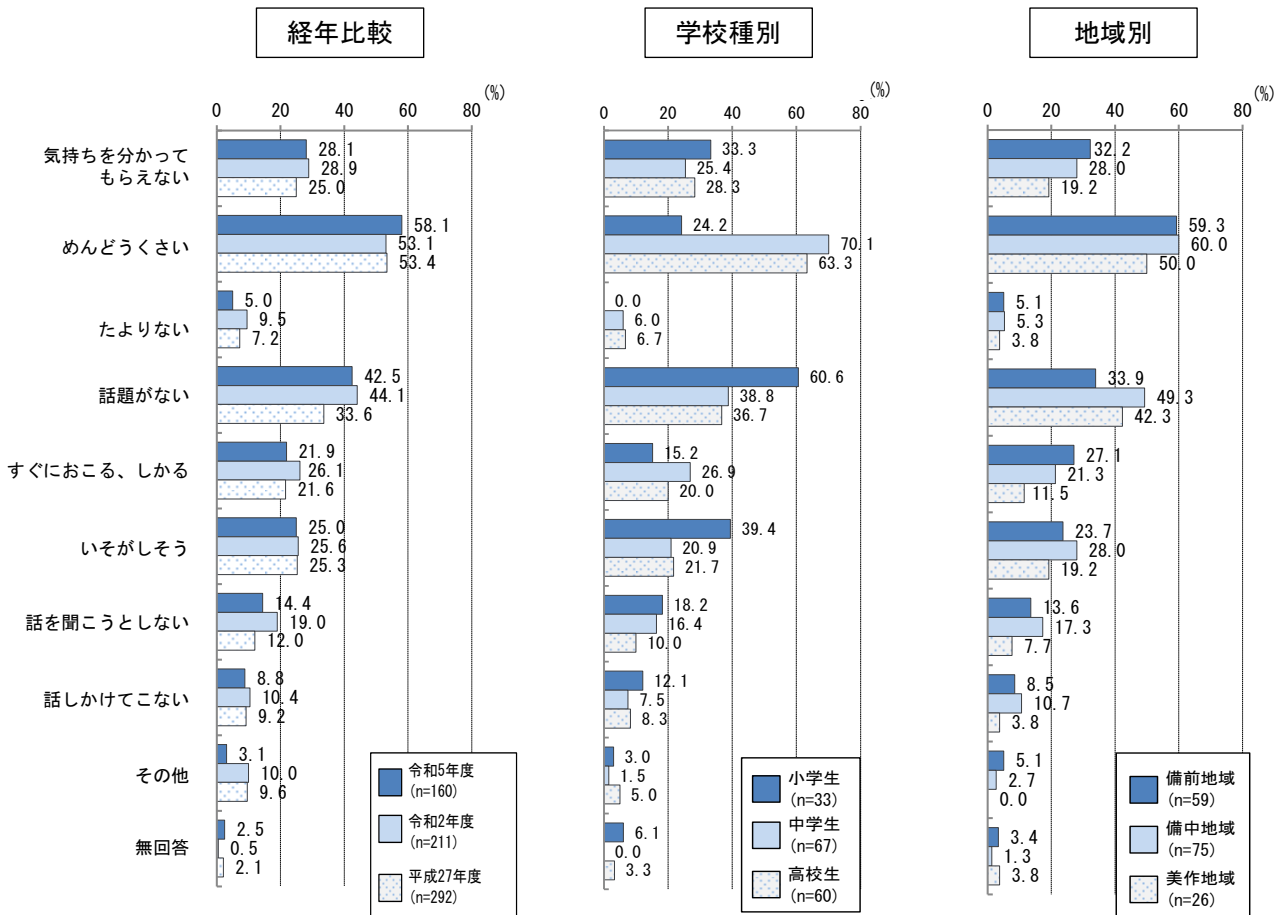
保護者と話をしない理由について、「めんどくさい」との回答が58.1%と最も高く、次いで「話題がない」（42.5%）、「気持ちを分かってもらえない」（28.1%）などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「めんどくさい」との回答は中学生で約7割、「話題がない」との回答は小学生で約6割と高くなっている。

地域別にみると、「すぐにおこる、しかる」との回答は備前地域で2割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 保護者と話をしない理由（経年比較・学校種別・地域別）】



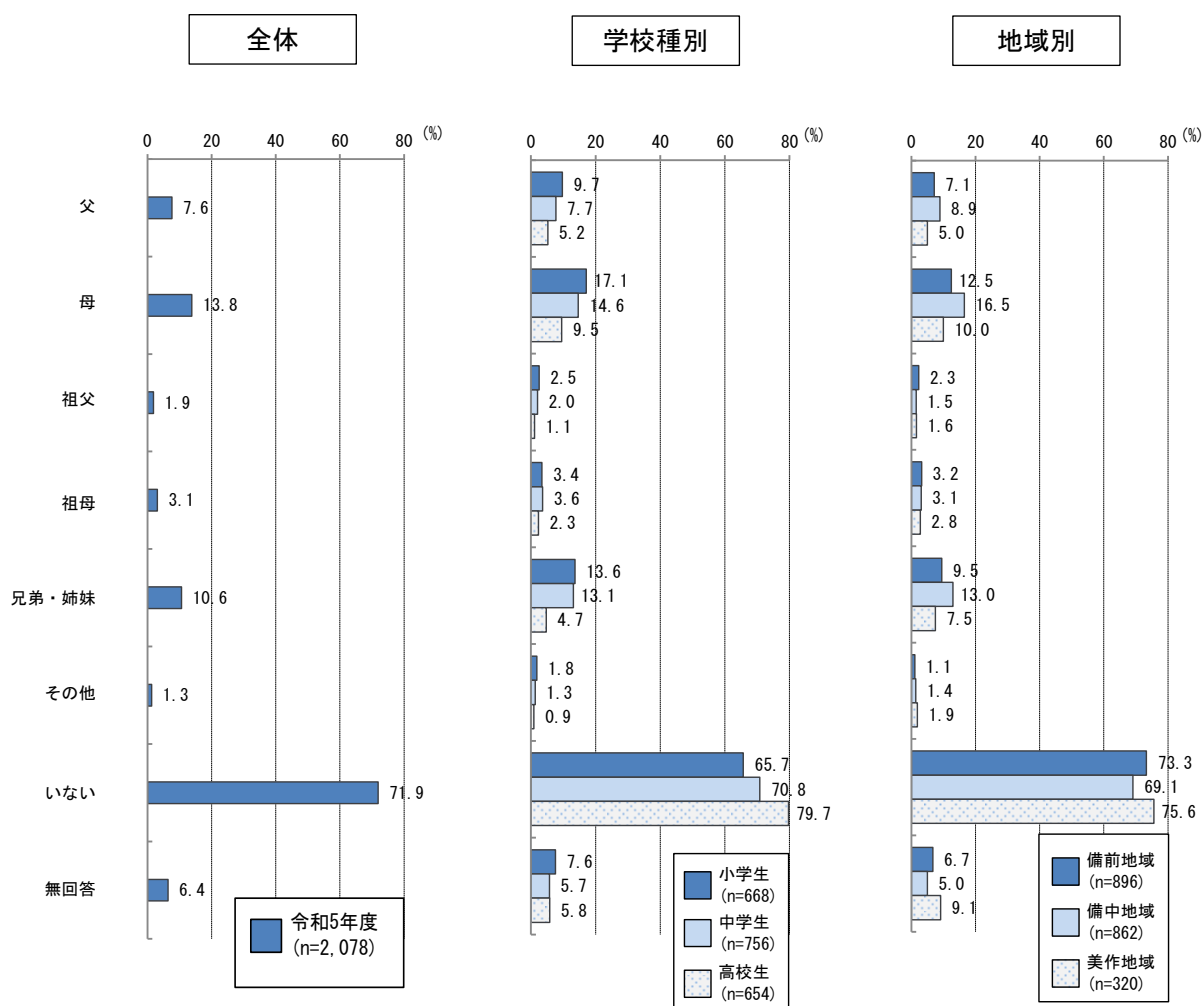
問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)《〇はいくつでも》

お世話をしている家族について、「母」との回答が13.8%と最も高く、次いで「兄弟・姉妹」(10.6%)、「父」(7.6%)などの順となっている。

学校種別にみると、「母」、「兄弟・姉妹」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「いない」との回答は高校生で約8割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると大きな差はみられない。

【図表 お世話をしている家族(全体・学校種別・地域別)】



（問8で「1～6」に○がついた人だけ、問8-1、問8-2、問8-3にお答えください。）

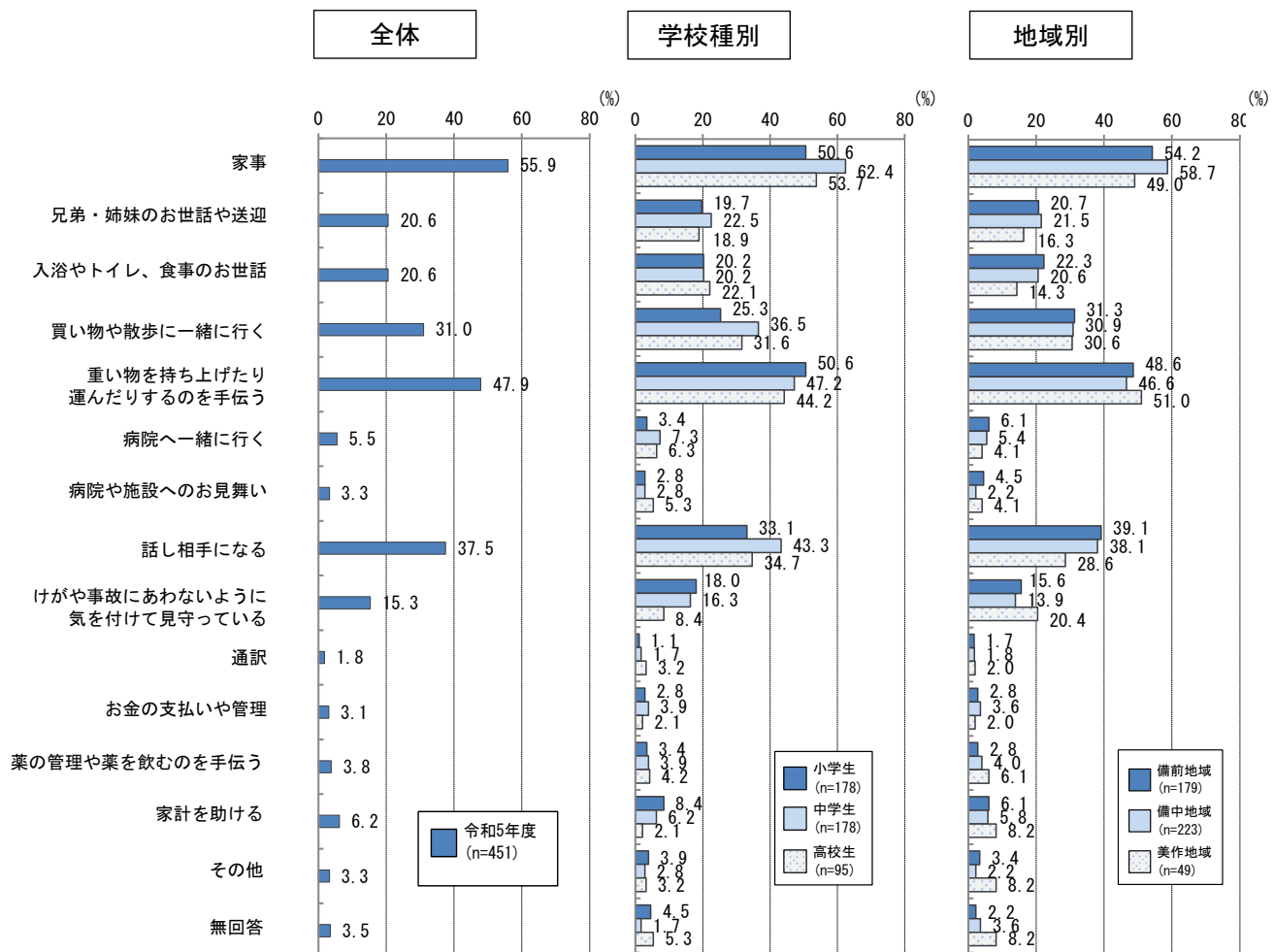
問8-1 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。《○はいくつでも》

家族のお世話の内容について、「家事」との回答が55.9%と最も高く、次いで「重い物を持ち上げたり運んだりするのを手伝う」（47.9%）、「話し相手になる」（37.5%）などの順となっている。

学校種別にみると、「家事」、「買い物や散歩に一緒に行く」、「話し相手になる」との回答は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「家事」、「入浴やトイレ、食事のお世話」、「話し相手になる」との回答は美作地域で他の地域に比べ低くなっている。

【図表 家族のお世話の内容（全体・学校種別・地域別）】



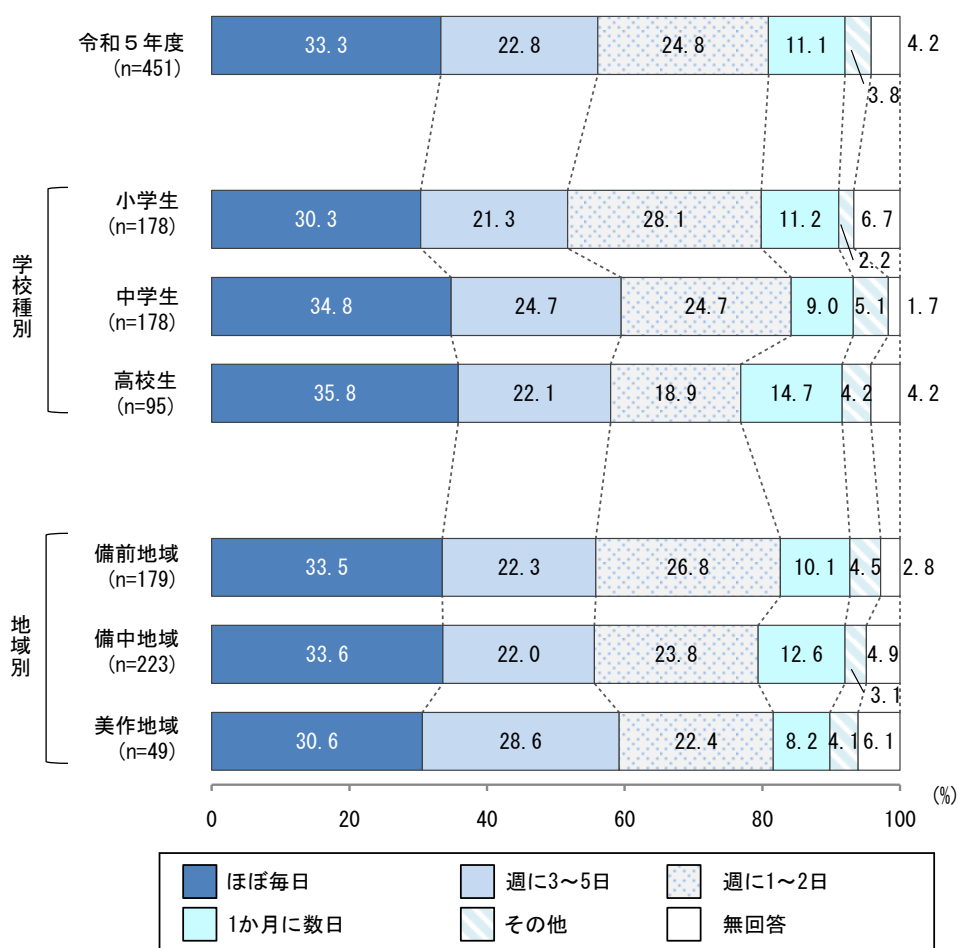
問8-2 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あなたが何人かのお世話をしている場合、合わせてどのくらいお世話をしていますか。)《○は1つ》

家族のお世話の頻度について、「ほぼ毎日」との回答が33.3%と最も高くなっている。

学校種別にみると、「週に1～2日」との回答は高校生で約2割と低くなっている。

地域別にみると、「週に3～5日」との回答は美作地域で約3割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 家族のお世話の頻度（全体・学校種別・地域別）】



問8-3 お世話をしていることで、次のような経験をしたことはありますか。

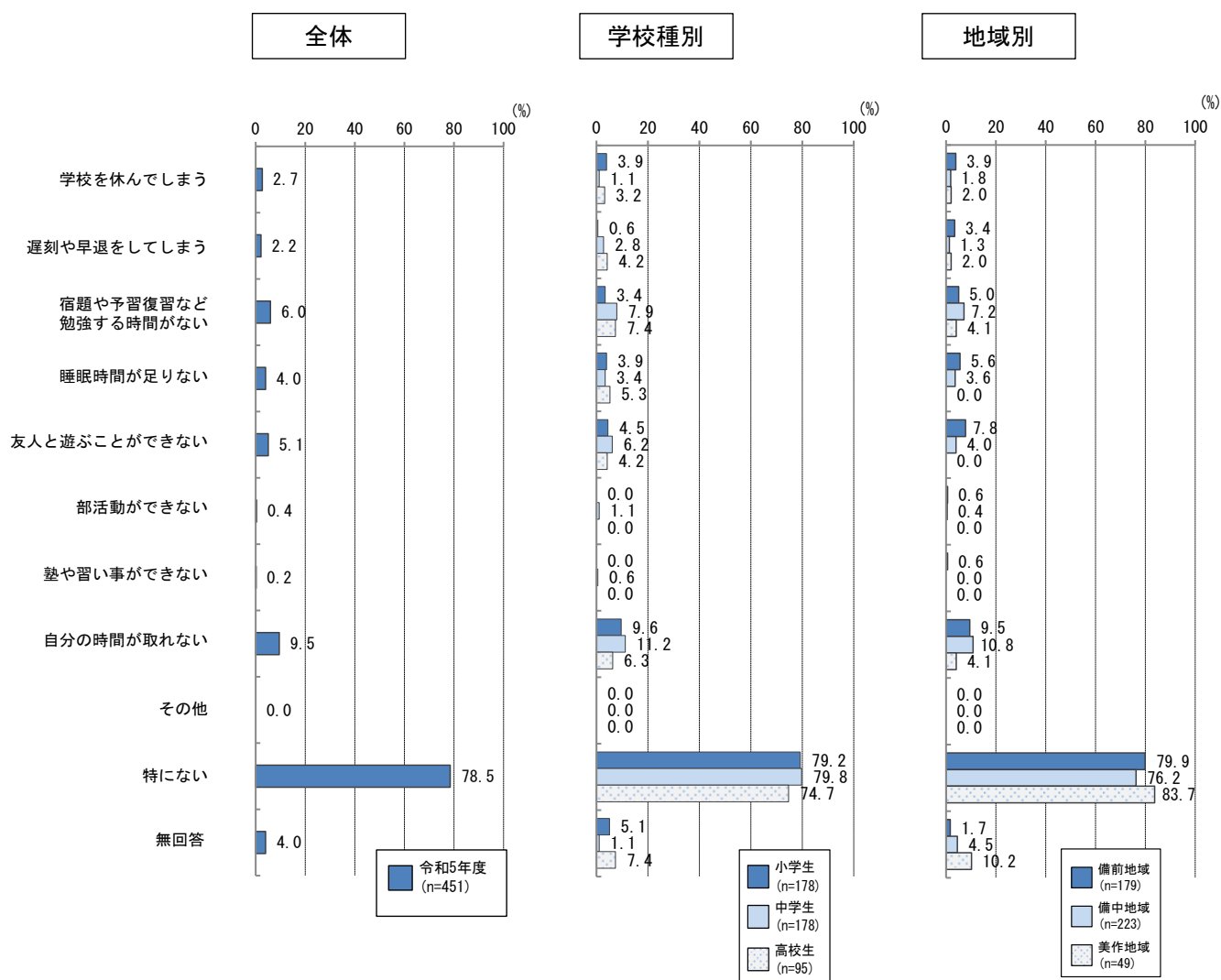
《〇はいくつでも》

家族のお世話をしていることによる経験について、「自分の時間が取れない」との回答が9.5%と最も高く、次いで「宿題や予習復習など勉強する時間がない」(6.0%)、「友人と遊ぶことができない」(5.1%)などの順となっている。

学校種別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、「自分の時間がとれない」との回答は美作地域で5%未満と他の地域に比べ低くなっている。

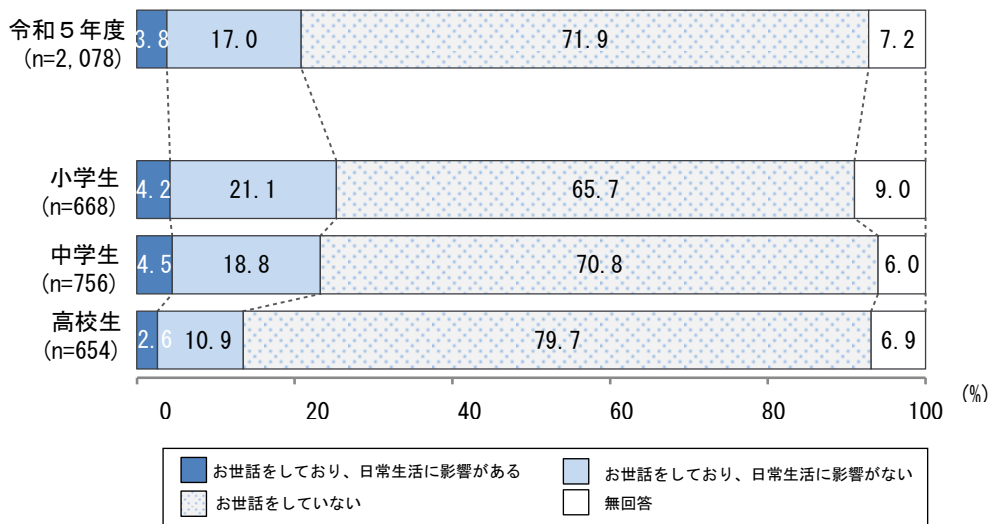
【図表 家族のお世話をしていることによる経験（全体・学校種別・地域別）】



<家族のお世話の状況>

家族のだれか一人でも「お世話をしている」と回答した児童生徒は全体の約 20%となっており、家族のお世話の結果、日常生活に影響があると回答した児童生徒は全体の約 4%となっている。

【図表 家族のお世話の状況（全体・学校種別）】



※問 8 で「1. 父」～「6. その他」を回答し、問 8-3 で「1. 学校を休んでしまう」～「9. その他」を回答した者を『お世話をしており、日常生活に影響がある』と総称する。

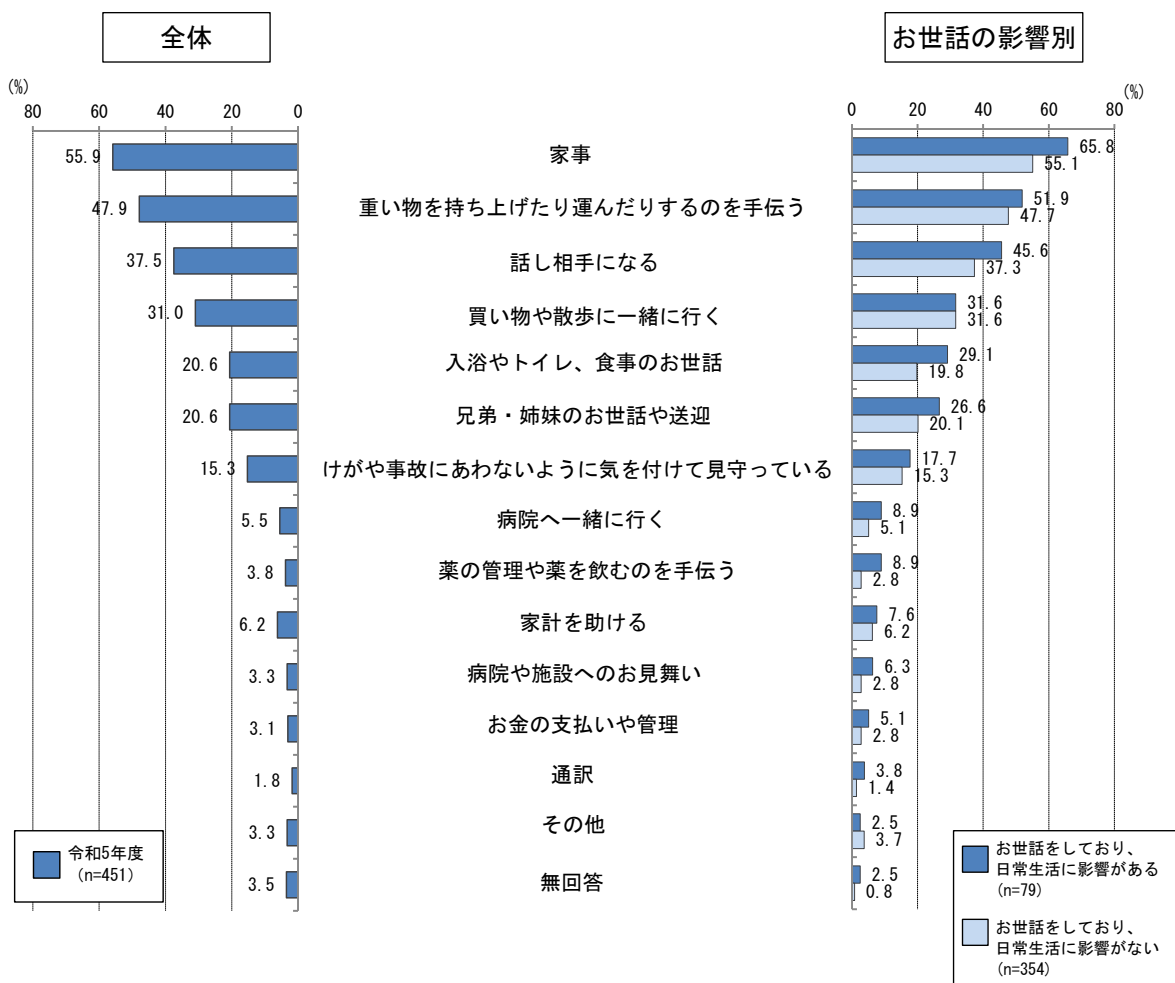
問 8 で「1. 父」～「6. その他」を回答し、問 8-3 で「10. 特にない」を回答した者を『お世話をしており、日常生活に影響がない』と総称する。

問 8 で「7. いない」を回答した者を『お世話をしていない』と総称する。

<家族のお世話の内容>

家族のだれか一人でも「お世話をしている」と回答した児童生徒が行っている家族のお世話の内容について、お世話の影響別に見ると、『お世話をしており、日常生活に影響がある』人は、『お世話をしており、日常生活に影響がない』人に比べて、「家事」、「話し相手になる」、「入浴やトイレ、食事のお世話」、「兄弟・姉妹のお世話や送迎」が5ポイント以上高くなっている。

【図表 家族のお世話の内容（全体・お世話の影響別）】



7 地域活動について

問9 あなたは、最近1年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。
《○はいくつでも》

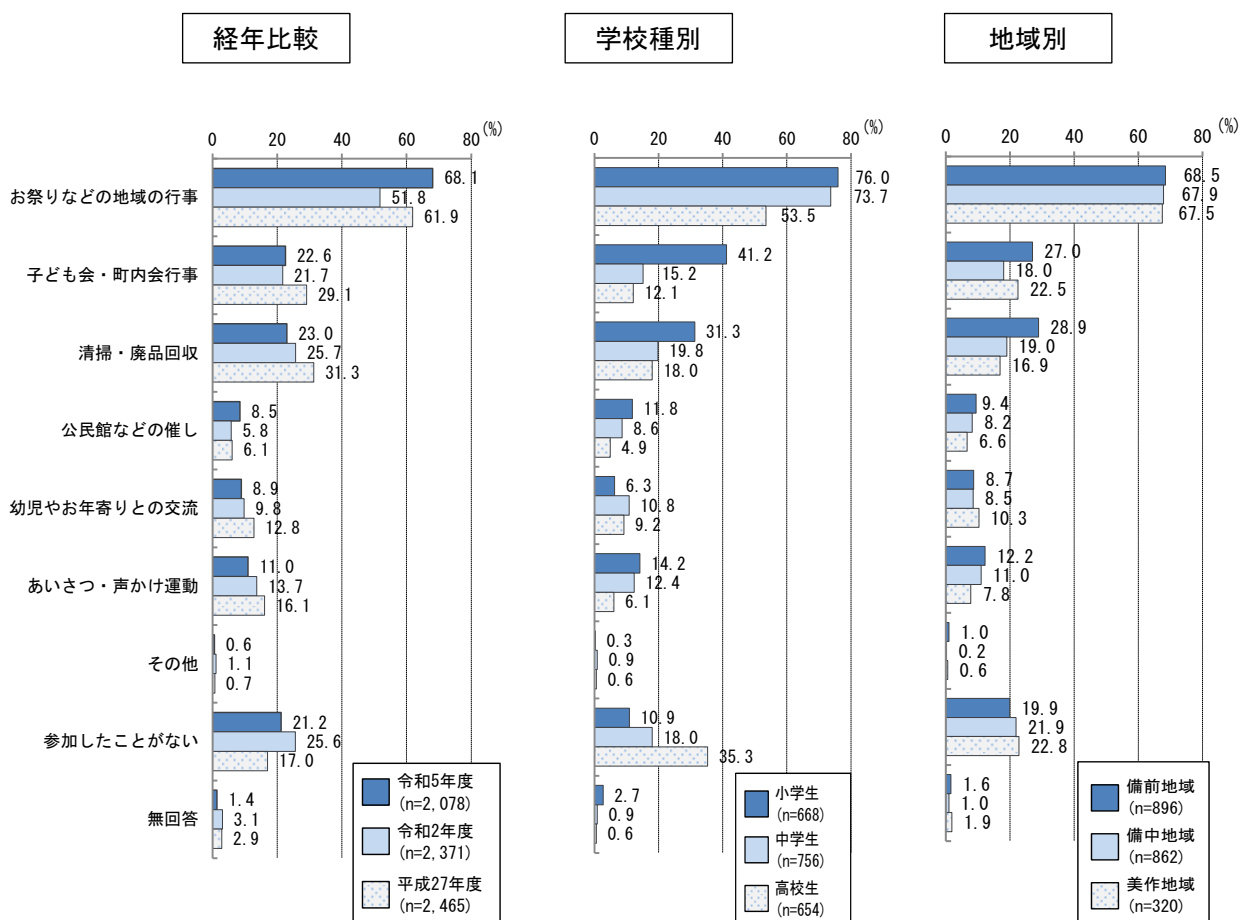
地域活動の参加状況について、「お祭りなどの地域の行事」との回答が68.1%と最も高く、次いで「清掃・廃品回収」(23.0%)、「子ども会・町内会行事」(22.6%)などの順となっている。また「参加したことがない」との回答は21.2%となっている。

経年比較すると、「お祭りなどの地域の行事」との回答は今回調査が前回調査を16.3ポイント上回っている。

学校種別にみると、「お祭りなどの地域の行事」「子ども会・町内会行事」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「参加したことがない」との回答は高校生で3割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「子ども会・町内会行事」「清掃・廃品回収」との回答は備前地域で他の地域に比べ高くなっている。

【図表 地域活動の参加状況（経年比較・学校種別・地域別）】



問10 あなたは、ボランティア活動をしていますか。《○は1つ》

※小学生にはない設問

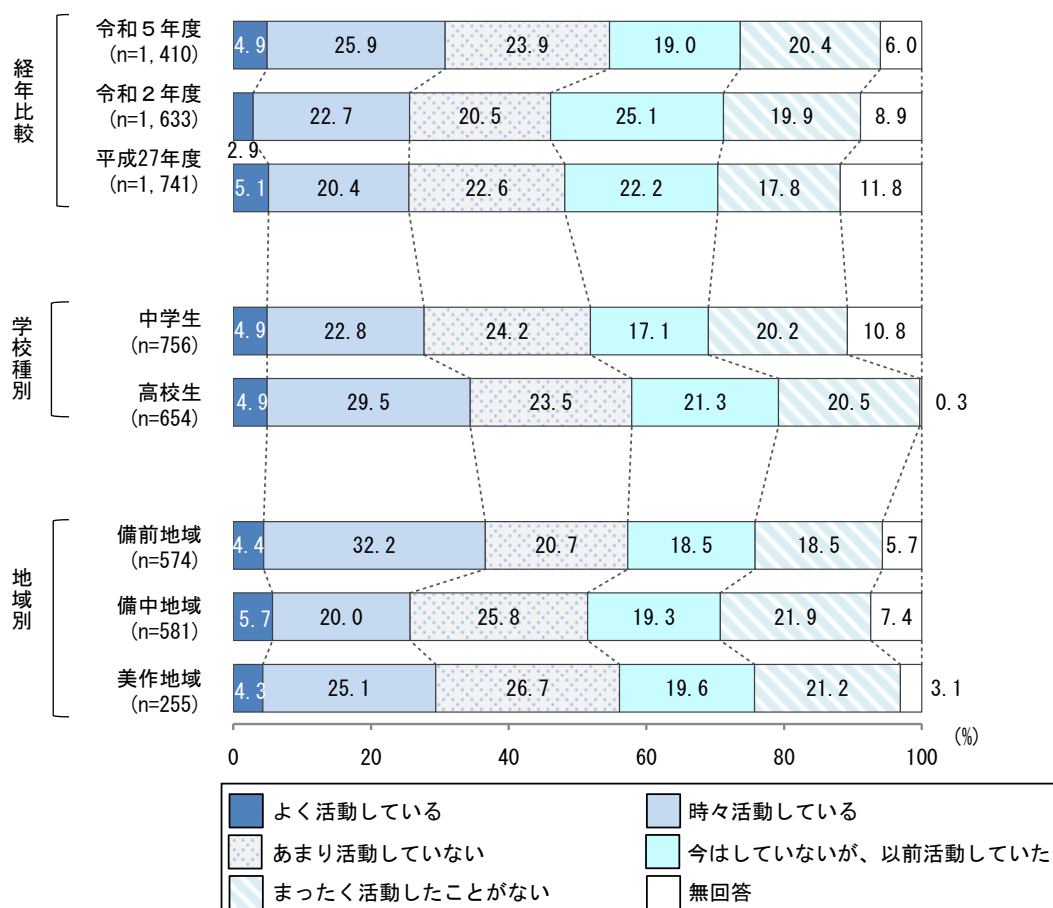
ボランティア活動の状況について、「時々活動している」との回答が25.9%と最も高く、次いで「あまり活動していない」(23.9%)、「まったく活動したことがない」(20.4%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「時々活動している」との回答は高校生で約3割と高くなっている。

地域別にみると、「時々活動している」との回答は備前地域で3割超と他の地域に比べ高くなっている。

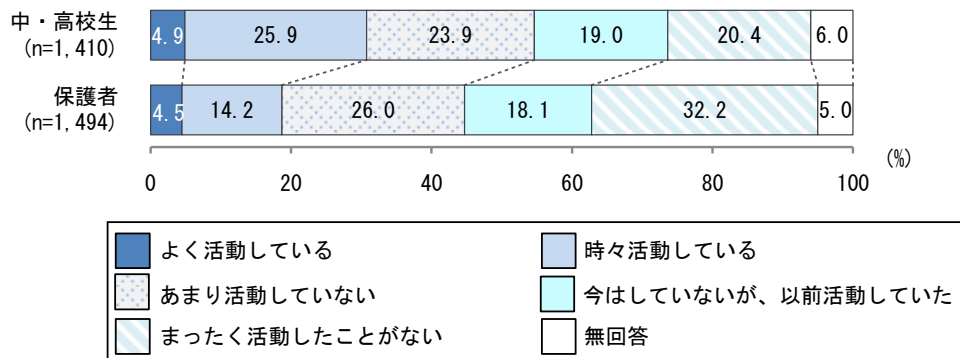
【図表 ボランティア活動の状況（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 10 中・高校生と保護者の比較>

ボランティア活動の状況について、中・高校生、保護者別にみると、「時々活動している」との回答は中・高校生（25.9%）が保護者（14.2%）を11.7ポイント上回っている。一方「まったく活動したことがない」との回答は中・高校生（20.4%）が保護者（32.2%）を11.8ポイント下回っている。

【図表 ボランティア活動の状況（中・高校生、保護者別）】



(問9で「8. 参加したことがない」、または問10で「5. まったく活動したことがない」に〇がついた人だけお答えください。)

問11 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加しないのは、なぜですか。

《〇は3つまで》

※小学生にはない設問

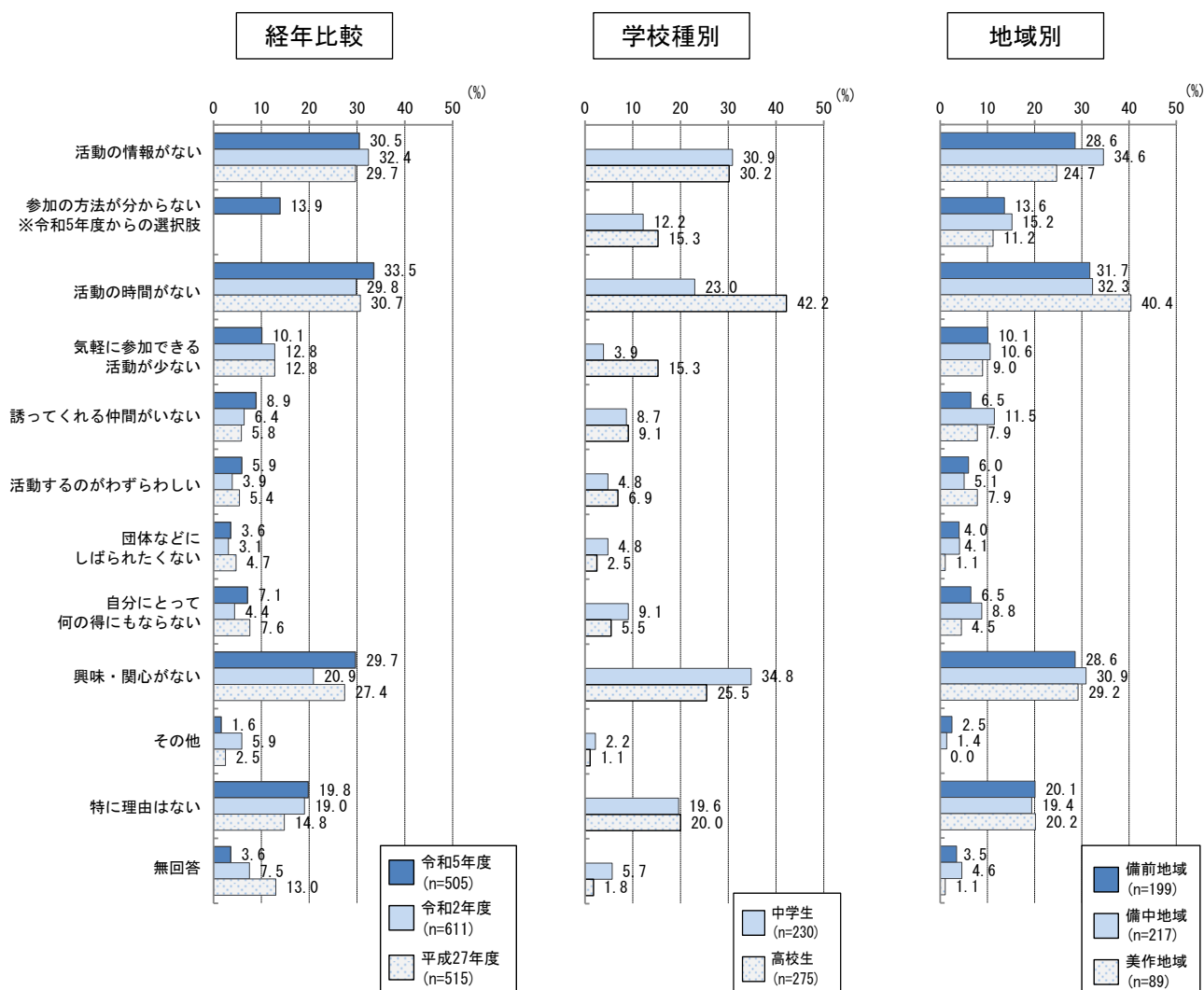
地域活動やボランティア活動に参加しない理由について、「活動の時間がない」との回答が33.5%と最も高く、次いで「活動の情報がない」(30.5%)、「興味・関心がない」(29.7%)などの順となっている。

経年比較すると、「興味・関心がない」との回答は今回調査が前回調査を8.8ポイント上回っている。

学校種別にみると、「活動の時間がない」、「気軽に参加できる活動が少ない」との回答は高校生で高くなっている。一方「興味・関心がない」との回答は中学生が3割台半ばと高くなっている。

地域別にみると「活動の情報がない」との回答は備中地域で3割台半ば、「活動の時間がない」との回答は美作地域で4割超と他の地域に比べ高くなっている。

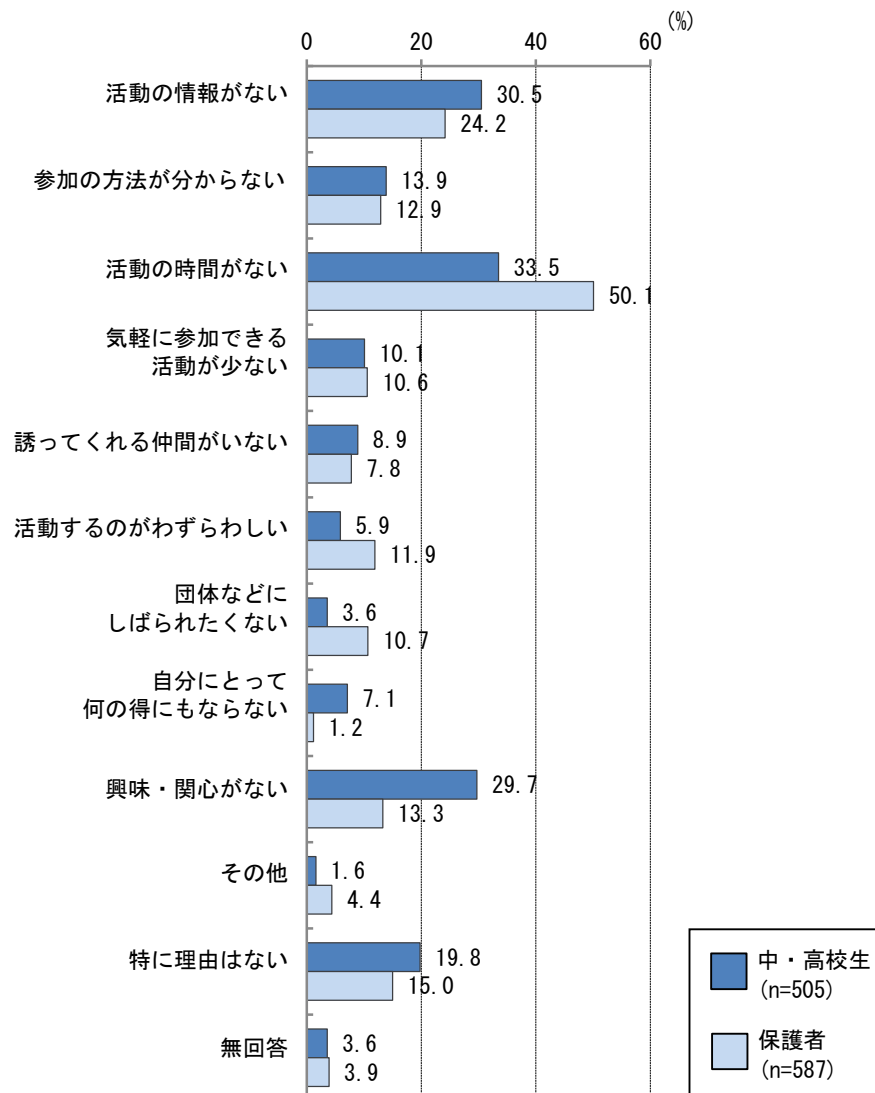
【図表 地域活動やボランティア活動に参加しない理由（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 11 中・高校生と保護者の比較>

地域活動やボランティア活動に参加しない理由について、中・高校生、保護者別にみると、「活動の時間がない」との回答は中・高校生（33.5%）が保護者（50.1%）を16.6ポイント、「団体などにしぼられたくない」との回答は中・高校生（3.6%）が保護者（10.7%）を7.1ポイント下回っている。一方「興味・関心がない」との回答は中・高校生（29.7%）が保護者（13.3%）を16.4ポイント上回っている。

【図表 地域活動やボランティア活動に参加しない理由（中・高校生、保護者別）】



8 近所の人とのかかわりについて

問12 あなたは、近所（同じ町内会）の人とのかかわりはどの程度ですか。《○は1つ》

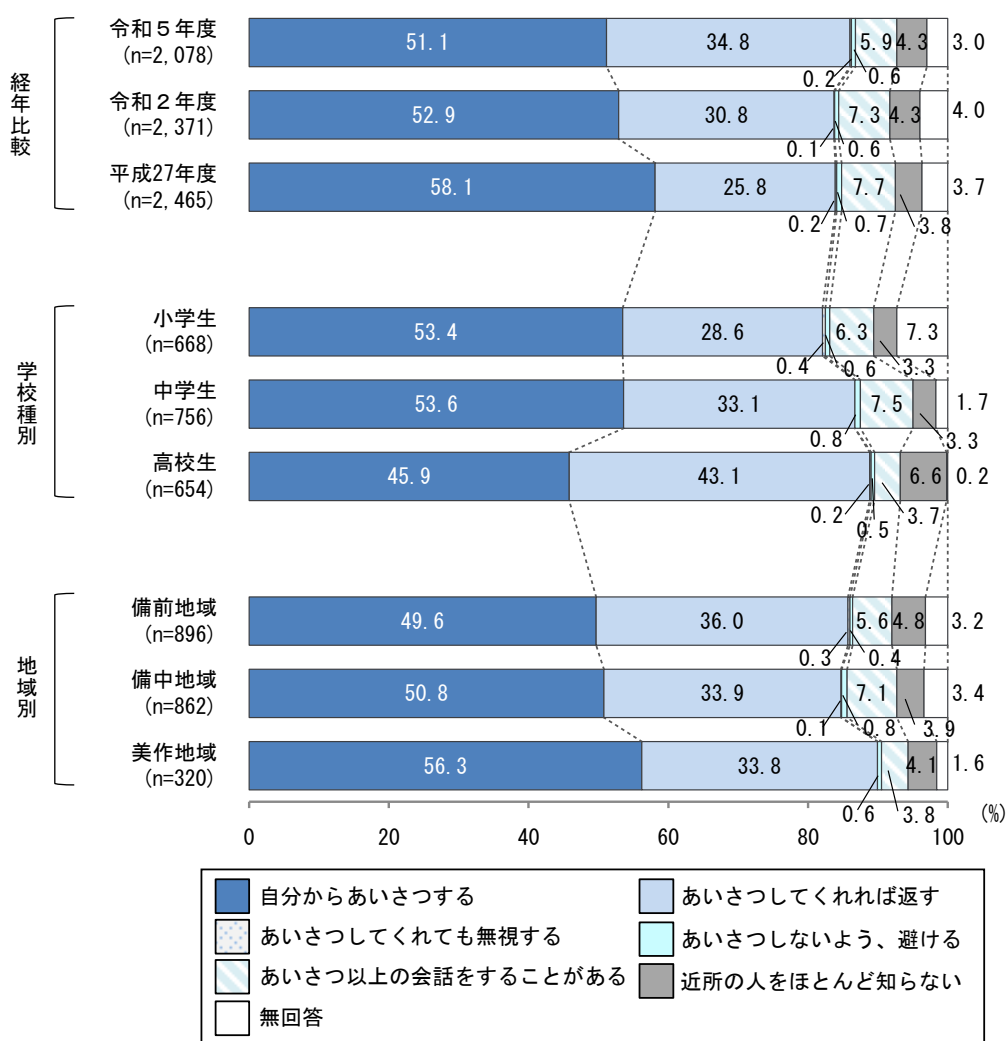
近所の人とのかかわりの程度について、「自分からあいさつする」との回答が51.1%と最も高く、次いで「あいさつしてくれれば返す」(34.8%)、「あいさつ以上の会話をすることがある」(5.9%)などの順となっている。

経年比較すると、「自分からあいさつする」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。一方、「あいさつしてくれれば返す」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「あいさつしてくれれば返す」との回答は高校生で4割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「自分からあいさつする」との回答は美作地域で5割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 近所の人とのかかわりの程度（経年比較・学校種別・地域別）】



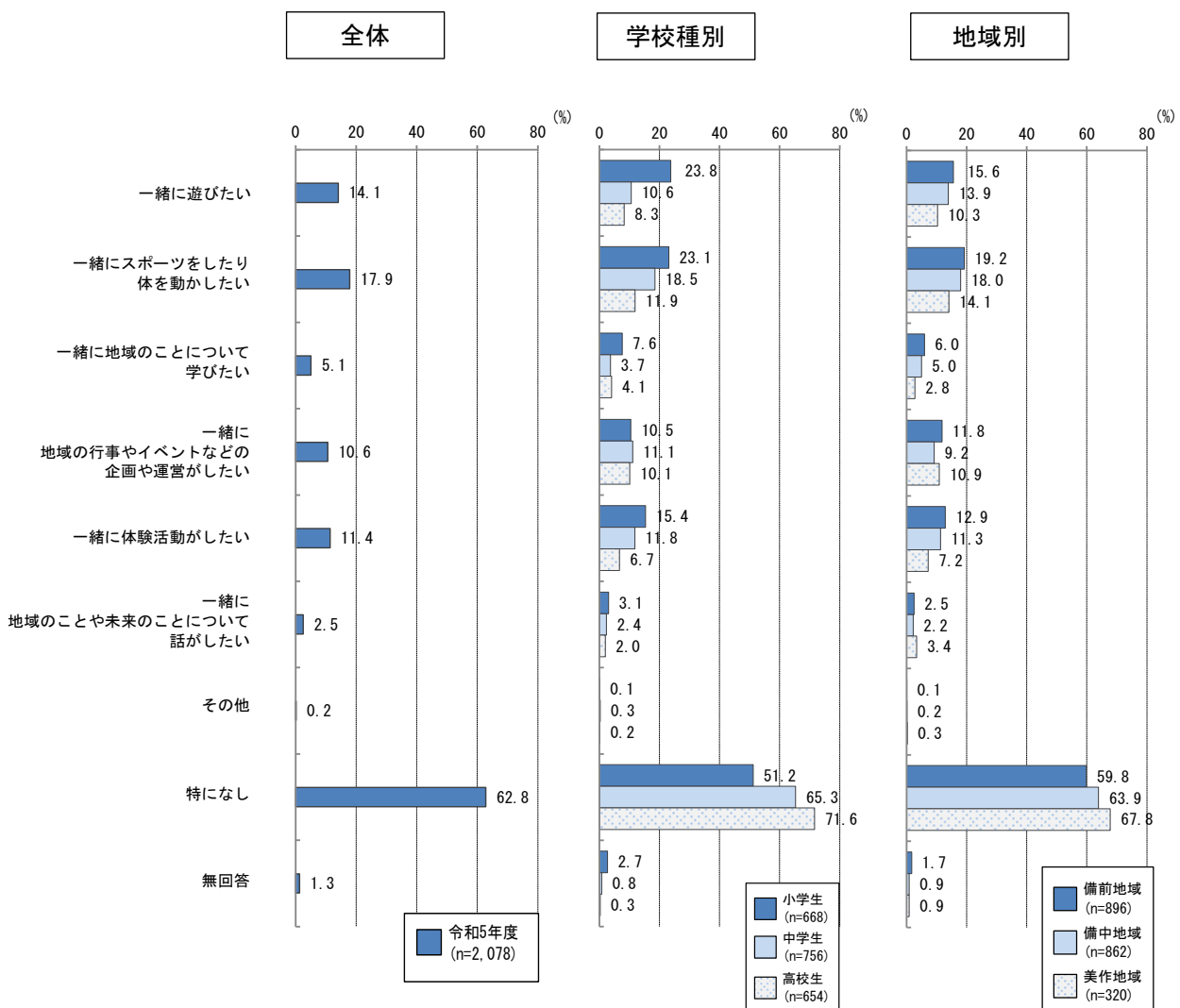
問 1 3 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。《○はいくつでも》

地域の人と一緒にしたいことについて、「特になし」との回答が62.8%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」(17.9%)、「一緒に遊びたい」(14.1%)などの順となっている。

学校種別にみると、「一緒に遊びたい」「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「特になし」との回答は高校生で7割超と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 地域の人と一緒にしたいこと（全体・学校種別・地域別）】



<問 13 児童生徒・青年・保護者の比較>

地域の人と一緒にしたいことについて、児童生徒・青年・保護者別にみると、「一緒に遊びたい」との回答は、児童生徒（14.1%）が保護者（5.6%）を8.5ポイント上回っている。

【図表 地域の人と一緒にしたいこと（調査対象別）】

(%)

	問13 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。									
	一緒に遊びたい	一緒に体を動かしたい	一緒に地域のことに	企画やイベントなどの行事や	一緒に地域の活動が	一緒に地域の話をしたい	その他	特になし	無回答	
全体	2078	14.1	17.9	5.1	10.6	11.4	2.5	0.2	62.8	1.3
児童生徒	2078	14.1	17.9	5.1	10.6	11.4	2.5	0.2	62.8	1.3
小学生	668	23.8	23.1	7.6	10.5	15.4	3.1	0.1	51.2	2.7
中学生	756	10.6	18.5	3.7	11.1	11.8	2.4	0.3	65.3	0.8
高校生	654	8.3	11.9	4.1	10.1	6.7	2.0	0.2	71.6	0.3
青年	964	7.5	8.9	4.9	7.8	7.9	2.9	0.9	75.0	0.9
保護者	1494	5.6	12.8	6.8	7.7	13.1	5.1	1.9	65.5	1.1

9 相談相手について

問14 あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。《○は3つまで》

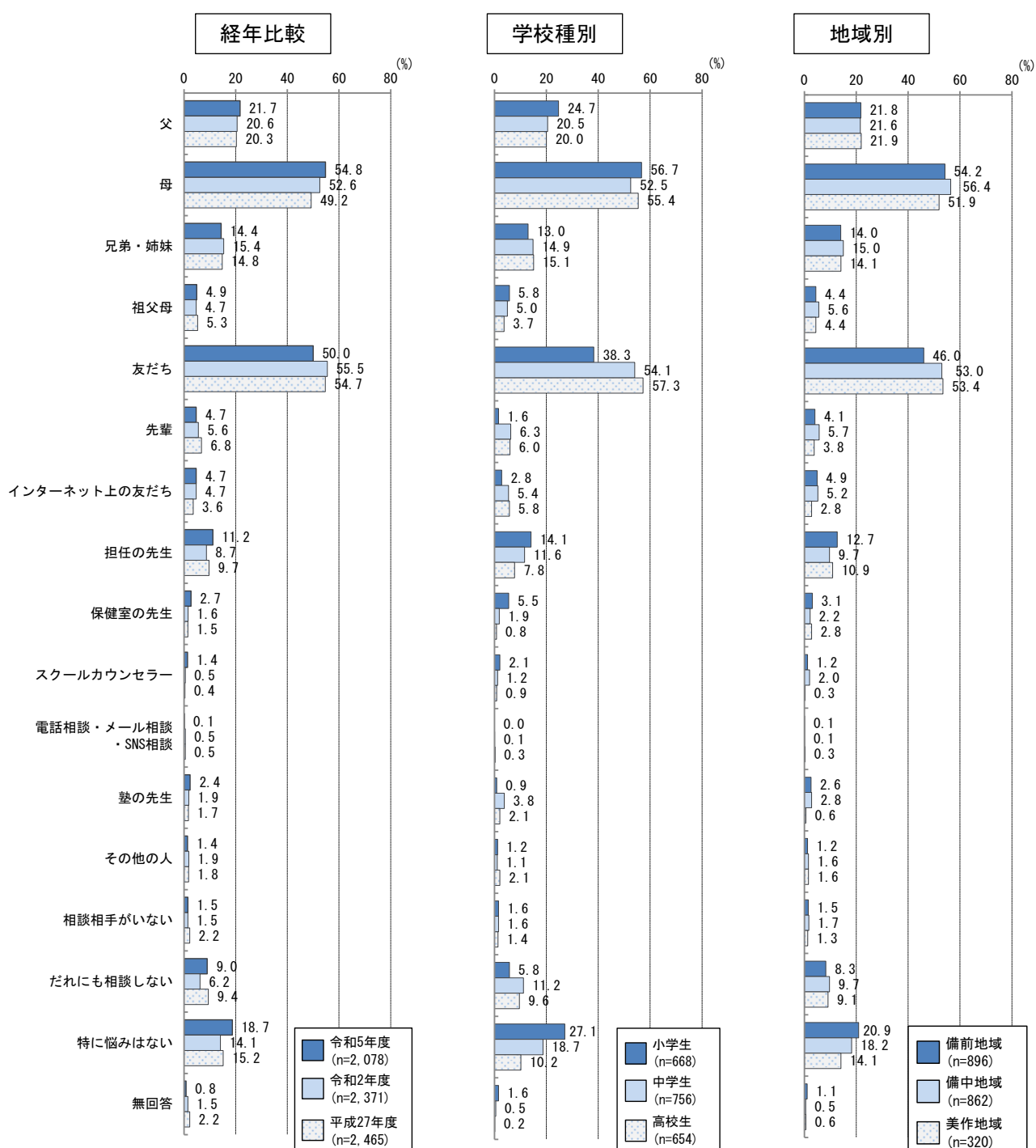
心配事や悩みの相談相手について、「母」との回答が54.8%と最も高く、次いで「友だち」(50.0%)、「父」(21.7%)などの順となっている。

経年比較すると、「母」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「友だち」との回答は高校生で約6割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「友だち」との回答は備前地域で4割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 心配事や悩みの相談相手（経年比較・学校種別・地域別）】



10 自分自身の性格について

問15 あなた自身のことについておたずねします。《○は①～⑧それぞれ1つずつ》

① きまりやルールをきちんと守るほうだ

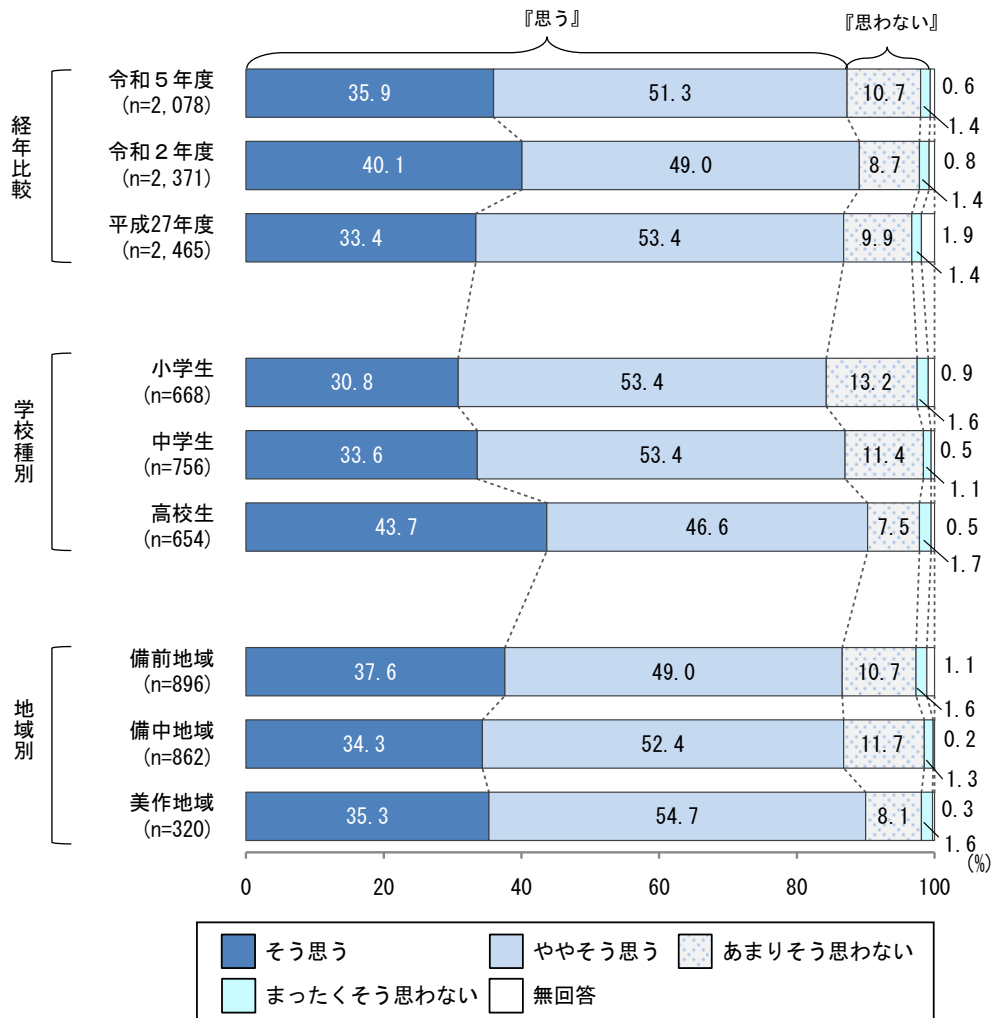
きまりやルールをきちんと守るほうだと思うかどうかについて、『思う』との回答が87.2%、『思わない』との回答が12.1%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で約9割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 きまりやルールをきちんと守るほうだ（経年比較・学校種別・地域別）】



② どんなことでも積極的なほうだ

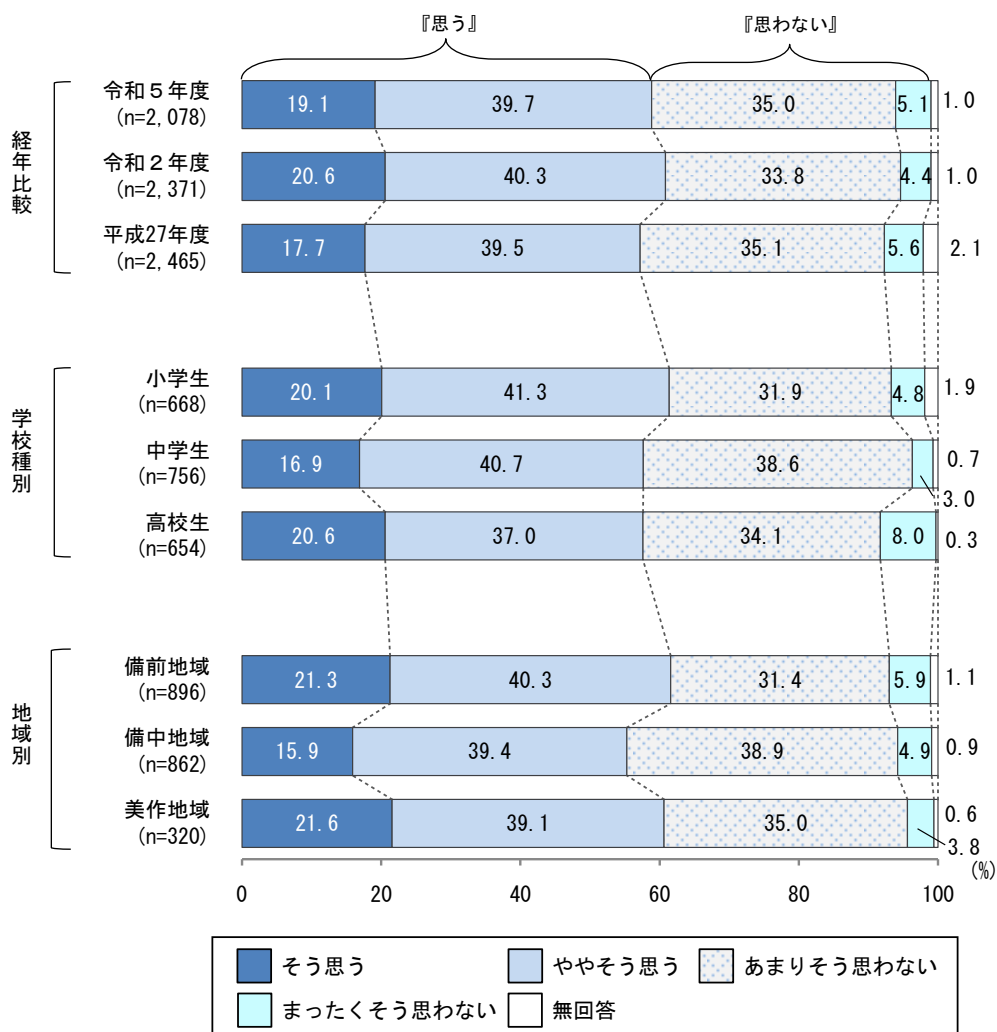
どんなことでも積極的なほうだと思うかどうかについて、『思う』との回答が58.8%、『思わない』との回答が40.1%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思わない』との回答は中学生、高校生で約4割とやや高くなっている。

地域別にみると、『思わない』との回答は備中地域で約4割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 どんなことでも積極的なほうだ（経年比較・学校種別・地域別）】



③ キレやすい

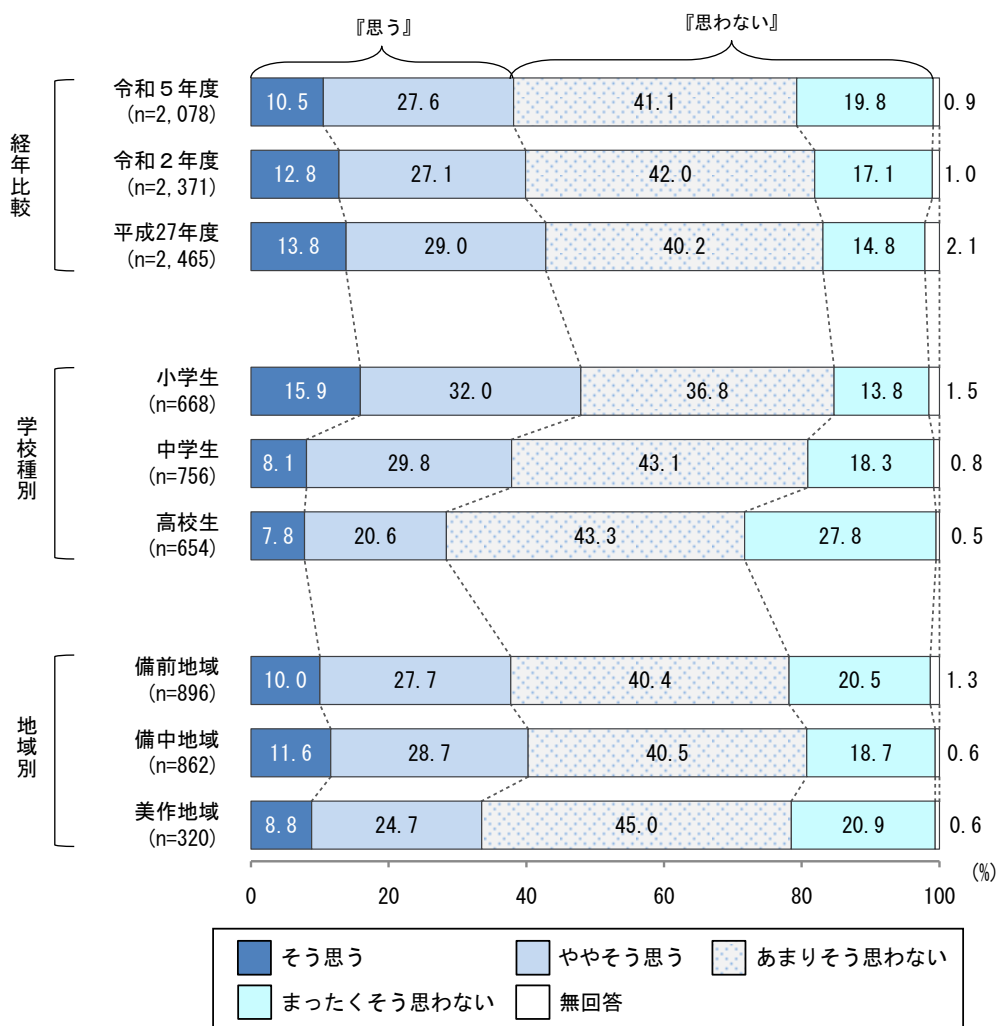
キレやすいと思うかどうかについて、『思う』との回答が38.1%、『思わない』との回答が60.9%となっている。

経年比較すると、『思わない』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、『思わない』との回答は高校生で約7割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると『思わない』との回答は美作地域で6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

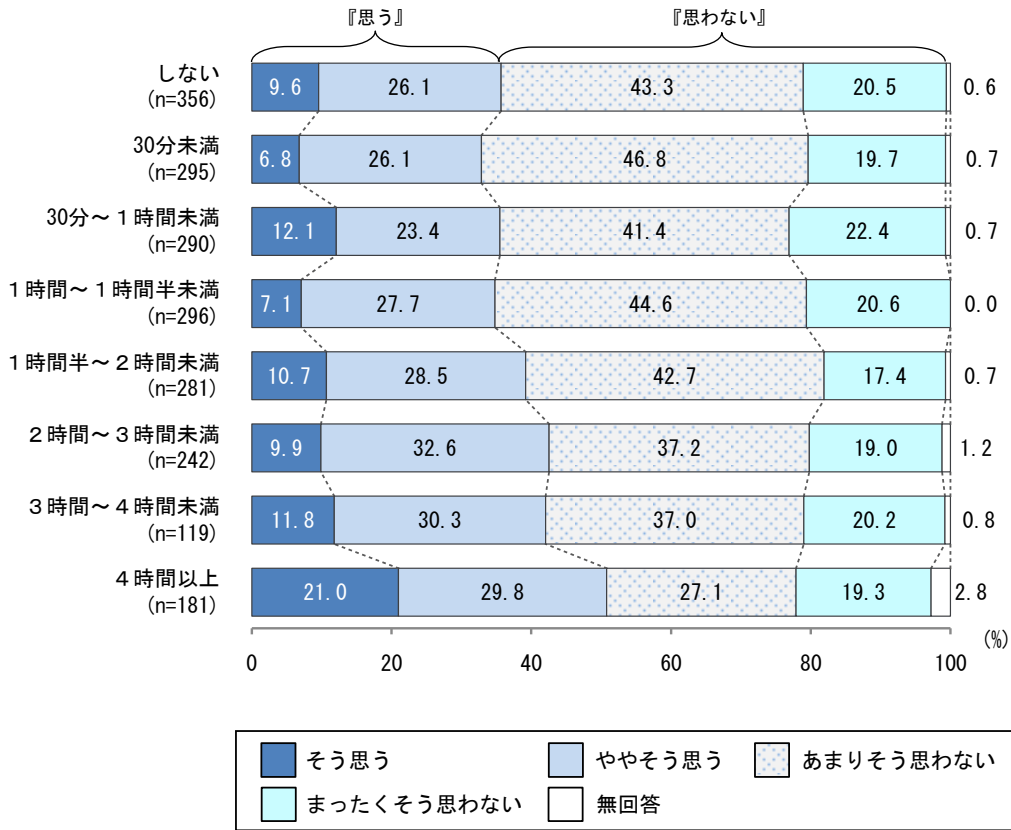
【図表 キレやすい（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 15 ゲームをする時間との関係>

キレイやすいと思うかどうかについて、ゲームをする時間別でみると、ゲームをする時間が4時間以上の児童生徒は『思う』との回答が約5割と高くなっている。

【図表 キレイやすい（ゲームをする時間別）】



④ つまらないことですぐに落ちこむ

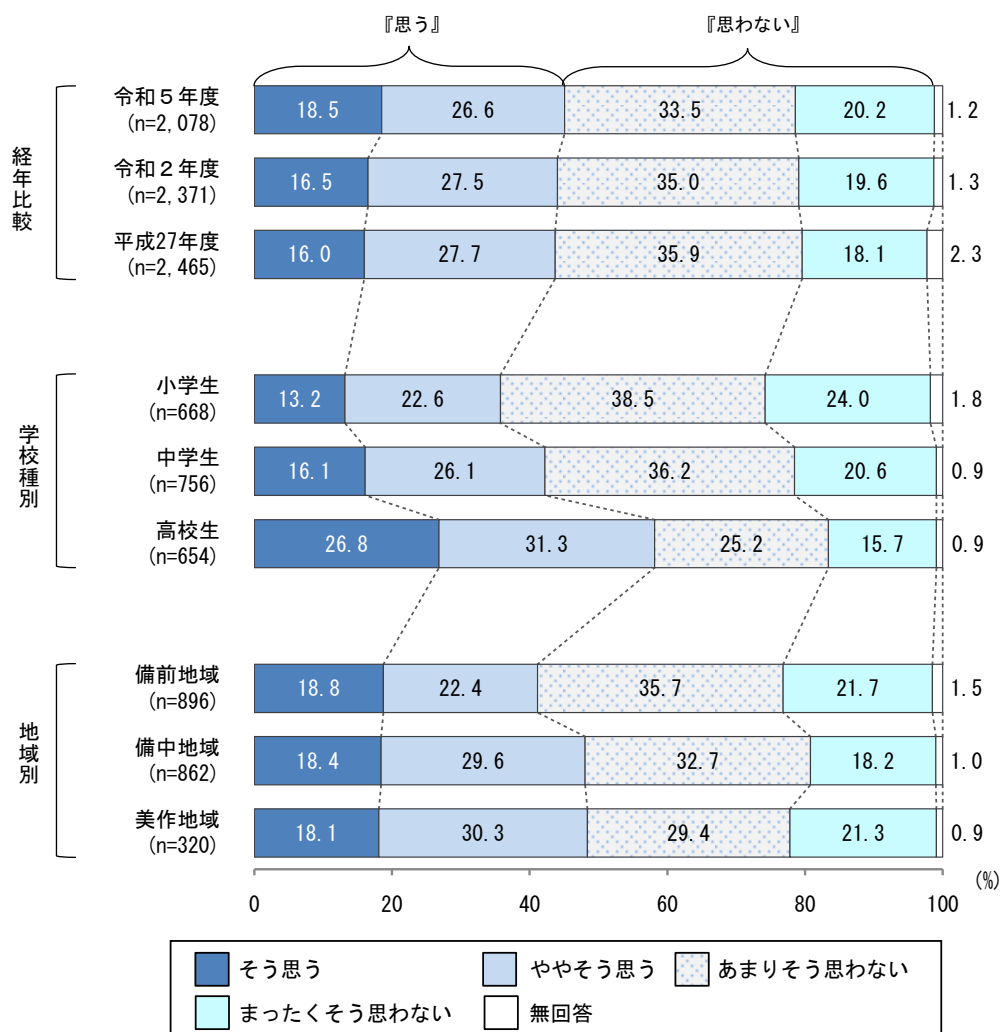
つまらないことですぐに落ち込むと思うかどうかについて、『思う』との回答が45.1%、『思わない』との回答が53.7%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で約6割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、『思う』との回答は備前地域で約4割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 つまらないことですぐに落ちこむ（経年比較・学校種別・地域別）】



⑤ 人とつきあうのが苦手だ

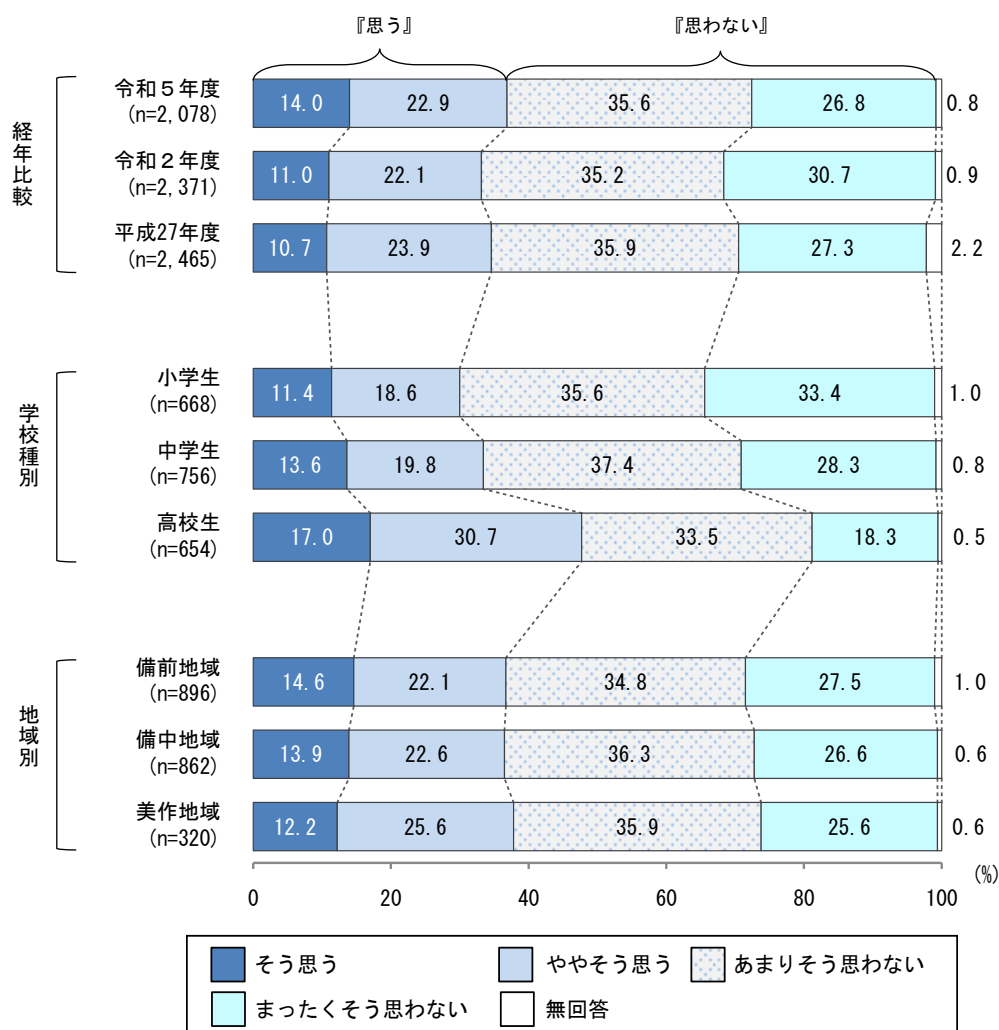
人とつきあうのが苦手だと思うかどうかについて、『思う』との回答が36.9%、『思わない』との回答が62.4%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で約5割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

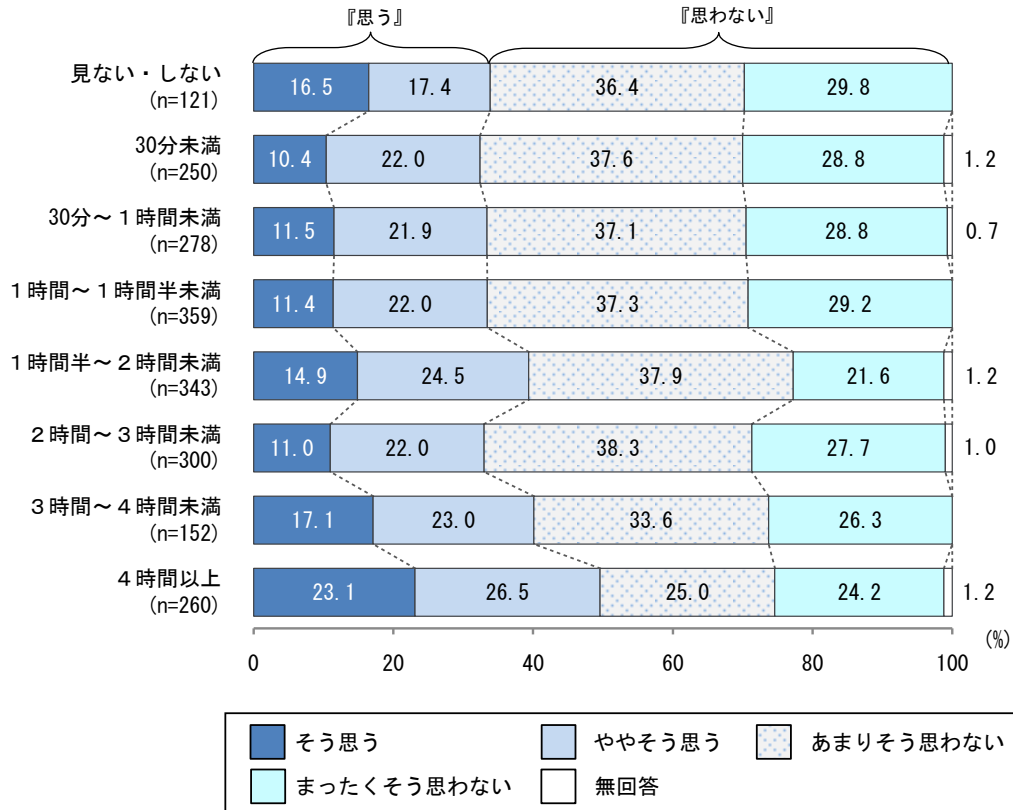
【図表 人とつきあうのが苦手だ（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 15 ゲーム以外でのインターネットをする時間との関係>

人とつきあうのが苦手だと思うかどうかについて、ゲーム以外でのインターネットをする時間別にみると、『思う』との回答は4時間以上ゲーム以外でのインターネットをする児童生徒で約5割と高くなっている。

【図表 人とつきあうのが苦手だ（ゲーム以外でのインターネットをする時間別）】



⑥ 自信を持ってやれることがない

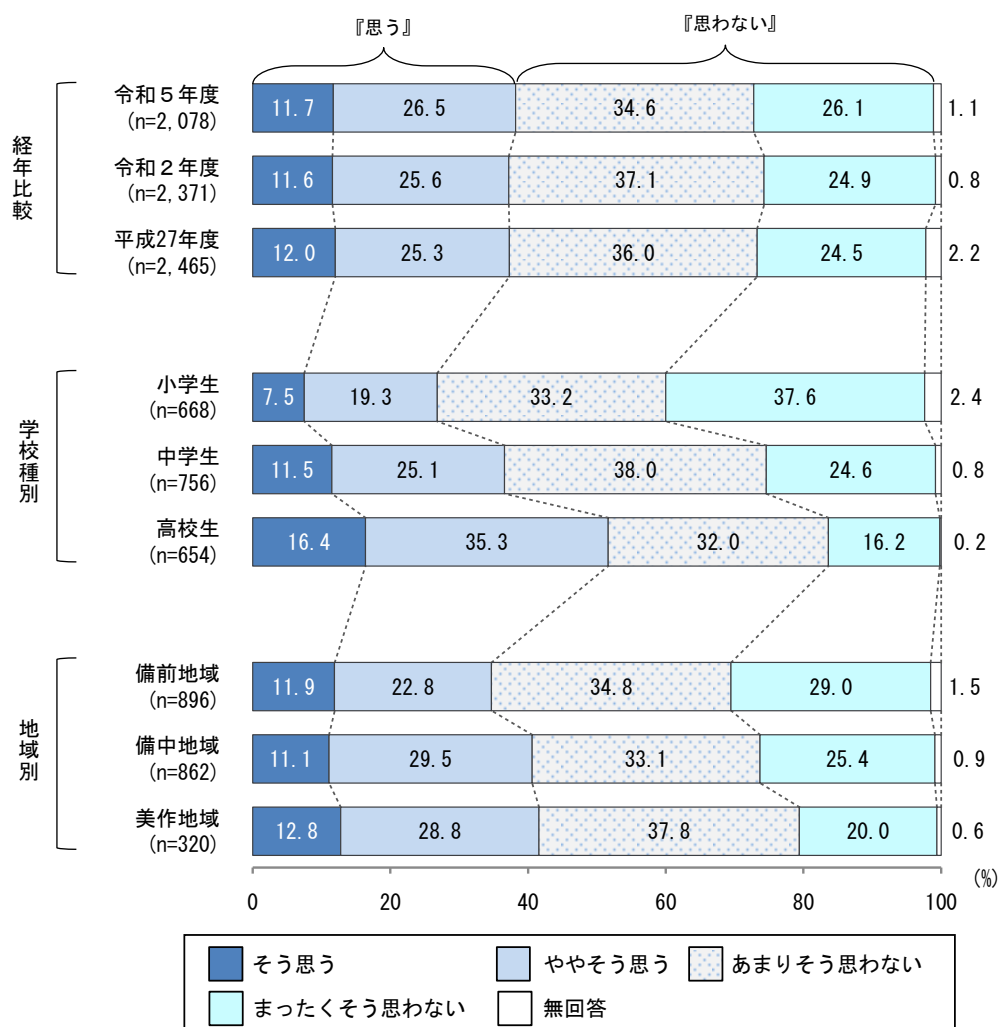
自信を持ってやれることがないと思うかどうかについて、『思う』との回答が 38.2%、『思わない』との回答が 60.7%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で5割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、『思う』との回答は備前地域で3割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 自信を持ってやれることがない（経年比較・学校種別・地域別）】



⑦ 自分が好きである

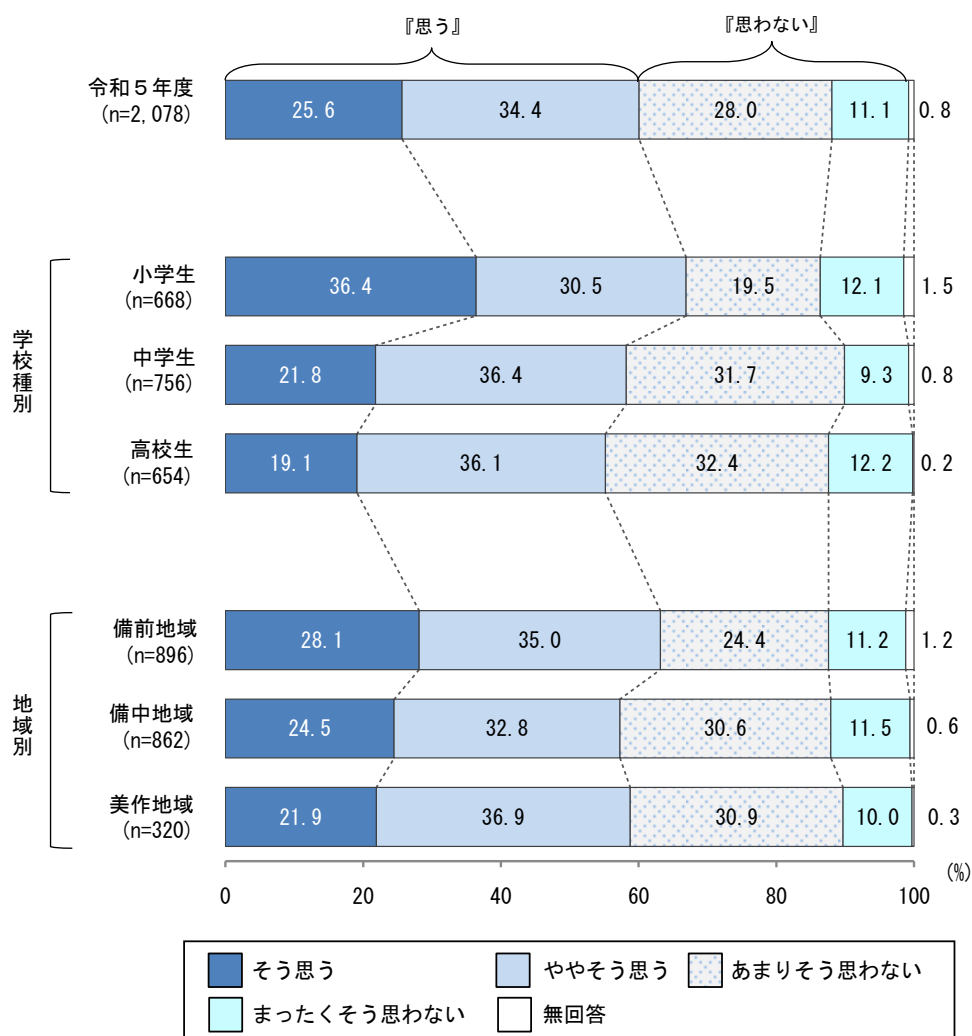
※令和5年度からの選択肢

自分が好きであると思うかどうかについて、『思う』との回答が60.0%、『思わない』との回答が39.1%となっている。

学校種別にみると、『思う』との回答は小学生で6割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、『思わない』との回答は備前地域で3割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 自分が好きである（全体・学校種別・地域別）】



⑧ 自分には良いところがある

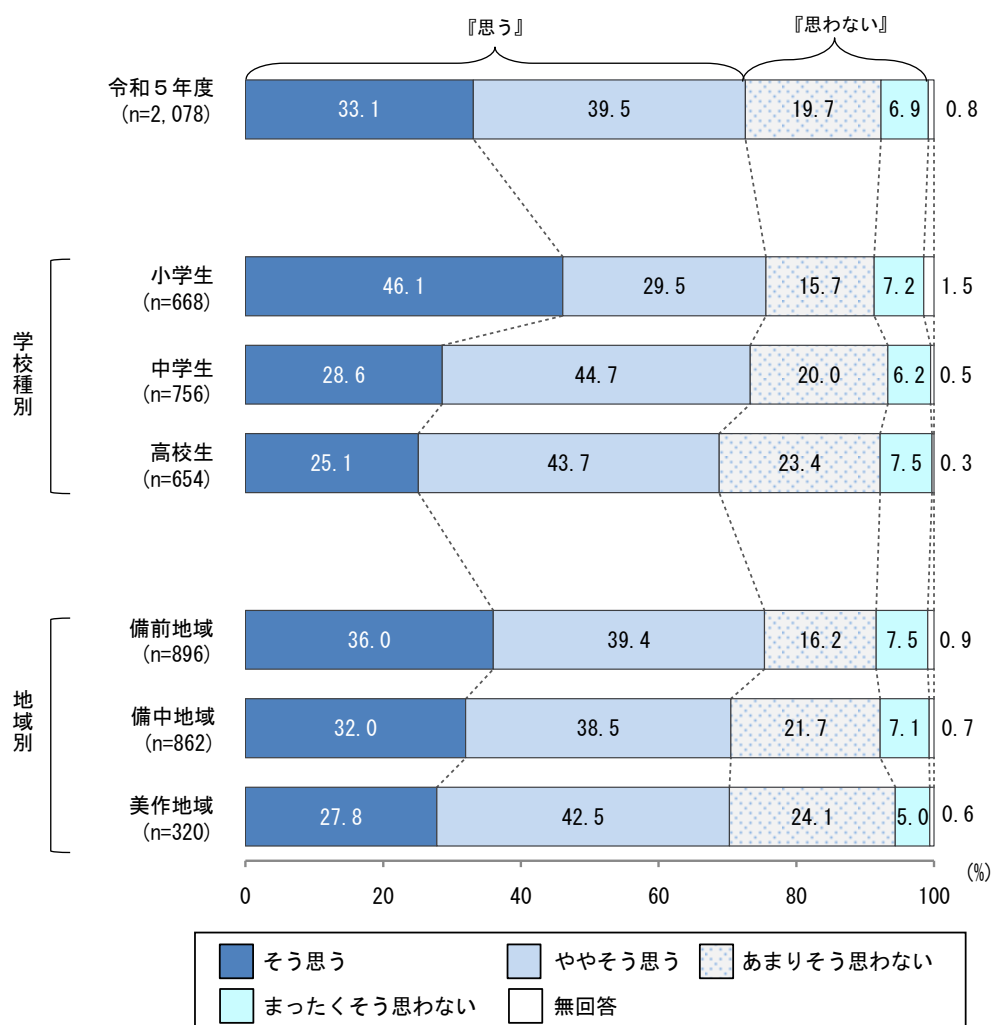
※令和5年度からの選択肢

自分には良いところがあると思うかどうかについて、『思う』との回答が72.6%、『思わない』との回答が26.6%となっている。

学校種別にみると、『思わない』との回答は高校生で約3割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、『思わない』との回答は備前地域で2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 自分には良いところがある（全体・学校種別・地域別）】



11 大人の悪いところについて

問16 あなたが、今の大人を見て、悪いと思うところはどんなところですか。

《〇はいくつでも》

※小学生にはない設問

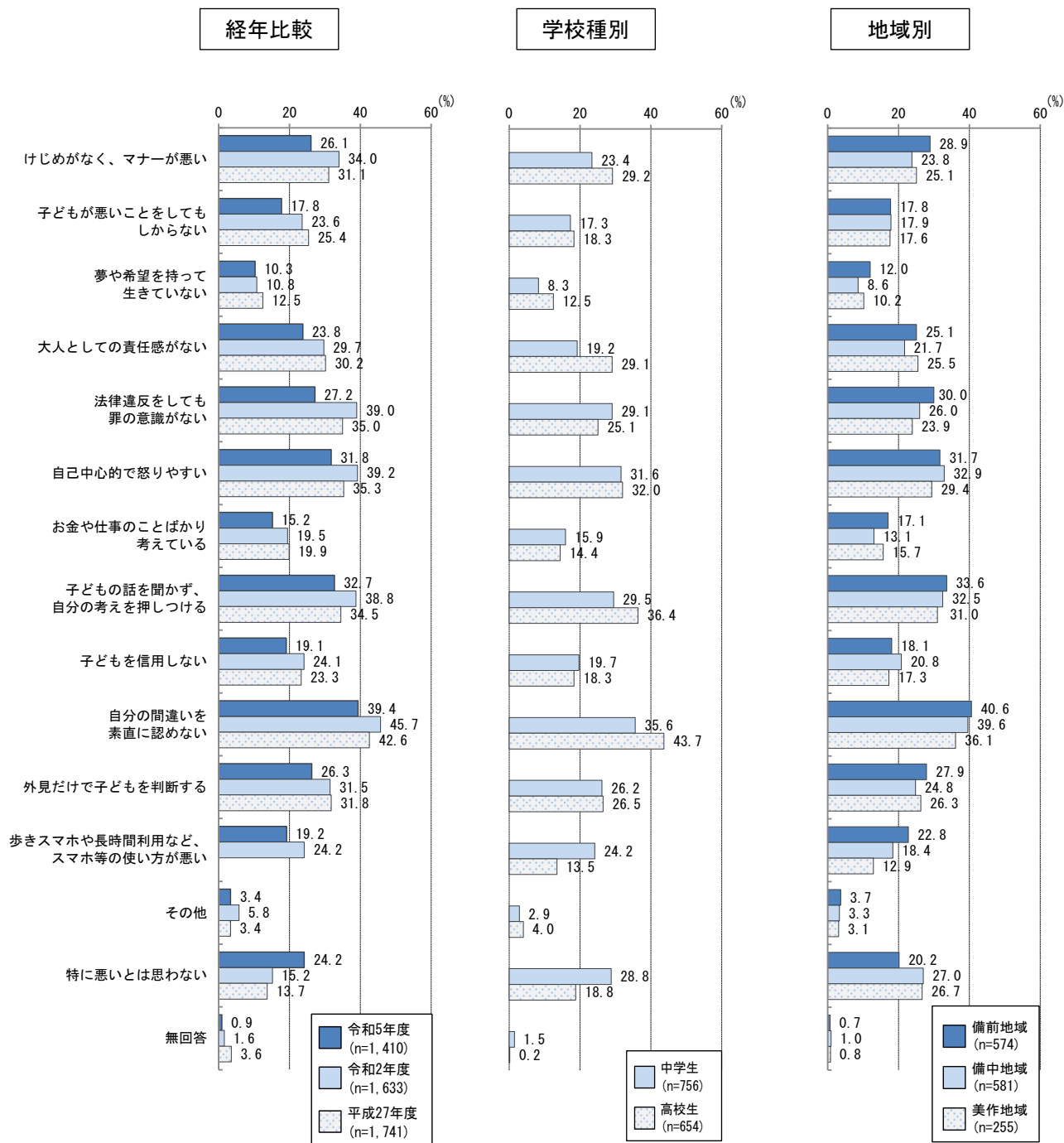
大人の悪いところについて、「自分の間違いを素直に認めない」との回答が39.4%と最も高く、次いで「子どもの話を聞かず、自分の考えを押しつける」(32.7%)、「自己中心的で怒りやすい」(31.8%)などの順となっている。

経年比較すると、「法律違反をしても罪の意識がない」との回答は今回調査が前回調査を11.8ポイント下回っている。一方、「特に悪いとは思わない」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「大人としての責任感がない」との回答は中学生が高校生を9.9ポイント下回っている。一方「歩きスマホや長時間利用など、スマホ等の使い方が悪い」、「特に悪いとは思わない」との回答は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「歩きスマホや長時間利用など、スマホ等の使い方が悪い」との回答は美作地域で約1割と低く、「特に悪いとは思わない」との回答は備前地域で約2割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 大人の悪いところ（経年比較・学校種別・地域別）】



12 将来の夢について

問17 あなたは、将来にどのような夢を持っていますか。《○はいくつでも》

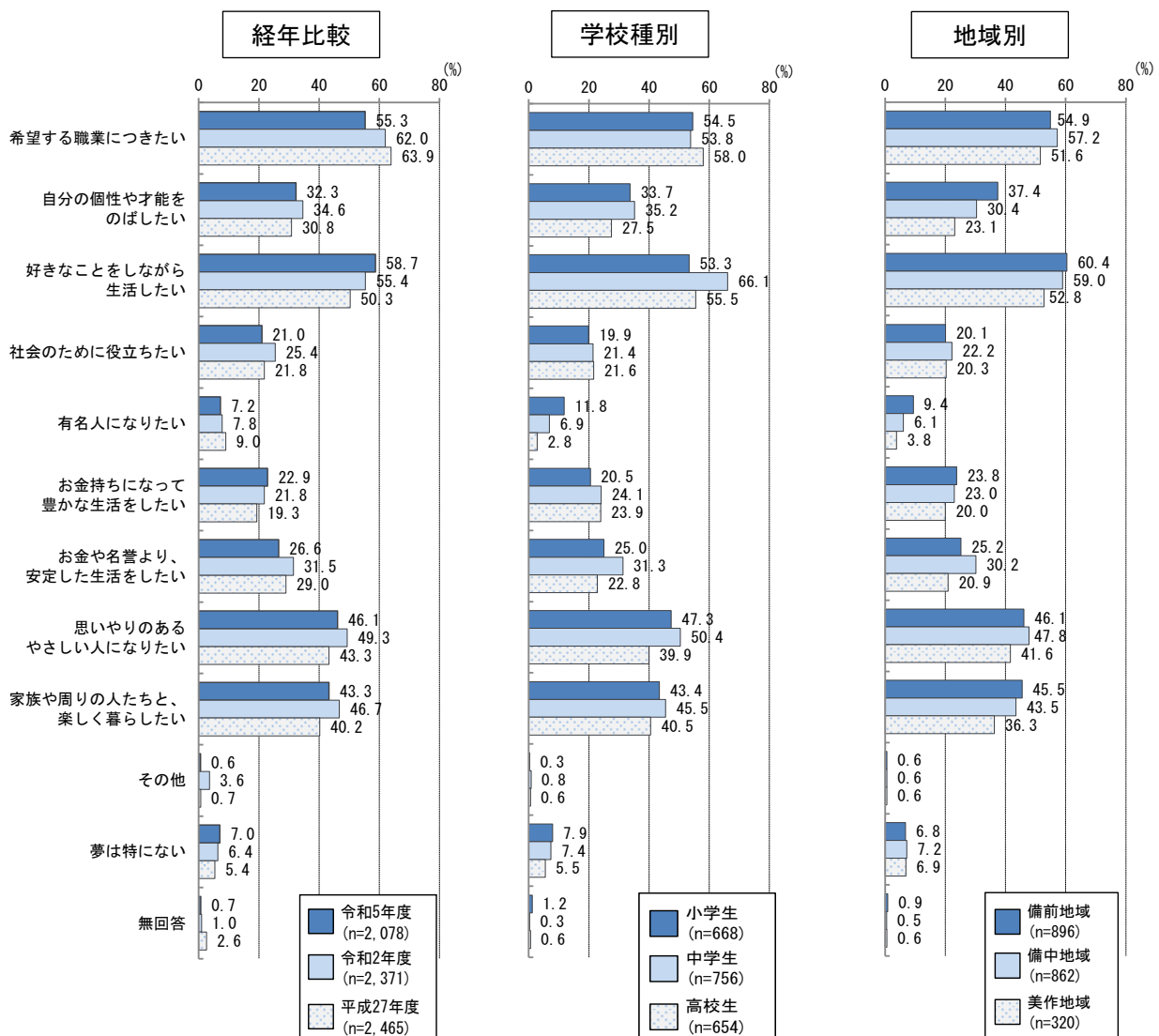
将来の夢について、「好きなことをしながら生活したい」との回答が58.7%と最も高く、次いで「希望する職業につきたい」(55.3%)、「思いやりのあるやさしい人になりたい」(46.1%)、「家族や周りの人たちと、楽しく暮らしたい」(43.3%)などの順となっている。

経年比較すると、「希望する職業につきたい」との回答は今回調査が前回調査を6.7ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「好きなことをしながら生活したい」、「思いやりのあるやさしい人になりたい」との回答は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「自分の個性や才能をのびしたい」との回答は備前地域で3割台半ば、「お金や名誉より、安定した生活をしたい」との回答は備中地域で約3割と高くなっている。

【図表 将来の夢（経年比較・学校種別・地域別）】



13 住んでいる地域について

問18 あなたは、現在住んでいる地域が好きですか。《○は1つ》

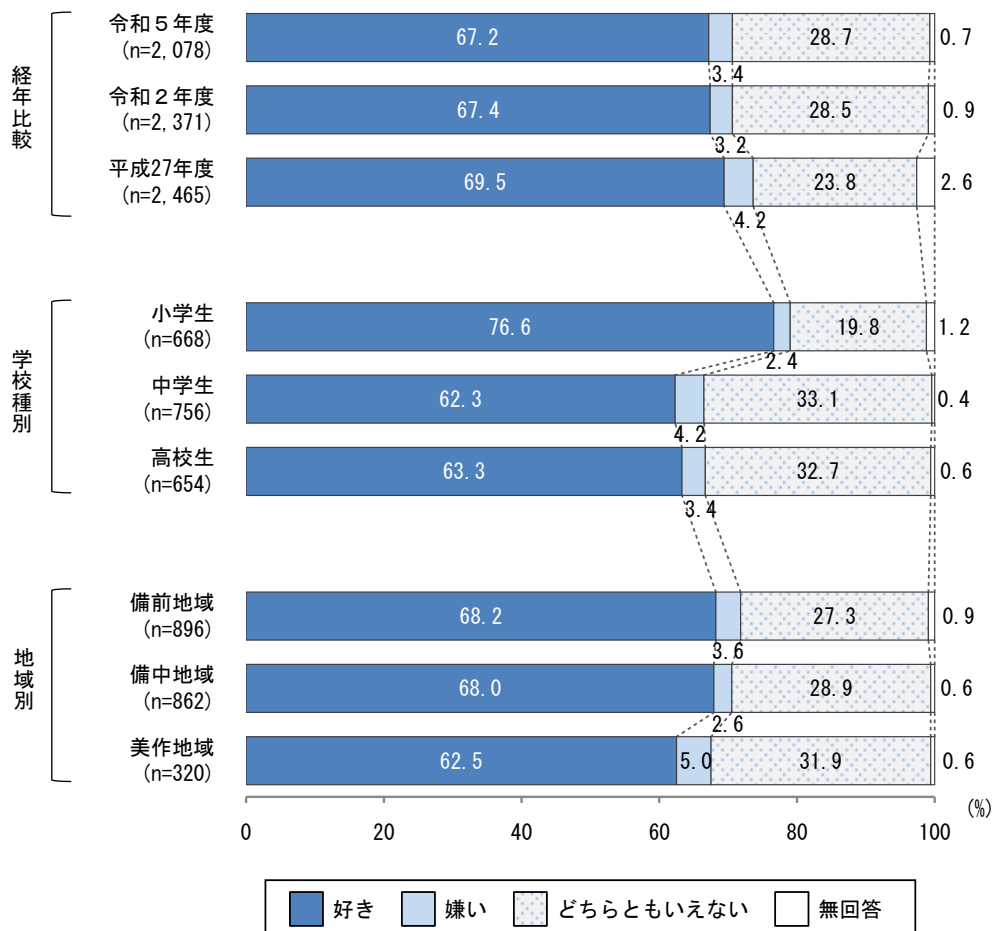
住んでいる地域について、「好き」との回答が67.2%、「嫌い」との回答が3.4%、「どちらともいえない」との回答が28.7%となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「好き」との回答は小学生で7割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、「好き」との回答は美作地域で6割超と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 住んでいる地域が好きか（経年比較・学校種別・地域別）】



問19 あなたは、岡山県は将来どのような県になってほしいと思いますか。《○は3つまで》

※小学生にはない設問

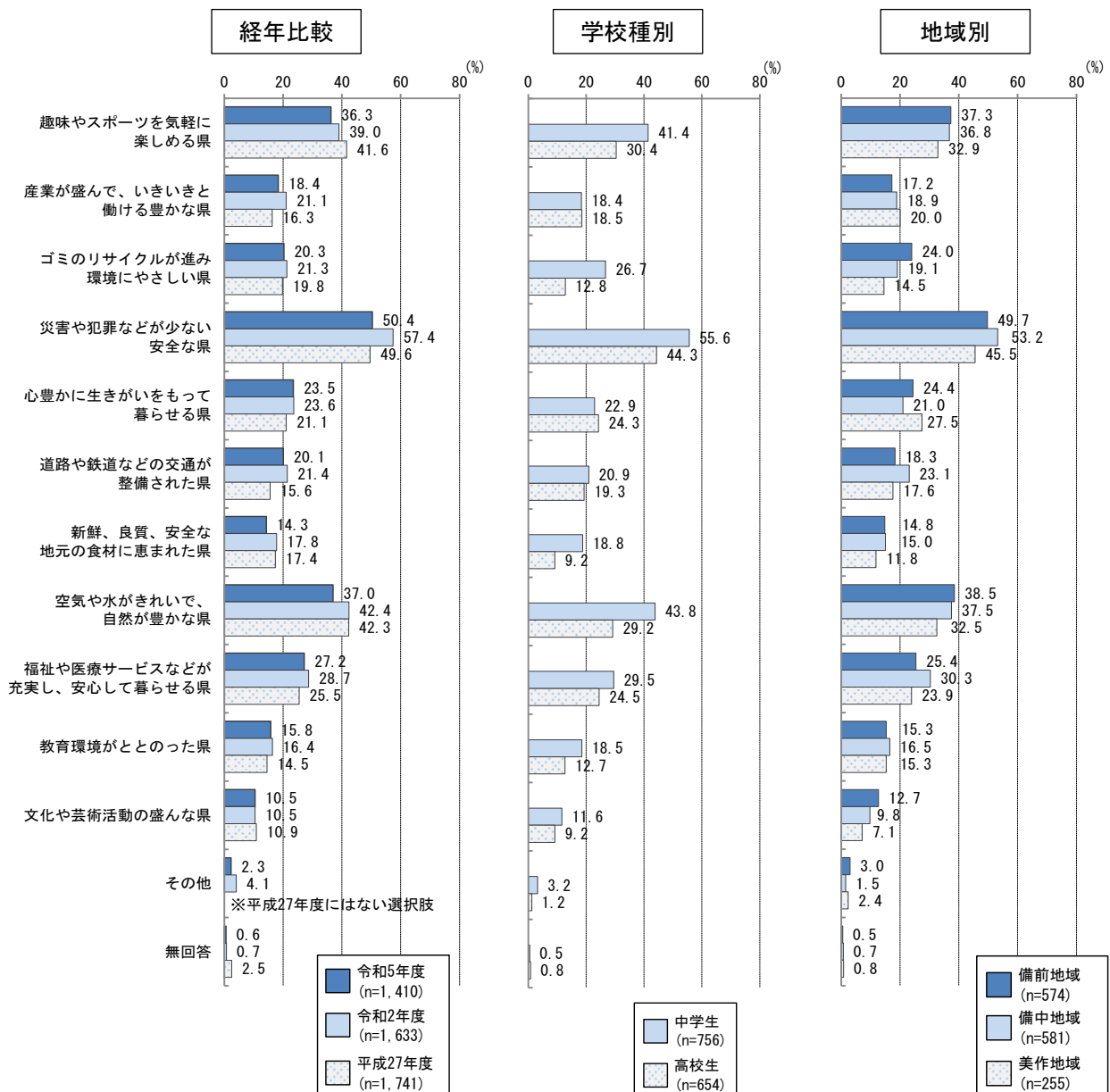
岡山県が将来どのような県になってほしいかについて、「災害や犯罪などが少ない安全な県」との回答が50.4%と最も高く、次いで「空気や水がきれいで、自然が豊かな県」(37.0%)、「趣味やスポーツを気軽に楽しめる県」(36.3%)などの順となっている。

経年比較すると、「災害や犯罪などが少ない安全な県」との回答は今回調査が前回調査を7.0ポイント、「空気や水がきれいで、自然が豊かな県」との回答は5.4ポイント下回っている。

学校種別にみると、「ゴミのリサイクルが進み環境にやさしい県」、「災害や犯罪などが少ない安全な県」、「空気や水がきれいで、自然が豊かな県」との回答は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「空気や水がきれいで、自然が豊かな県」との回答は美作地域で約3割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 岡山県が将来どのような県になってほしいか（経年比較・学校種別・地域別）】



14 関心のあることについて

問20 あなたが関心のあることはどのようなことですか。《○はいくつでも》

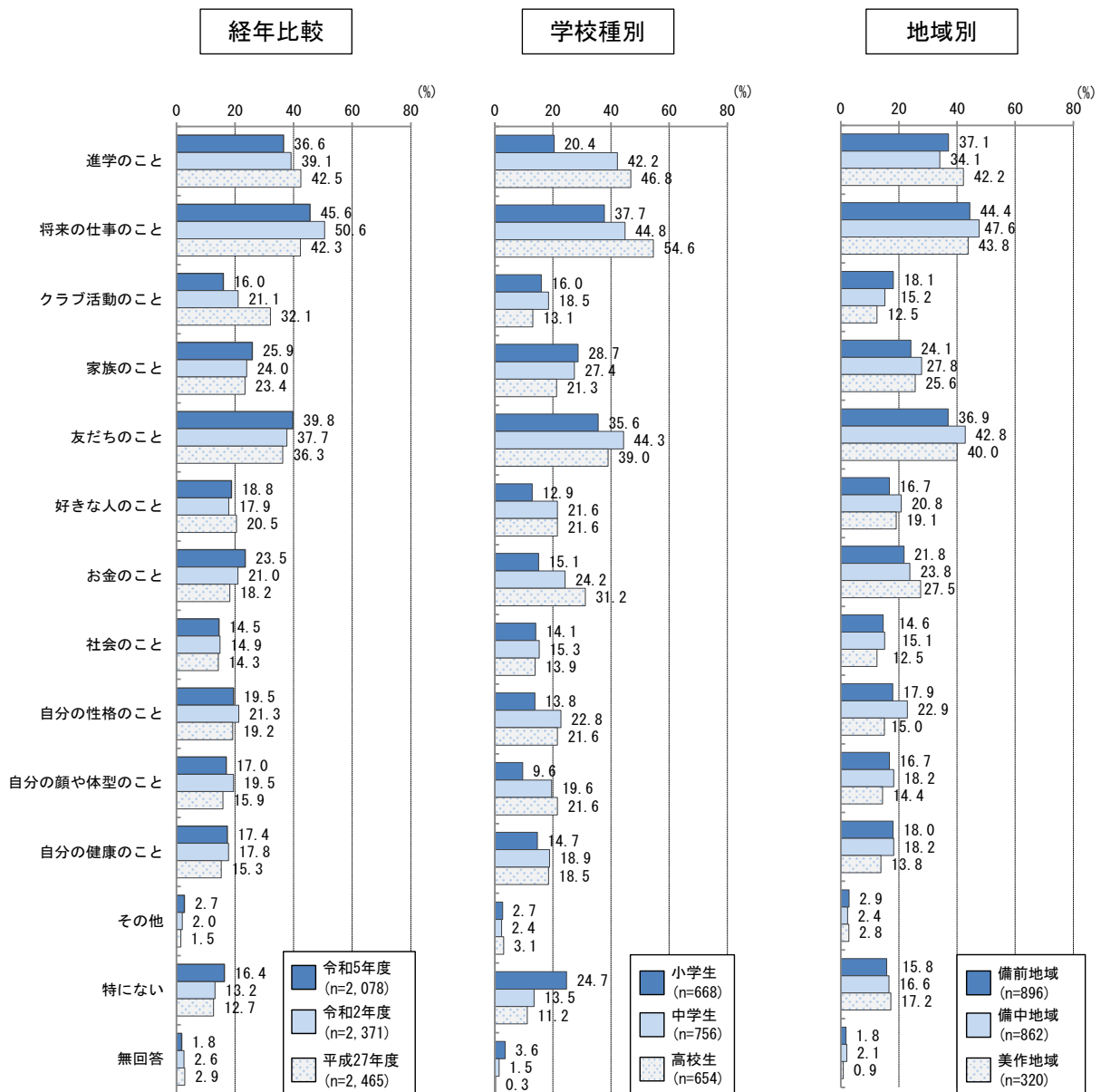
関心のあることについて、「将来の仕事のこと」との回答が45.6%と最も高く、次いで「友だちのこと」(39.8%)、「進学のこと」(36.6%)などの順となっている。

経年比較すると、「進学のこと」、「クラブ活動のこと」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「進学のこと」、「将来の仕事のこと」、「お金のこと」との回答は高校生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「進学のこと」との回答は美作地域で4割超と高く、「友だちのこと」、「自分の性格のこと」との回答は備中地域で高くなっている。

【図表 関心のあること（経年比較・学校種別・地域別）】



15 働くことについて

問 2 1 あなたは、将来したい仕事やつきたい職業がありますか。《○は1つ》

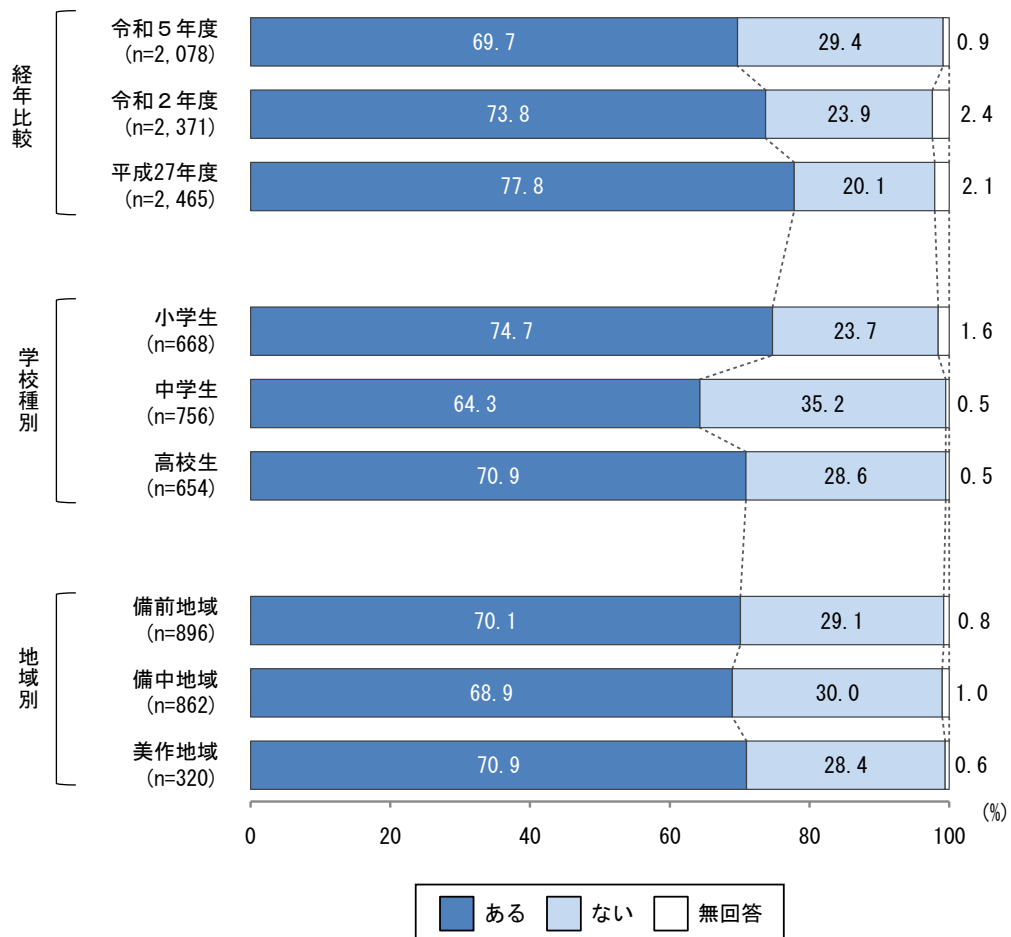
将来したい仕事やつきたい職業について、「ある」との回答が 69.7%、「ない」との回答が 29.4% となっている。

経年比較すると、「ある」との回答は今回調査が前回調査を 4.1 ポイント下回っており、平成 27 年度調査から令和 5 年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「ある」との回答は中学生が 6 割台半ばと低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 将来したい仕事やつきたい職業の有無（経年比較・学校種別・地域別）】



問22 あなたは、「働く」ということをどう思いますか。《○は1つ》

※小学生にはない設問

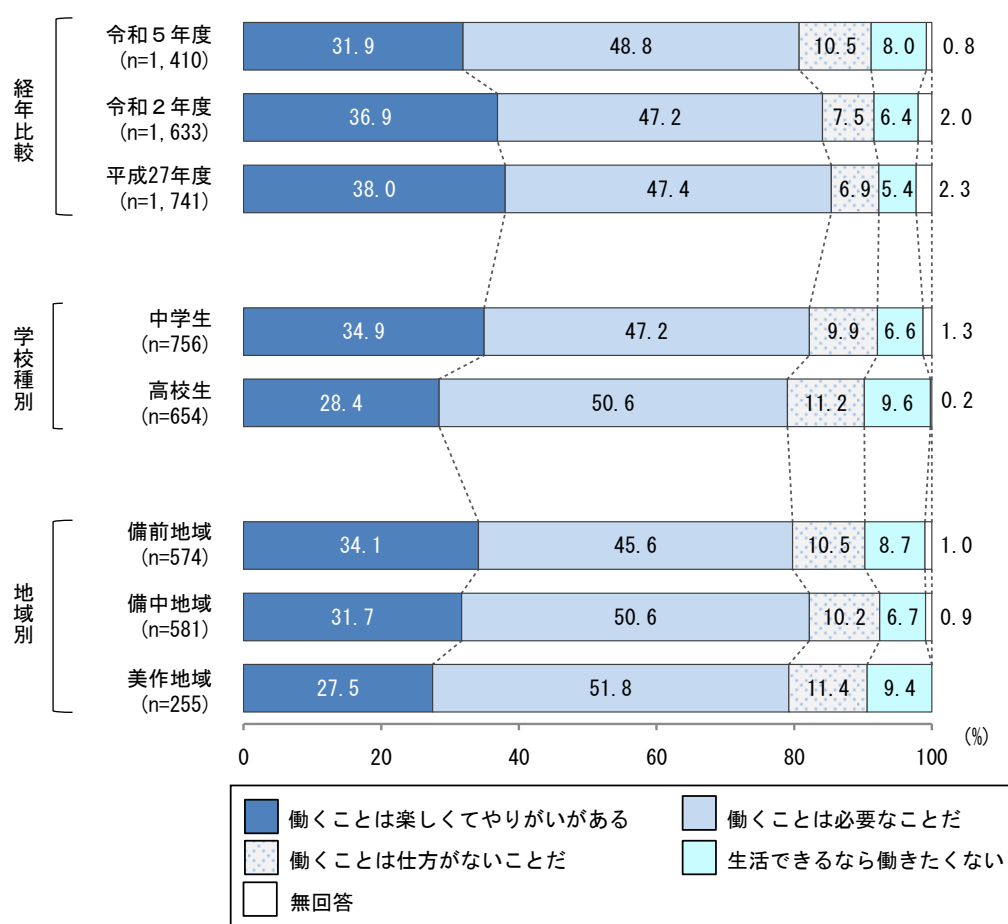
働くことへの考えについて、「働くことは必要なことだ」との回答が48.8%と最も高く、次いで「働くことは楽しくてやりがいがある」(31.9%)、「働くことは仕方がないことだ」(10.5%)、「生活できるなら働きたくない」(8.0%)の順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「働くことは楽しくてやりがいがある」との回答は中学生で3割台半ば、「働くことは必要なことだ」との回答は高校生で約5割と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

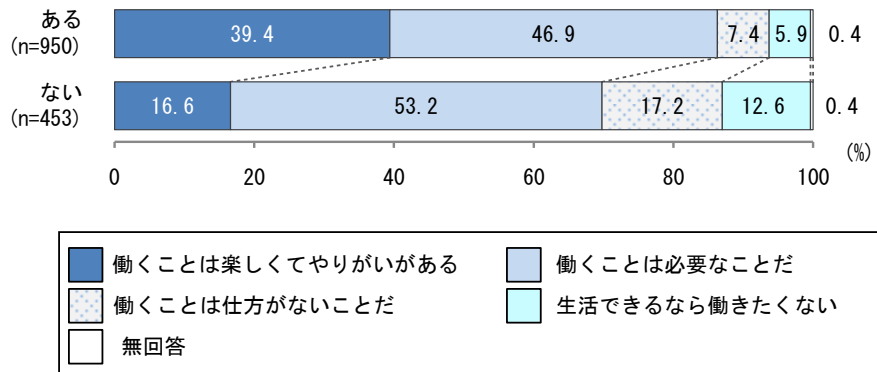
【図表 働くことへの考え（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 22 将来なりたい職業の有無との関係>

働くことへの考えについて、将来なりたい職業の有無別にみると、「働くことは楽しくてやりがいがある」との回答は、将来なりたい職業がある中・高校生（39.4%）が、将来なりたい職業がない中・高校生（16.6%）を 22.8 ポイント上回っている。一方「働くことは仕方がないことだ」との回答は、将来なりたい職業がない中・高校生（17.2%）が、将来なりたい職業がある中・高校生（7.4%）を 9.8 ポイント上回っている。

【図表 働くことへの考え（将来なりたい職業の有無別）】



問23 あなたが職業を選ぶとき、特に大事だと思うことはどんなことですか。《○は2つまで》

※小学生にはない設問

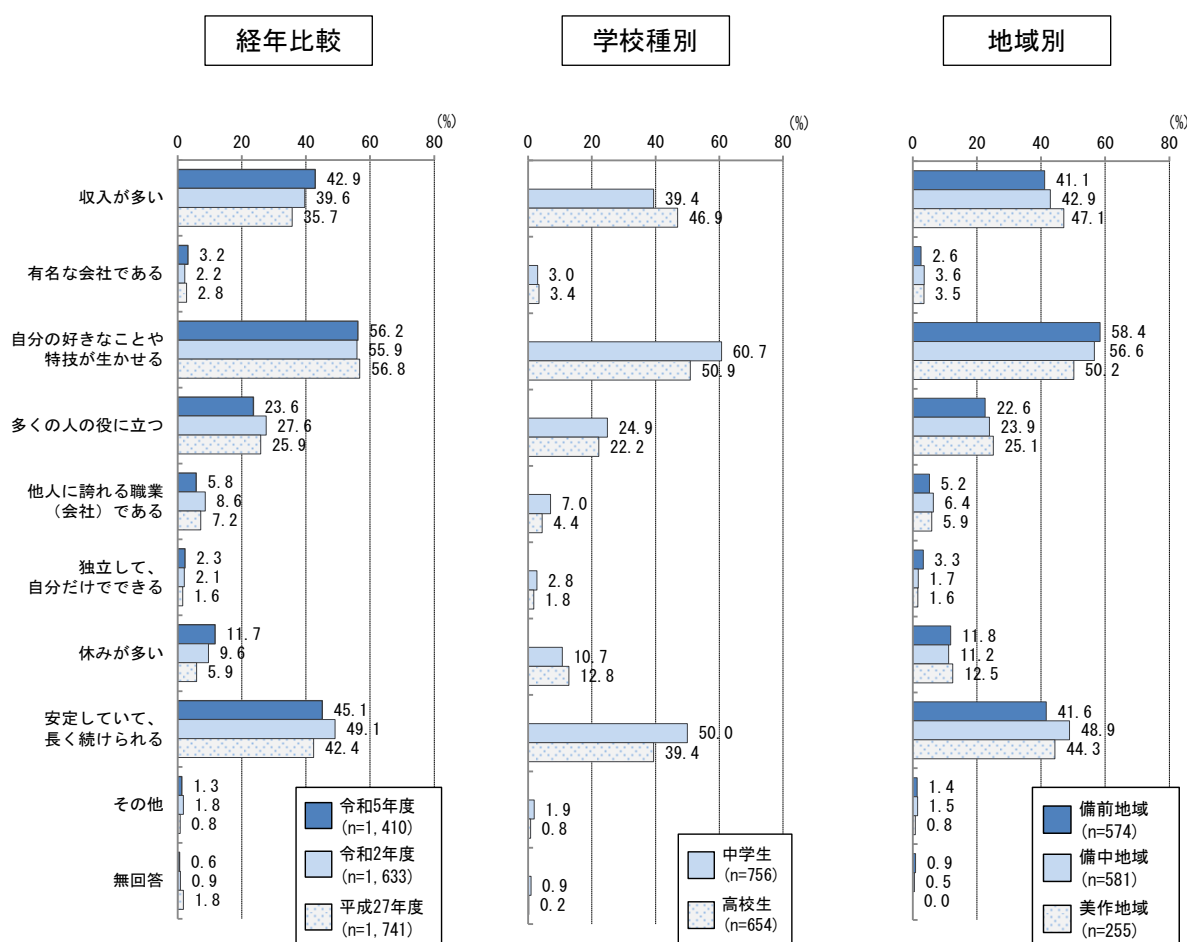
職業を選ぶときに重視することについて、「自分の好きなことや特技が生かせる」との回答が56.2%と最も高く、次いで「安定していて、長く続けられる」(45.1%)、「収入が多い」(42.9%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「自分の好きなことや特技が生かせる」「安定していて、長く続けられる」との回答は中学生が高校生を上回っている。一方、「収入が多い」との回答は高校生が中学生を上回っている。

地域別にみると、「自分の好きなことや特技が生かせる」との回答は美作地域で約5割と低くなっている。

【図表 職業を選ぶときに重視すること（経年比較・学校種別・地域別）】



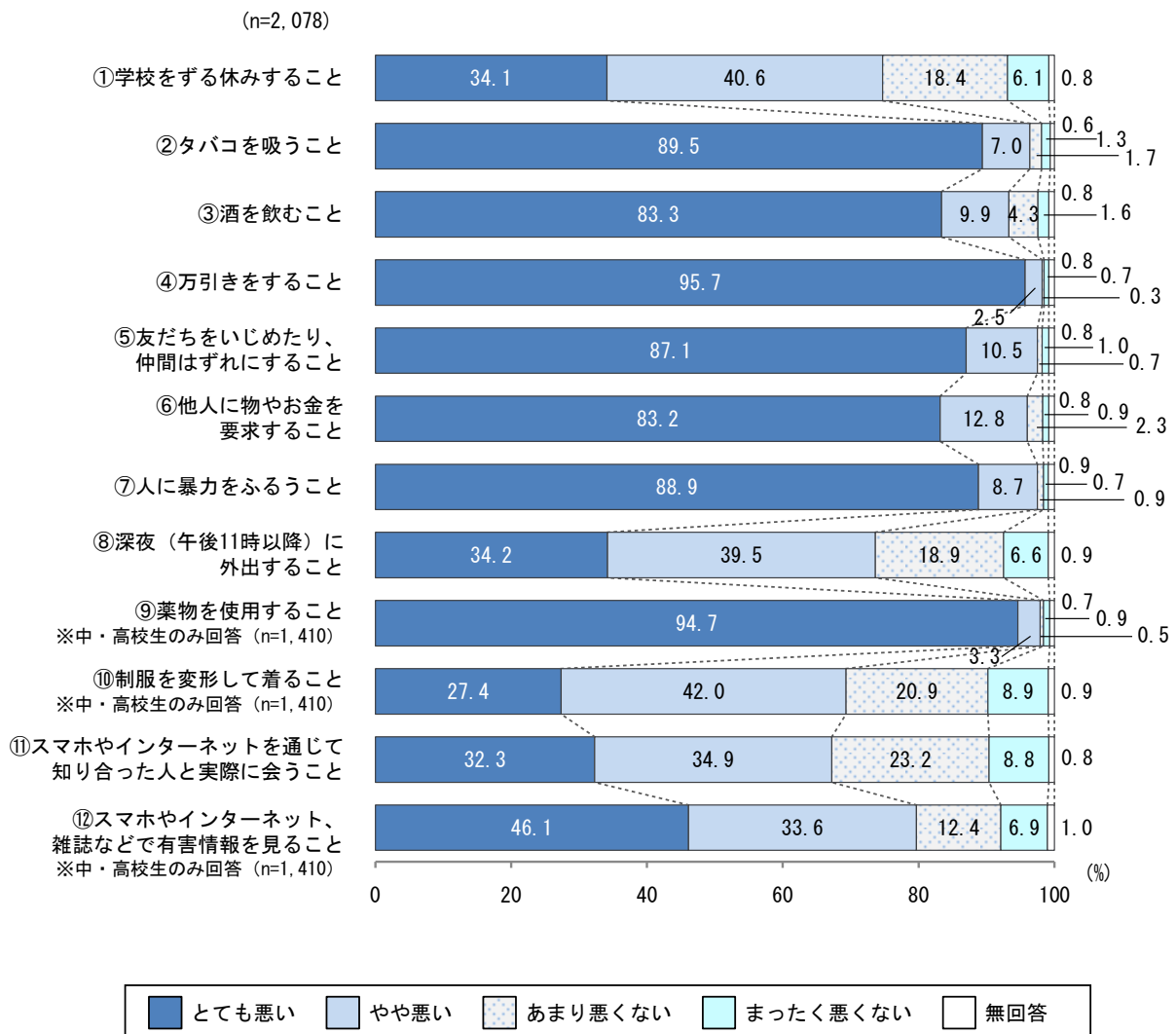
16 不良行為等について

問 2 4 あなたは、次にあげたことを中学生や高校生が行うことについて、どう思いますか。

※小学生用調査票では「小学生」《〇は①～⑫それぞれ1つずつ》

不良行為等について、「とても悪い」との回答は「万引きをすること」、「薬物を使用すること」で9割台半ばと高く、「制服を变形して着ること」で約3割、「スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと」で3割超と低くなっている。

【図表 不良行為等について】



① 学校をずる休みすること

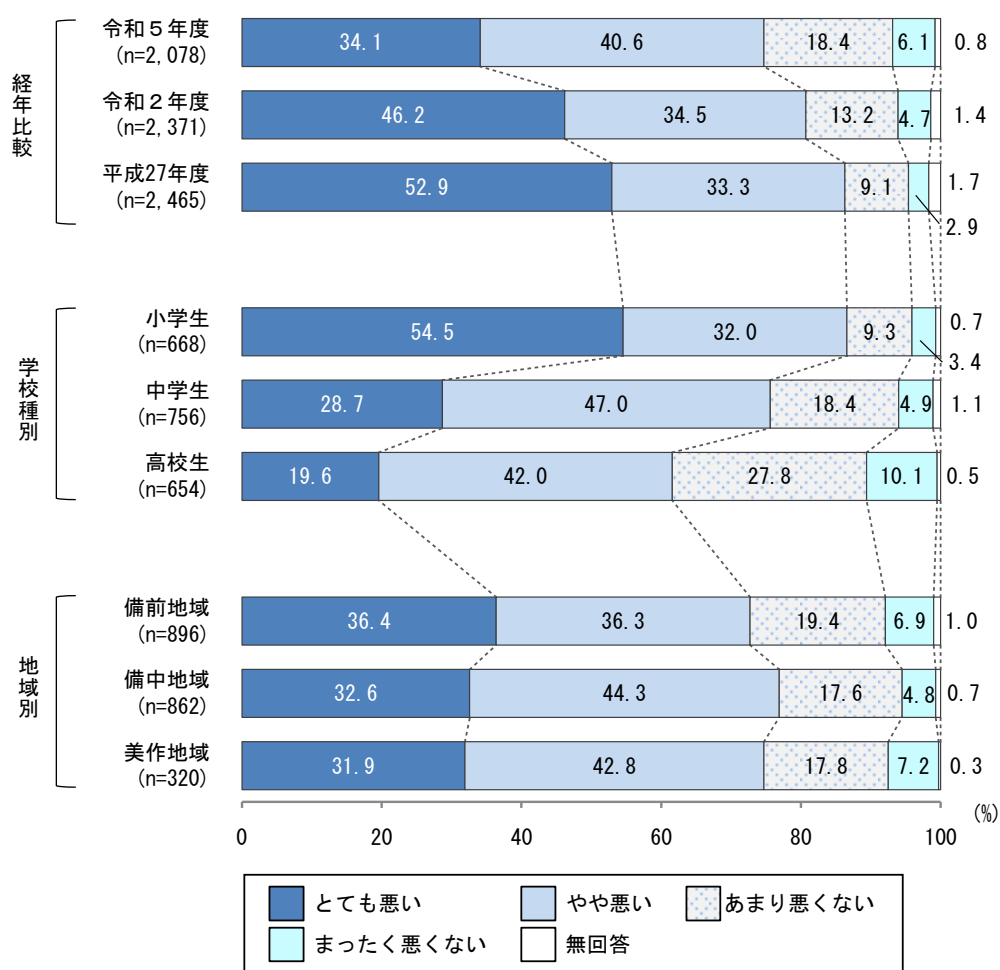
学校をずる休みすることについて、「やや悪い」との回答が40.6%と最も高く、次いで「とても悪い」(34.1%)、「あまり悪くない」(18.4%)、「まったく悪くない」(6.1%)の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を12.1ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で5割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「やや悪い」との回答は備前地域で3割台半ばと低くなっている。

【図表 学校をずる休みすること（経年比較・学校種別・地域別）】



② タバコを吸うこと

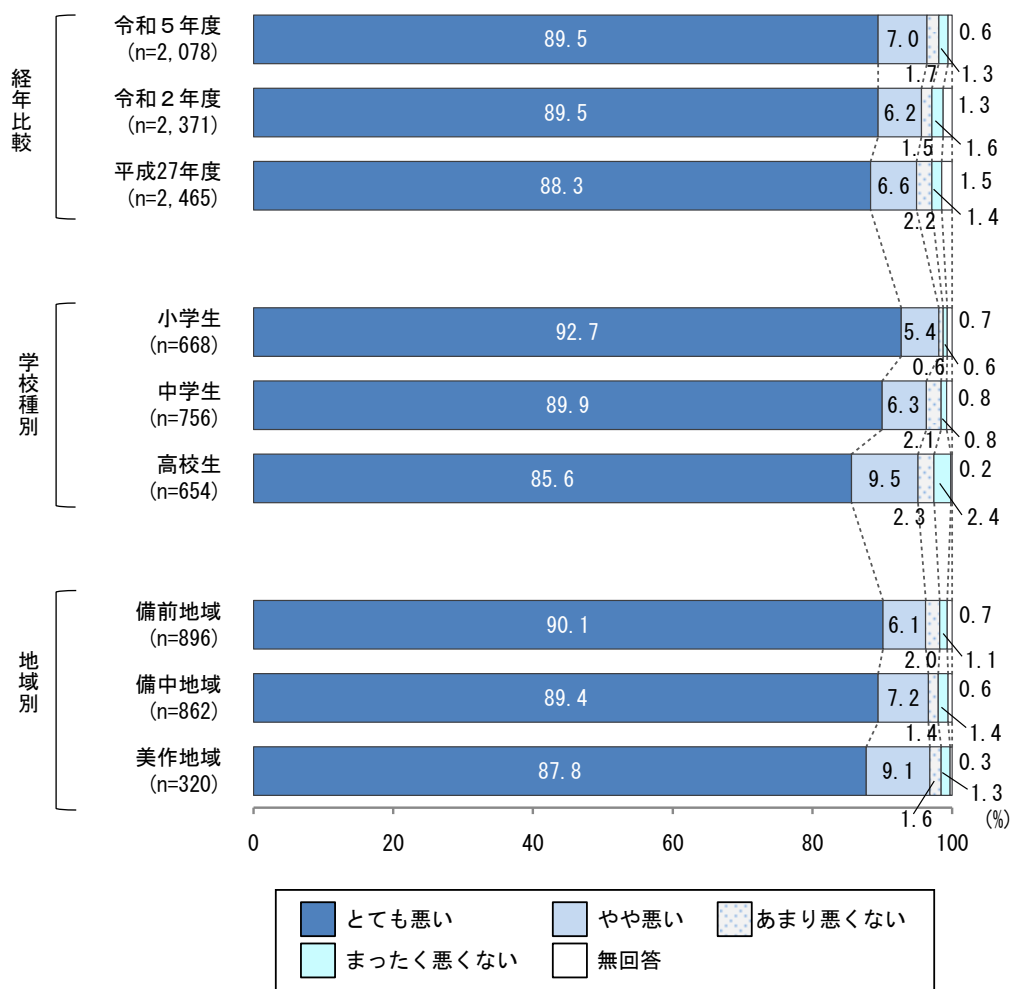
タバコを吸うことについて、「とても悪い」との回答が89.5%と最も高くなっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で9割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 タバコを吸うこと（経年比較・学校種別・地域別）】



③ 酒を飲むこと

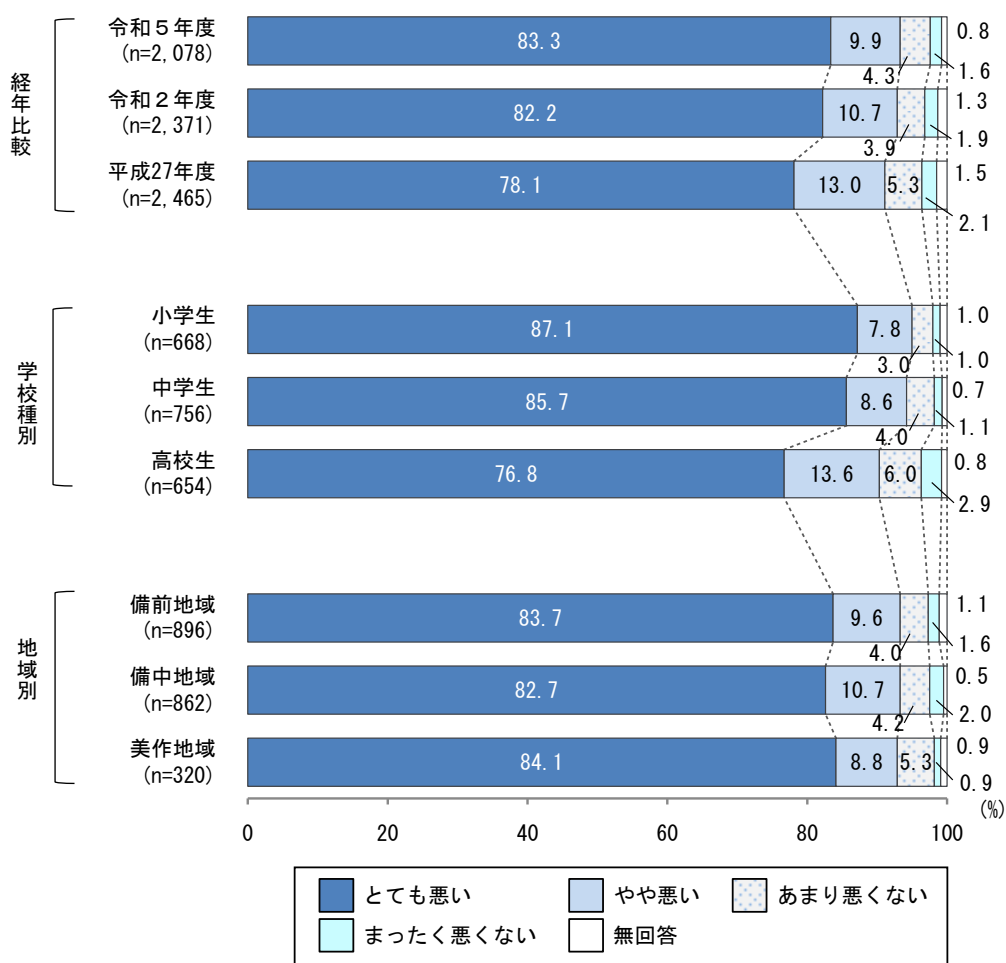
酒を飲むことについて、「とても悪い」との回答が83.3%と最も高くなっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

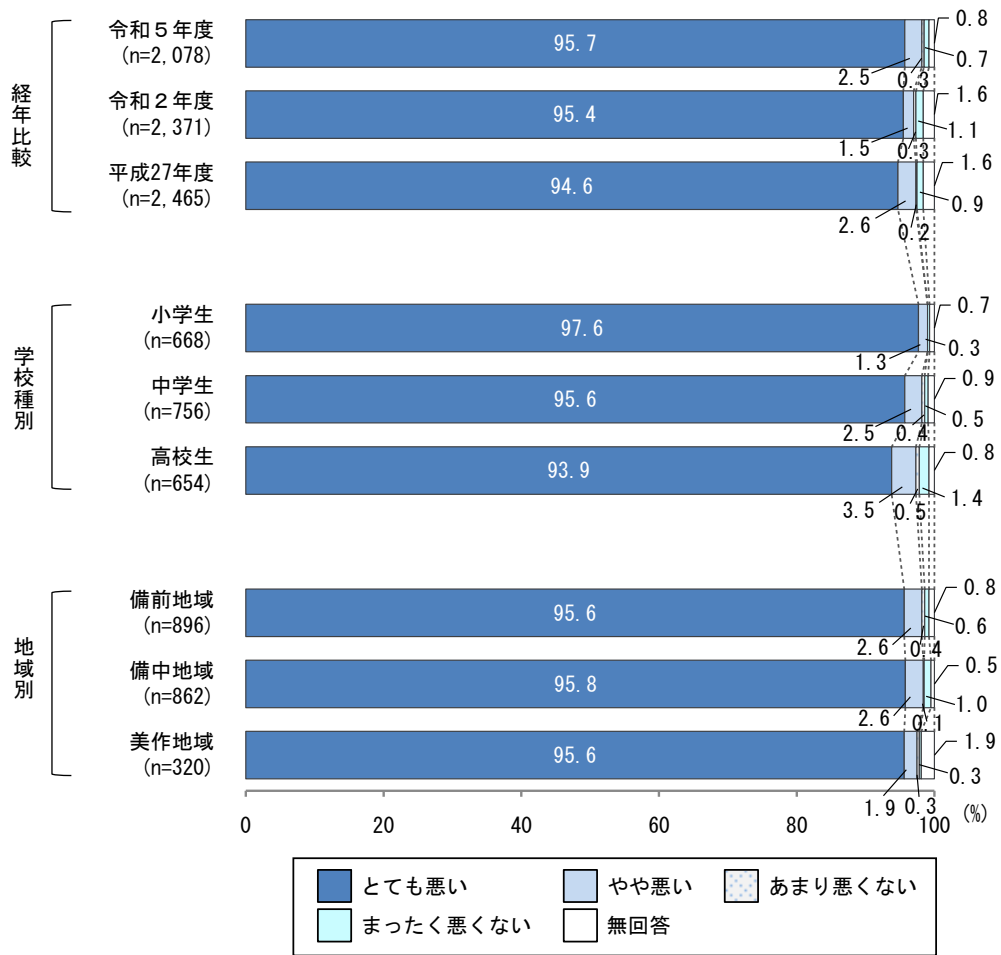
【図表 酒を飲むこと（経年比較・学校種別・地域別）】



④ 万引きをすること

万引きをすることについて、「とても悪い」との回答が95.7%と最も高くなっている。経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 万引きをすること（経年比較・学校種別・地域別）】

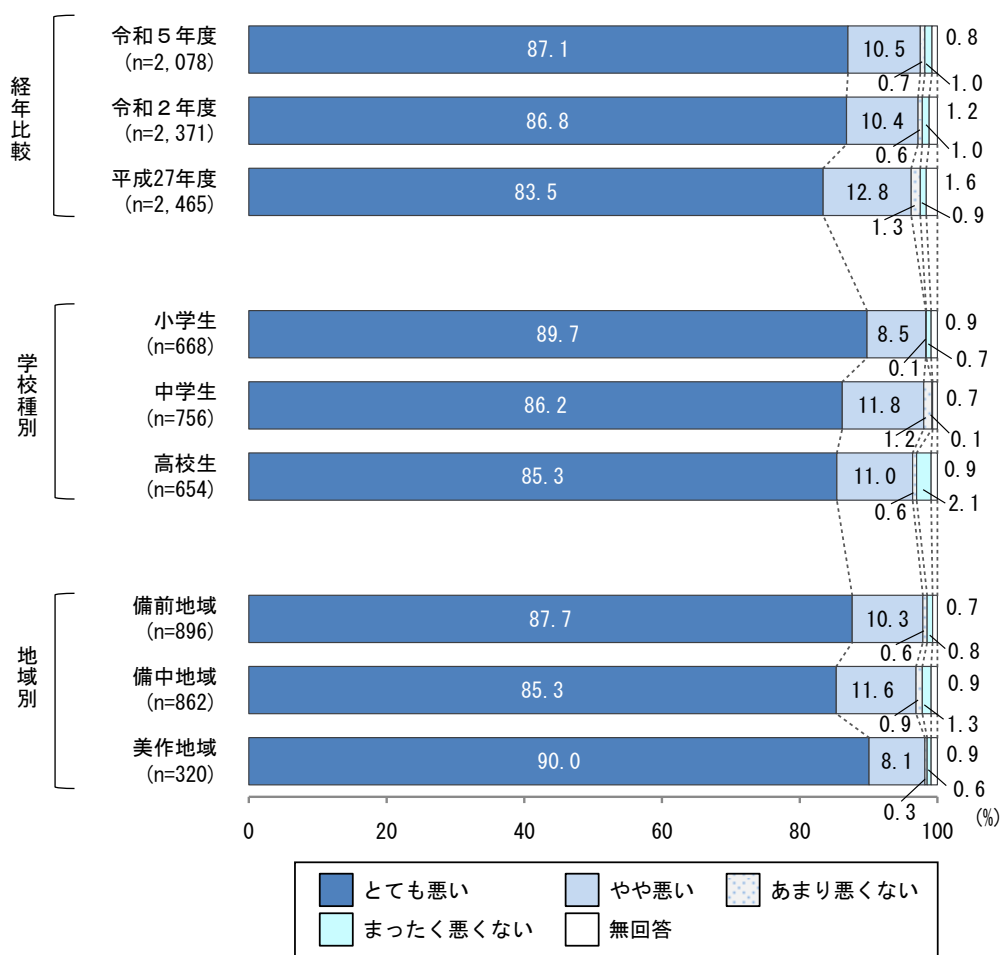


⑤ 友だちをいじめたり、仲間はずれにすること

友だちをいじめたり、仲間はずれにすることについて、「とても悪い」との回答が87.1%、「やや悪い」との回答が10.5%と高くなっている。

経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 友だちをいじめたり、仲間はずれにすること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑥ 他人に物やお金を要求すること

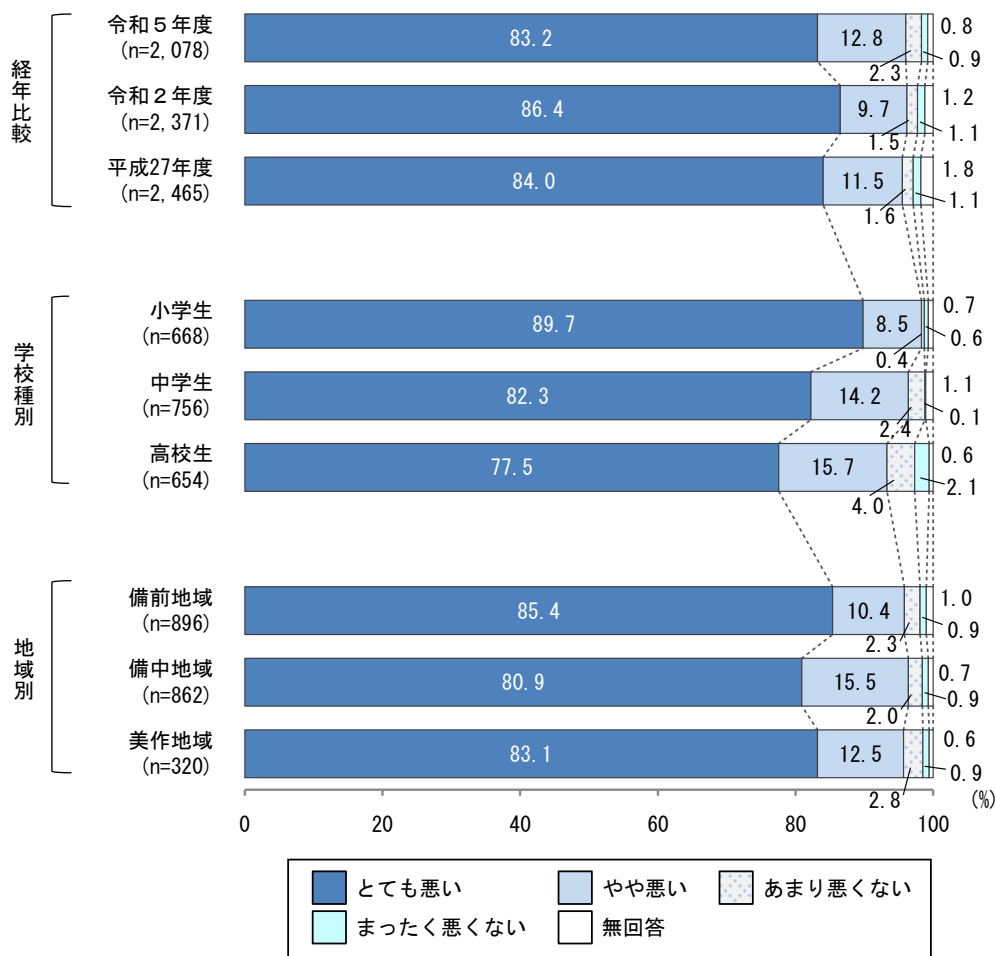
他人に物やお金を要求することについて、「とても悪い」との回答が83.2%、「やや悪い」との回答が12.8%と高くなっている。

経年比較すると、大きな変化は見られない。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で約9割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

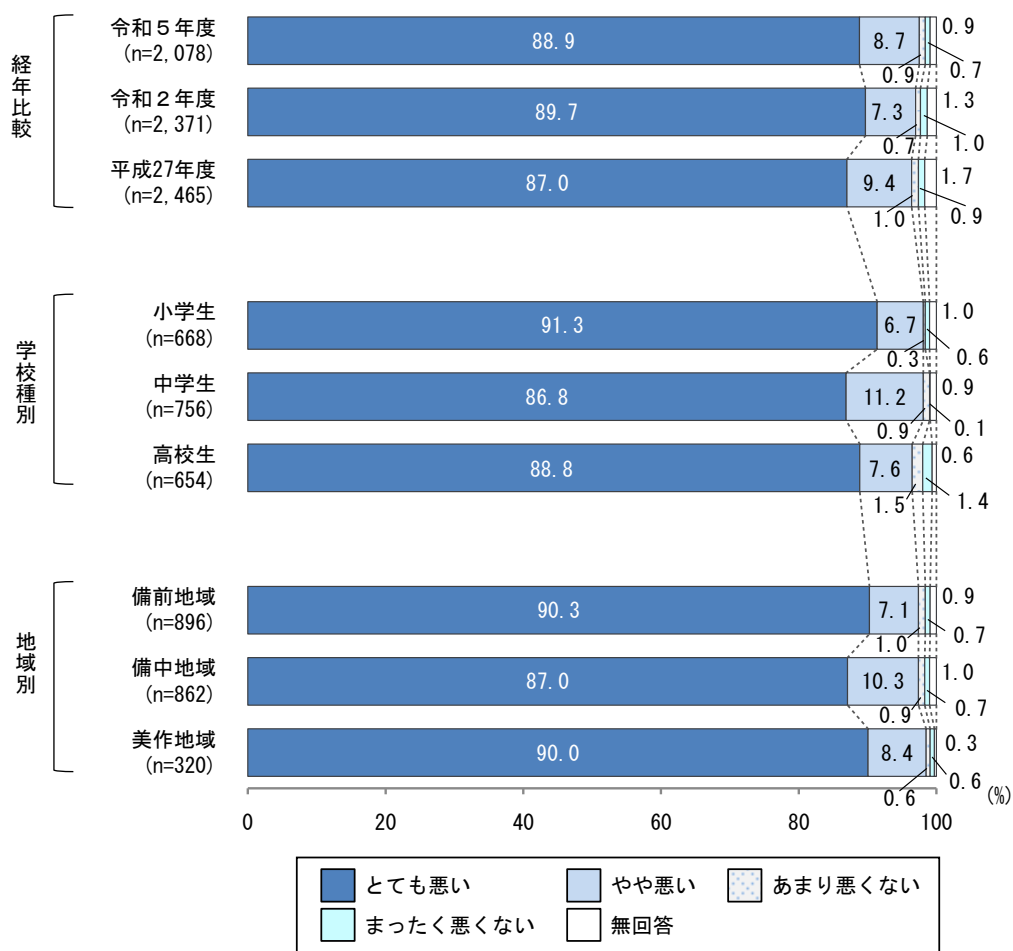
【図表 他人に物やお金を要求すること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑦ 人に暴力をふるうこと

人に暴力をふるうことについて、「とても悪い」との回答が88.9%と最も高くなっている。経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 人に暴力をふるうこと（経年比較・学校種別・地域別）】



⑧ 深夜（午後 11 時以降）に外出すること

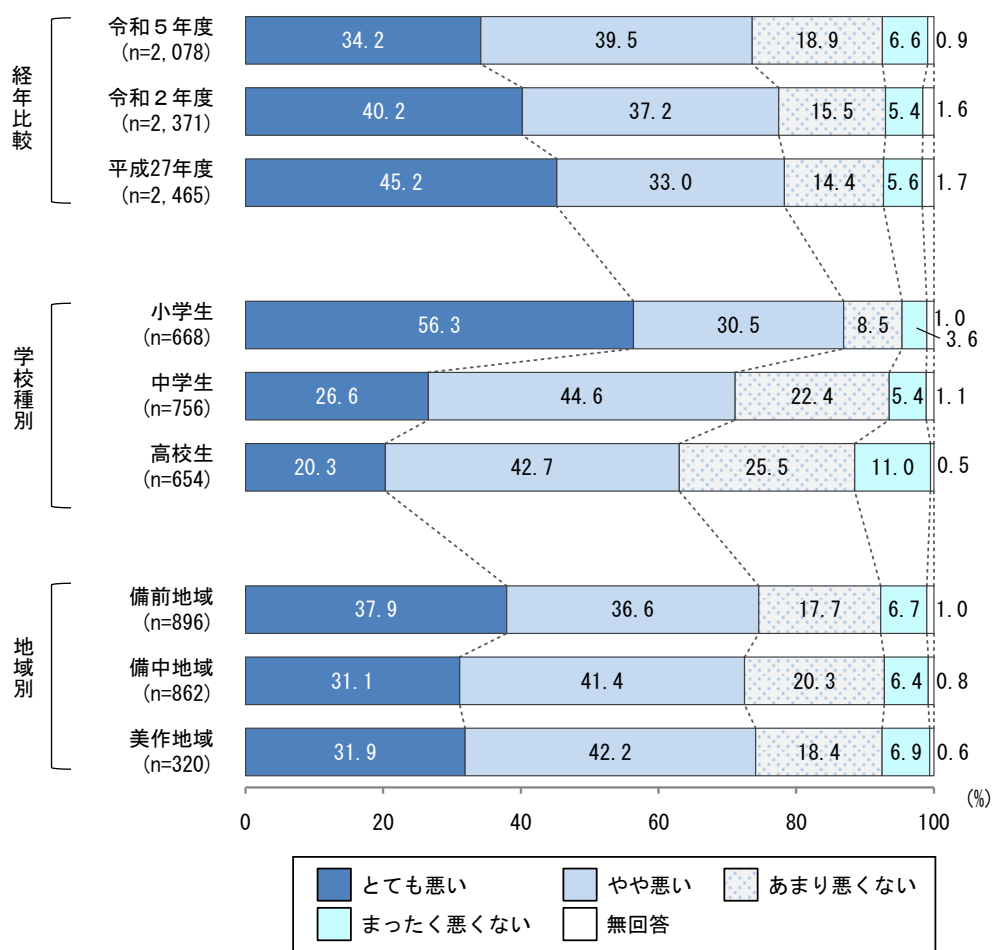
深夜（午後 11 時以降）に外出することについて、「やや悪い」との回答が 39.5%と最も高く、次いで「とても悪い」（34.2%）、「あまり悪くない」（18.9%）、「まったく悪くない」（6.6%）の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を 6.0 ポイント下回っており、平成 27 年度調査から令和 5 年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で 5 割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「とても悪い」との回答は備前地域で 3 割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

【図表 深夜（午後 11 時以降）に外出すること（経年比較・学校種別・地域別）】



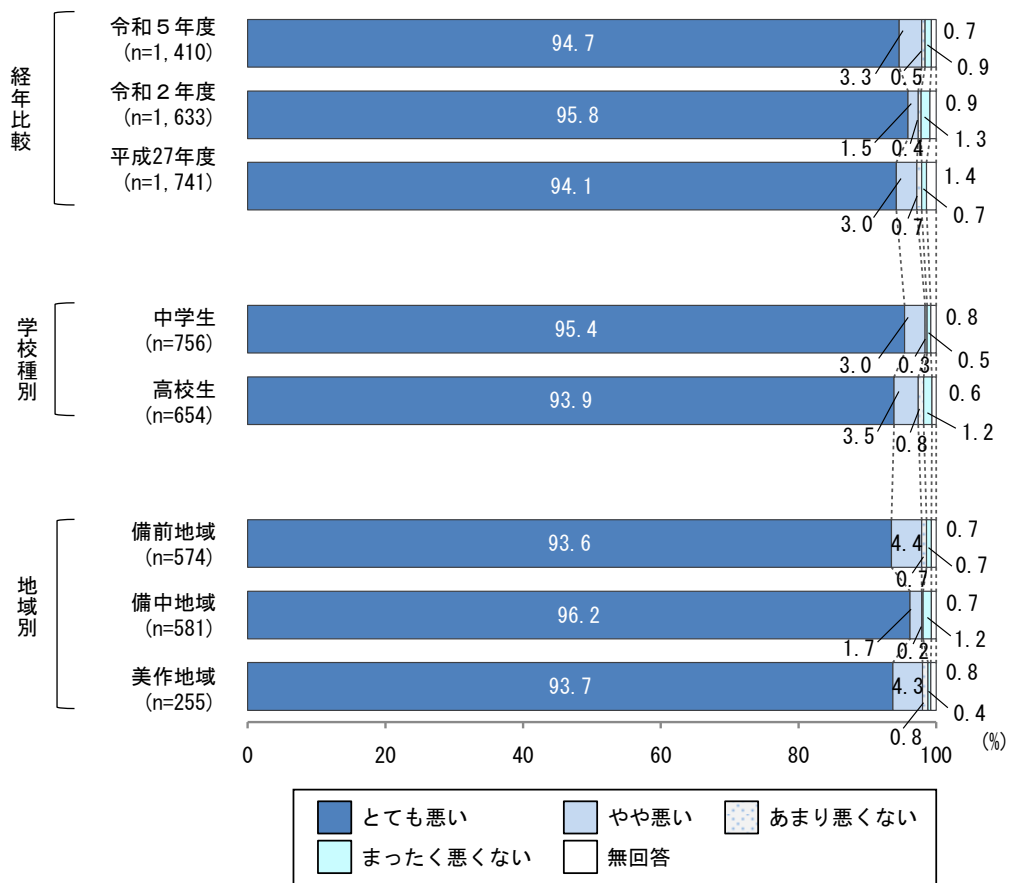
⑨ 薬物（シンナー、危険ドラッグ等）を使用すること

※小学生にはない設問

薬物（シンナー、危険ドラッグ等）を使用することについて、「とても悪い」との回答が94.7%と最も高くなっている。

経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 薬物を使用すること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑩ 制服を变形して着ること

※小学生にはない設問

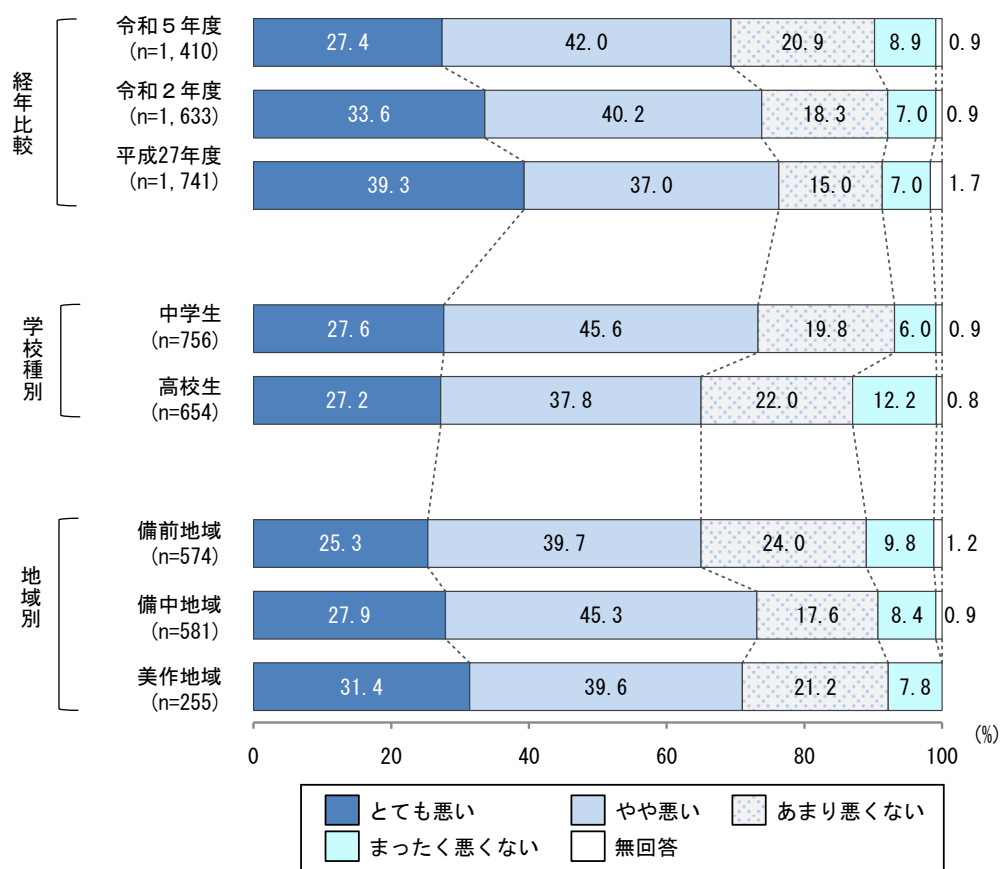
制服を变形して着ることについて、「やや悪い」との回答が42.0%と最も高く、次いで「とても悪い」(27.4%)、「あまり悪くない」(20.9%)、「まったく悪くない」(8.9%)の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を6.2ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「やや悪い」との回答は中学生が高校生を7.8ポイント上回っている。

地域別にみると、「やや悪い」との回答は備中地域で4割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 制服を变形して着ること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑪ スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと

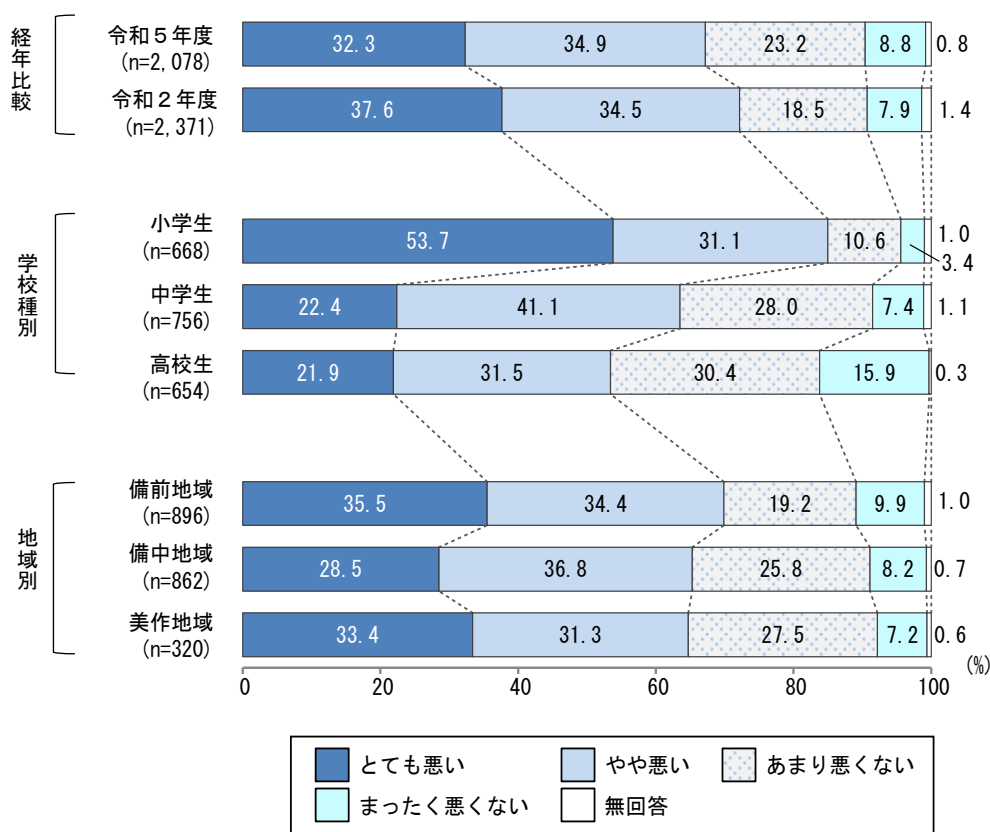
スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うことについて、「やや悪い」との回答が34.9%と最も高く、次いで「とても悪い」(32.3%)、「あまり悪くない」(23.2%)、「まったく悪くない」(8.8%)の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を5.3ポイント下回っている。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で5割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと
(経年比較・学校種別・地域別)】



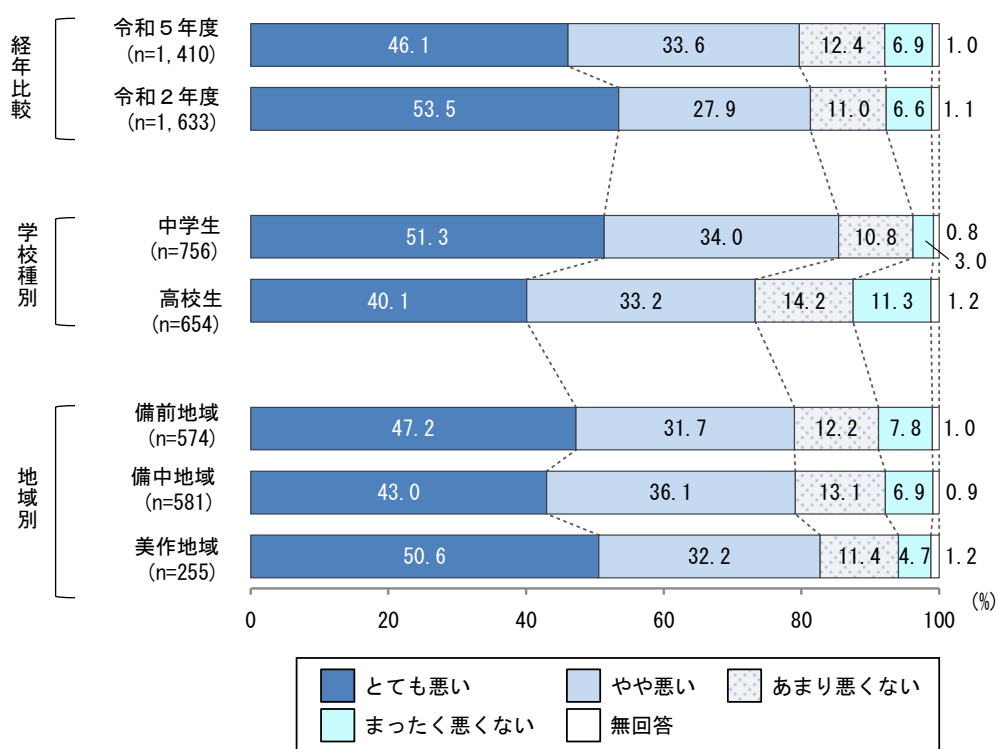
⑫ スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること

※小学生にはない設問

スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ることについて、「とても悪い」との回答が46.1%と最も高く、次いで「やや悪い」(33.6%)、「あまり悪くない」(12.4%)、「まったく悪くない」(6.9%)の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を7.4ポイント下回っている。学校種別にみると、「とても悪い」との回答は中学生が高校生を11.2ポイント上回っている。地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること
(経年比較・学校種別・地域別)】



<問 24 児童生徒と保護者の比較>

(注) 下表は「児童生徒編問 24」と「保護者編問 27」の回答結果を各項目別にまとめたものである。

『差』とは、「児童生徒」の回答結果から「保護者」の回答結果を差し引いたものを指す。

不良行為等について、児童生徒に比べ保護者の方が「とても悪い」として 10.0 ポイント以上差がある項目は、「他人に物やお金を要求すること」、「深夜（午後 11 時以降）に外出すること」、「スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと」、「スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること」となっている。一方、保護者に比べ児童生徒の方が「とても悪い」とした項目では、「学校をずる休みすること」が 9.8 ポイント上回っている。

(単位：%)

(不良行為等)	とても悪い			やや悪い			あまり悪くない			まったく悪くない		
	児童生徒	保護者	差	児童生徒	保護者	差	児童生徒	保護者	差	児童生徒	保護者	差
①学校をずる休みすること	34.1	24.3	9.8	40.6	53.8	-13.2	18.4	18.3	0.1	6.1	3.3	2.8
②タバコを吸うこと	89.5	87.0	2.5	7.0	11.7	-4.7	1.7	0.7	1.0	1.3	0.4	0.9
③酒を飲むこと	83.3	79.3	4.0	9.9	16.0	-6.1	4.3	3.3	1.0	1.6	1.2	0.4
④万引きをすること	95.7	98.3	-2.6	2.5	1.2	1.3	0.3	0.1	0.2	0.7	0.3	0.4
⑤友だちをいじめたり、仲間はづれにすること	87.1	93.8	-6.7	10.5	5.8	4.7	0.7	0.0	0.7	1.0	0.3	0.7
⑥他人に物やお金を要求すること	83.2	98.2	-15.0	12.8	1.3	11.5	2.3	0.2	2.1	0.9	0.2	0.7
⑦人に暴力をふるうこと	88.9	93.5	-4.6	8.7	5.8	2.9	0.9	0.1	0.8	0.7	0.3	0.4
⑧深夜(午後11時以降)に外出すること	34.2	71.2	-37.0	39.5	26.0	13.5	18.9	2.0	16.9	6.6	0.5	6.1
⑨薬物(シンナー、危険ドラッグ等)を使用すること	94.7	99.1	-4.4	3.3	0.5	2.8	0.5	0.0	0.5	0.9	0.2	0.7
⑩制服を变形して着ること	27.4	27.5	-0.1	42.0	50.9	-8.9	20.9	18.4	2.5	8.9	2.7	6.2
⑪スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと	32.3	56.2	-23.9	34.9	37.6	-2.7	23.2	5.1	18.1	8.8	0.7	8.1
⑫スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること	46.1	61.5	-15.4	33.6	33.5	0.1	12.4	4.0	8.4	6.9	0.7	6.2

児童生徒 (n=2, 078)、保護者 (n=1, 494)

ただし、⑨⑩⑫は中高生 (n=1, 410)

17 薬物について

問25 シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。《○はいくつでも》

※小学生にはない設問

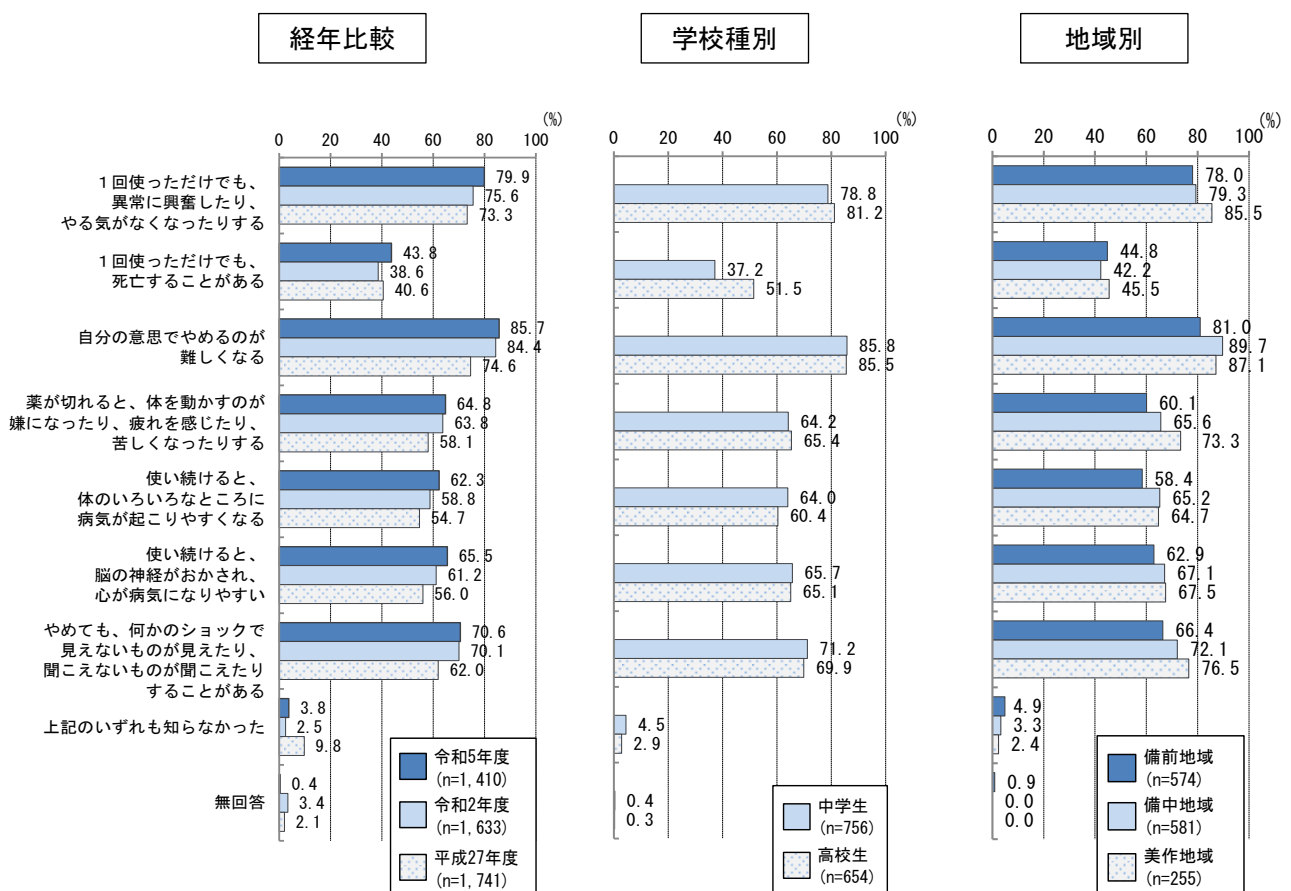
薬物の害について知っていることについて、「自分の意思でやめるのが難しくなる」との回答が85.7%と最も高く、次いで「1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする」(79.9%)、「やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある」(70.6%)などの順となっている。

経年比較すると、「自分の意思でやめるのが難しくなる」、「使い続けると、脳の神経がおかされ、心が病気になりやすい」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「1回使っただけでも、死亡することがある」との回答は高校生が中学生を14.3ポイント上回っている。

地域別にみると、「薬が切れると、体を動かすのが嫌になったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする」との回答は美作地域で7割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 薬物の害について知っていること（経年比較・学校種別・地域別）】



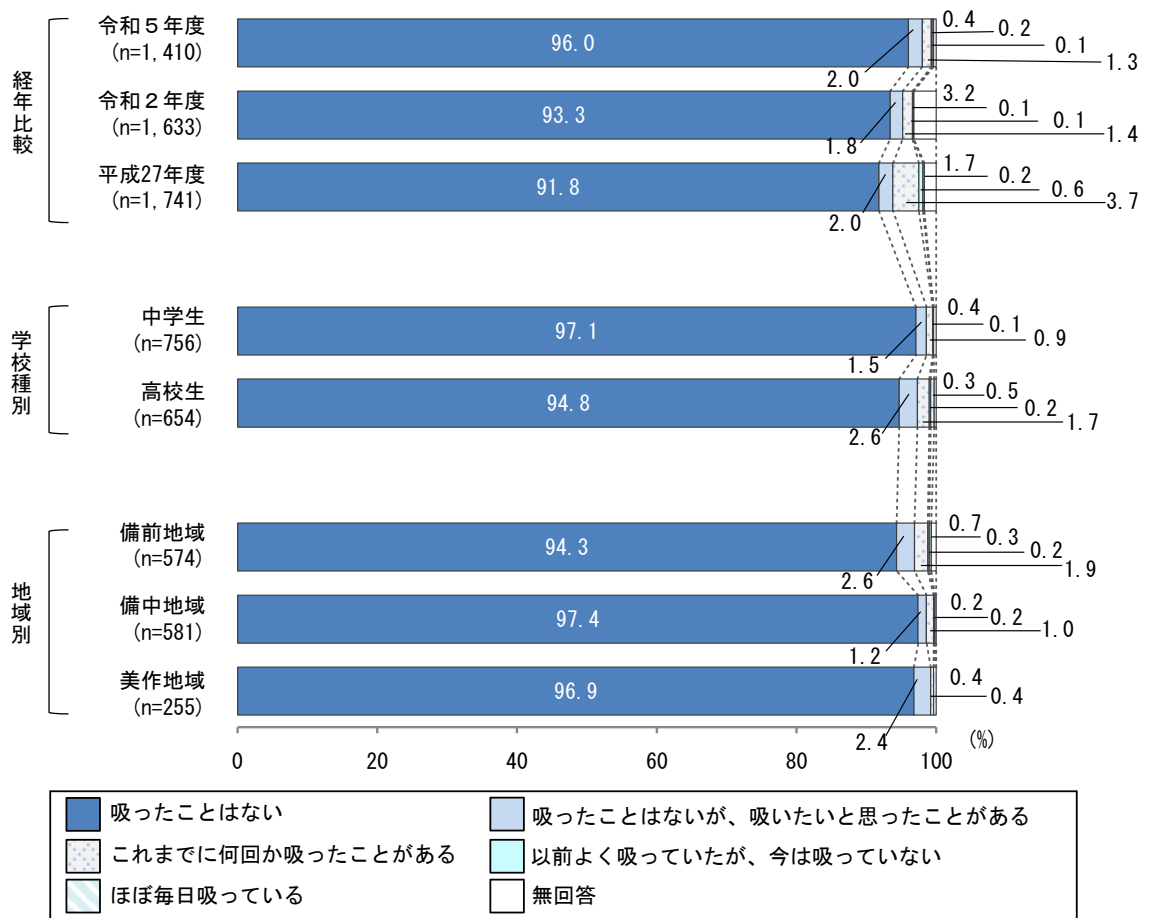
18 喫煙・飲酒について

問26 あなたは、タバコを吸ったことがありますか。《○は1つ》

※小学生にはない設問

喫煙経験について、「吸ったことはない」との回答が96.0%と最も高くなっている。
 経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 喫煙経験（経年比較・学校種別・地域別）】



問 2 7 あなたは、お酒を飲んだことがありますか。《○は1つ》

※小学生にはない設問

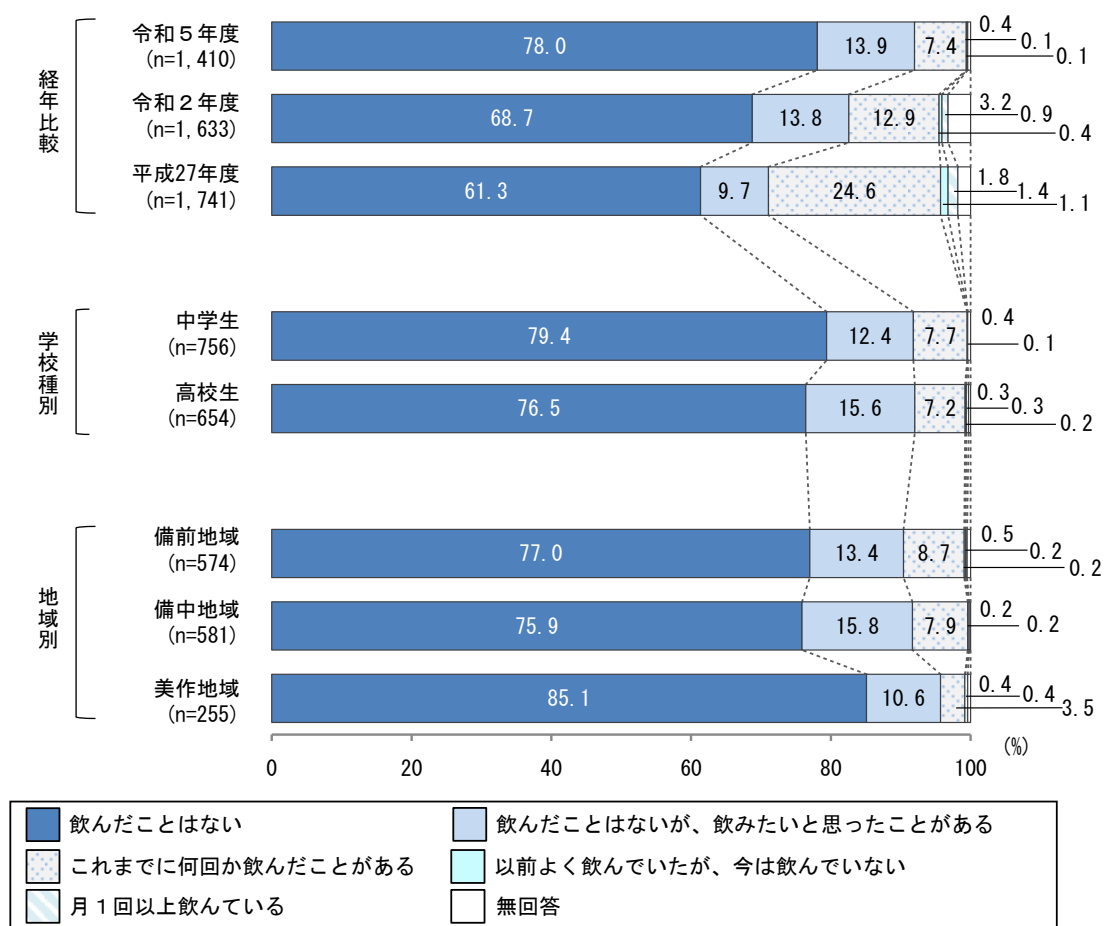
飲酒経験について、「飲んだことはない」との回答が78.0%と最も高く、次いで「飲んだことはないが、飲みたいと思ったことがある」(13.9%)、「これまでに何回か飲んだことがある」(7.4%)などの順となっている。

経年比較すると、「飲んだことはない」との回答は今回調査が前回調査を9.3ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、「飲んだことはない」との回答は美作地域で8割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 飲酒経験（経年比較・学校種別・地域別）】



19 インターネットの使い方について

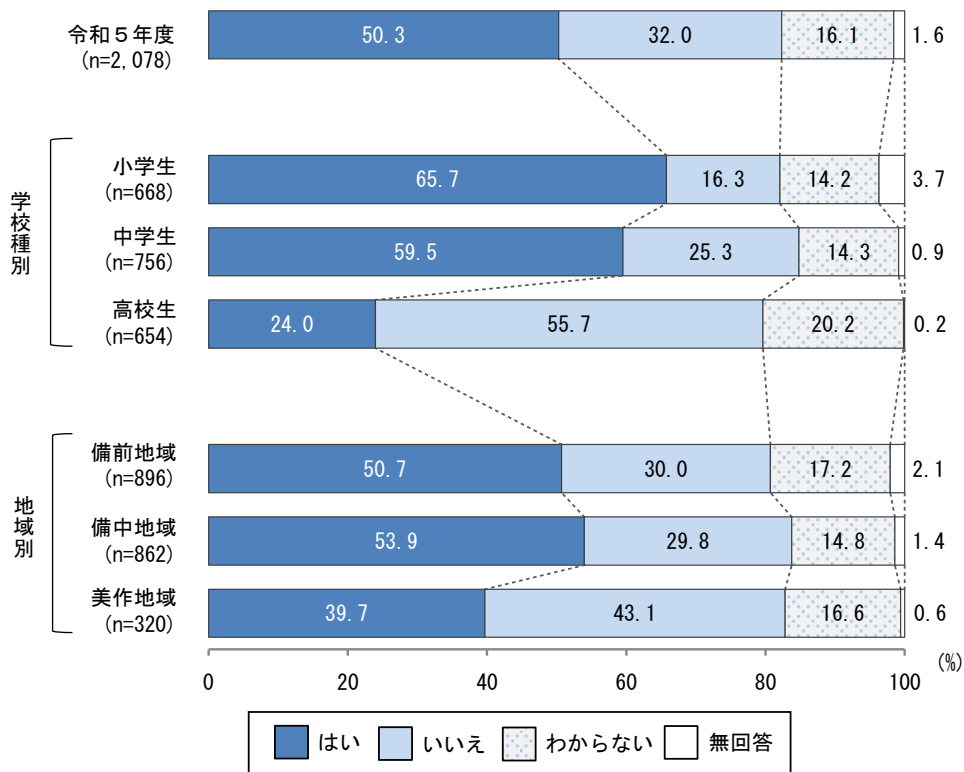
問28 あなたの家では、インターネットの使い方について、何か家庭でルールを決めていますか。《○は1つ》

インターネットの使い方に関する家庭でのルールの有無について、「はい」との回答が50.3%、「いいえ」との回答が32.0%、「わからない」との回答が16.1%となっている。

学校種別にみると、「はい」との回答は小学生で6割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「はい」との回答は美作地域で約4割と他の地域に比べ低くなっている。

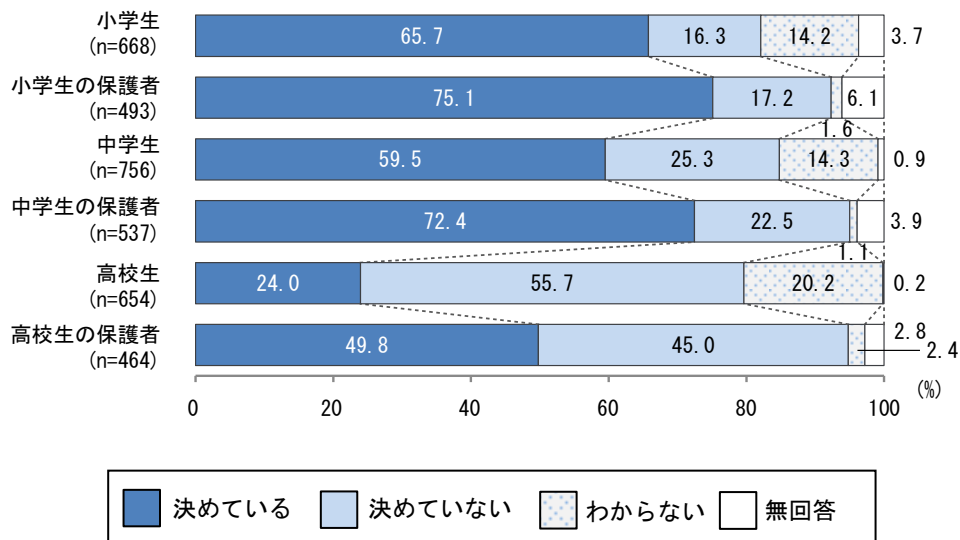
【図表 インターネットの使い方に関する家庭でのルールの有無（全体・学校種別・地域別）】



<問 28 児童生徒と保護者の比較>

インターネットの使い方について、「何か家庭でルールを決めている」と回答した児童生徒、保護者の割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。また、児童生徒と保護者の間で、小学生世帯では9.4ポイント、中学生世帯では12.9ポイント、高校生世帯では25.8ポイントの差があり、どの学校種別も児童生徒が低くなっている。

【図表 インターネットの使い方に関する家庭でのルールの有無（児童生徒・保護者別）】



(問28で「1. はい」に○がついた人だけお答えください。)

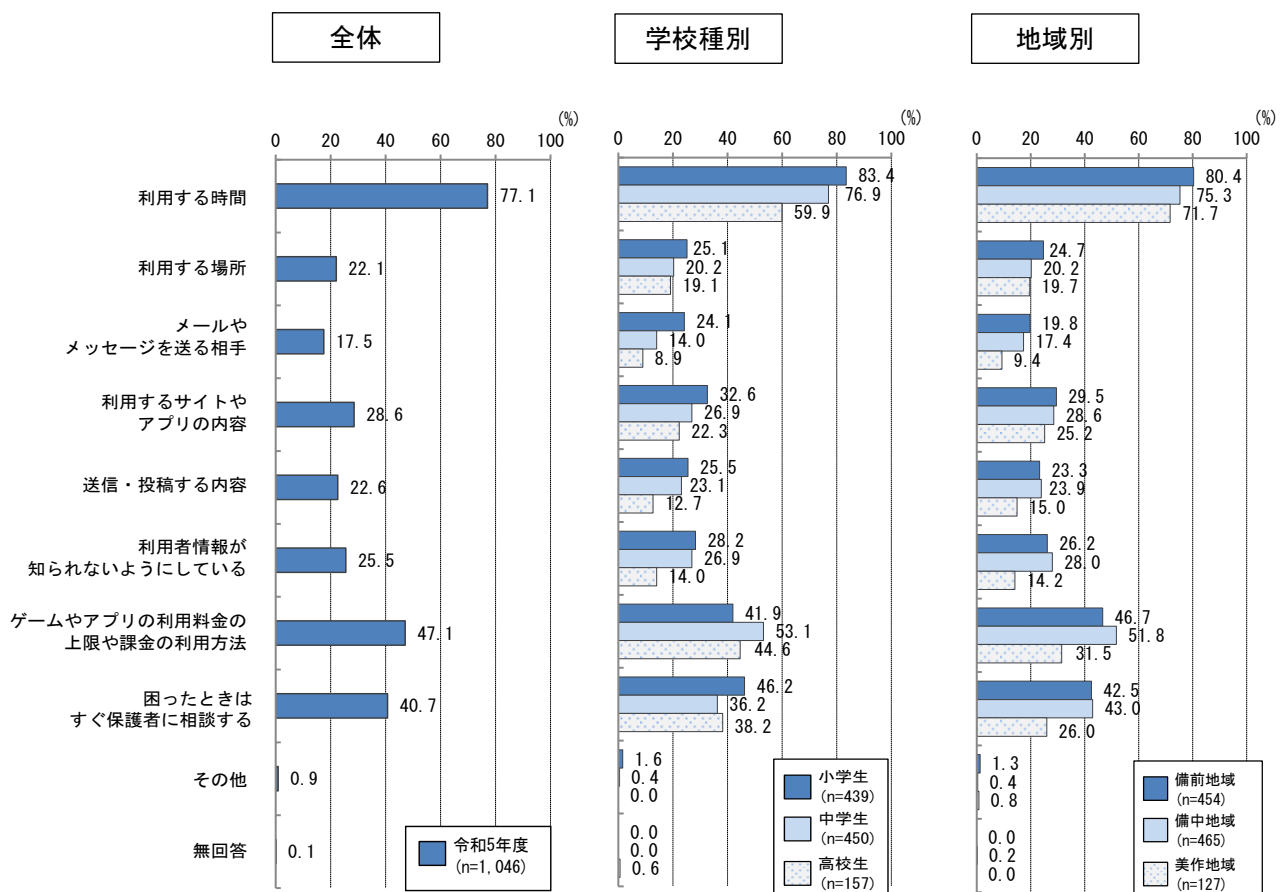
問28-1 この中から、あなたの家庭で決めている「インターネットの使い方のルール」にあてはまるものを、すべて選んでください。《○はいくつでも》

インターネットの使い方決めているルール内容について、「利用する時間」との回答が77.1%と最も高く、次いで「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」(47.1%)、「困ったときはすぐに保護者に相談する」(40.7%)などの順となっている。

学校種別にみると、「利用する時間」、「メールやメッセージを送る相手」「利用者情報が知られないようにしている」との回答は小学生で高いが、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」との回答は美作地域で約3割と他の地域に比べ低くなっている。

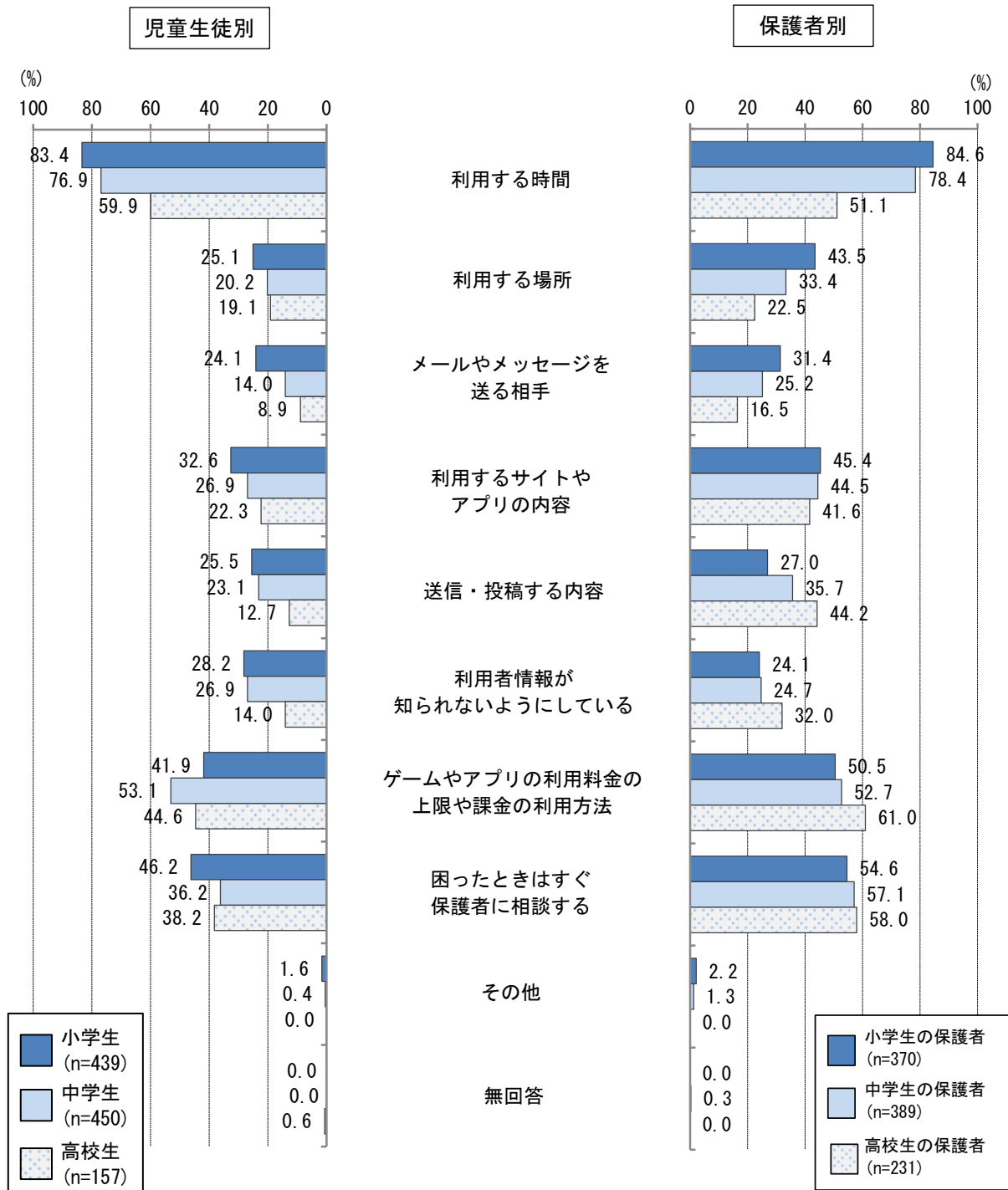
【図表 インターネットの使い方決めているルール内容 (全体・学校種別・地域別)】



<問 28-1 児童生徒と保護者の比較>

児童生徒、保護者ともに「利用する時間」との回答が最も高く、次いで「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」、「困ったときはすぐに保護者に相談する」などが高くなっている。

【図表 インターネットの使い方で決めているルールの内容（児童生徒・保護者別）】



20 危険な目にあうかもしれないと不安になることについて

問29 あなたは、次のような時、危険な目にあうかもしれないと、不安になることがありますか。《○は①～⑤それぞれ1つつ》

① 登下校中に不安になること

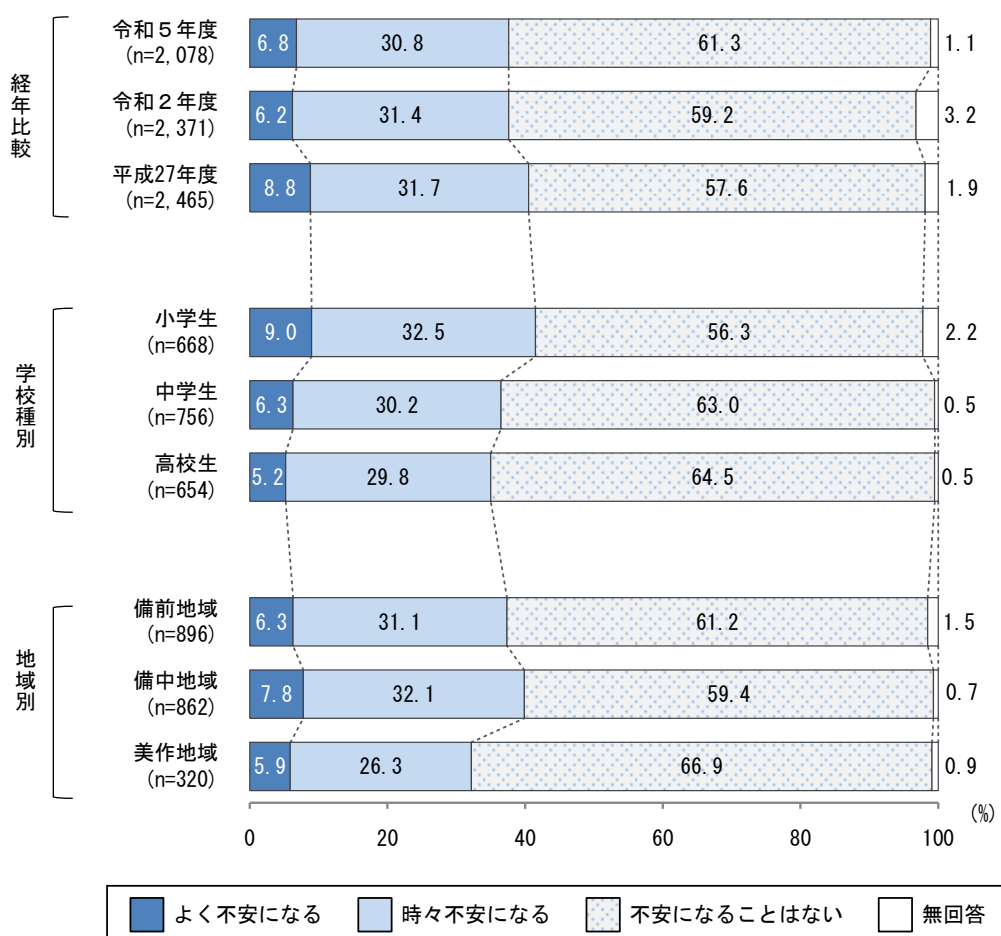
登下校中に危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が6.8%、「時々不安になる」との回答が30.8%、「不安になることはない」との回答が61.3%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「不安になることはない」との回答は高校生で6割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「不安になることはない」との回答は美作地域で6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 登下校中に不安になること（経年比較・学校種別・地域別）】



② 塾や習い事の行き帰りに不安になること

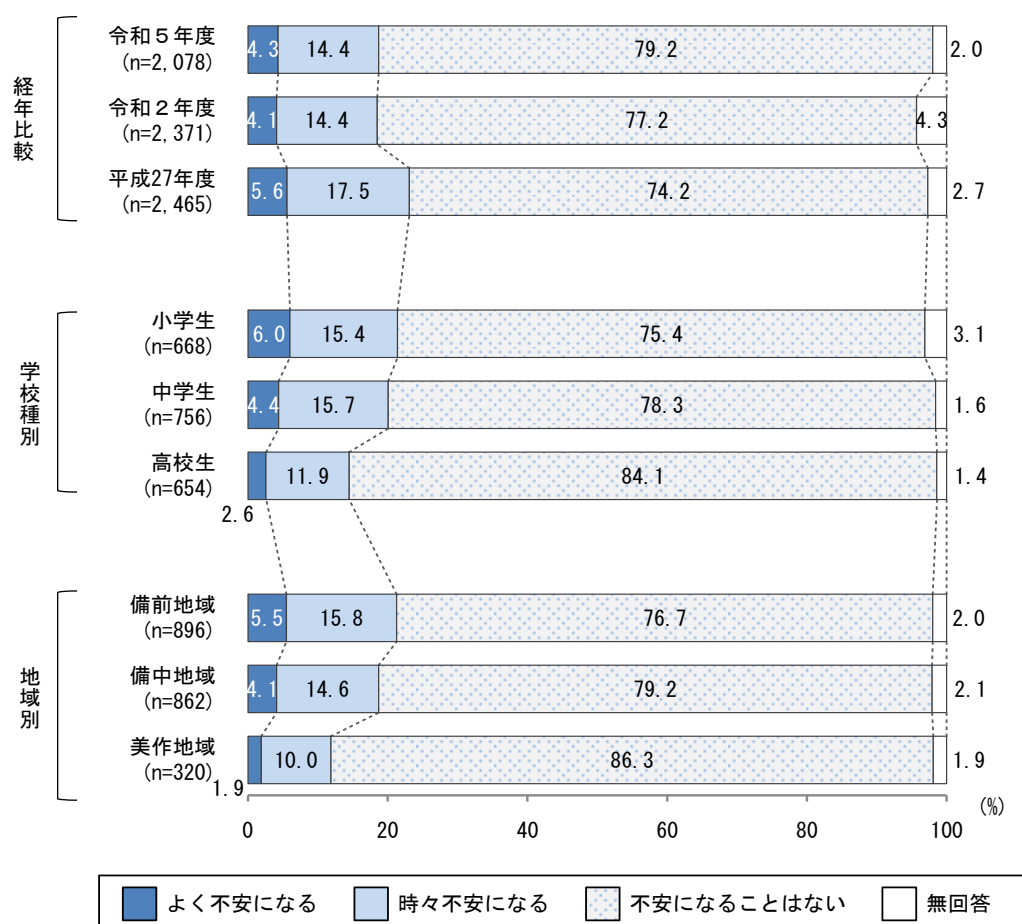
塾や習い事の行き帰りに危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が4.3%、「時々不安になる」との回答が14.4%、「不安になることはない」との回答が79.2%となっている。

経年比較すると、「不安になることはない」との回答は今回調査が前回調査を2ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「不安になることはない」との回答は高校生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「不安になることはない」との回答は美作地域で8割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 塾や習い事の行き帰りに不安になること（経年比較・学校種別・地域別）】



③ 近所の公園などで遊んでいるときに不安になること

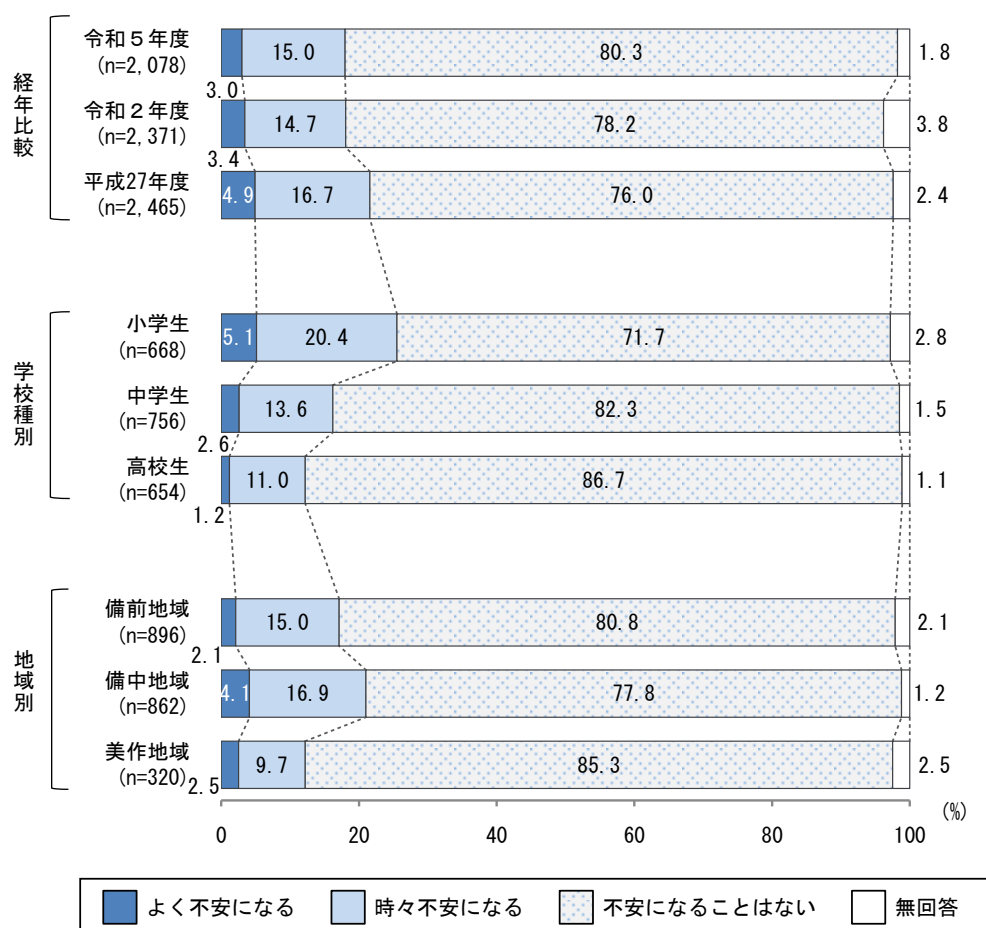
近所の公園などで遊んでいるときに危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が3.0%、「時々不安になる」との回答が15.0%、「不安になることはない」との回答が80.3%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「不安になることはない」との回答は高校生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「時々不安になる」との回答は美作地域で1割未満と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 近所の公園などで遊んでいるときに不安になること（経年比較・学校種別・地域別）】



④ 買い物や遊びで、繁華街などに行くときに不安になること

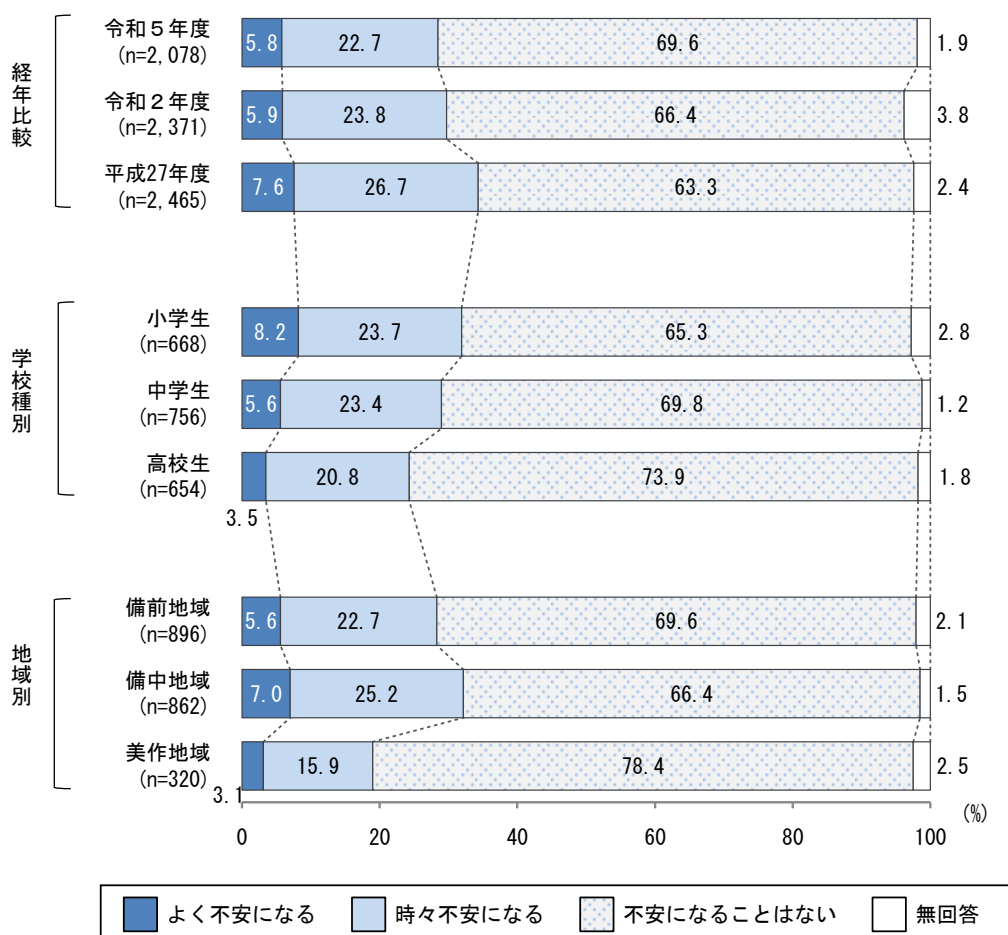
買い物や遊びで、繁華街などに行くときに危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が5.8%、「時々不安になる」との回答が22.7%、「不安になることはない」との回答が69.6%となっている。

経年比較すると、「不安になることはない」との回答は今回調査が前回調査を3.2ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「不安になることはない」との回答は高校生で7割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「不安になることはない」との回答は美作地域で約8割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 買い物や遊びで、繁華街などに行くときに不安になること
(経年比較・学校種別・地域別)】



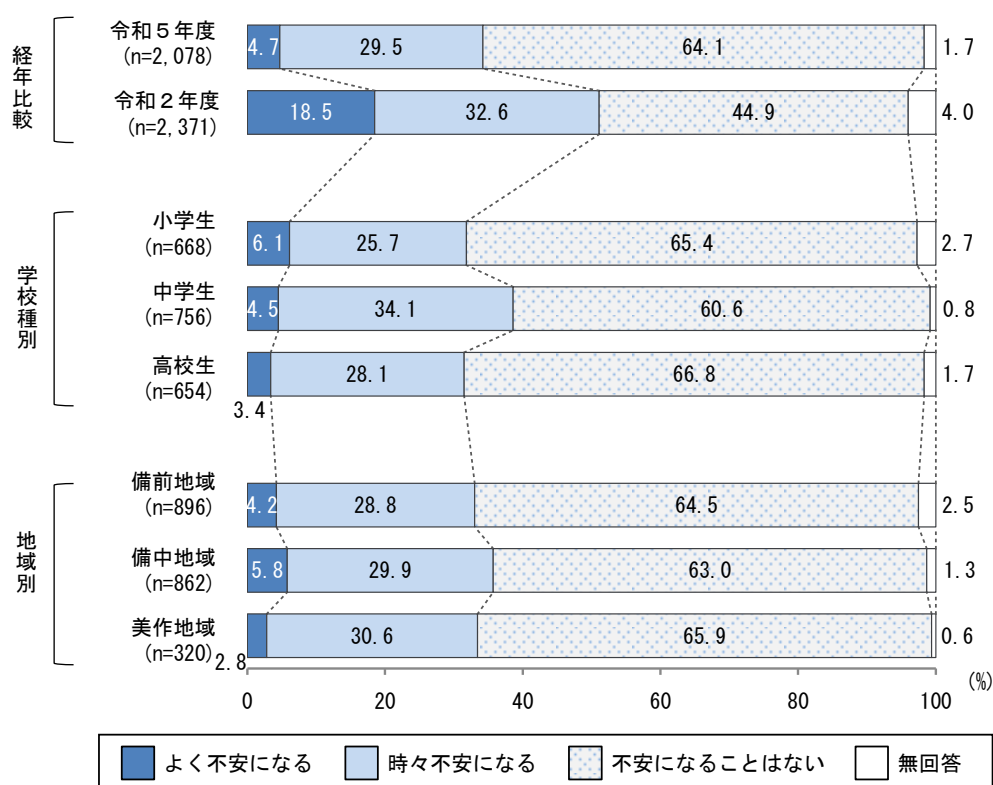
⑤ スマホやインターネットをしているときに不安になること

スマホやインターネットをしているときに危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が4.7%、「時々不安になる」との回答が29.5%、「不安になることはない」との回答が64.1%となっている。

経年比較すると、「不安になることはない」との回答は今回調査が前回調査を19.2ポイント上回っている。

学校種別にみると、「時々不安になる」との回答は中学生が3割台半ばと高くなっている。地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 スマホやインターネットをしているときに不安になること
(経年比較・学校種別・地域別)】



21 不審者から子どもを守るための活動について

問30 あなたの住んでいる地域では、登下校中などに不審者から子どもを守るため、どのような活動が行われていますか。《〇はいくつでも》

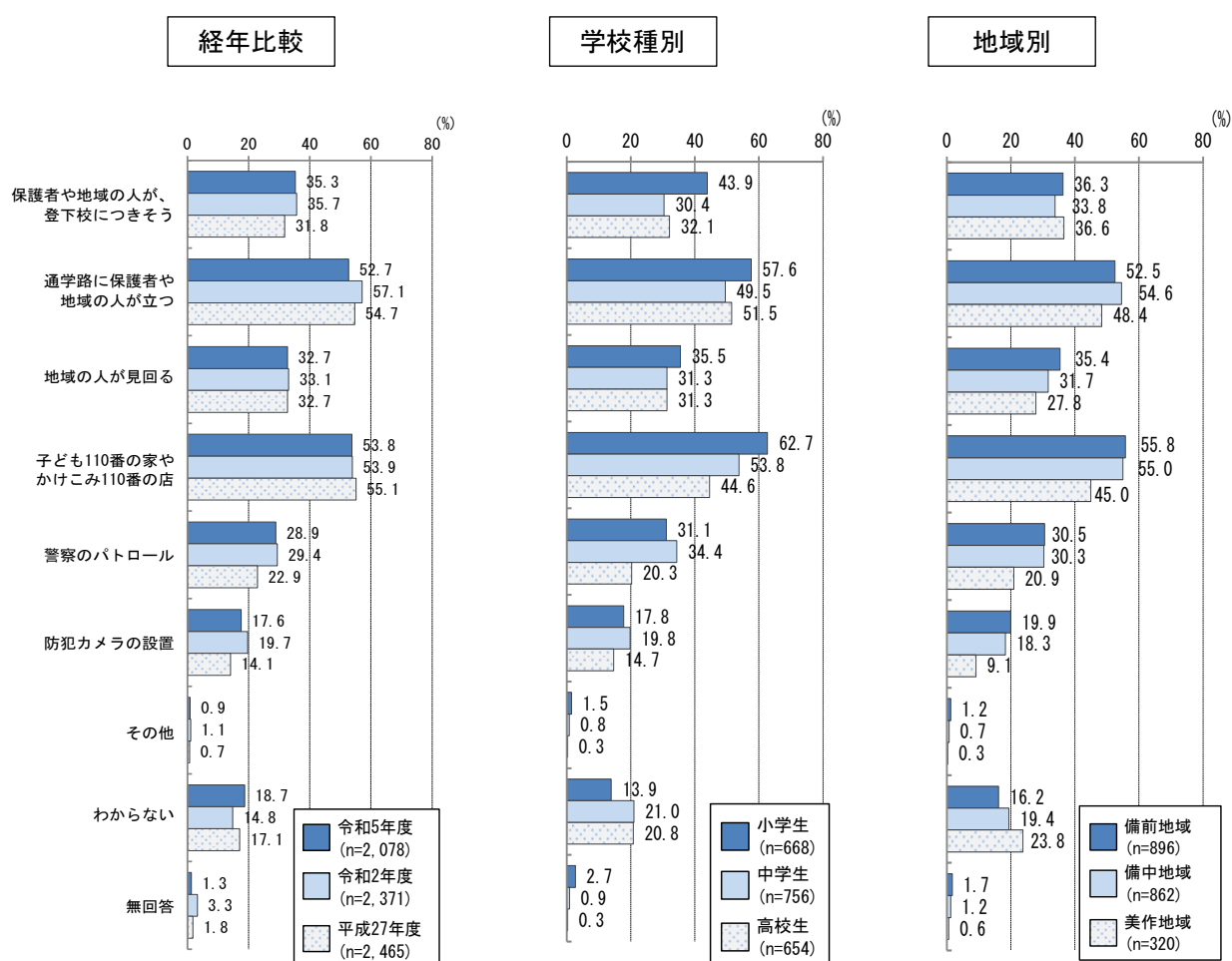
不審者から子どもを守るために居住地域で行われている活動について、「子ども110番の家やかけこみ110番の店」との回答が53.8%と最も高く、次いで「通学路に保護者や地域の人が立つ」(52.7%)、「保護者や地域の人、登下校につきそう」(35.3%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「子ども110番の家やかけこみ110番の店」との回答は小学生で6割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「子ども110番の家やかけこみ110番の店」「防犯カメラの設置」との回答は美作地域で他の地域に比べ低くなっている。

【図表 不審者から子どもを守るために居住地域で行われている活動
(経年比較・学校種別・地域別)】



22 子どもの安全を守るために重要なことについて

問31 あなたが、登下校中に危険な目にあわないために特に重要だと思うことは何ですか。

《○は2つまで》

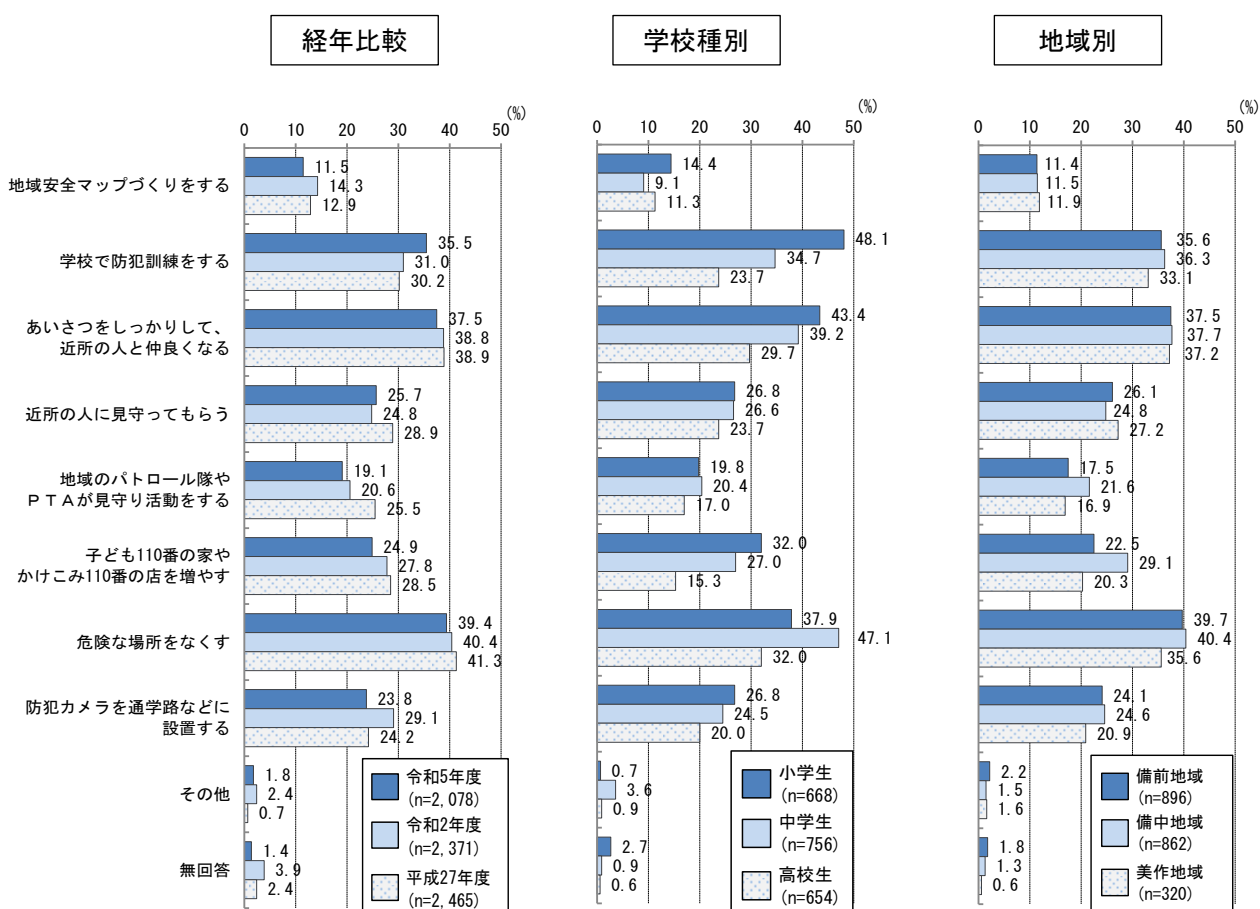
登下校中に危険な目にあわないために重要なことについて、「危険な場所をなくす」との回答が39.4%と最も高く、次いで「あいさつをしっかりと、近所の人と仲良くなる」(37.5%)、「学校で防犯訓練をする」(35.5%)などの順となっている。

経年比較すると、「学校で防犯訓練をする」との回答は今回調査が前回調査を4.5ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。一方、「地域のパトロール隊やPTAが見守り活動をする」との回答は今回調査が前回調査を1.5ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「学校で防犯訓練をする」との回答は小学生が約5割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「子ども110番の家やかけこみ110番の店を増やす」との回答は備中地域で約3割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 登下校中に危険な目にあわないために重要なこと（経年比較・学校種別・地域別）】



23 「ヤングケアラー」という言葉の認知について

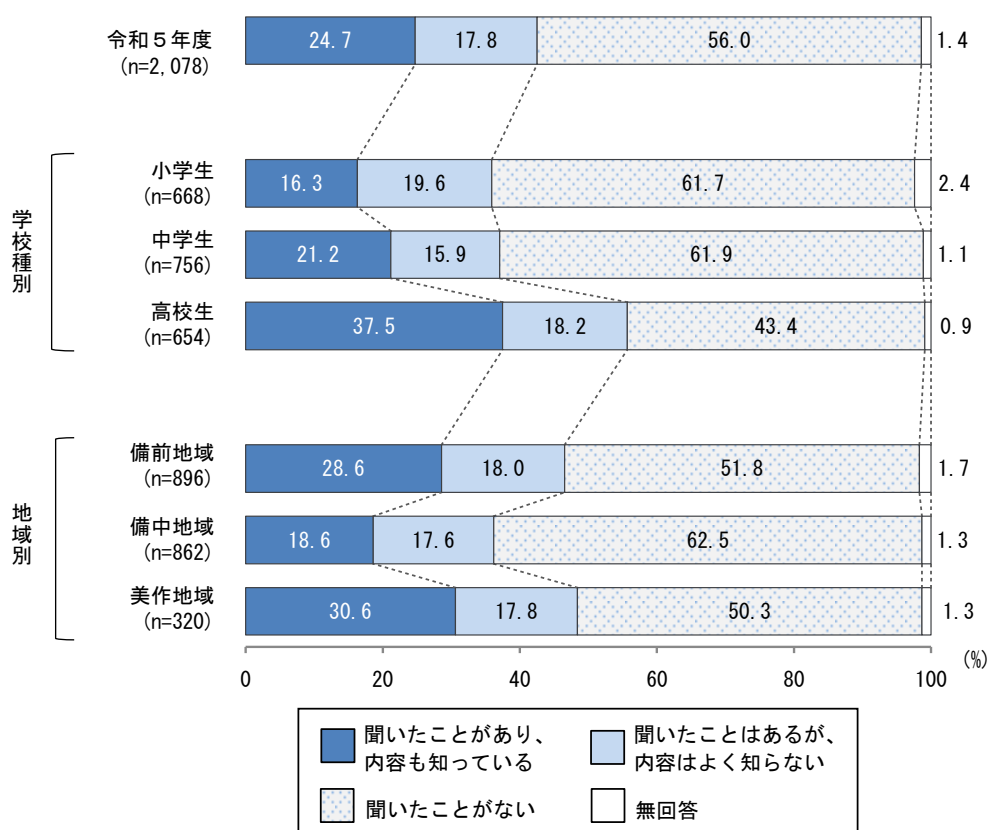
問32 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。《○は1つ》

「ヤングケアラー」という言葉の認知について、「聞いたことがない」との回答が56.0%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」(24.7%)、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(17.8%)の順となっている。

学校種別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答は高校生が約4割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「聞いたことがない」との回答は備中地域で6割超と他の地域に比べ高くなっている。

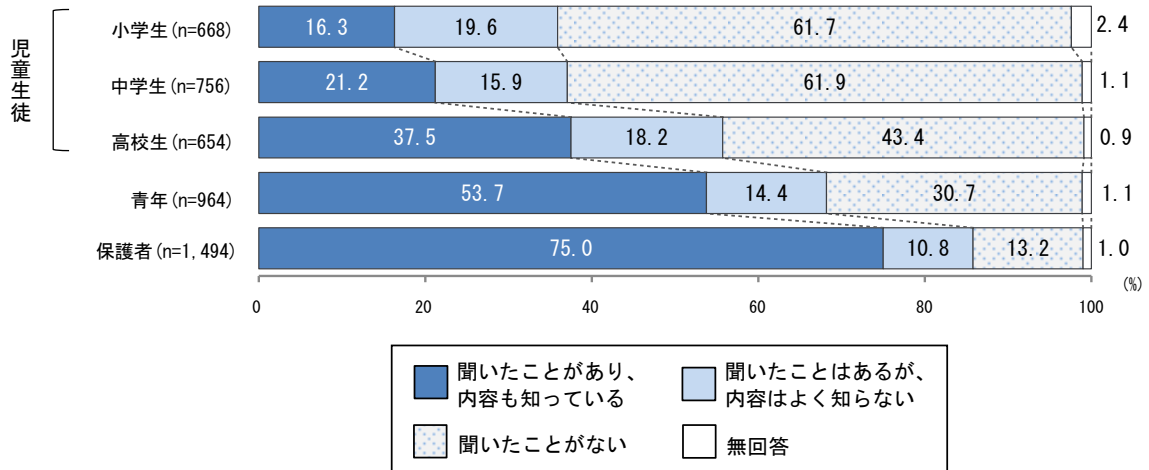
【図表 「ヤングケアラー」という言葉の認知（全体・学校種別・地域別）】



<問 32 児童生徒・青年・保護者の比較>

「ヤングケアラー」という言葉の認知について、年齢層が上がるにつれて「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答が高くなっている。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉の認知（調査対象別）】



(問32で「1~2」に○がついた人だけお答えください。)

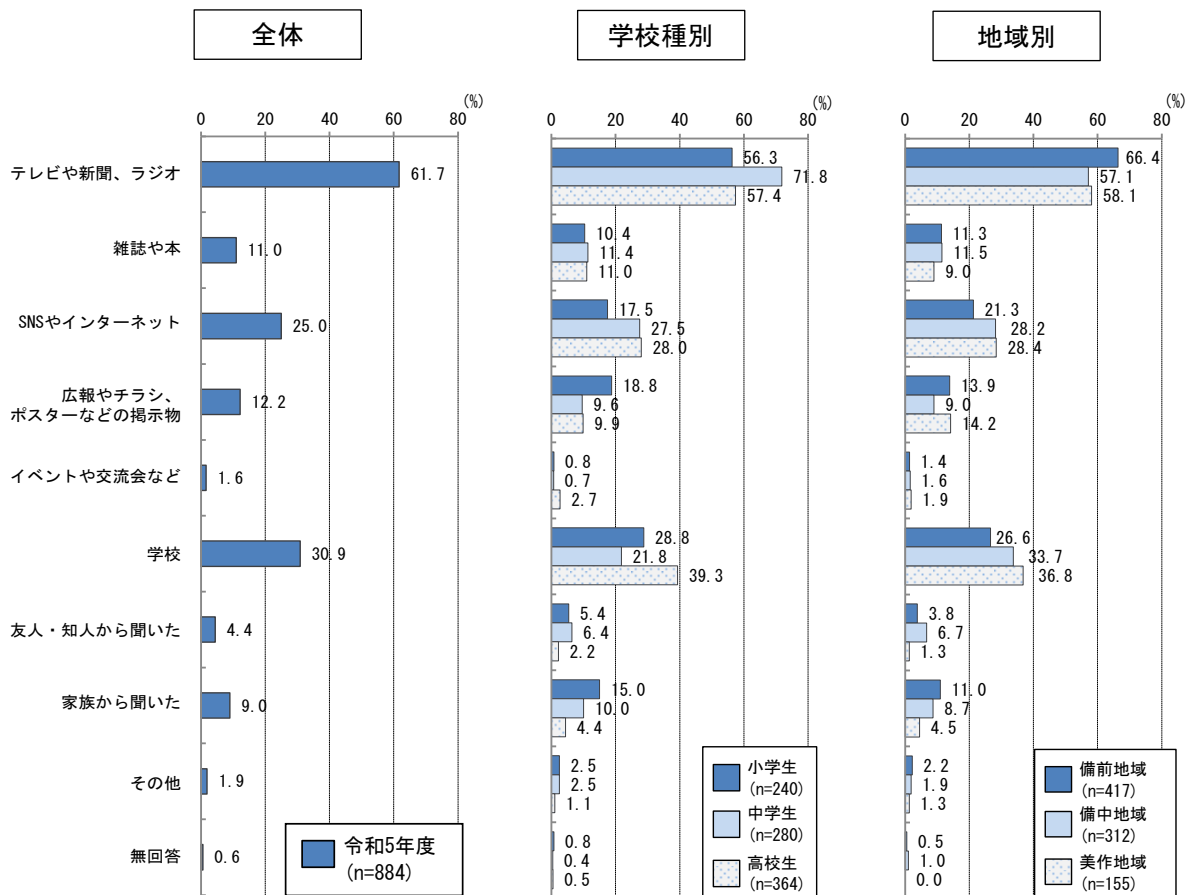
問32-1 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。《○はいくつでも》

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったかについて、「テレビや新聞、ラジオ」との回答が61.7%と最も高く、次いで「学校」(30.9%)、「SNSやインターネット」(25.0%)などの順となっている。

学校種別にみると、「学校」との回答は高校生が約4割、「テレビや新聞、ラジオ」との回答は中学生が約7割と高くなっている。

地域別にみると、「学校」との回答は備前地域で2割台半ばと他の地域に比べ低く、一方、「テレビや新聞、ラジオ」との回答は備前地域で6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか (全体・学校種別・地域別)】



24 自由意見

問33 あなたが、周りの大人たちに対して望むことがあれば、ご自由にご記入ください。

全体では391件のご意見・ご要望が寄せられた。区分別では、「子どもの権利について」が118件と最も多く、ついで、「大人の行動に対する不満など」(75件)、「学校・教育について」(61件)、「社会に対する意見・要望など」(46件)などの順となっている。

「子どもの権利について」は中学生で66件と最も多くなっている。また、「大人の行動に対する不満など」は中学生で43件と多くなっている。

【児童生徒（自由記述分類表）】

分類	合計	小学生	中学生	高校生
酒・たばこについて	16	6	8	2
安全・安心について	40	8	28	4
学校・教育について	61	18	33	10
スマホ、ゲームについて	11	2	7	2
環境について	16	6	8	2
子どもの権利について	118	19	66	33
大人の行動に対する不満など	75	14	43	18
社会に対する意見・要望など	46	11	24	11
将来について	9	5	4	0
その他	24	11	9	4
合計		88	213	89

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容件数は一致しない。

《主な自由意見》

問 16 あなたが、今の大人を見て、悪いと思うところはどんなところですか。

※小学生にはない設問

問 16「その他」に書かれた主な自由意見

分類	内容	学校種別
社会について	税金を上げたりしたり、寝ててもお金をもらう国会議員。	中学生
	後先考えずに、戦争する。	中学生
	増税する。	高校生
	検討しもしないところ。国民のことを何も考えていない。	高校生
	政治への理解度が低い。	高校生
	既存の時代遅れのようなルールを変えたがらず、保守的になっている	高校生
マナーについて	パチンコなどのかけごとをする。	中学生
	考え方が古臭い。周囲のことを考えない発言が多い（主に親）。	中学生
	口が悪い。	中学生
	平気で悪口や陰口を言う。	中学生
	挨拶をしても返さない。	高校生
しつけについて	みんな子どもだった頃があるのだから、もう少し子どもの目線に合わせて考えてもらいたい。	中学生
	人には言うけど、自分はやらない、守らない。	中学生
	古い悪い考えをいつまでも持つ。指摘されたらおこる。その姿をいけないと思っていない。	中学生
	スマホを持たせてくれない。遊びに行かせてくれない。	中学生
	相談をしても否定から入るところ。	高校生
	虐待や育児放棄する人が多い。望まない妊娠等で赤子を平気で捨てる人がいる。	高校生
	大人がしていることを子供がすると怒る。	高校生
その他	動物虐待。	中学生
	取り繕っていつも無理して、疲れている。	中学生
	勉強意欲がない。	高校生
	SNSで自分がどう見えるか気にしすぎ。	高校生
	偏見が多い。	高校生

問 19 あなたは、岡山県は将来どのような県になってほしいと思いますか。

※小学生にはない設問

問 19「その他」に書かれた主な自由意見

分類	内容	学校種別
都会化 について	岡山県全体が楽しい県。	中学生
	不便のない県。	中学生
	にぎやかになってほしい。	中学生
	都会にあるような店が増えてほしい	高校生
遊ぶところ について	スケートボードができる環境。	中学生
	楽しめる施設がある県。	中学生
	どんな人でも「岡山楽しい、来て良かった」と思える県。	中学生
	遊び場が多い県。	高校生
その他	地震対策をもっと進めている県。	中学生
	誰もが安心して暮らせて、岡山の良いところをアピールできる県。	中学生
	ポイ捨てが減ってほしい。	中学生
	部活動が盛んな県。	中学生
	一時停止が守れる県。県民性があたたかい県。	中学生
	県の良い所を県民が自信を持って言える県。全ての市と岡山県が協力する。	中学生
	国際交流が盛んで、留学制度が充実している県。	中学生
	他県にも貢献ができる県。	中学生

問33 あなたが、周りの大人たちに対して望むことがあれば、ご自由にご記入ください。

<問33の主な自由意見>

(1) 酒・たばこについて

内容	学校種別
お酒をあまり飲まない方がいい。	小学生
悪いものは悪いと決めつけず、その人のことも考えたほうがよいと思う。ギャンブル、酒、たばこが悪いと、理由を言わずにただ言うのはおかしいと思う。	小学生
受動喫煙をするかもしれないから、たばこを人前やひらけた場所で吸わないでほしい。	小学生
たばこなどを吸う時は、喫煙所で吸ってほしい。	中学生
たばこの煙を子どもに吸わせないでほしい。ビールを子どもの手の届く所に置かないでほしい。	中学生
たばこが臭くて大嫌いなので吸う人がいなくなってほしい。	中学生
たばこや酒のマナーを守ってほしい。特にたばこは場所とかが規制されているにもかかわらず別の場所で吸っている人がいる。	中学生
たばこを吸える場所と吸えない場所をはっきりさせてほしい。	中学生
自分たちの価値観や先入観が絶対に正しいと思わないでほしい。たばこなど、子どもの健康が悪くなるようなことはしないでほしい。	高校生
電車で酒を飲むことをやめてほしい。	高校生

(2) 安全・安心について

内容	学校種別
街灯のない所があって午後6時ごろになると真っ暗になるので街灯を増やしてほしい。	小学生
防犯訓練をしてほしい。通学路の歩道を広くしてほしい。	小学生
一人一人が安心して暮らせる社会をつかっていって欲しい。犯罪・争いのない社会にして欲しい。	中学生
交通ルールをきちんと守ってほしい。	中学生
スピードの出しすぎや信号無視などしないよう気をつけてほしい。	中学生
最近是不審者などが増えているので周りの大人が見守っていてほしい。	中学生
信号無視する人が多過ぎる。毎日の登校や下校のときに信号無視する場面を多く見る。警察には、一時停止違反の取り締まりだけでなく、信号無視も取り締まってほしい。	高校生

(3) 学校・教育について

内容	学校種別
子どもが親などに相談できない時に話をきいてほしい。	小学生
ストレス発散などと言って殴ったり、棒で叩いたり、刃物などをもって脅したりしないでほしい。人が嫌がることをわざとして人を泣かせたりしないでほしい。たまに優しくしてくれて嬉しいけど、少し嫌な時もあるから、しつこく聞いてきたりするのをやめてほしい。	小学生
学校の先生の言葉づかいが悪い。先生は自分の考えばかりを私たちに押しつけないでほしい。	小学生
部活時間が短くなることはやめてほしい。私は部活をもっと頑張りたいのにできなくなっているのが辛いし、私達子どものことを分かっていないなと思います。	中学生
子どもを声の音圧で黙らせずに、ちゃんと理由を聞いてから言うことをしてほしい。	中学生
昔の考えの押しつけはやめてほしい。「昔はこうだった」という教育は、成長に悪影響だと思う。いじめへの対処もどうにかしてほしい。証拠などが無くても、ちゃんと真偽を確かめてほしい。	高校生
インターネットに関するモラルやリテラシーについて大人は自身で考え注意することを大事にしてほしい。身近な子どもに対しても、しっかりと教育や指導をしてもらいたい。	高校生

(4) スマホ、ゲームについて

内容	学校種別
スマホばかり見ずに、しっかり話や音読を聞くこと。	小学生
子どもに歩きスマホをするなど言いますが、大人の方が歩きスマホをやっているし、ぶつかりそうになったこともあります。自分達が出来ていないことを守れと言わないでください。自分達ができてから言ってください。でないと、示しがつきません。	小学生
スマホを持たせてほしい。	中学生
子どもに「スマホの時間が長すぎる・スマホがないと何もできないのか」と言うけど、大人もそこまで子どもと変わらないので自分が改善してから子どもに注意してほしい。	高校生

(5) 環境について

内容	学校種別
道にゴミをポイ捨てしている人がいるからやめてほしい。	小学生
環境に優しく、自然豊かな世界にしてほしい。	中学生
環境問題について理解を深めて、ゴミのポイ捨てなどをやめてほしい。	中学生

(6) 子どもの権利について

内容	学校種別
自分の子どもを所有物にしないこと。	小学生
親戚と自分を比べて親戚ばかりほめるので、平等に接してほしい。	小学生
みんな平等に、態度を人によって変えないで接しよう。	小学生
もうちょっとみんなの意見を出させて。	小学生
「子どもだから」って言わないでほしい。もっと好きなことや、やりたいことをしたい。	小学生
自分の気持ちを分かってほしい。	小学生
大人は、すぐ怒る。自分のことしか考えず、自己中心的に子どもに怒ることがあるから良くないと思う。	中学生
子どもを甘く見ないでほしい。DVは許されない。子どもを殴る蹴るはおかしい。	中学生
子どもの意見に耳を傾け、その意見を取り上げてほしい。	中学生
子どもの意見を尊重するべき。	中学生
子どもも一人の人間であるため、意見を無視したり聞き入れないのはあってはならないと思います。自分が正しいと思うのは止めましょう。	中学生
まずは話を聞いてほしい。失望したような目をしないでほしい。すぐ否定しないでほしい。子どもの時の心を忘れないでほしい。	中学生
多様性や個人差があることを理解する。	中学生
意見を聞く前に否定することをやめてほしい。	高校生
干渉しすぎないようにしてほしい。干渉されすぎると、言いたい事もやりたい事も言える環境じゃなくなるので辛い。	高校生
Z世代とか言って一括りにしないでほしい。自分達がしてこなかったものの責任を若者に押し付けないでほしい。	高校生

(7) 大人の行動に対する不満など

内容	学校種別
登下校中などに路上で挨拶をしたら、約7割の人は明るく返してくれるけど、あと3割はイヤホンをつけたり、暗そうな人で、返してくれません。一部だけでなく、町全体が明るくなるようにしてほしい。	小学生
口だけで行動が伴っていない人は、行動もするべきだと思う。	中学生
日本の未来のため、失われた30年を取り戻すため、みんなが安心して暮らせるために、もう少し夢や希望をもって様々な活動に取り組んでほしい。	中学生
勉強意欲のない大人が多すぎる。ポイ捨てやたむろなど、見ていて恥ずかしい大人が多すぎる。	高校生

(8) 社会に対する意見・要望など

内容	学校種別
大人達の世界は色々あるけど、戦争はしないでほしい。	小学生
もう少し休んでください。体にしろ、心にしろ、無理をしているのはとっても伝わります。こちらが顔色をうかがいながら接するのもすごく疲れるし、自分もこうなってしまうのではないかと不安にもなります。学校では心の休ませ方を教えてくれませんが、もう少し休みやすい社会を作ってください。	中学生
みんなが安心して暮らせるよう、さまざまな活動に取り組んでほしい。	中学生
年功序列を重要視するのをやめてほしい。	高校生

(9) 将来について

内容	学校種別
立派な大人になりたいなと思う。	小学生
みんなが楽しく笑って過ごせるような世界になってほしい。	小学生
安全な未来を作ってください。	小学生
できれば、これからの若い人たちにまかせるのではなく、自分たちで終わらせられることを終わらせてください。解決してください。引き継ぐのは嫌です。	中学生

Ⅲ 青年編

Ⅲ-1 属性

(1) 地域別

	備前県民局	備中県民局	美作県民局	合計
回答数(人)	484	392	88	964
割合(%)	50.2	40.7	9.1	100.0

(2) 性別<問1>

	男性	女性	どちらとも言えない	答えたくない	無回答
回答数(人)	393	557	5	5	4
割合(%)	40.8	57.8	0.5	0.5	0.4

(3) 年齢<問2>

	18~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	無回答
回答数(人)	47	124	158	315	315	5
割合(%)	4.9	12.9	16.4	32.7	32.7	0.5

(4) 同居している人<問3> (複数回答)

	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	配偶者	自分の子	その他の人	同居家族はいない	無回答
回答数(人)	297	357	183	96	470	416	52	97	2
割合(%)	30.8	37.0	19.0	10.0	48.8	43.2	5.4	10.1	0.2

Ⅲ-2 調査結果

1 就労形態について

問4 あなたの主な職業を教えてください。《○は1つ》

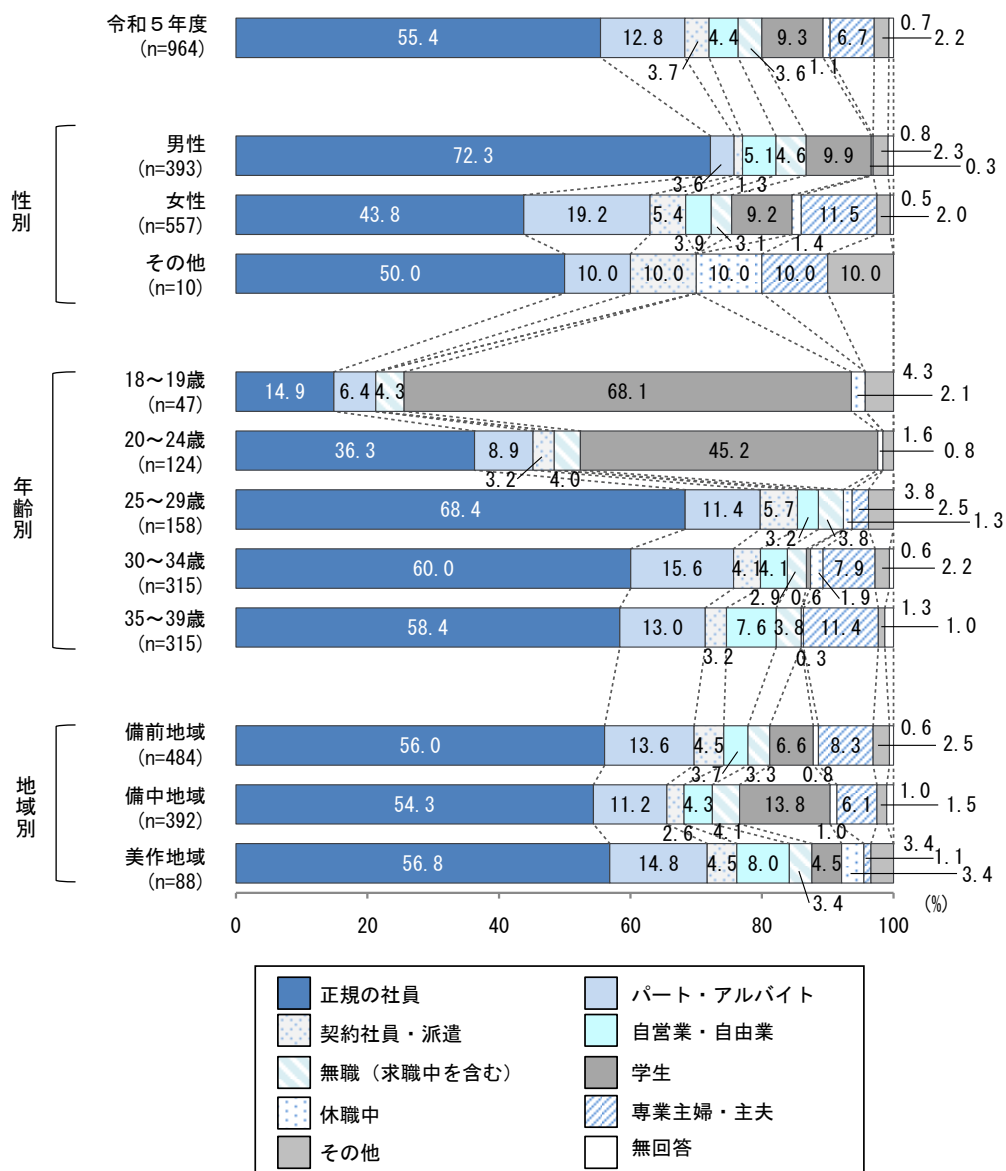
現在の就労形態について、「正規の社員」との回答が55.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」(12.8%)、「学生」(9.3%)、「専業主婦・主夫」(6.7%)などの順となっている。

性別にみると、「正規の社員」との回答は男性(72.3%)が女性(43.8%)を28.5ポイント上回っている。また、「パート・アルバイト」との回答は女性(19.2%)が男性(3.6%)を15.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳は「学生」との回答が約7割、20～24歳は「正規の社員」が3割台半ば、「学生」が4割台半ば、25～29歳は「正規の社員」との回答が約7割と高くなっている。

地域別にみると、備中地域は「学生」との回答が1割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 就労形態について（全体・性別・年齢別・地域別）】



2 家庭での生活について

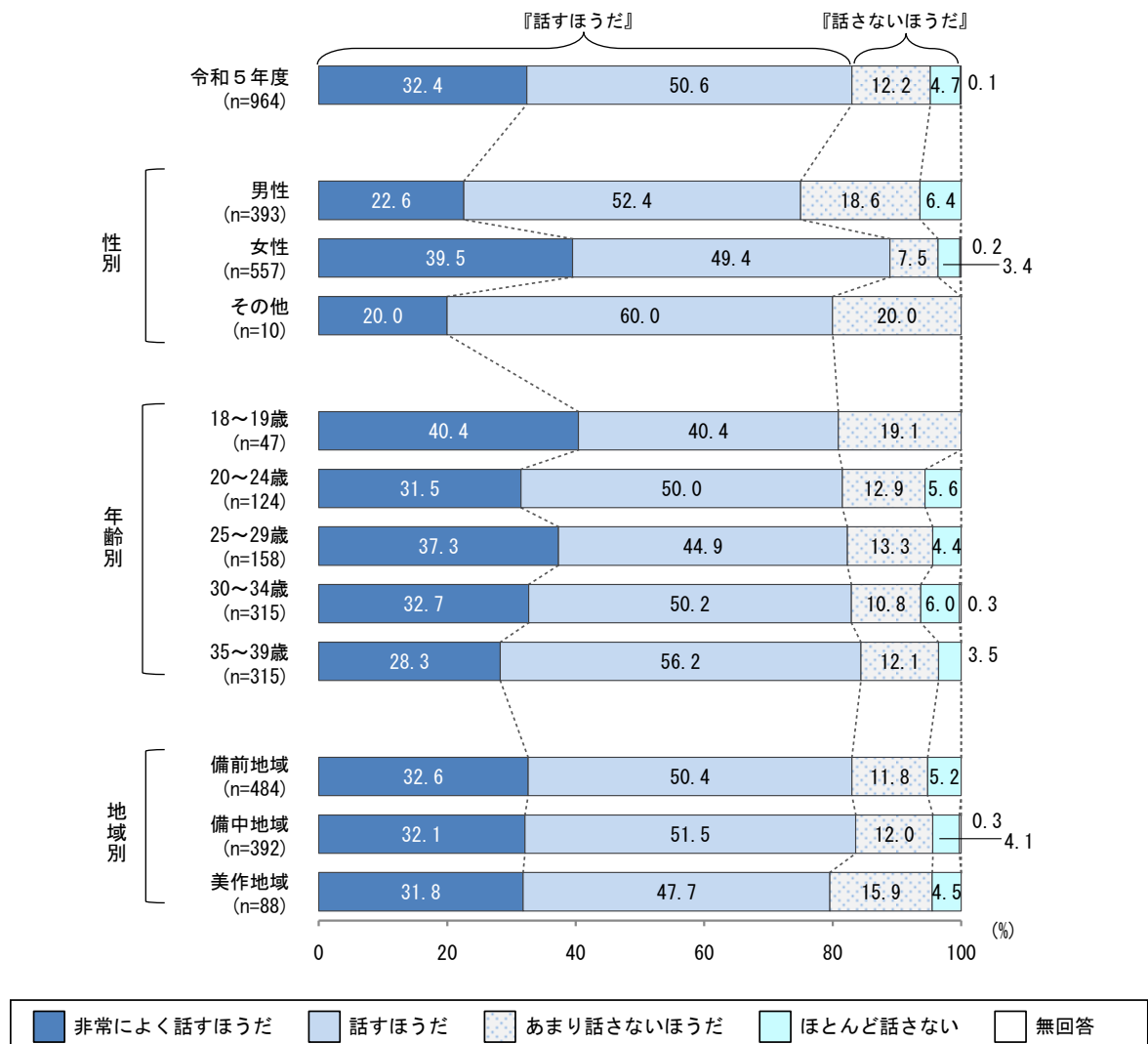
問5 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。《○は1つ》

家庭での会話頻度について、『話すほうだ』（「非常によく話すほうだ」と「話すほうだ」を合わせた割合）との回答が83.0%、『話さないほうだ』（「ほとんど話さない」と「あまり話さないほうだ」を合わせた割合）との回答が16.9%となっている。

性別にみると、『話すほうだ』との回答は女性（88.9%）が男性（75.0%）を13.9ポイント上回っている。

年齢別、地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 家庭での会話頻度（全体・性別・年齢別・地域別）】



（問5で「3.あまり話さないほうだ」または「4.ほとんど話さない」に○がついた人だけお答えください。）

問5-1 あなたが家で話さないのは、なぜですか。《○はいくつでも》

会話をしない理由について、「面倒くさい」との回答が31.3%と最も高く、次いで「一人暮らしだから」(30.1%)、「話題がない」(26.4%)などの順となっている。

性別にみると、「面倒くさい」との回答は男性(35.7%)が女性(24.6%)を11.1ポイント上回っている。また、「話題がない」との回答も男性(30.6%)が女性(19.7%)を10.9ポイント上回っている。対して、「一人暮らしだから」との回答は女性(39.3%)が男性(22.4%)を16.9ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～24歳で「一人暮らしだから」との回答が5割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、備中地域は「面倒くさい」との回答が2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 会話をしない理由（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	気持ちを分かってもらえない	面倒くさい	頼りない	話題がない	すぐに怒る、叱る	忙しそう	あなたの話を聞こうとしない	話しかけてこない	一人暮らし	その他	無回答	
令和5年度	163	11.7	31.3	3.7	26.4	8.6	7.4	9.2	9.2	30.1	14.1	3.1	
性別	男性	98	8.2	35.7	4.1	30.6	10.2	7.1	10.2	11.2	22.4	11.2	2.0
	女性	61	18.0	24.6	3.3	19.7	4.9	8.2	8.2	6.6	39.3	19.7	4.9
	その他	2	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-
年齢別	18～19歳	9	11.1	11.1	-	33.3	-	11.1	-	-	11.1	22.2	22.2
	20～24歳	23	8.7	26.1	4.3	13.0	4.3	-	4.3	8.7	56.5	4.3	4.3
	25～29歳	28	10.7	32.1	7.1	32.1	3.6	7.1	3.6	14.3	21.4	17.9	-
	30～34歳	53	13.2	35.8	3.8	26.4	13.2	7.5	13.2	9.4	28.3	17.0	1.9
	35～39歳	49	12.2	32.7	2.0	28.6	10.2	10.2	12.2	8.2	26.5	12.2	2.0
地域別	備前地域	82	14.6	34.1	3.7	24.4	8.5	4.9	7.3	8.5	30.5	15.9	1.2
	備中地域	63	11.1	25.4	4.8	28.6	11.1	9.5	12.7	9.5	30.2	12.7	4.8
	美作地域	18	-	38.9	-	27.8	-	11.1	5.6	11.1	27.8	11.1	5.6

問6 あなたが家族のことなどで、何か困っていることや嫌なことはありますか。

《○はいくつでも》

家族間での困りごと・嫌なことについて、「家の中が散らかっている」が14.4%、次いで「家族の世話が大変である」(10.7%)、「家族との団らんや会話が少ない」(5.1%)などの順となっている。また、「特にない」との回答が64.3%と高くなっている。

性別にみると、「家族の世話が大変である」との回答は女性(13.6%)が男性(6.4%)を7.2ポイント、「家の中が散らかっている」との回答も女性(17.2%)が男性(10.4%)を6.8ポイント上回っている。また、「特にない」との回答は男性(72.3%)が女性(58.5%)を13.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、「家族の世話が大変である」との回答は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。また、「特にない」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 家族間での困りごと・嫌なこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	家族との団らんや会話が少ない	親と自分の仲が悪い	親同士の仲が悪い	自分と兄弟姉妹の仲が悪い	家には落ち着いて過ごせる環境がない	家族の世が大変である	家の中が散らかっている	家にお金がなく、食事や着る服がないときがある	家族から暴力や暴言などを受けている	家族の中に問題行動を起こす人がいる	その他	特にない	無回答	
令和5年度	964	5.1	2.4	2.5	2.4	3.1	10.7	14.4	2.0	0.7	3.4	3.7	64.3	2.5	
性別	男性	393	4.1	2.5	2.5	2.5	3.8	6.4	10.4	3.1	3.3	2.5	72.3	2.0	
	女性	557	5.6	2.2	2.5	2.2	2.7	13.6	17.2	1.1	1.3	3.6	4.7	58.5	2.9
	その他	10	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	10.0	-	-	-	70.0	-
年齢別	18～19歳	47	2.1	-	2.1	-	4.3	-	10.6	4.3	-	8.5	2.1	76.6	-
	20～24歳	124	4.8	-	2.4	3.2	0.8	4.0	5.6	0.8	4.0	1.6	76.6	4.0	
	25～29歳	158	3.2	1.9	2.5	4.4	2.5	6.3	10.8	4.4	-	3.8	3.2	68.4	3.2
	30～34歳	315	5.7	3.2	2.5	2.5	5.1	12.1	15.9	1.6	1.0	2.2	3.2	64.8	1.3
	35～39歳	315	6.0	3.2	2.5	1.3	2.2	15.9	18.7	1.3	1.0	3.5	5.7	54.9	3.2
地域別	備前地域	484	5.2	2.5	2.3	2.9	2.9	12.0	14.5	2.1	1.0	2.9	2.5	63.0	2.3
	備中地域	392	4.3	2.0	2.6	1.5	2.6	8.9	13.8	2.0	0.5	3.8	4.6	66.8	3.1
	美作地域	88	8.0	3.4	3.4	3.4	6.8	11.4	17.0	1.1	-	4.5	6.8	60.2	1.1

問7 あなたが普段自宅にいるときによくしていることを教えてください。

《〇はいくつでも》

普段自宅をよくすることについて、「動画サイトを見る」との回答が54.6%と最も高く、次いで「家事をする」(52.8%)、「テレビを見る」(51.3%)などの順となっている。

性別にみると、「家事をする」との回答は女性(66.6%)が男性(33.6%)を33.0ポイント、「料理をする」との回答は女性(46.9%)が男性(16.8%)を30.1ポイント、「SNSでやり取りする」との回答は女性(41.3%)が男性(19.3%)を22.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、「家事をする」「育児、子どもと遊ぶ」「仕事をする」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。また、「趣味を楽しむ」「SNSでやり取りする」「動画サイトを見る」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、備中地域は「育児、子どもと遊ぶ」との回答が約3割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 普段自宅をよくすること(全体・性別・年齢別・地域別)】

		(%)																	
		全体	のんびりする	何もしないで一緒に遊ぶ	家族とおしゃべりする	家事をする	子どもと遊ぶ	育児、子どもと遊ぶ	家族の世話を	する	勉強する	仕事をする	趣味を楽しむ	料理をする	散歩する	運動をする	世話を	ベットの	テレビを見る
	令和5年度	964	35.0	41.3	52.8	36.2	14.8	11.6	12.1	42.5	34.6	12.1	12.7	17.3	51.3				
性別	男性	393	31.0	35.4	33.6	30.0	5.1	13.2	11.7	49.1	16.8	8.9	16.0	14.8	44.8				
	女性	557	37.7	45.6	66.6	40.8	21.9	10.8	12.4	38.1	46.9	13.8	9.9	19.4	55.8				
	その他	10	50.0	50.0	40.0	30.0	10.0	-	10.0	20.0	40.0	30.0	20.0	10.0	60.0				
年齢別	18~19歳	47	46.8	42.6	17.0	-	2.1	31.9	4.3	53.2	10.6	8.5	12.8	17.0	51.1				
	20~24歳	124	50.8	29.0	23.4	3.2	1.6	29.8	5.6	53.2	17.7	12.9	11.3	18.5	43.5				
	25~29歳	158	36.1	40.5	48.7	24.1	8.9	5.7	10.8	47.5	38.0	12.7	9.5	23.4	46.8				
	30~34歳	315	32.4	44.4	61.9	44.8	17.5	8.9	12.7	40.6	37.8	11.1	15.2	15.2	55.6				
	35~39歳	315	29.2	43.5	62.9	52.7	22.5	7.0	15.9	36.2	40.0	13.0	11.7	15.6	52.7				
地域別	備前地域	484	32.0	44.0	55.6	40.1	16.5	11.6	12.6	41.3	35.1	12.2	12.4	15.9	52.5				
	備中地域	392	39.3	39.8	50.5	30.9	14.3	12.8	10.5	44.6	34.9	12.5	13.5	18.9	50.8				
	美作地域	88	31.8	33.0	47.7	38.6	8.0	6.8	17.0	39.8	30.7	10.2	10.2	18.2	47.7				
		全体	読書をする	雑誌を見る	マンガや新聞を読む	音楽を聴く	ラジオやゲーム機でゲームをする	ゲームをする	ネットをする	やり取りする	SNSを見る	サイトなどを	ニュースを見る	動画サイトを見る	その他	特にな	無回答		
	令和5年度	964	13.1	28.0	1.3	20.0	24.8	25.8	32.3	20.3	54.6	1.3	0.7	0.7					
性別	男性	393	12.2	28.2	2.0	16.3	33.8	34.1	19.3	19.3	58.8	0.8	0.8	1.0					
	女性	557	13.6	27.5	0.9	22.8	18.5	19.9	41.3	20.8	51.7	1.6	0.5	0.5					
	その他	10	20.0	30.0	-	10.0	20.0	20.0	50.0	30.0	50.0	10.0	10.0	-					
年齢別	18~19歳	47	14.9	19.1	-	36.2	44.7	46.8	51.1	14.9	70.2	-	-	-					
	20~24歳	124	15.3	29.0	2.4	37.1	27.4	30.6	46.8	8.9	67.7	1.6	0.8	1.6					
	25~29歳	158	6.3	28.5	-	20.9	30.4	33.5	43.0	12.7	64.6	1.3	-	0.6					
	30~34歳	315	13.3	28.9	1.3	15.9	21.3	21.6	28.3	24.4	52.7	1.9	1.0	0.6					
	35~39歳	315	14.9	27.9	1.9	14.6	21.0	20.6	22.5	25.4	43.5	1.0	0.6	0.6					
地域別	備前地域	484	12.4	26.0	1.0	15.9	22.1	22.7	31.0	20.9	53.1	1.2	0.4	0.6					
	備中地域	392	13.8	30.9	1.3	25.0	26.8	28.3	33.9	19.4	56.9	1.8	1.0	0.8					
	美作地域	88	13.6	26.1	3.4	20.5	30.7	31.8	31.8	21.6	52.3	-	1.1	1.1					

問8 あなたは普段どのくらい外出しますか。《○は1つ》

外出頻度について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」との回答が72.9%と最も高く、次いで「仕事や学校で週3～4日外出する」(9.2%)の順となっている。

外出頻度が低い状態の回答者についてみると、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(2.0%)、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニエンスストアなどには出かける」(4.4%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(1.2%)、「自室からほとんど出ない」(0.1%)となっている。(以下、本編ではこれらの者を「外出頻度の低い回答者」と総称する。)

年齢別、地域別でみると、大きな差はみられない。

【図表 外出頻度（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週3～4日外出する	遊びなどで頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	ふだんは家にいるが、近所のコンビニエンスストアなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	答えたくない	無回答	
令和5年度	964	72.9	9.2	4.0	3.7	2.0	4.4	1.2	0.1	1.6	0.8	
性別	男性	393	78.6	8.4	3.1	2.0	1.8	2.3	1.3	—	1.8	0.8
	女性	557	69.5	9.9	4.7	4.8	2.2	5.6	1.3	0.2	1.1	0.9
	その他	10	50.0	—	10.0	—	—	20.0	—	—	20.0	—
	合計	964	72.9	9.2	4.0	3.7	2.0	4.4	1.2	0.1	1.6	0.8
年齢別	18～19歳	47	78.7	4.3	6.4	2.1	—	2.1	4.3	—	2.1	—
	20～24歳	124	70.2	13.7	6.5	2.4	1.6	2.4	0.8	—	0.8	1.6
	25～29歳	158	74.7	8.9	3.2	3.8	—	5.7	1.9	—	0.6	1.3
	30～34歳	315	70.5	7.9	4.8	4.1	3.8	4.4	1.0	—	2.9	0.6
	35～39歳	315	75.6	9.8	1.9	4.1	1.6	4.4	1.0	0.3	0.6	0.6
地域別	備前地域	484	74.4	8.7	3.7	3.5	2.7	3.7	1.0	0.2	1.4	0.6
	備中地域	392	70.9	10.7	4.3	4.3	1.0	4.6	1.3	—	1.5	1.3
	美作地域	88	73.9	5.7	4.5	2.3	2.3	6.8	2.3	—	2.3	—

(問8で「5～8」に○がついた人だけ、問8-1、問8-2にお答えください。)

問8-1 あなたが、その状況になってどれくらい経ちますか。《○は1つ》

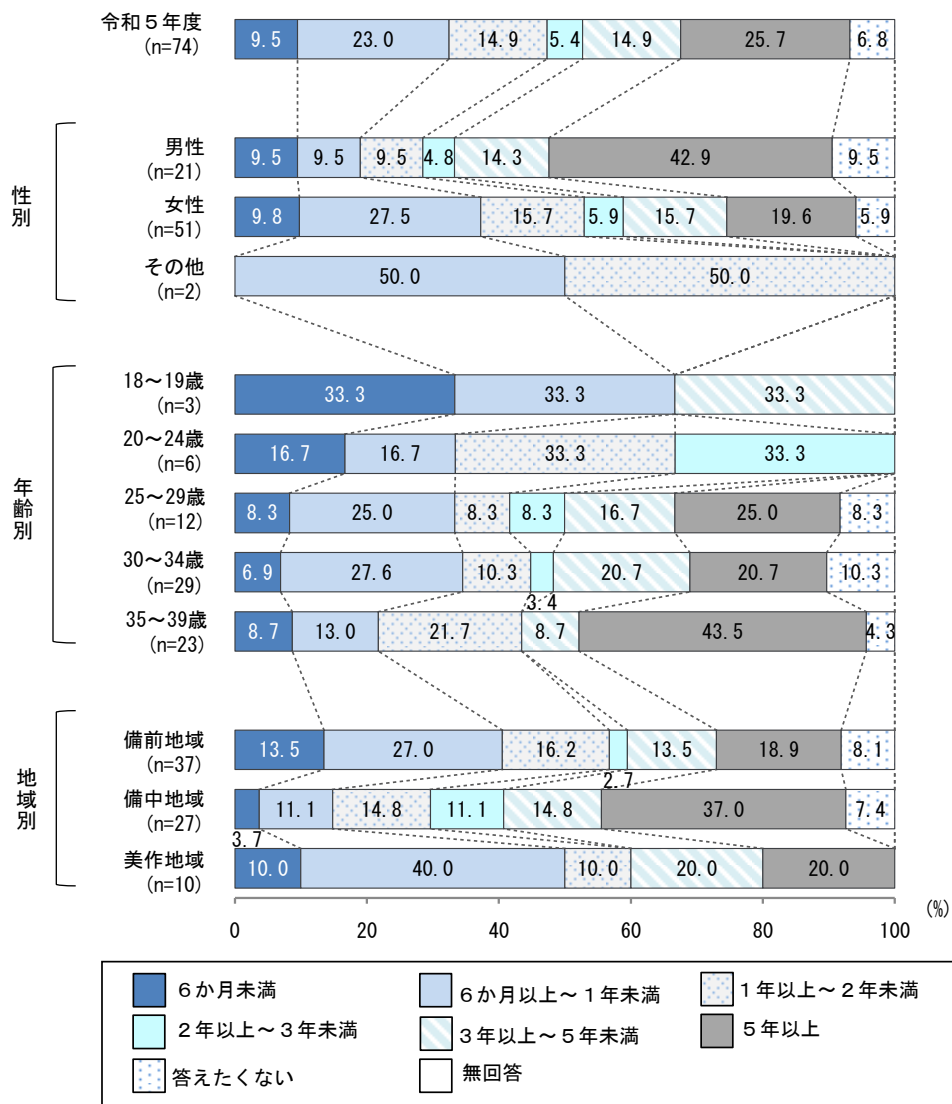
外出頻度の低い回答者が、現在の外出状況になってからの期間をみると、「5年以上」との回答が25.7%と最も高く、次いで「6か月以上～1年未満」(23.0%)、「1年以上～2年未満」「3年以上～5年未満」(ともに14.9%)などの順となっている。

性別にみると、「5年以上」との回答は男性(42.9%)が女性(19.6%)を23.3ポイント上回っている。また、「6か月以上1年未満」との回答は女性(27.5%)が男性(9.5%)を18.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、35～39歳は、「5年以上」との回答が4割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、備中地域で、「5年以上」との回答が約4割と高くなっている。

【図表 現在の外出状況になってからの期間(全体・性別・年齢別・地域別)】



問8-2 あなたがそのような状況になるきっかけは何でしたか。《○はいくつでも》

外出頻度の低い回答者が、現在の外出状況になったきっかけをみると、「妊娠・出産をしたこと」との回答が33.8%と最も高く、次いで「病気になったこと」「退職したこと」（ともに20.3%）などの順となっている。

性別にみると、「妊娠・出産をしたこと」との回答は女性（47.1%）のみ回答している。また、「病気になったこと」との回答は男性（33.3%）が女性（13.7%）を19.6ポイント、「退職したこと」との回答は男性（33.3%）が女性（15.7%）を17.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、30～34歳は「妊娠・出産をしたこと」との回答が4割超、35～39歳は「人間関係がうまくいかなかったこと」「退職したこと」との回答が2割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、備中地域は「病気になったこと」との回答が3割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 現在の外出状況になったきっかけ（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	不登校になったこと	いかなかなか受診がうまくいかなかったこと	いかなかなか就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気になったこと	妊娠・出産をしたこと	退職したこと	家族の世話を担うようになったこと	その他	特にない	無回答	
令和5年度	74	6.8	1.4	9.5	9.5	18.9	20.3	33.8	20.3	2.7	18.9	10.8	1.4	
性別	男性	21	9.5	4.8	19.0	19.0	28.6	33.3	-	33.3	-	23.8	14.3	-
	女性	51	5.9	-	5.9	3.9	13.7	13.7	47.1	15.7	3.9	17.6	9.8	2.0
	その他	2	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	合計	74	6.8	1.4	9.5	9.5	18.9	20.3	33.8	20.3	2.7	18.9	10.8	1.4
年齢別	18～19歳	3	33.3	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-
	20～24歳	6	16.7	-	-	16.7	16.7	33.3	33.3	-	-	16.7	16.7	-
	25～29歳	12	8.3	-	16.7	-	25.0	25.0	41.7	-	-	16.7	8.3	-
	30～34歳	29	-	-	6.9	6.9	13.8	17.2	41.4	20.7	3.4	17.2	10.3	3.4
	35～39歳	23	8.7	-	8.7	13.0	26.1	21.7	26.1	26.1	4.3	26.1	13.0	-
地域別	備前地域	37	-	2.7	8.1	5.4	13.5	10.8	35.1	18.9	-	24.3	10.8	-
	備中地域	27	14.8	-	11.1	11.1	29.6	33.3	25.9	25.9	7.4	14.8	14.8	3.7
	美作地域	10	10.0	-	10.0	20.0	10.0	20.0	50.0	10.0	-	10.0	-	-

3 小・中学校、高校に通っていた頃の状況

問9 あなたが小学生や中学生の時に、家庭で次のような経験をしたことはありますか。

《〇はいくつでも》

① 家庭内での勉強・生活

家庭内での勉強・生活について、「家族と一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした」との回答が68.9%と最も高く、次いで「家で勉強を見てもらった」(47.7%)、「生活に当たって必要なことはなるべく自分でできるように教えてくれた」(31.5%)などの順となっている。

性別にみると、「家族と一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした」との回答は女性(76.8%)が男性(57.8%)を19.0ポイント、「家で勉強を見てもらった」との回答は女性(49.7%)が男性(44.3%)を5.4ポイント、「家族と一緒に自然体験活動に参加した」との回答も女性(27.3%)が男性(21.9%)を5.4ポイント上回っている。

年齢別にみると、「家で勉強を見てもらった」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「生活に当たって必要なことはなるべく自分でできるように教えてくれた」との回答が2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 家庭内での勉強・生活（全体・性別・年齢別・地域別）】

		全体	家で勉強を見てもらった	テレビを見る時間が決められていた	家族から読書を勧められたり、読んだ本の感想を話し合ったりした	家族から読書を勧められたり、読んだ本の感想を話し合ったりした	お金の価値や使い方について教えてくれた	生活に当たって必要なことはなるべく自分でできるように教えてくれた	家族と一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした	家族と一緒に自然体験活動に参加した	その他の印象的な経験	特にない	無回答
令和5年度		964	47.7	15.7	9.5	26.0	31.5	68.9	24.8	1.5	13.3	0.4	
性別	男性	393	44.3	16.5	7.9	26.0	29.3	57.8	21.9	2.0	17.3	0.3	
	女性	557	49.7	15.1	11.0	25.5	32.9	76.8	27.3	1.1	10.6	0.5	
	その他	10	70.0	20.0	-	50.0	50.0	50.0	10.0	-	10.0	-	
	その他	10	70.0	20.0	-	50.0	50.0	50.0	10.0	-	10.0	-	
年齢別	18～19歳	47	55.3	12.8	12.8	31.9	40.4	74.5	27.7	-	12.8	-	
	20～24歳	124	54.0	12.1	10.5	36.3	30.6	79.0	21.0	1.6	7.3	0.8	
	25～29歳	158	51.9	14.6	7.6	23.4	29.7	63.3	22.2	1.3	12.0	0.6	
	30～34歳	315	47.0	16.5	7.9	22.9	34.9	72.1	29.2	1.3	12.4	0.3	
	35～39歳	315	43.2	17.5	11.4	26.0	28.6	63.8	22.9	1.9	17.1	-	
地域別	備前地域	484	47.9	15.3	9.7	24.2	31.4	68.2	27.3	1.0	14.5	-	
	備中地域	392	48.0	17.1	9.2	29.1	33.2	70.4	23.2	1.8	11.7	0.8	
	美作地域	88	45.5	11.4	10.2	22.7	25.0	65.9	18.2	2.3	13.6	1.1	

② 楽しかったこと

楽しかったことについて、「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」との回答が72.9%と最も高く、次いで「学校の行事があるときは見に来てくれた」(65.9%)、「毎日家族と一緒に食事をする機会があった」(52.4%)などの順となっている。

性別にみると、全体的に女性が男性よりも割合が高く、「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」との回答は約8割と最も高くなっている。

年齢別にみると、「家族と一緒に過ごすことがとても楽しいと感じた」、「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「学校の行事があるときは見に来てくれた」との回答が5割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 楽しかったこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	毎日家族と一緒に食事をする機会があった	近所の人と家族ぐるみでつきあっていた	学校の行事があるときは見に来てくれた	家族と一緒に過ごすことがとても楽しいと感じた	つらい時や悲しい時に家族が支えてくれたり、守ってくれたりした	自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした	家の手伝いをして感謝された	その他の印象的な経験	特にない	無回答	
令和5年度	964	52.4	23.3	65.9	39.5	42.1	72.9	42.9	2.5	8.7	0.4	
性別	男性	393	46.8	18.1	58.0	32.6	33.3	63.4	35.6	2.8	12.5	0.3
	女性	557	56.2	27.3	71.8	44.5	48.3	79.5	48.1	2.3	5.9	0.5
	その他	10	60.0	20.0	60.0	30.0	40.0	70.0	40.0	-	20.0	-
年齢別	18～19歳	47	51.1	29.8	70.2	51.1	46.8	83.0	51.1	2.1	4.3	-
	20～24歳	124	53.2	13.7	64.5	44.4	44.4	78.2	47.6	1.6	4.8	0.8
	25～29歳	158	48.7	22.2	63.9	41.8	41.1	74.7	38.6	5.1	8.2	1.3
	30～34歳	315	53.7	24.8	67.0	37.5	40.6	73.3	42.9	1.9	8.9	0.3
	35～39歳	315	53.0	25.1	66.0	37.1	42.9	68.3	42.2	2.2	10.8	-
地域別	備前地域	484	54.8	24.4	69.0	40.9	44.4	75.2	44.4	1.9	7.4	-
	備中地域	392	51.0	21.9	64.0	39.5	39.8	71.7	41.8	2.8	8.4	0.8
	美作地域	88	45.5	23.9	56.8	31.8	39.8	65.9	39.8	4.5	17.0	1.1

③ つらかったこと

つらかったことについて、「やりたいことがあっても我慢をすることが多かった」との回答が21.6%と高く、次いで「兄弟姉妹や他の家の子と比較されることが嫌だった」(12.2%)、「自分や家族が大きな病気をしたり、事故にあったりした」(11.9%)などの順となっている。また、「特にない」との回答も47.1%と高くなっている。

性別にみると、「やりたいことがあっても我慢をすることが多かった」との回答は男性(24.4%)が女性(19.2%)を5.2ポイント上回っている。また、「特にない」との回答も男性(51.1%)が女性(44.3%)を6.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、30~34歳は「やりたいことがあっても我慢をすることが多かった」との回答が2割台半ば、25~29歳は「家に自分の居場所はないと感じていた」との回答が1割超と他の年齢区分に比べ高くなっている。

地域別にみると、美作地域は「兄弟姉妹や他の家の子と比較されることが嫌だった」が1割未満と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 つらかったこと(全体・性別・年齢別・地域別)】

		(%)												
	全体	引越しや転校で、それまで仲の良かった友達と離れた	やりたいことがあっても我慢をすることが多かった	何でも自分一人で決めて、家族に相談することはなかった	自分や家族が大きな病気をしたり、事故にあったりした	家に自分の居場所はないと感じていた	家では一人で食事するなど、一人で過ごす時間が長かった	兄弟姉妹や他の家の子と比較されることが嫌だった	家族の世話をするのが大変だった	親から自分の存在を否定するようなことを言われた	その他の印象的な経験	特にない	無回答	
	令和5年度	964	10.4	21.6	6.8	11.9	6.4	3.6	12.2	2.9	6.7	5.1	47.1	3.6
性別	男性	393	9.9	24.4	7.6	9.4	5.3	4.6	10.2	2.3	4.3	4.1	51.1	2.5
	女性	557	10.2	19.2	6.3	13.5	6.8	3.1	13.8	3.1	8.3	5.9	44.3	4.5
	その他	10	20.0	40.0	10.0	10.0	20.0	-	10.0	10.0	10.0	-	50.0	-
年齢別	18~19歳	47	4.3	10.6	4.3	10.6	4.3	4.3	2.1	2.1	-	2.1	66.0	2.1
	20~24歳	124	9.7	21.0	2.4	6.5	2.4	0.8	7.3	2.4	4.0	0.8	59.7	2.4
	25~29歳	158	7.0	19.6	7.6	10.1	12.0	3.8	13.3	3.8	7.0	7.0	46.8	6.3
	30~34歳	315	10.8	26.0	7.3	13.3	6.7	4.8	17.1	3.2	7.0	6.0	41.3	2.2
	35~39歳	315	13.0	20.3	7.9	13.3	5.4	3.5	10.5	2.5	8.6	5.4	45.4	4.4
地域別	備前地域	484	10.1	21.7	5.8	12.4	6.0	3.3	12.4	2.9	7.6	5.2	46.1	3.5
	備中地域	392	11.0	22.2	8.2	11.5	7.4	4.6	13.3	3.3	6.9	5.4	47.4	3.3
	美作地域	88	9.1	18.2	6.8	11.4	4.5	1.1	6.8	1.1	1.1	3.4	51.1	5.7

問10 あなたは子どもの頃、次のような経験をしたことはありますか。《○はいくつでも》

① 自然体験

自然体験について、「海や川、雪の中で遊んだ」との回答が72.6%と最も高く、次いで「生き物を飼った」(71.5%)、「自然の中でハイキングやキャンプをした」(50.4%)などの順となっている。

性別にみると、「自分でナイフや包丁を使って作った料理を食べておいしいと思った」との回答は女性(44.2%)が男性(36.9%)を7.3ポイント、「生き物を飼った」との回答は女性(74.0%)が男性(67.7%)を6.3ポイント上回っている。また、「特にない」との回答は男性(11.2%)が女性(4.8%)を6.4ポイント上回っている。

年齢別にみると、30～39歳は「自然の中でハイキングやキャンプをした」との回答が5割台半ばと他の年代より高くなっている。また、18～24歳は「自分でナイフや包丁を使って作った料理を食べておいしいと思った」との回答が約5割と他の年代より高くなっている。

地域別にみると、美作地域は「海や川、雪の中で遊んだ」との回答が約8割、「太陽が昇るところや沈むところ、夜空の星を見たりした」との回答が約5割と高くなっている。

【図表 自然体験（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	自然の中でハイキングやキャンプをした	太陽が昇るところや沈むところ、夜空の星を見たりした	海や川、雪の中で遊んだ	生き物を飼った	自分でナイフや包丁を使って作った料理を食べておいしいと思った	その他の印象的な自然体験	特にない	無回答	
令和5年度	964	50.4	39.2	72.6	71.5	41.4	2.1	7.6	0.7	
性別	男性	393	49.4	38.4	70.0	67.7	36.9	2.8	11.2	-
	女性	557	51.9	39.9	74.3	74.0	44.2	1.6	4.8	1.3
	その他	10	30.0	30.0	70.0	70.0	50.0	-	20.0	-
年齢別	18～19歳	47	40.4	44.7	63.8	66.0	48.9	2.1	10.6	-
	20～24歳	124	38.7	41.1	73.4	69.4	51.6	2.4	5.6	1.6
	25～29歳	158	38.6	34.8	67.7	67.1	38.0	2.5	11.4	1.9
	30～34歳	315	55.6	37.1	72.7	72.4	41.9	2.5	7.3	0.6
	35～39歳	315	57.1	41.9	75.9	74.3	37.5	1.3	6.0	-
地域別	備前地域	484	51.9	37.2	71.9	70.5	42.1	1.4	7.6	0.2
	備中地域	392	49.7	39.5	71.9	71.9	41.1	3.1	7.9	1.3
	美作地域	88	45.5	48.9	79.5	75.0	38.6	1.1	5.7	1.1

② 印象的な経験

印象的な経験について、「一生懸命にやったことが認められた」との回答が43.3%と最も高く、次いで「友達と協力して何かを作り上げた」(39.5%)、「赤ちゃんのお世話をしたり、自分より小さな子と一緒に遊んだりした」(37.2%)などの順となっている。

性別にみると、「赤ちゃんのお世話をしたり、自分より小さな子と一緒に遊んだりした」との回答は女性(42.9%)が男性(29.0%)を13.9ポイント、「困ったときや悲しいときに、まわりの人が助けてくれた」との回答は女性(40.4%)が男性(29.8%)を10.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、「困っている人を助けてお礼を言われた」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 印象的な経験（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	困っている人を助けてお礼を言われた	弱いやめものいじめやケンカをさせた	拾って交番へ届けたりした	道に落ちていたゴミを捨てたり、落とした物を一緒に遊んだりした	赤ちゃんのお世話をしたり、自分より小さな子と一緒に遊んだりした	友達と協力して何かを作り上げた	一生懸命にやったことが認められた	困ったときや悲しいときに、まわりの人が助けてくれた	仕事の経験をして興味が湧いた	その他の印象的な経験	特にない	無回答
令和5年度	964	32.1	12.4	28.5	37.2	39.5	43.3	36.2	12.8	1.1	16.0	1.3	
性別	男性	393	33.1	12.0	28.0	29.0	37.7	42.5	29.8	10.2	1.8	19.3	0.8
	女性	557	31.4	12.7	29.3	42.9	41.3	43.8	40.4	14.2	0.7	13.3	1.8
	その他	10	20.0	10.0	-	30.0	20.0	20.0	30.0	40.0	-	40.0	-
	18～19歳	47	42.6	17.0	44.7	57.4	55.3	55.3	57.4	17.0	-	6.4	-
年齢別	20～24歳	124	37.9	7.3	26.6	36.3	41.9	50.0	40.3	11.3	1.6	9.7	0.8
	25～29歳	158	31.6	11.4	26.6	36.7	40.5	39.2	34.8	12.0	0.6	14.6	2.5
	30～34歳	315	31.4	11.4	29.2	36.5	34.9	44.4	32.1	12.7	1.6	21.9	1.3
	35～39歳	315	28.9	15.2	27.3	35.6	40.6	40.0	36.2	13.3	1.0	14.6	1.0
地域別	備前地域	484	33.1	11.8	26.4	38.8	40.5	45.5	35.1	12.0	0.8	15.1	0.8
	備中地域	392	30.9	13.3	30.1	34.2	38.8	41.6	38.5	14.5	1.5	15.3	2.0
	美作地域	88	31.8	12.5	33.0	42.0	37.5	38.6	31.8	9.1	1.1	23.9	1.1

問 1 1 あなたは、あなたが小・中学校、高校に通学していた頃、「学校に行きたくない」と思ったことがありますか。また、その頻度について、教えてください。《○は1つ》

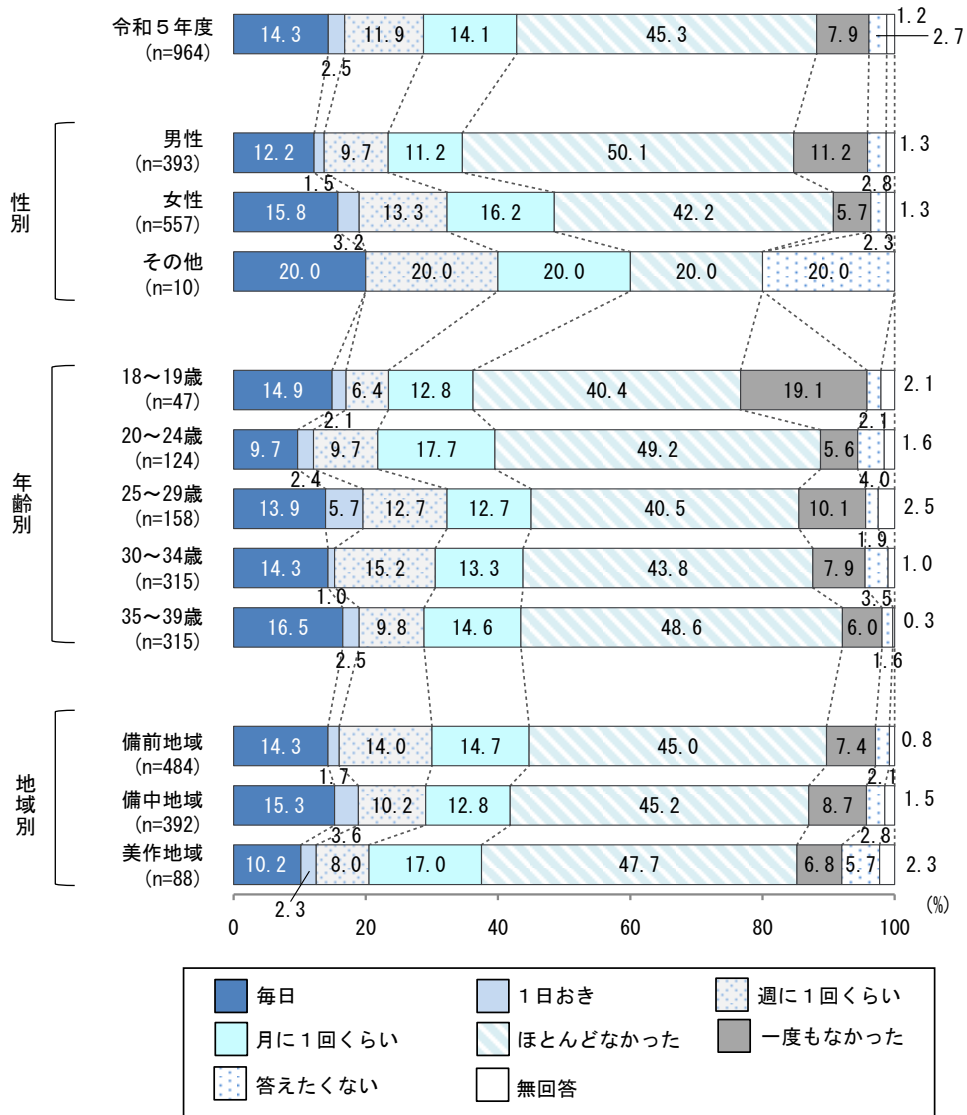
学校に行きたくないと思った頻度について、「ほとんどなかった」との回答が 45.3%と最も高く、次いで「毎日」(14.3%)、「月に1回くらい」(14.1%)などの順となっている。

性別にみると、「ほとんどなかった」との回答は男性(50.1%)が女性(42.2%)を7.9ポイント、「一度もなかった」との回答も男性(11.2%)が女性(5.7%)を5.5ポイント上回っている。また、「月に1回くらい」との回答は女性(16.2%)が男性(11.2%)を5.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳は「一度もなかった」との回答が約2割と高くなっている。また、20～24歳は「ほとんどなかった」との回答が約5割と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 学校に行きたくないと思った頻度（全体・性別・年齢別・地域別）】



(問11で「1～4」に○がついた人だけお答えください。)

問11-1 あなたが、「学校に行きたくない」と思った理由は何ですか。《○はいくつでも》

学校に行きたくないと思った理由について、「友達のこと」での回答が45.5%と最も高く、次いで「いじめや暴力のこと」(24.7%)、「授業のこと」(17.4%)などの順となっている。

性別にみると、「友達のこと」での回答は女性(54.4%)が男性(27.2%)を27.2ポイント上回っている。また、「成績や進学のこと」での回答は男性(19.1%)が女性(13.0%)を6.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、25～29歳は「成績や進学のこと」での回答が2割超、35～39歳は「友達のこと」での回答が5割台半ばと高くなっている。また、20～24歳は「いじめや暴力のこと」での回答が約1割と低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「いじめや暴力のこと」での回答が約1割、「外見や性格のこと」での回答が1割未満と低くなっている。また、同地域で「成績や進学のこと」、「部(クラブ)活動のこと」での回答は他の地域に比べ高くなっている。

【図表 学校に行きたくないと思った理由(全体・性別・年齢別・地域別)】

															(%)	
		全体	友達のこと	学校の先生のこと	成績や進学のこと	授業のこと	暴力のいじめや	外見や性格のこと	恋愛の相手や	部活動(クラブ)	家族のこと	その他	特にな	答えたくない	無回答	
令和5年度		413	45.5	17.2	15.5	17.4	24.7	11.1	1.0	15.5	5.3	16.9	8.0	1.5	0.2	
性別	男性	136	27.2	17.6	19.1	15.4	27.2	11.0	1.5	13.2	4.4	19.1	10.3	2.2	-	
	女性	270	54.4	16.3	13.0	17.4	22.6	11.1	0.4	16.7	5.6	16.3	7.0	1.1	0.4	
	その他	6	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	
年齢別	18～19歳	17	47.1	41.2	11.8	5.9	23.5	11.8	5.9	17.6	5.9	17.6	11.8	5.9	-	
	20～24歳	49	42.9	18.4	16.3	16.3	8.2	6.1	2.0	18.4	4.1	22.4	8.2	4.1	-	
	25～29歳	71	39.4	19.7	22.5	25.4	28.2	14.1	-	18.3	7.0	21.1	4.2	-	-	
	30～34歳	138	39.1	14.5	14.5	21.0	23.2	7.2	-	16.7	5.1	17.4	8.7	2.2	0.7	
	35～39歳	137	55.5	14.6	12.4	11.7	30.7	14.6	1.5	11.7	5.1	12.4	8.8	-	-	
地域別	備前地域	216	46.8	14.4	12.0	13.9	24.1	12.0	0.5	15.7	3.7	17.6	6.9	1.4	-	
	備中地域	164	43.3	21.3	18.3	22.0	28.7	11.6	1.8	14.0	8.5	16.5	8.5	1.2	0.6	
	美作地域	33	48.5	15.2	24.2	18.2	9.1	3.0	-	21.2	-	15.2	12.1	3.0	-	

4 近所の人との関わりや地域活動について

問12 あなたは、最近1年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。

《○はいくつでも》

参加した地域活動について、「参加したことがない」との回答が42.7%と最も高く、次いで「お祭りなどの地域の行事」(39.6%)、「子ども会・町内会行事」(21.9%)などの順となっている。

性別にみると、「幼児(小さな子)や高齢者との交流」との回答は女性(15.4%)が男性(8.7%)を6.7ポイント上回っている。

年齢別にみると、35～39歳は「お祭りなどの地域の行事」との回答が約5割、「子ども会・町内会行事」との回答が3割台半ば、「清掃・廃品回収」との回答が約3割と高くなっており、「公民館などの催し」も加えて、これらの活動で年齢が上がるにつれ高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、美作地域で「お祭りなどの地域の行事」との回答が4割台半ば、「子ども会・町内会行事」との回答が約3割と高くなっている。

【図表 参加した地域活動(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)

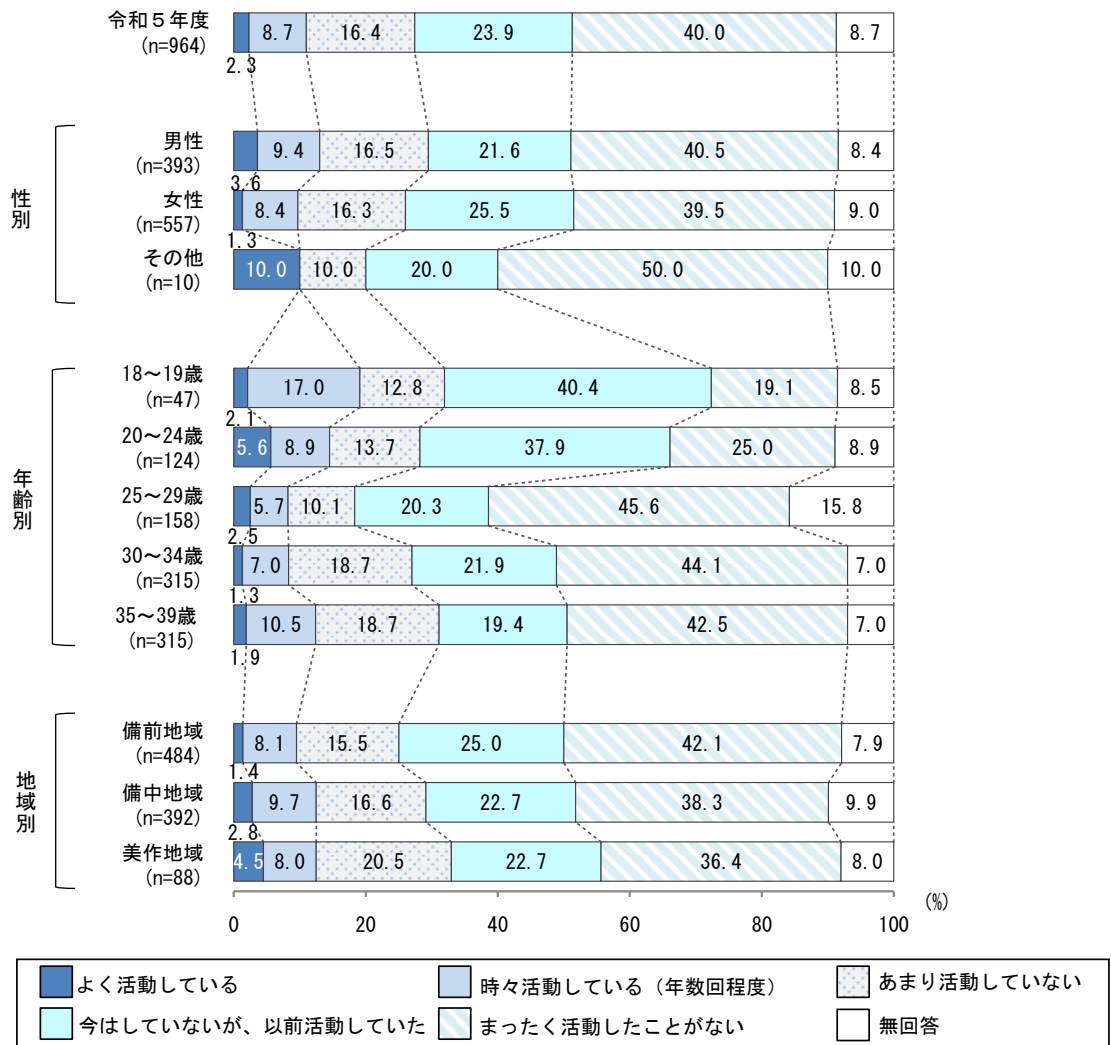
	全体	お祭りなどの地域の行事	子ども会・町内会行事	清掃・廃品回収	公民館などの催し	幼児(小さな子)や高齢者との交流	あいきさつ・声かけ運動	その他	参加したことがない	無回答	
令和5年度	964	39.6	21.9	20.6	8.4	12.6	10.5	1.2	42.7	1.0	
性別	男性	393	36.9	21.4	21.4	6.9	8.7	9.4	1.5	44.0	0.3
	女性	557	41.7	22.1	20.5	9.3	15.4	11.3	1.1	41.7	1.6
	その他	10	30.0	30.0	-	10.0	10.0	10.0	-	50.0	-
	合計	964	39.6	21.9	20.6	8.4	12.6	10.5	1.2	42.7	1.0
年齢別	18～19歳	47	34.0	10.6	12.8	4.3	14.9	12.8	-	48.9	2.1
	20～24歳	124	29.0	11.3	8.1	4.0	11.3	6.5	2.4	56.5	-
	25～29歳	158	33.5	12.7	14.6	5.7	11.4	8.9	0.6	46.8	1.9
	30～34歳	315	39.7	21.3	20.3	9.5	13.3	10.2	0.6	41.3	1.6
	35～39歳	315	47.3	33.0	30.2	11.1	12.7	12.7	1.9	35.9	0.3
地域別	備前地域	484	41.3	22.9	19.2	7.9	13.0	11.4	1.0	41.5	1.2
	備中地域	392	36.0	18.9	22.2	8.7	12.2	9.4	1.8	45.2	1.0
	美作地域	88	46.6	29.5	21.6	10.2	11.4	10.2	-	38.6	-

問 1 3 あなたは、ボランティア活動をしていますか。《○は1つ》

ボランティア活動の参加頻度について、「まったく活動したことがない」との回答が40.0%と最も高く、次いで「今はしていないが、以前活動していた」(23.9%)、「あまり活動していない」(16.4%)などの順となっている。

年齢別にみると、18～19歳で「時々活動している」との回答が約2割と高くなっている。また、18～24歳で「まったく活動したことがない」との回答が約2割から2割台半ばと低くなっている。地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 ボランティア活動の参加頻度（全体・性別・年齢別・地域別）】



(問12で「8. 参加したことがない」または問13で「5. まったく活動したことがない」に○がついた人だけお答えください。)

問14 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加しないのは、なぜですか。

《○は3つまで》

地域活動やボランティア活動に参加しない理由について、「活動の時間がない」との回答が40.7%と最も高く、次いで「活動の情報がない」(25.2%)、「興味・関心がない」(23.8%)などの順となっている。

性別にみると、「活動の時間がない」との回答は女性(45.0%)が男性(34.9%)を10.1ポイント、「参加の方法が分からない」との回答は女性(16.6%)が男性(9.5%)を7.1ポイント上回っている。また、「興味・関心がない」との回答は男性(28.4%)が女性(20.7%)を7.7ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳で「気軽に参加できる活動が少ない」との回答が2割超、25～29歳で「興味・関心がない」、「活動の情報がない」との回答が3割超から3割台半ば、30～39歳で「活動の時間がない」との回答が4割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、美作地域で「活動の情報がない」との回答が1割台半ば、「活動の時間がない」との回答が約3割と低くなっている。また、備前地域では「気軽に参加できる活動が少ない」との回答が1割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 地域活動やボランティア活動に参加しない理由(全体・性別・年齢別・地域別)】

		(%)													
		全体	活動の情報がない	参加の方法が分からない	活動の時間がない	気軽に参加できる活動が少ない	誘ってこない仲間	活動するのかわざらわしい	しばらく団体などにいられたくない	自分にとっても何の得にもならない	興味・関心がない	その他	特に理由はない	無回答	
性別	令和5年度	580	25.2	13.4	40.7	10.0	11.2	10.5	13.1	4.0	23.8	3.4	14.0	3.4	
	男性	232	21.6	9.5	34.9	9.1	9.5	11.6	12.5	4.3	28.4	4.3	15.1	3.4	
	女性	338	27.8	16.6	45.0	10.9	12.7	9.8	13.9	3.6	20.7	3.0	12.7	3.0	
	その他	7	14.3	-	28.6	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	42.9	14.3	
年齢別	18～19歳	23	17.4	13.0	34.8	21.7	17.4	4.3	-	-	26.1	4.3	13.0	13.0	
	20～24歳	80	25.0	11.3	37.5	8.8	7.5	6.3	5.0	1.3	16.3	1.3	17.5	8.8	
	25～29歳	99	33.3	11.1	34.3	7.1	14.1	10.1	11.1	5.1	31.3	2.0	22.2	1.0	
	30～34歳	194	22.7	12.4	43.8	7.2	9.8	10.8	14.4	5.7	26.8	3.6	11.9	3.1	
	35～39歳	182	24.2	17.0	43.4	13.7	12.1	13.2	18.1	3.3	19.2	4.9	10.4	1.6	
地域別	備前地域	296	28.0	15.2	42.9	13.9	13.5	10.8	14.2	4.7	23.3	3.4	10.8	2.4	
	備中地域	232	23.7	12.1	40.1	6.5	8.6	9.9	10.8	3.4	24.1	2.2	17.7	5.2	
	美作地域	52	15.4	9.6	30.8	3.8	9.6	11.5	17.3	1.9	25.0	9.6	15.4	1.9	

問15 あなたは、近所（同じ町内会）の人とのかかわりはどの程度ですか。《○は1つ》

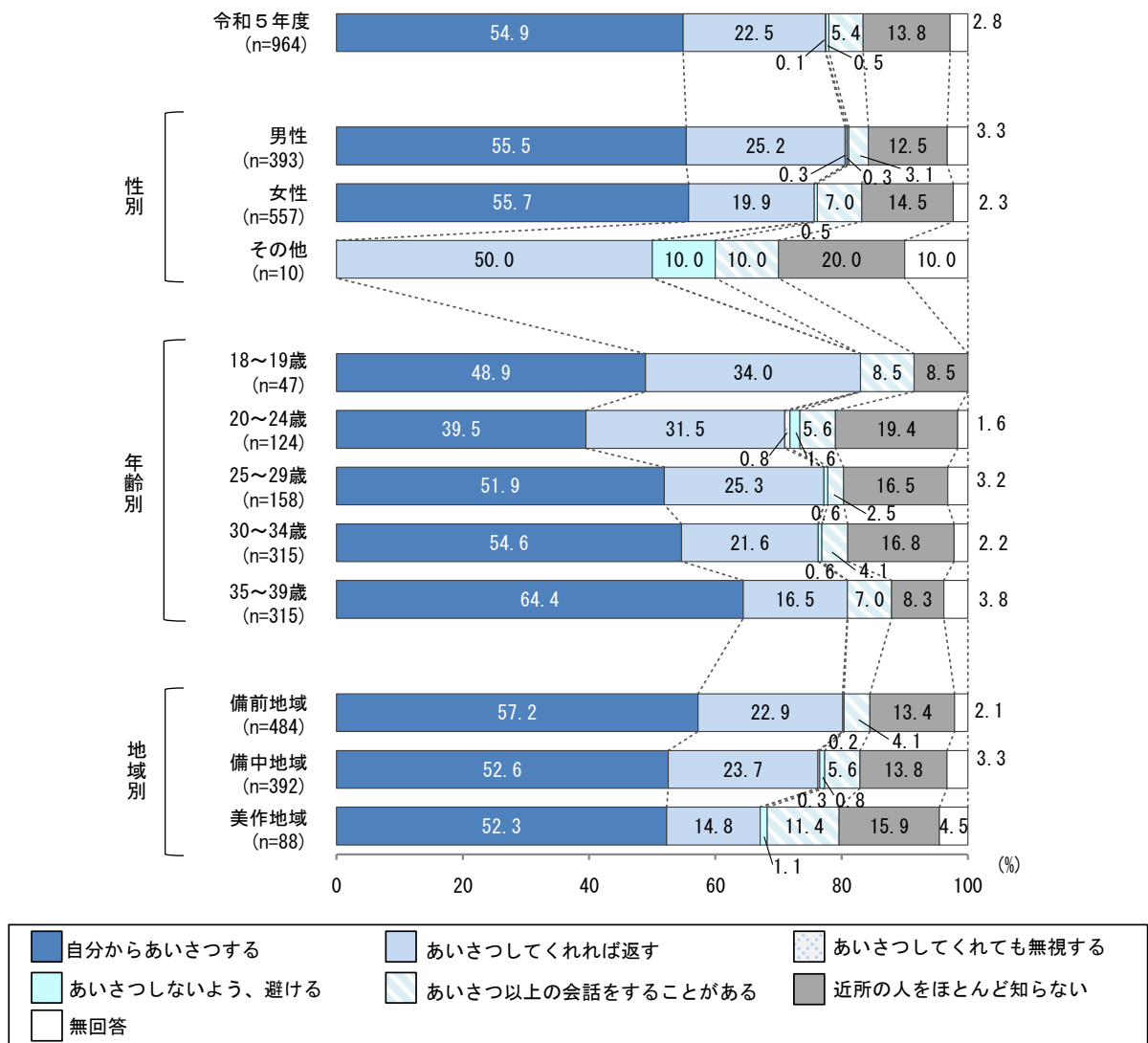
近所の人とのかかわりの程度について、「自分からあいさつする」との回答が54.9%と最も高く、次いで「あいさつしてくれれば返す」（22.5%）、「近所の人をほとんど知らない」（13.8%）などの順となっている。

性別にみると、「あいさつしてくれれば返す」との回答は男性（25.2%）が女性（19.9%）を5.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、「自分からあいさつする」との回答が18～19歳を除いて、年齢が上がるにつれて高くなっている。逆に、「あいさつしてくれれば返す」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「あいさつしてくれれば返す」との回答が1割台半ばと低くなっている。また、「あいさつ以上の会話をする」との回答は1割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 近所の人とのかかわりの程度（全体・性別・年齢別・地域別）】



問 1 6 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。《○はいくつでも》

地域の人と一緒にしたいことについて、「特にない」との回答が 75.0%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」(8.9%)、「一緒に体験活動がしたい」(7.9%)などの順となっている。

性別にみると、「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」との回答は男性(12.2%)が女性(6.8%)を 5.4 ポイント上回っている。

年齢別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 地域の人と一緒にしたいこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	一緒に遊びたい	一緒にスポーツをしたり体を動かしたい	一緒に地域のことについて学びたい	企画や運営がしたい	一緒に地域の行事やイベントなどのこと	一緒に体験活動がしたい	一緒に地域のことや未来のことについて話がしたい	その他	特にない	無回答
令和5年度	964	7.5	8.9	4.9	7.8	7.9	2.9	0.9	75.0	0.9	
性別	男性	393	7.9	12.2	5.9	7.6	9.4	4.1	1.3	72.8	1.0
	女性	557	7.2	6.8	4.3	8.1	7.0	2.0	0.7	76.3	0.9
	その他	10	-	-	-	-	-	10.0	-	90.0	-
	その他	10	-	-	-	-	-	10.0	-	90.0	-
年齢別	18～19歳	47	6.4	14.9	4.3	6.4	14.9	4.3	-	63.8	-
	20～24歳	124	1.6	7.3	3.2	8.9	5.6	2.4	-	79.0	0.8
	25～29歳	158	5.7	5.7	3.8	7.0	5.1	0.6	-	81.0	1.3
	30～34歳	315	7.9	7.6	3.8	7.0	7.0	3.8	1.6	76.8	1.3
	35～39歳	315	10.5	11.4	7.3	8.6	10.2	3.2	1.3	70.5	0.6
地域別	備前地域	484	7.4	9.7	4.5	7.6	8.5	2.5	1.0	74.8	1.0
	備中地域	392	7.7	7.9	5.1	8.7	7.7	2.6	0.8	74.5	1.0
	美作地域	88	6.8	9.1	5.7	4.5	5.7	6.8	1.1	78.4	-

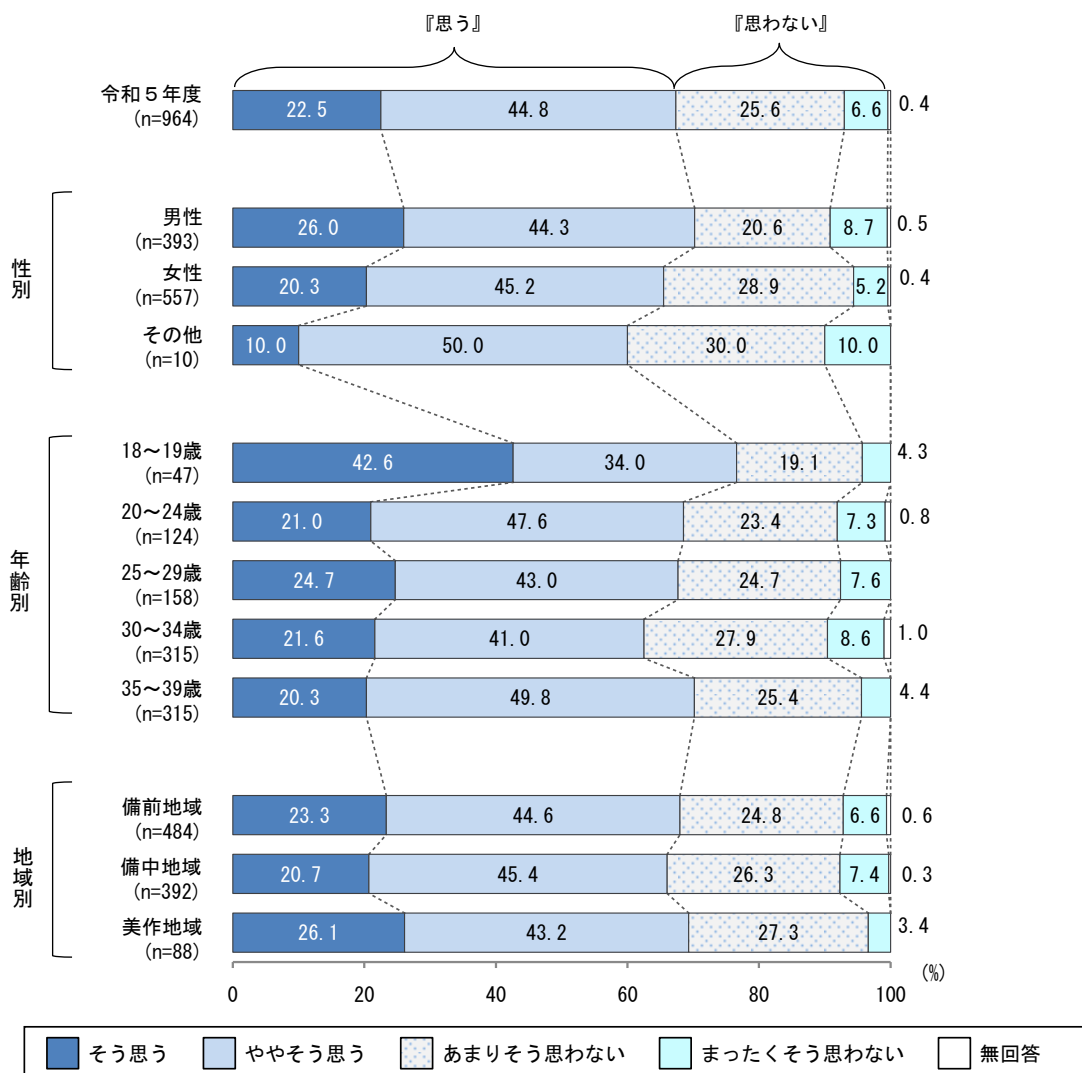
問17 あなた自身のことについておたずねします。《○は①～⑨それぞれ1つずつ》

① 今の自分が好きである

今の自分が好きであるかどうかについて、年齢別にみると、35～39歳を除いて『思う』（「思う」と「やや思う」を合わせた割合）との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 今の自分が好きである（全体・性別・年齢別・地域別）】

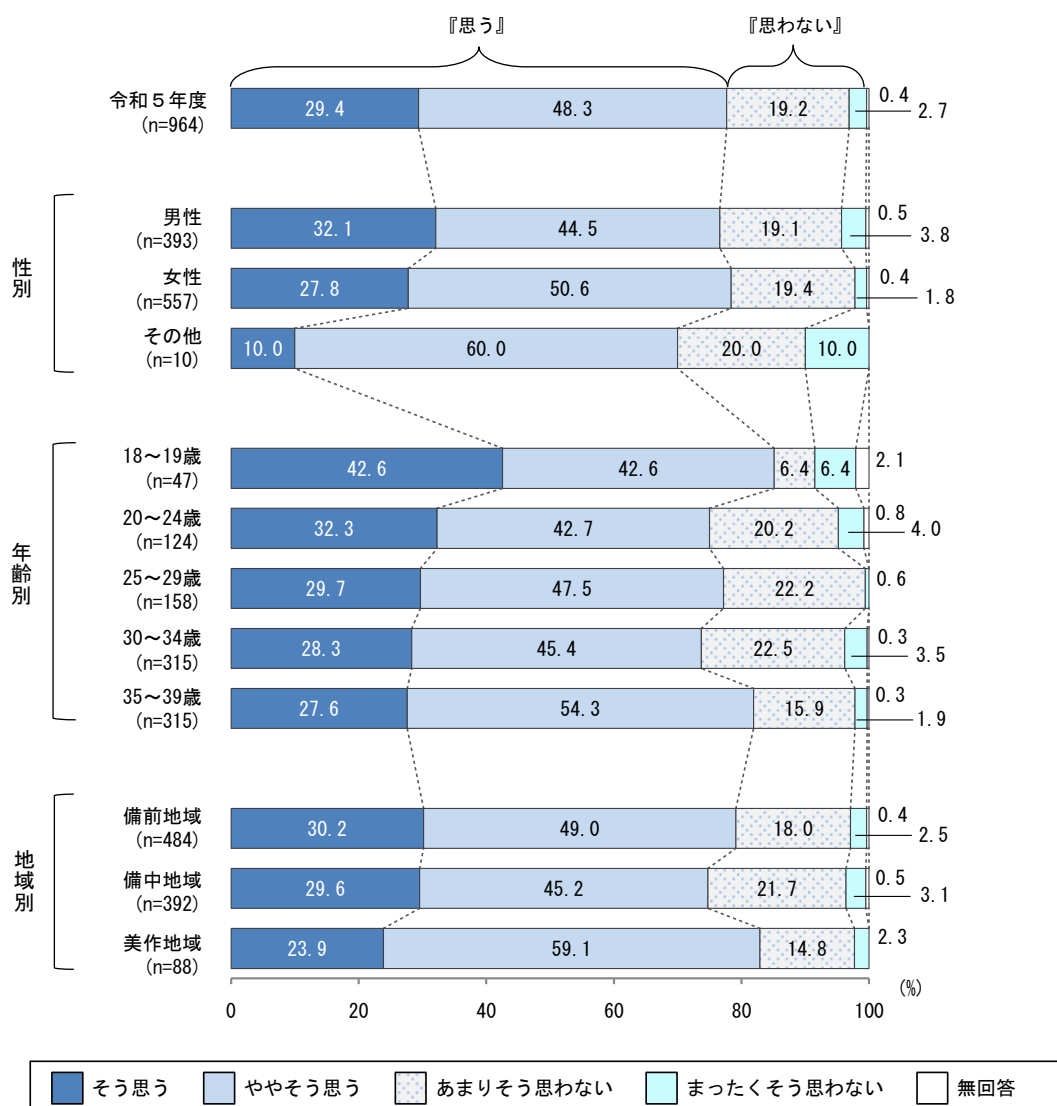


② 自分にはよいところがあると思う

自分にはよいところがあると思うかどうかについて、年齢別にみると、20～34歳で『思わない』（「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」を合わせた割合）との回答が2割超から2割台半ばと高くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 自分にはよいところがあると思う（全体・性別・年齢別・地域別）】



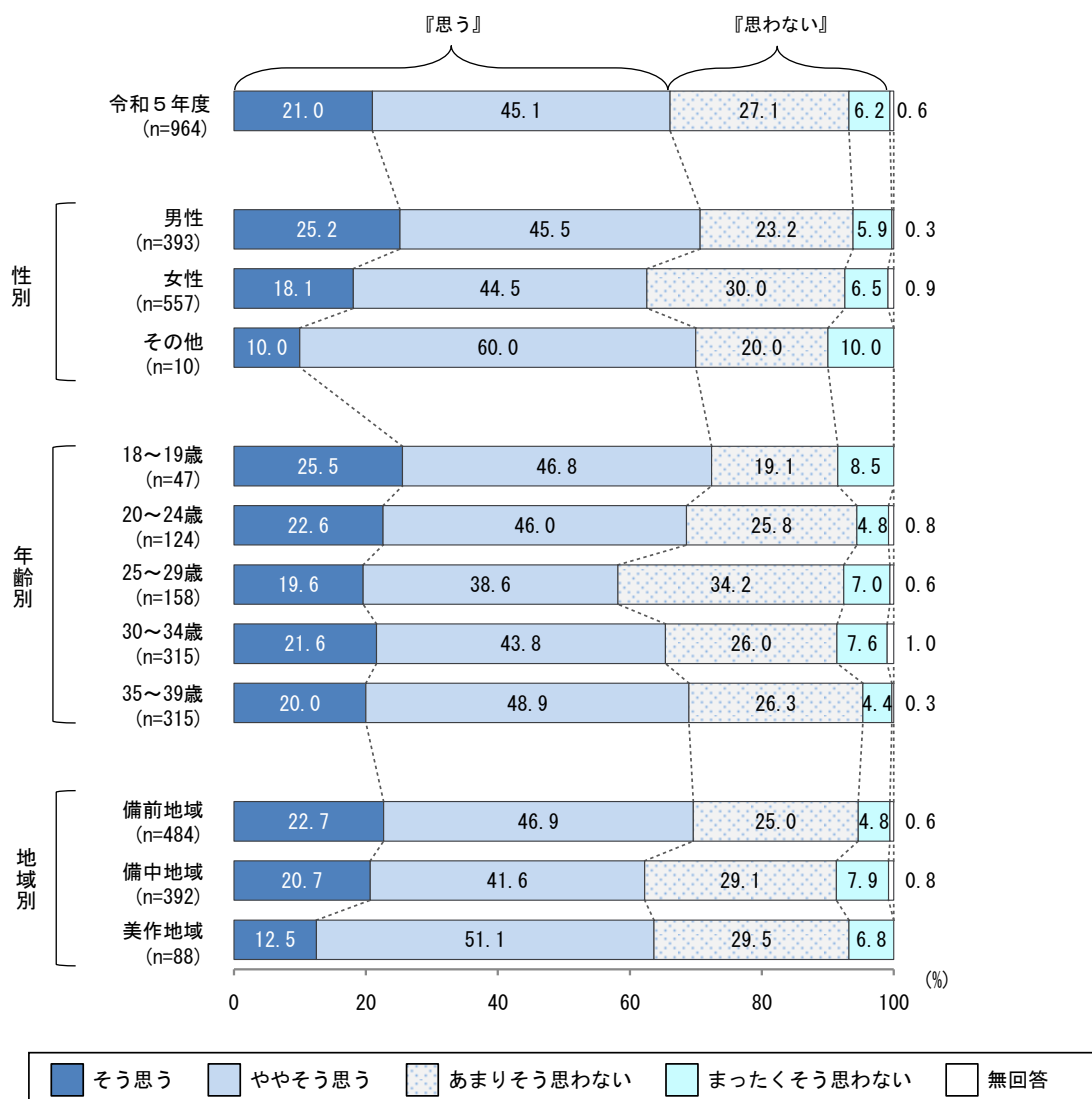
③ 自分は社会のために役に立つことができると思う

自分は社会のために役に立つことができると思うかどうかについて、性別にみると、『思う』との回答は男性（70.7%）が女性（62.6%）を8.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、25～29歳で『思う』との回答が約6割と低くなっている。

地域別にみると、備前地域で『思う』との回答が約7割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 自分は社会のために役に立つことができると思う（全体・性別・年齢別・地域別）】

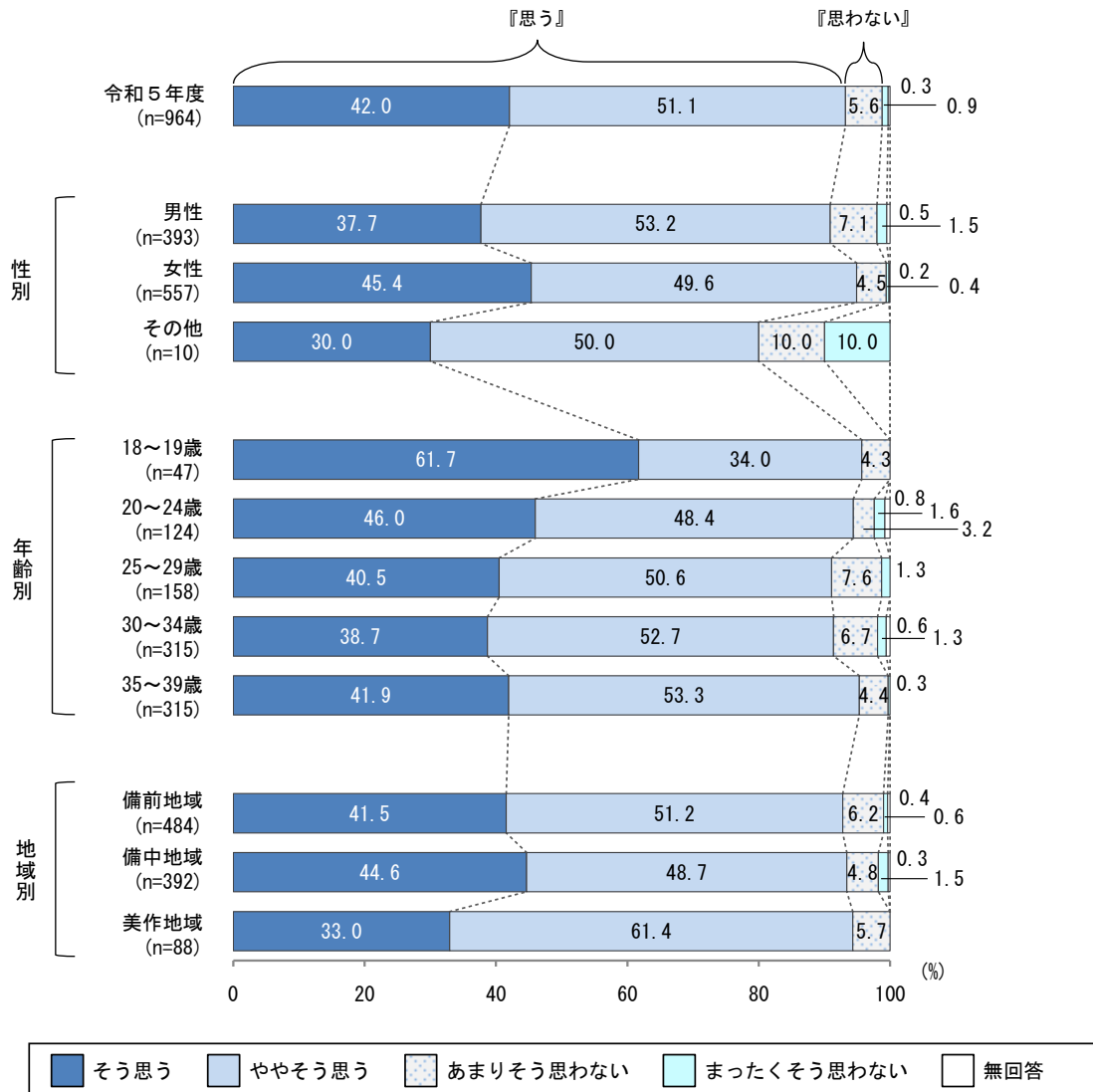


④ きまりやルールをきちんと守るほうだ

きまりやルールをきちんと守るほうかどうかについて、『思う』との回答が 93.1%、『思わない』との回答が 6.5%となっている。

性別、年齢別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 きまりやルールをきちんと守るほうだ（全体・性別・年齢別・地域別）】



⑤ どんなことでも積極的なほうだ

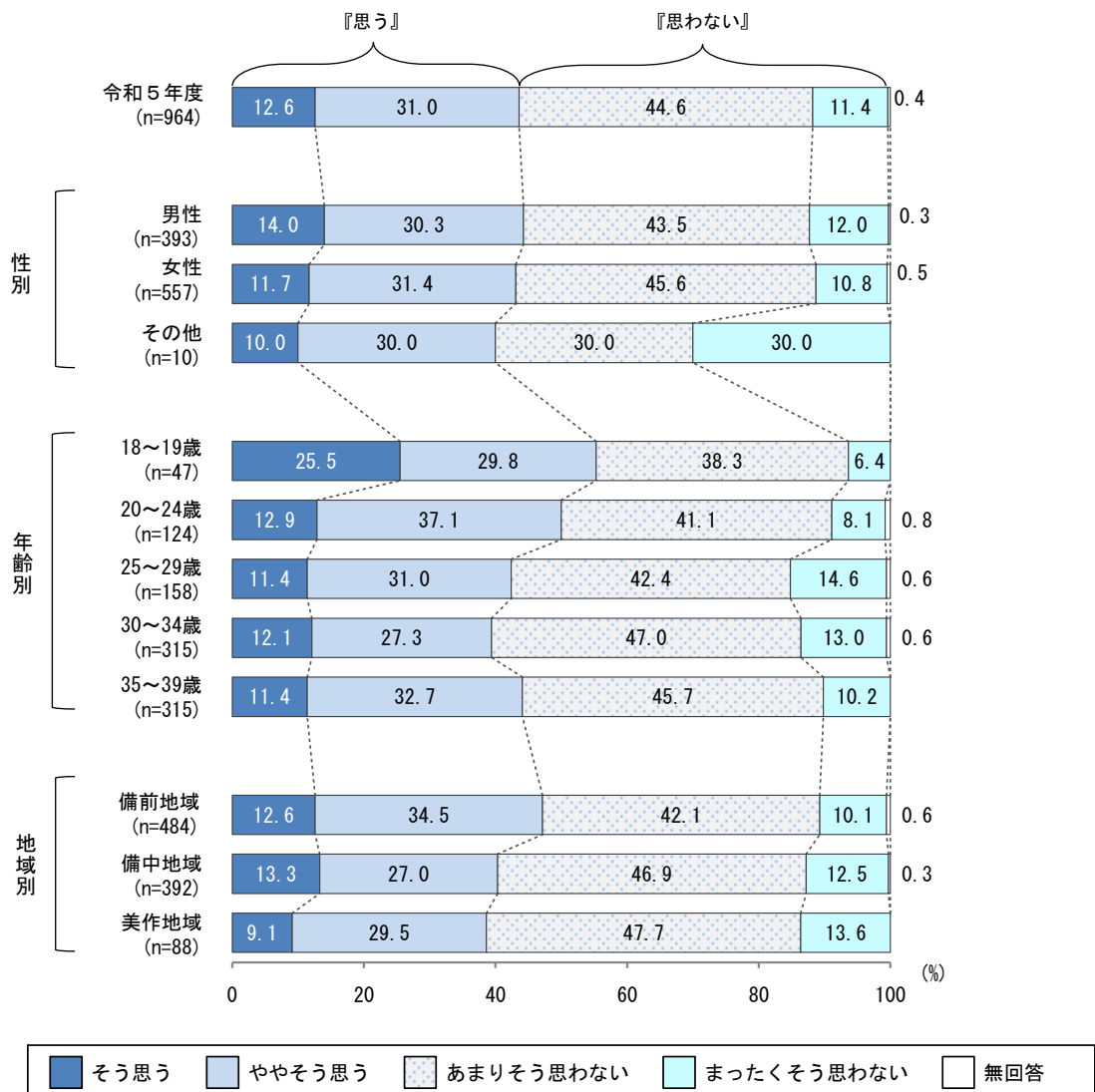
どんなことでも積極的なほうかについて、『思う』との回答が 43.6%、『思わない』との回答が 56.0%となっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、35～39歳を除いて『思う』との回答は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、備前地域で『思う』との回答が約5割と高くなっている。

【図表 どんなことでも積極的なほうだ（全体・性別・年齢別・地域別）】



⑥ キレやすい

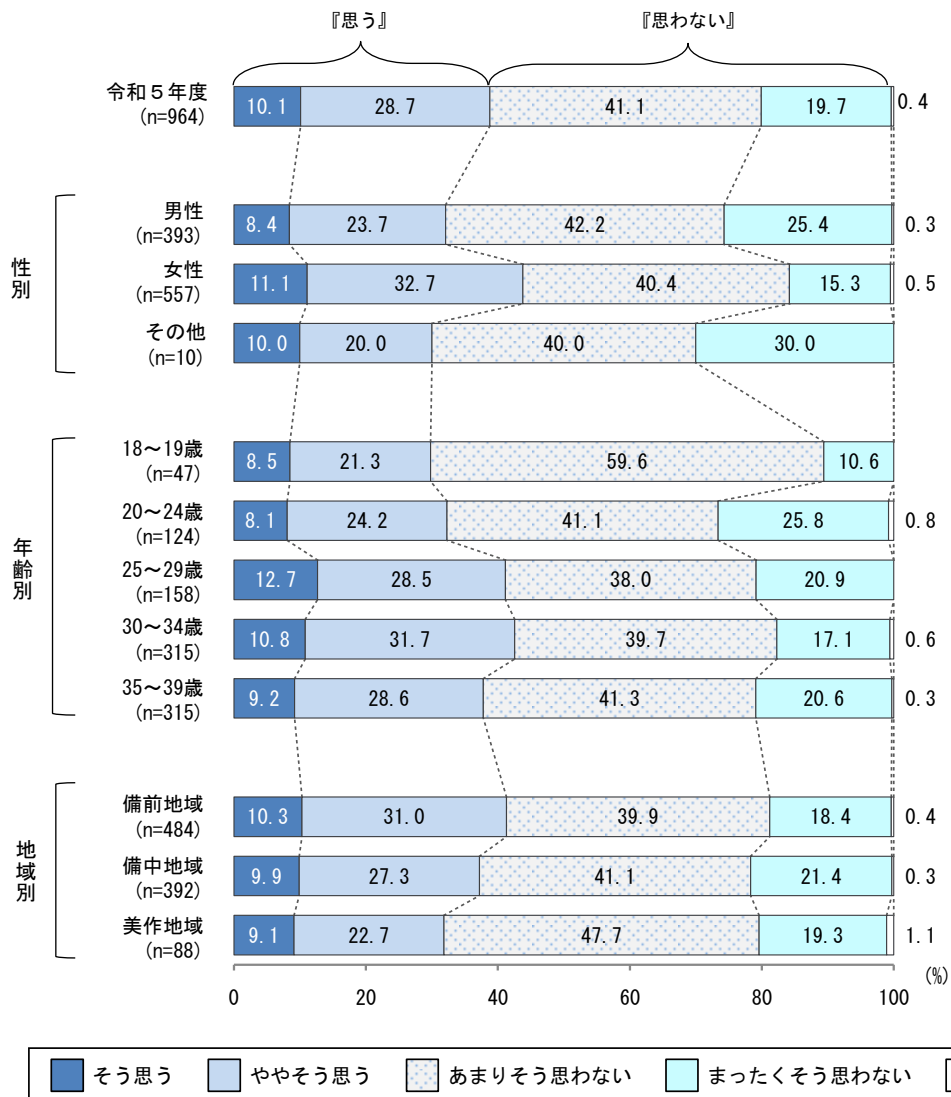
キレやすいかどうかについて、『思う』との回答が 38.8%、『思わない』との回答が 60.8%となっている。

性別にみると、『思う』との回答は女性（43.8%）が男性（32.1%）を 11.7 ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～24 歳で『思う』との回答が 3 割前後と低くなっている。

地域別にみると、美作地域で『思う』との回答が 3 割超と低くなっている。

【図表 キレやすい（全体・性別・年齢別・地域別）】



⑦ つまらないことですぐに落ちこむ

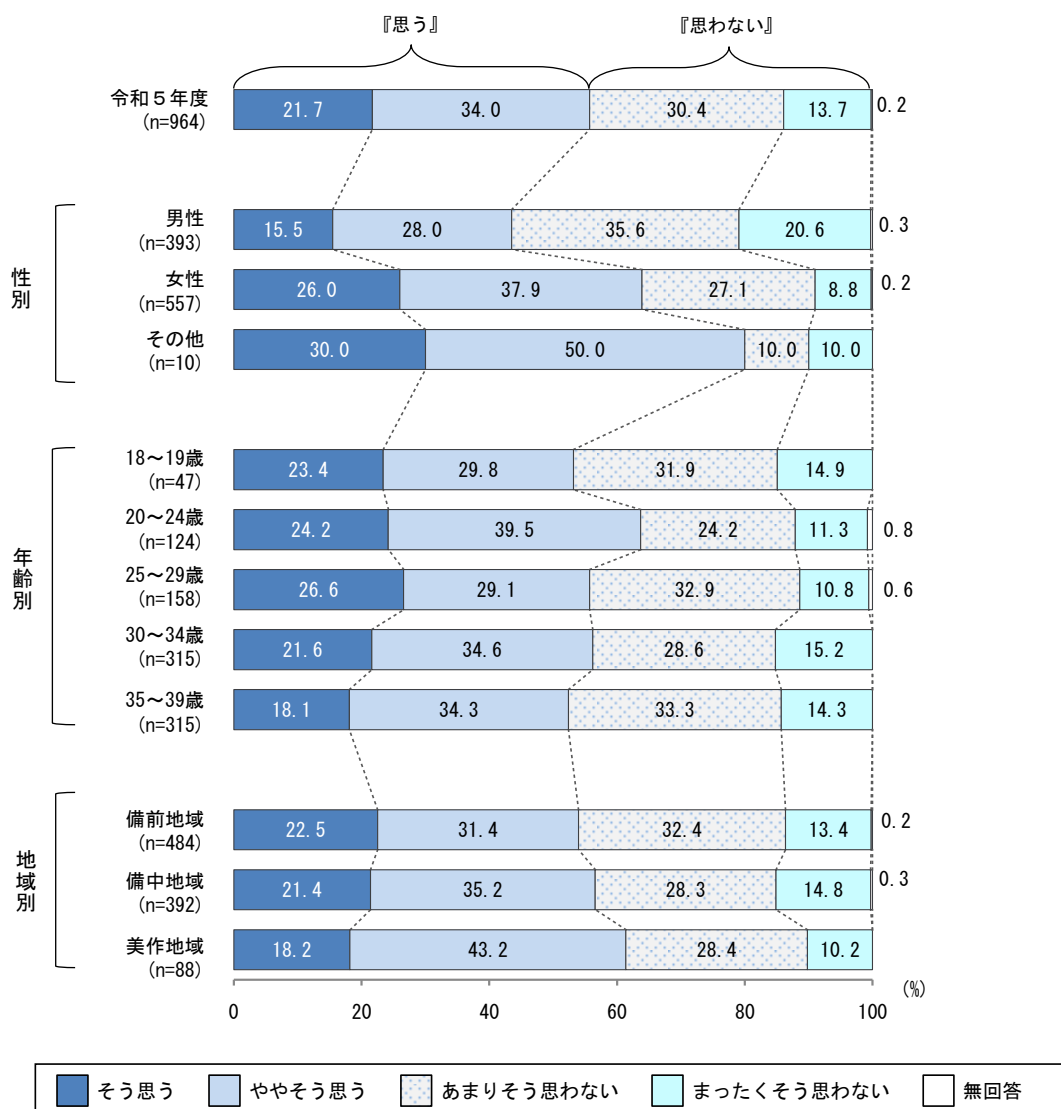
つまらないことですぐに落ちこむかどうかについて、『思う』との回答が55.7%、『思わない』との回答が44.1%となっている。

性別にみると、『思う』との回答は女性（63.9%）が男性（43.5%）を20.4ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～24歳で『思う』との回答が6割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 つまらないことですぐに落ちこむ（全体・性別・年齢別・地域別）】



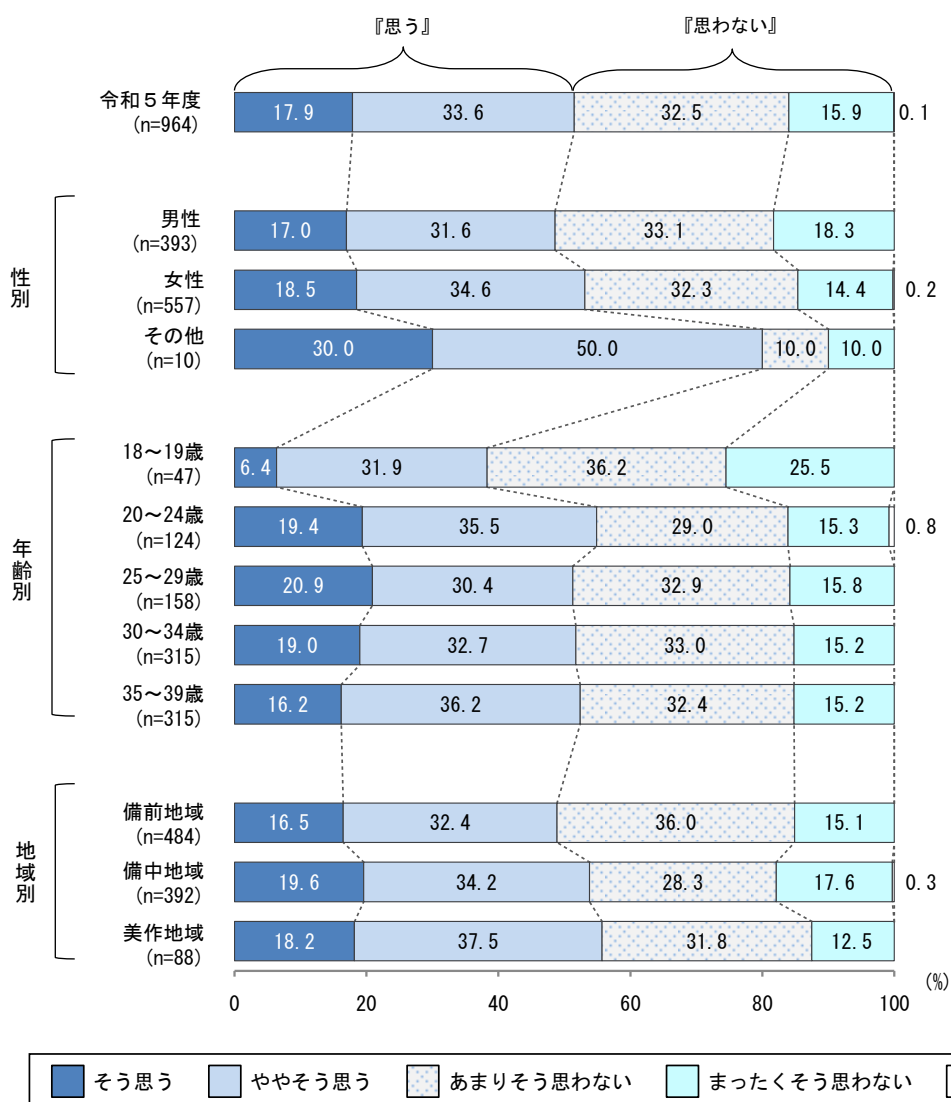
⑧ 人とつきあうのが苦手だ

人とつきあうのが苦手かどうかについて、『思う』との回答が 51.5%、『思わない』との回答が 48.4%となっている。

年齢別にみると、18～19歳で『思う』との回答が約4割と低くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 人とつきあうのが苦手だ（全体・性別・年齢別・地域別）】



⑨ 自信を持ってやれることがない

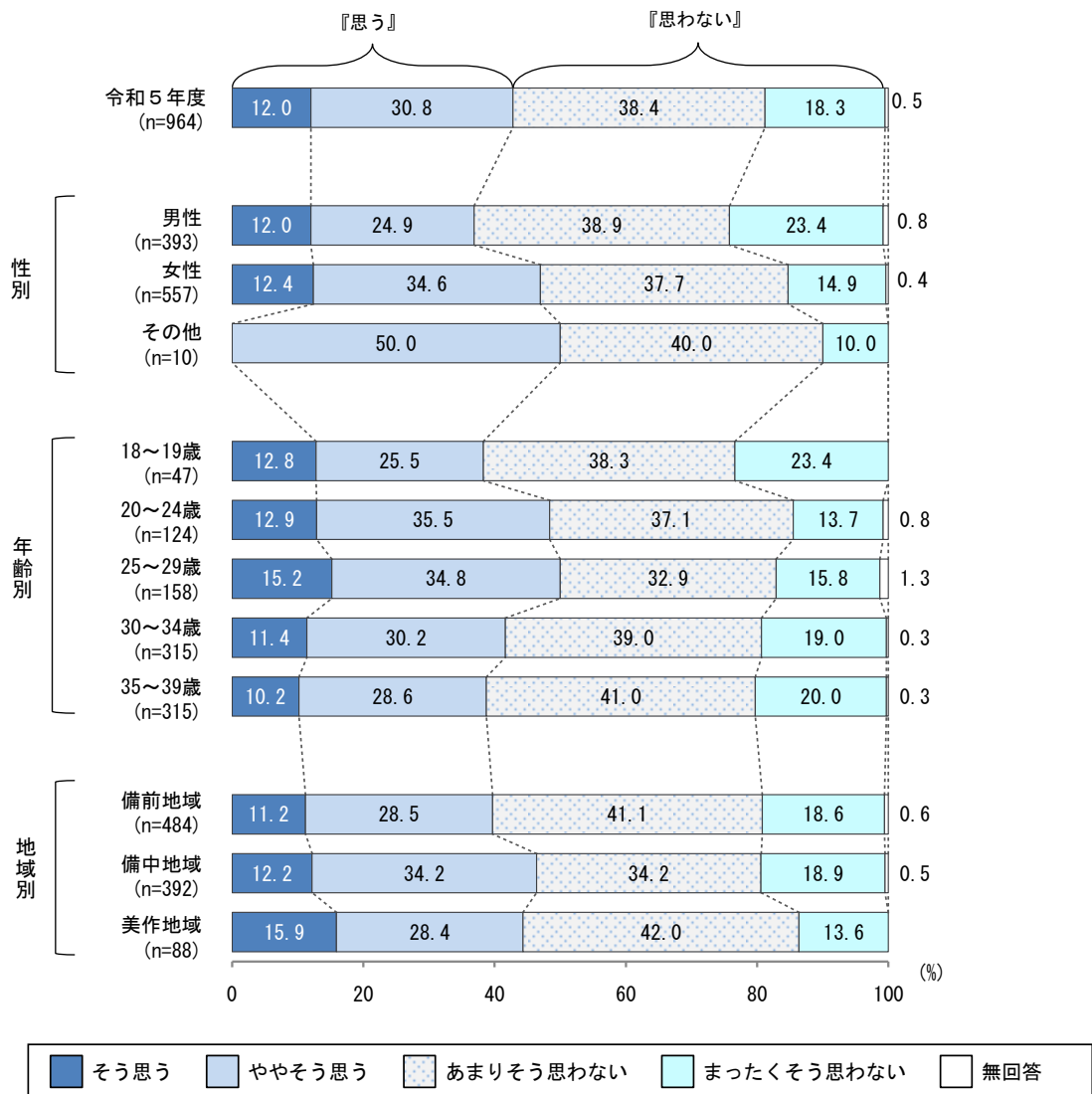
自信を持ってやれることがないかどうかについて、『思う』との回答が42.8%、『思わない』との回答が56.7%となっている。

性別にみると、『思う』との回答は女性（47.0%）が男性（36.9%）を10.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～29歳は『思う』との回答が約5割と高くなっている。

地域別にみると、備前地域で『思う』との回答が約4割と低くなっている。

【図表 自信を持ってやれることがない（全体・性別・年齢別・地域別）】



問18 あなたが、普段の生活の中で一番楽しさを感じるのはどんなときですか。

《○は3つまで》

一番楽しさを感じる時について、「家族と一緒に過ごしているとき」との回答が55.6%と最も高く、次いで「趣味に没頭しているとき」(43.2%)、「友達や交際相手と一緒に過ごしているとき」(39.9%)などの順となっている。

性別にみると、「まちで買い物などをしているとき」との回答は女性(35.2%)が男性(11.2%)を24.0ポイント上回っている。また、「ゲームをしているとき」との回答は男性(24.7%)が女性(6.8%)を17.9ポイント上回っている。

年齢別にみると、「家族と一緒に過ごしているとき」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。また、「友達や交際相手と一緒に過ごしているとき」「趣味に没頭しているとき」との回答は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、備前地域は「家族と一緒に過ごしているとき」との回答が約6割、美作地域は「テレビを見ているとき」との回答が約2割と高くなっている。

【図表 一番楽しさを感じる時(全体・性別・年齢別・地域別)】

		(%)									
		全体	家族と一緒に過ごしているとき	仕事をしているとき	友達や交際相手と一緒に過ごしているとき	学校で授業を受けているとき	何かを学んでいるとき	趣味に没頭しているとき	スポーツなどで体を動かしているとき	地域の行事や活動に参加しているとき	
	令和5年度	964	55.6	12.2	39.9	0.4	9.9	43.2	17.8	1.3	
性別	男性	393	49.6	13.0	33.1	0.3	10.2	48.3	28.0	1.5	
	女性	557	60.5	11.8	44.5	0.5	9.7	39.5	11.1	1.3	
	その他	10	30.0	10.0	60.0	-	10.0	30.0	-	-	
年齢別	18～19歳	47	34.0	-	68.1	-	6.4	55.3	34.0	-	
	20～24歳	124	35.5	2.4	57.3	1.6	8.9	52.4	18.5	0.8	
	25～29歳	158	51.3	8.9	46.2	-	7.0	44.9	13.9	-	
	30～34歳	315	58.4	17.1	39.4	0.3	11.7	41.9	18.7	1.0	
	35～39歳	315	66.3	14.9	27.0	0.3	10.5	37.8	16.2	2.5	
地域別	備前地域	484	59.9	14.9	40.5	0.2	10.3	41.9	17.1	1.2	
	備中地域	392	51.3	8.2	40.1	0.8	9.4	45.7	17.9	1.5	
	美作地域	88	51.1	15.9	36.4	-	9.1	38.6	21.6	1.1	
		全体	まちで買い物などをしているとき	ひとりで過ごしているとき	テレビを見ているとき	ゲームをしているとき	使っているパソコンやスマートフォン	その他	特になし	無回答	
	令和5年度	964	25.3	22.1	10.6	14.2	17.6	2.0	1.7	-	
性別	男性	393	11.2	17.0	11.2	24.7	20.1	2.3	1.8	-	
	女性	557	35.2	25.7	10.1	6.8	15.6	1.6	1.4	-	
	その他	10	30.0	20.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-	
年齢別	18～19歳	47	21.3	17.0	10.6	12.8	23.4	-	-	-	
	20～24歳	124	21.8	24.2	8.1	13.7	18.5	2.4	1.6	-	
	25～29歳	158	28.5	24.1	10.1	17.1	20.9	2.5	2.5	-	
	30～34歳	315	25.4	21.6	8.6	12.7	16.5	1.9	1.3	-	
	35～39歳	315	25.1	21.3	13.3	14.3	15.9	1.9	1.6	-	
地域別	備前地域	484	26.9	19.6	10.5	12.2	18.6	1.4	1.4	-	
	備中地域	392	24.7	24.0	8.9	16.1	16.3	2.6	2.3	-	
	美作地域	88	19.3	27.3	18.2	17.0	18.2	2.3	-	-	

問19 あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。《○は3つまで》

心配事や悩みの相談相手について、「あなたの父母」との回答が58.0%と最も高く、次いで「友人」(49.7%)、「配偶者」(42.7%)などの順となっている。

性別にみると、「あなたの父母」との回答は女性(66.6%)が男性(46.1%)を20.5ポイント、「友人」との回答は女性(56.9%)が男性(39.2%)を17.7ポイント、「兄弟・姉妹」との回答は女性(27.6%)が男性(13.5%)を14.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、「配偶者」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。対して、「友人」「先輩」との回答は年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。また、20~29歳は「あなたの父母」との回答が約7割と高くなっている。

地域別にみると、備前地域は「配偶者」との回答が約5割と高くなっている。また、美作地域は「友人」との回答が約4割と低くなっている。

【図表 心配事や悩みの相談相手(全体・性別・年齢別・地域別)】

		(%)										
		全体	配偶者	あなたの父母	配偶者の父母	兄弟・姉妹	祖父母	その他の親戚	友人	インターネット上の友人	先輩	
性別	令和5年度	964	42.7	58.0	3.4	21.8	1.8	2.0	49.7	3.2	5.7	
	男性	393	38.2	46.1	1.5	13.5	1.0	1.5	39.2	3.3	9.2	
	女性	557	46.5	66.6	4.8	27.6	2.0	2.2	56.9	3.1	3.4	
	その他	10	20.0	60.0	-	30.0	10.0	-	50.0	10.0	-	
年齢別	18~19歳	47	-	61.7	-	14.9	-	-	63.8	4.3	8.5	
	20~24歳	124	8.1	70.2	3.2	26.6	7.3	3.2	64.5	1.6	7.3	
	25~29歳	158	33.5	67.1	4.4	24.7	2.5	3.2	52.5	4.4	6.3	
	30~34歳	315	52.7	53.7	4.1	20.0	1.0	1.3	45.7	4.8	6.0	
	35~39歳	315	58.1	53.0	2.9	21.6	0.3	1.9	44.4	1.6	4.1	
地域別	備前地域	484	49.0	55.2	4.1	20.2	1.2	2.1	51.7	2.3	5.8	
	備中地域	392	35.5	61.5	2.6	24.0	2.6	2.3	49.2	4.3	5.6	
	美作地域	88	40.9	58.0	3.4	20.5	1.1	-	40.9	3.4	5.7	
		全体	予備学校等の塾・先生	近所や職場の人	SNS相談	メール相談・SNS相談	その他の人	相談相手がいない	相談しないう	特に悩みはない	無回答	
性別	令和5年度	964	1.3	12.4	0.8	3.0	2.3	6.2	5.4	0.1		
	男性	393	1.3	13.5	0.3	2.8	3.6	9.4	9.7	-		
	女性	557	1.4	12.0	1.3	3.2	1.4	3.9	2.2	0.2		
	その他	10	-	-	-	-	-	10.0	20.0	-		
年齢別	18~19歳	47	12.8	4.3	-	-	2.1	10.6	6.4	-		
	20~24歳	124	3.2	4.8	-	4.8	0.8	5.6	5.6	-		
	25~29歳	158	-	12.7	-	5.1	2.5	5.1	7.0	-		
	30~34歳	315	0.6	12.4	1.0	1.9	2.2	7.6	4.1	0.3		
	35~39歳	315	0.3	16.8	1.6	2.9	2.9	5.1	5.1	-		
地域別	備前地域	484	1.4	11.8	0.8	2.5	2.3	7.6	5.2	-		
	備中地域	392	1.0	13.0	1.0	4.1	2.0	4.1	5.1	0.3		
	美作地域	88	2.3	13.6	-	1.1	3.4	8.0	8.0	-		

5 仕事について

(就職している方だけお答えください。)

問20 あなたは、今の仕事について、どう考えていますか。《○は1つ》

今の仕事について、「今の仕事を続けたい」との回答が44.9%と最も高く、次いで「しかたがないから続ける」(27.2%)、「将来はやめたい」(9.5%)などの順となっている。

性別にみると、「しかたがないから続ける」との回答は男性(30.9%)が女性(23.8%)を7.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、備前地域で「今の仕事を続けたい」との回答が約5割と高くなっている。

【図表 今の仕事について(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)

	全体	今の仕事を 続けたい	しかたがない から続ける	勤め先を 変えたい	仕事の内容を 変えたい	独立して仕事 をはじめたい	企業に勤めたい 自営をやめて	将来はやめたい	すぐにやめたい	その他	無回答	
令和5年度	746	44.9	27.2	8.0	3.1	2.5	0.4	9.5	1.3	1.1	1.9	
性別	男性	324	48.5	30.9	5.9	2.5	2.8	0.9	5.9	1.2	0.3	
	女性	411	42.6	23.8	10.0	3.6	2.4	-	12.2	1.5	3.2	
	その他	8	25.0	37.5	-	-	-	-	25.0	-	12.5	-
年齢別	18~19歳	11	45.5	27.3	-	-	-	-	9.1	-	-	18.2
	20~24歳	61	41.0	21.3	6.6	8.2	3.3	-	13.1	-	1.6	4.9
	25~29歳	142	43.0	31.0	8.5	2.1	1.4	0.7	11.3	-	-	2.1
	30~34歳	270	43.0	24.1	10.0	5.2	2.2	-	9.6	3.0	2.2	0.7
	35~39歳	260	48.8	30.0	6.2	0.4	3.5	0.8	7.7	0.8	0.4	1.5
地域別	備前地域	381	47.8	25.7	6.3	2.9	2.9	0.3	8.9	2.1	1.0	2.1
	備中地域	288	42.4	28.1	10.1	3.1	2.1	0.3	10.1	0.7	1.4	1.7
	美作地域	77	40.3	31.2	9.1	3.9	2.6	1.3	10.4	-	-	1.3

(就職している方だけお答えください。)

問21 あなたが、今の仕事に対して不満に感じていることは何ですか。《○は2つまで》

今の仕事の不満点について、「賃金・収入や待遇」との回答が48.0%と最も高く、次いで「勤務時間や休暇」(25.7%)、「上司や同僚との人間関係」(17.7%)などの順となっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、20～24歳は「今後どのような役職・立場になるか不安」との回答が1割未満と低くなっている。また、30～34歳は「勤務時間や休暇」との回答が約3割と高くなっている。

地域別にみると、美作地域は「賃金・収入や待遇」との回答が約6割と高くなっている。また、同地域で「勤務時間や休暇」との回答が1割台半ばと低くなっている。

【図表 今の仕事の不満点（全体・性別・年齢別・地域別）】

		全体	賃金・収入や待遇	勤務時間や休暇	仕事の内容	上司や同僚との人間関係	自分の能力が適正に評価されない	今後どのような役職・立場になるか不安	その他	不満はない	無回答
		746	48.0	25.7	16.2	17.7	5.8	11.3	3.1	16.1	2.0
性別	男性	324	46.6	24.7	14.2	19.1	7.4	12.0	3.4	14.8	1.2
	女性	411	49.4	26.5	17.3	16.1	4.4	10.7	2.9	17.3	2.7
	その他	8	50.0	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-
	18～19歳	11	9.1	27.3	9.1	18.2	9.1	-	-	27.3	18.2
年齢別	20～24歳	61	47.5	18.0	18.0	19.7	4.9	4.9	1.6	13.1	6.6
	25～29歳	142	50.7	25.4	16.9	21.1	4.2	12.0	3.5	16.2	1.4
	30～34歳	270	48.5	30.7	15.2	14.8	7.0	13.0	2.2	16.7	0.7
	35～39歳	260	47.7	22.3	16.9	18.5	5.4	11.2	4.2	15.4	1.9
	地域別	備前地域	381	47.0	26.2	14.2	17.6	5.8	12.9	2.1	17.1
備中地域		288	46.5	27.4	17.4	17.4	5.6	10.1	3.5	16.0	3.1
美作地域		77	58.4	16.9	22.1	19.5	6.5	7.8	6.5	11.7	-

(就職していない方(学生は除く)だけお答えください。)

問22 あなたが、就職していない主な理由は何ですか。《○は1つ》

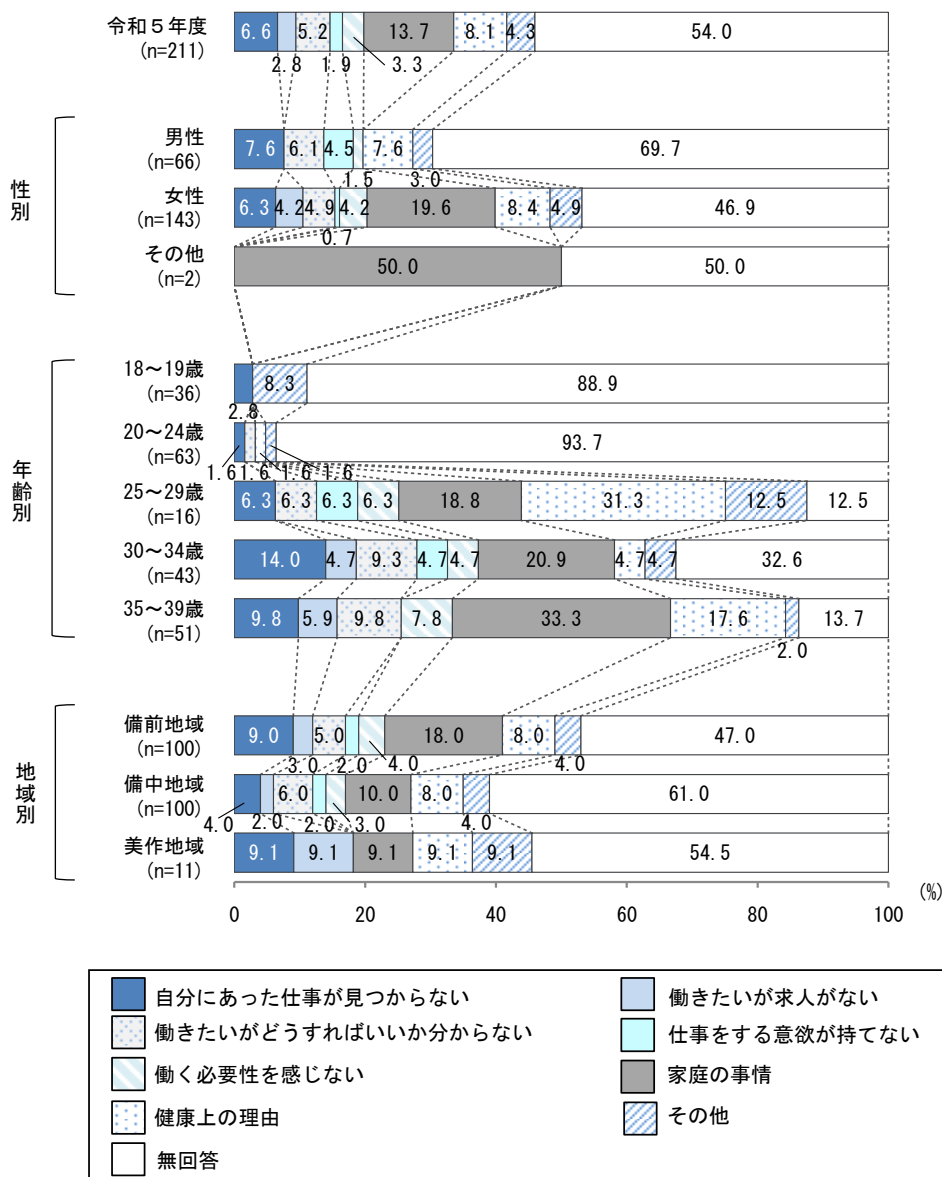
就職していない理由について、「家庭の事情」との回答が13.7%と最も高く、次いで「健康上の理由」(8.1%)、「自分にあつた仕事が見つからない」(6.6%)などの順となっている。

性別にみると、「家庭の事情」との回答は女性(19.6%)が男性(0.0%)を19.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、35~39歳は「家庭の事情」との回答が3割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 就職していない理由(全体・性別・年齢別・地域別)】



問23 近年、15歳～34歳の若者で、家事・通学・仕事もしておらず、職業訓練も受けていないニート（若年無業者）の存在がクローズアップされていますが、ニートに対する取組として、特にどのようなことが必要だと思いますか《○は3つまで》

ニートに対する取組で特に必要なことについて、「雇用の拡大」との回答が41.6%と最も高く、次いで「家庭教育の見直しや、家庭内でのコミュニケーションの充実」（41.1%）、「専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実」（33.3%）などの順となっている。

性別にみると、「学校中退・卒業者対象の相談場所やカウンセリングの充実」との回答は女性（34.8%）が男性（27.0%）を7.8ポイント、「専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実」との回答は女性（35.7%）が男性（29.3%）を6.4ポイント、「国や地方公共団体における若者自立支援対策の充実」との回答は女性（25.9%）が男性（20.6%）を5.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～24歳は「家庭教育の見直しや、家庭内でのコミュニケーションの充実」との回答が2割台半ばと低くなっている。また、30～39歳で「専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実」との回答が3割台半ば、18～19歳で「学校中退・卒業者対象の相談場所やカウンセリングの充実」が約4割と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 ニートに対する取組で特に必要なこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	コミュニケーションの充実 家庭教育の見直しや、 家庭内でのコミュニケーションの充実	学校における職業に関する 教育の充実	専門的な技術・能力を習得 できる職業訓練の充実	雇用の拡大	学校中退・卒業者対象の 相談場所や カウンセリングの充実	国や地方公共団体における 若者自立支援対策の充実	町内会等の地域のつながり の強化	その他	無回答
令和5年度	964	41.1	30.9	33.3	41.6	31.6	23.4	5.8	7.0	6.5
性別	男性	42.0	29.0	29.3	40.5	27.0	20.6	7.9	9.4	7.9
	女性	41.3	32.5	35.7	42.9	34.8	25.9	4.1	5.0	5.4
	その他	10.0	20.0	60.0	30.0	30.0	-	10.0	20.0	10.0
	合計	41.1	30.9	33.3	41.6	31.6	23.4	5.8	7.0	6.5
年齢別	18～19歳	42.6	19.1	27.7	31.9	40.4	19.1	4.3	-	14.9
	20～24歳	24.2	31.5	28.2	45.2	29.0	24.2	4.8	2.4	12.1
	25～29歳	43.0	32.3	27.2	36.7	32.3	25.9	5.1	9.5	3.2
	30～34歳	45.4	31.1	36.5	43.8	30.2	21.3	4.8	8.3	4.4
	35～39歳	42.9	32.1	36.5	42.5	32.7	25.1	7.3	7.0	6.3
地域別	備前地域	43.4	30.8	34.5	41.3	31.2	25.0	5.6	7.0	6.2
	備中地域	39.0	30.4	31.1	41.1	32.1	21.4	6.1	7.1	7.9
	美作地域	37.5	34.1	36.4	45.5	31.8	23.9	5.7	5.7	2.3

6 青少年の健全育成について

問24 あなたは、青少年の健全育成のために、特にどのようなことが必要だと思いますか。
《〇は3つまで》

青少年の健全育成のために特に必要なことについて、「家庭でのしつけや教育を充実すること」との回答が44.3%と最も高く、次いで「青少年の居場所を整備すること」(39.1%)、「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」(39.0%)などの順となっている。

性別にみると、「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」との回答は女性(44.9%)が男性(30.5%)を14.4ポイント、「悩み事などの相談機関を充実させること」との回答は女性(33.0%)が男性(22.6%)を10.4ポイント上回っている。また、「家庭でのしつけや教育を充実すること」との回答は男性(50.6%)が女性(40.6%)を10.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、20～24歳で「家庭でのしつけや教育を充実すること」、18～19歳で「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」との回答がいずれも約3割と低くなっている。

地域別にみると、美作地域は「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」との回答が5割超と高く、「学校での道徳教育や生徒指導を充実すること」との回答は2割超と低くなっている。

【図表 青少年の健全育成のために特に必要なこと（全体・性別・年齢別・地域別）】

		(%)													
	全体	家庭でのしつけや教育を充実すること	学校での道徳教育や生徒指導を充実すること	地域社会での青少年の健全育成を充実すること	家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと	悩み事などの相談機関を充実させること	青少年のポランテア活動を促進すること	青少年の居場所を整備すること	青少年の自然体験活動を推進すること	青少年の非行防止活動を推進すること	青少年に悪影響を与える有害な環境をなくすこと	その他	わからない	無回答	
	令和5年度	964	44.3	28.5	11.4	39.0	28.8	5.8	39.1	7.6	7.0	17.8	4.1	7.1	0.6
性別	男性	393	50.6	29.8	15.0	30.5	22.6	7.1	33.1	7.1	9.7	17.8	4.6	8.9	0.8
	女性	557	40.6	27.6	9.2	44.9	33.0	4.8	43.1	7.9	5.2	17.4	3.6	5.7	0.5
	その他	10	-	10.0	-	40.0	40.0	10.0	60.0	10.0	-	20.0	20.0	10.0	-
年齢別	18～19歳	47	40.4	44.7	12.8	27.7	31.9	6.4	36.2	2.1	10.6	10.6	2.1	8.5	-
	20～24歳	124	28.2	34.7	7.3	36.3	33.1	6.5	42.7	5.6	4.8	17.7	2.4	10.5	-
	25～29歳	158	47.5	23.4	8.2	38.0	36.7	5.7	31.6	8.9	9.5	13.3	6.3	8.2	0.6
	30～34歳	315	47.9	25.1	14.0	42.2	23.8	5.4	39.0	6.0	7.0	18.1	3.5	6.7	1.0
	35～39歳	315	46.3	29.8	11.4	39.0	27.6	5.7	41.6	10.2	6.0	21.0	4.8	5.1	0.6
地域別	備前地域	484	45.2	29.5	12.4	38.8	28.5	4.5	39.9	6.6	7.6	17.1	5.0	6.6	0.8
	備中地域	392	42.1	28.6	10.2	36.2	30.1	7.1	38.8	8.4	6.6	19.9	2.8	8.2	0.3
	美作地域	88	48.9	22.7	11.4	52.3	25.0	6.8	36.4	9.1	4.5	12.5	5.7	4.5	1.1

問 2 5 あなたは、非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要なことは、何だと思いますか。《○は2つまで》

非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要だと思うことについて、「家庭が根気よく温かく支える」との回答が 46.9%と最も高く、次いで「周囲の大人が温かく支える」(42.7%)、「行政が関係機関との連携を強化する」(30.9%)などの順となっている。

性別にみると、「周囲の大人が温かく支える」との回答は女性(46.7%)が男性(37.7%)を9.0ポイント、「行政が関係機関との連携を強化する」との回答は女性(34.3%)が男性(25.4%)を8.9ポイント上回っている。また、「友だちが温かく支える」との回答は男性(30.5%)が女性(24.2%)を6.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳は「周囲の大人が温かく支える」が約3割、「相談機関の機能を強化する」が1割未満、20～24歳は「家庭が根気よく温かく支える」が約4割と低くなっている。また、30～39歳で「友だちが温かく支える」が2割台と低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要だと思うこと
(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)

	全体	家庭が根気よく温かく支える	学校が温かく支える	周囲の大人が温かく支える	友だちが温かく支える	行政が関係機関との連携を強化する	機能相談機関の強化する	その他	わからない	無回答	
令和5年度	964	46.9	7.9	42.7	26.9	30.9	15.1	4.3	6.3	0.6	
性別	男性	393	46.8	8.7	37.7	30.5	25.4	11.2	6.6	7.6	0.8
	女性	557	46.9	7.5	46.7	24.2	34.3	18.0	2.7	5.4	0.5
	その他	10	30.0	-	30.0	20.0	60.0	20.0	-	10.0	-
年齢別	18～19歳	47	53.2	4.3	29.8	31.9	25.5	6.4	2.1	10.6	-
	20～24歳	124	37.1	8.1	40.3	31.5	25.0	16.9	1.6	9.7	-
	25～29歳	158	44.9	7.6	39.2	36.1	30.4	15.8	3.2	6.3	0.6
	30～34歳	315	49.8	8.9	44.8	20.6	33.7	15.6	4.8	5.1	1.0
	35～39歳	315	47.9	7.6	45.1	25.4	31.7	14.6	5.7	5.4	0.6
地域別	備前地域	484	46.3	9.3	43.2	25.6	32.9	14.9	4.3	5.6	0.8
	備中地域	392	48.0	6.1	41.8	27.3	29.8	15.8	4.3	7.4	0.3
	美作地域	88	45.5	8.0	44.3	31.8	25.0	13.6	3.4	5.7	1.1

問26 シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。《○はいくつでも》

知っている薬物の害について、「自分の意志でやめるのが難しくなる」との回答が89.5%と最も高く、次いで「1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする」(72.7%)、「やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある」(69.6%)などの順となっている。

性別にみると、「1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする」との回答は女性(77.0%)が男性(66.4%)を10.6ポイント、「自分の意志でやめるのが難しくなる」との回答は女性(91.9%)が男性(86.3%)を5.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、25～29歳は「使い続けると、体のいろいろなところに病気が起こりやすくなる」との回答が5割と他の年齢区分に比べ低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 知っている薬物の害（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする	1回使っただけでも、死亡することがある	自分の意志でやめるのが難しくなる	薬がきれると、体を動かすのが嫌になったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする	使い続けると、体のいろいろなところに病気が起こりやすくなる	おかさね、心が病気になるやさい	使い続けると、脳の神経がおかさね、心が病気になるやさい	やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある	上記のいずれも知らなかった	無回答
令和5年度	964	72.7	44.0	89.5	65.9	57.3	65.2	69.6	3.5	0.8	
性別	男性	393	66.4	41.7	86.3	63.1	56.2	64.4	67.7	5.9	0.8
	女性	557	77.0	45.4	91.9	67.5	58.2	65.9	70.6	1.8	0.9
	その他	10	80.0	60.0	80.0	90.0	50.0	60.0	80.0	10.0	-
	合計	964	72.7	44.0	89.5	65.9	57.3	65.2	69.6	3.5	0.8
年齢別	18～19歳	47	70.2	40.4	89.4	66.0	55.3	70.2	76.6	6.4	-
	20～24歳	124	75.8	41.9	88.7	71.0	62.1	66.1	71.0	4.8	0.8
	25～29歳	158	74.7	37.3	88.6	66.5	50.0	61.4	65.2	2.5	0.6
	30～34歳	315	73.0	44.8	90.2	63.8	56.5	63.5	67.9	2.2	1.3
	35～39歳	315	70.8	48.3	89.8	65.4	60.0	67.9	71.7	4.1	0.6
地域別	備前地域	484	74.4	45.7	90.3	64.7	58.3	64.0	68.8	2.7	1.0
	備中地域	392	70.2	41.1	88.5	66.3	55.6	66.1	70.4	5.1	0.5
	美作地域	88	75.0	47.7	89.8	70.5	59.1	68.2	70.5	1.1	1.1

7 インターネットについて

問27 あなたは、インターネットを使って何をしていますか。《○はいくつでも》

インターネットで何をするかについて、「動画を見る」との回答が87.6%と最も高く、次いで「検索する」(79.8%)、「買い物をする」(75.1%)などの順となっている。

性別にみると、「投稿やメッセージ交換をする」との回答は女性(69.1%)が男性(49.6%)を19.5ポイント、「買い物をする」は女性(80.6%)が男性(67.4%)を13.2ポイント上回っている。また、「ゲームをする」は男性(62.8%)が女性(45.8%)を17.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、「投稿やメッセージ交換をする」「音楽を聴く」「ゲームをする」「勉強をする」は年齢が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、備中地域は「ニュースを見る」「買い物をする」が他の地域に比べ低くなっている。また、備前地域では「地図を使う」が7割台半ばと高くなっている。

【図表 インターネットで何をするか（全体・性別・年齢別・地域別）】

		(%)														
	全体	投稿やメッセージ交換をする	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他	無回答	
	令和5年度	964	60.9	71.3	79.8	70.4	71.1	87.6	18.5	47.9	53.0	75.1	30.6	23.2	0.9	0.7
性別	男性	393	49.6	70.7	75.1	66.4	70.7	88.8	19.6	45.5	62.8	67.4	36.9	19.1	0.8	0.5
	女性	557	69.1	72.2	82.9	73.4	71.5	86.7	17.8	49.7	45.8	80.6	26.4	25.9	0.7	0.9
	その他	10	40.0	50.0	80.0	50.0	60.0	80.0	10.0	40.0	60.0	70.0	30.0	30.0	10.0	-
年齢別	18～19歳	47	76.6	55.3	76.6	61.7	93.6	93.6	21.3	46.8	78.7	59.6	46.8	25.5	-	-
	20～24歳	124	74.2	54.8	81.5	72.6	87.9	94.4	13.7	52.4	64.5	65.3	43.5	27.4	-	-
	25～29歳	158	69.0	65.8	80.4	68.4	77.2	88.6	13.9	48.7	57.6	79.1	27.8	27.8	-	-
	30～34歳	315	57.5	74.3	76.5	69.2	68.3	86.3	19.7	47.9	48.6	78.4	27.6	23.5	1.0	1.6
	35～39歳	315	53.0	80.6	82.9	73.0	60.6	84.8	20.6	46.3	46.7	76.2	27.6	18.7	1.6	0.6
地域別	備前地域	484	61.0	76.0	80.2	73.8	69.4	88.0	17.8	47.7	49.6	77.1	29.5	22.7	0.4	1.0
	備中地域	392	59.4	65.3	78.8	66.8	72.7	87.0	18.9	48.7	55.4	71.9	32.7	23.0	1.3	0.3
	美作地域	88	67.0	71.6	81.8	68.2	72.7	87.5	20.5	45.5	61.4	78.4	27.3	27.3	2.3	1.1

問28 あなたは、授業や仕事以外の自由な時間に、1日に平均してどのくらいの時間、インターネットを使いますか。《〇は①～②それぞれ1つずつ》

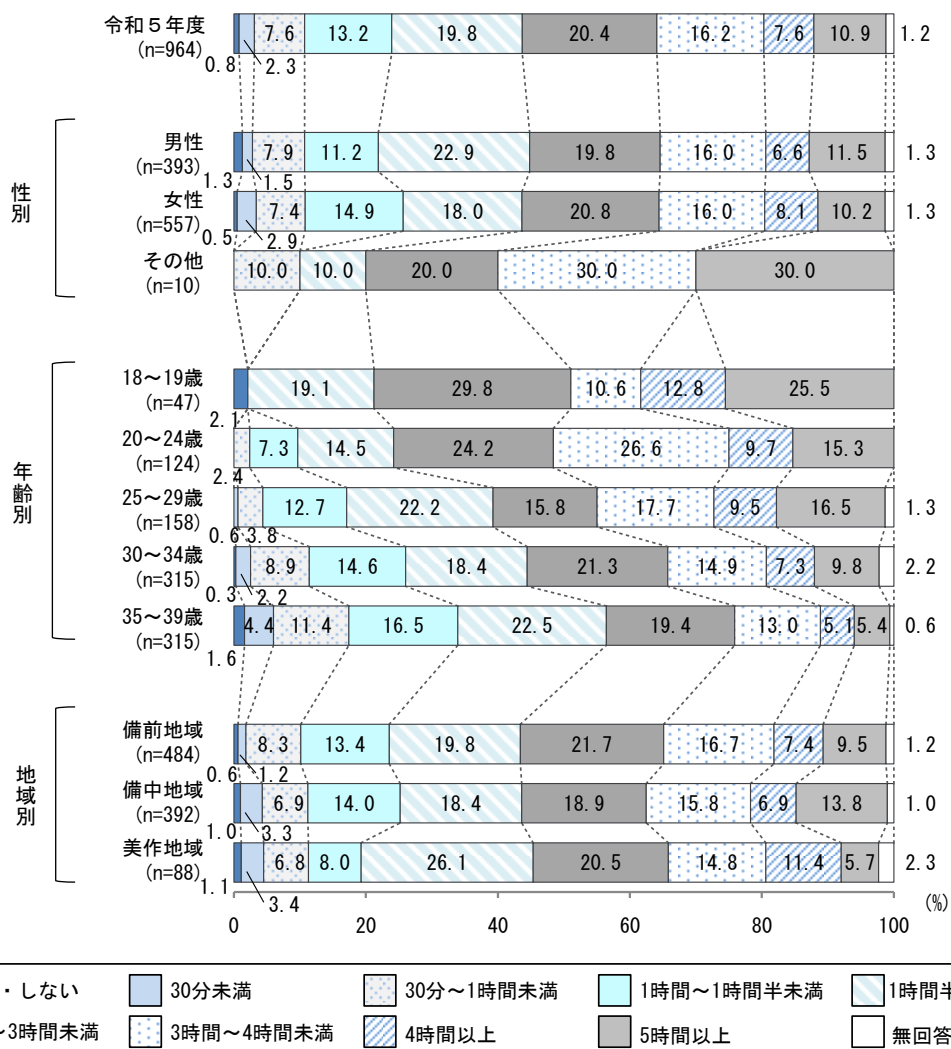
① 平日

平日のインターネット使用時間について、「2時間～3時間未満」との回答が20.4%と最も高く、次いで「1時間半～2時間未満」(19.8%)、「3時間～4時間未満」(16.2%)などの順となっている。

年齢別にみると、18～19歳は「2時間～3時間未満」「5時間以上」との回答が2割台半ばから約3割と高くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 平日のインターネット使用時間（全体・性別・年齢別・地域別）】



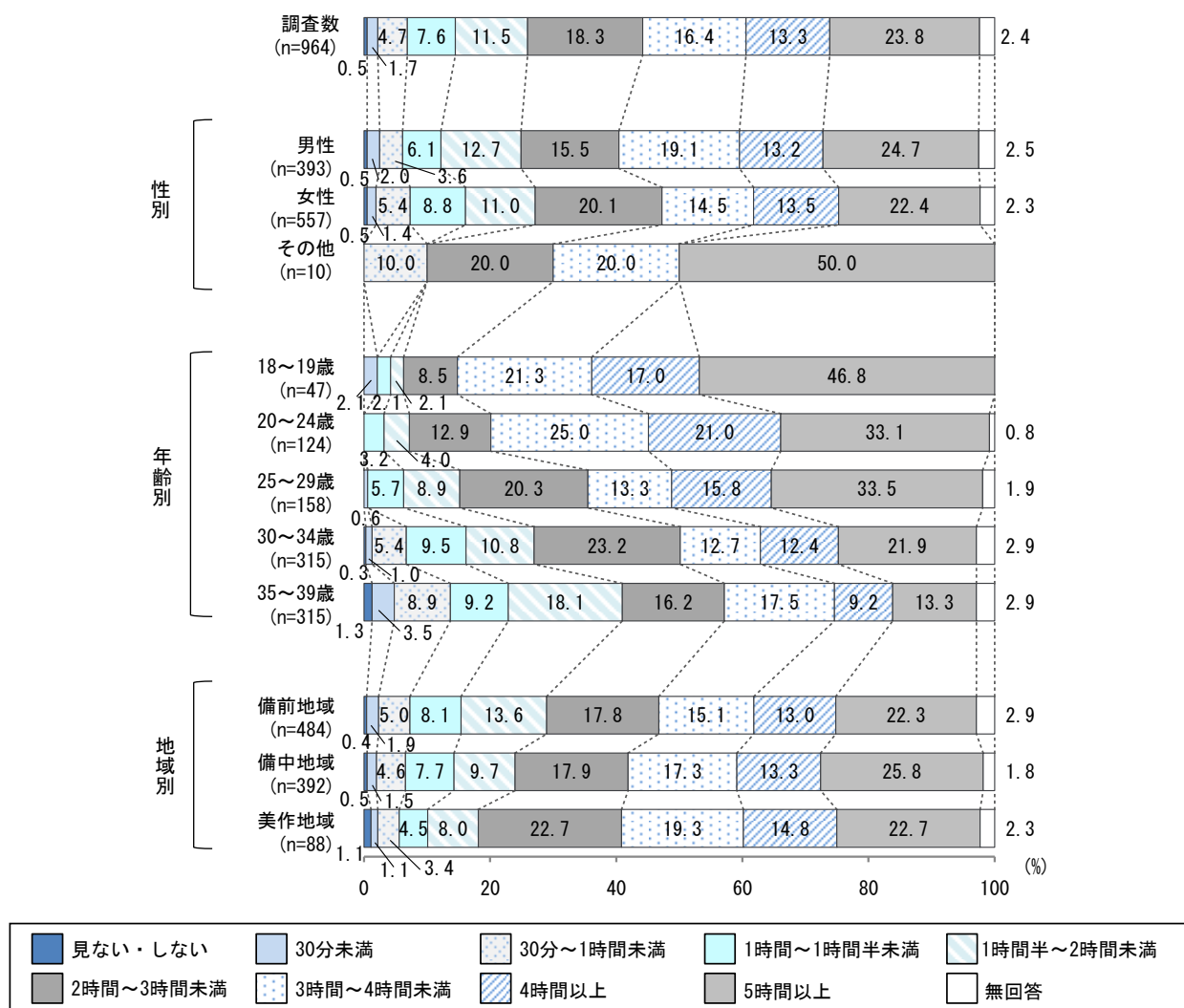
② 休日

休日のインターネット使用時間について、「5時間以上」との回答が23.8%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」(18.3%)、「3時間～4時間未満」(16.4%)などの順で、全体的に平日より長時間の使用となっている。

年齢別にみると、18～19歳で「5時間以上」が4割台半ばと高くなっている。また、2時間未満の使用は年齢が上がるにつれ増加傾向となっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 休日のインターネット使用時間（全体・性別・年齢別・地域別）】



問29 あなたは、次のようなインターネットを介したトラブルに巻き込まれたことはありますか。《○はいくつでも》

インターネットを介したトラブルの経験について、「身に覚えのない料金の請求が来た」との回答が20.3%と最も高く、次いで「あやしいメールに返信してしまい、その後何度も迷惑メールが来た」(7.0%)、「インターネット上で口論になった」(6.8%)などの順となっている。

性別にみると、「身に覚えのない料金の請求が来た」との回答は男性(23.4%)が女性(18.3%)を5.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、「身に覚えのない料金の請求が来た」との回答が年齢が上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 インターネットを介したトラブルの経験(全体・性別・年齢別・地域別)】

		全体	知り合った人に会って、怖い思いをした	インターネット上で口論になった	インターネット上で返信してしまい、その後何度も迷惑メールが来た	あやしいメールに返信してしまい、その後身に覚えのない料金の請求が来た	ゲームで課金して、多額の支払い請求が来た	コンピュータウイルスに感染してしまった	あやしいサイトにアクセスし、個人情報漏れてしまった	インターネット上で誹謗中傷を受けたり、嘘の情報を書かれたりした	インターネット上で写真や情報をインターネット上に掲載された	他人に見られたくない写真や情報をインターネット上に掲載された	画像などをアップロードして著作権侵害と言われた	勝手に個人情報流された	その他	特にない	無回答
	令和5年度	964	3.2	6.8	7.0	20.3	2.6	6.2	1.7	3.5	0.7	0.2	1.8	1.5	61.4	2.4	
性別	男性	393	1.5	8.1	6.1	23.4	4.3	8.9	2.3	2.8	0.5	0.3	1.5	0.5	60.8	1.5	
	女性	557	4.5	5.9	7.0	18.3	1.4	4.3	1.3	3.9	0.9	0.2	2.0	2.0	62.1	3.1	
	その他	10	-	-	20.0	10.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	10.0	60.0	-	
年齢別	18～19歳	47	-	2.1	-	6.4	-	4.3	-	-	-	-	-	-	-	87.2	-
	20～24歳	124	4.0	6.5	5.6	8.1	1.6	3.2	-	2.4	2.4	-	1.6	0.8	74.2	2.4	
	25～29歳	158	3.2	10.1	6.3	16.5	4.4	7.0	1.9	4.4	1.3	0.6	1.9	1.9	61.4	1.3	
	30～34歳	315	4.4	6.7	7.9	24.4	2.9	6.3	1.3	5.4	0.3	-	2.2	1.6	56.5	3.5	
	35～39歳	315	2.2	6.3	7.6	25.1	2.2	7.3	2.9	2.2	0.3	0.3	1.6	1.6	57.5	2.2	
地域別	備前地域	484	2.9	7.4	7.2	21.3	3.1	5.6	2.1	3.7	0.8	-	1.7	1.7	59.9	3.3	
	備中地域	392	3.8	6.1	7.4	19.1	2.6	6.6	1.3	3.6	0.8	0.5	1.8	1.5	63.3	1.0	
	美作地域	88	2.3	6.8	3.4	20.5	-	8.0	1.1	2.3	-	-	2.3	-	61.4	3.4	

8 地域の安全・安心について

問30 あなたは、地域の子どもの安全を守るために、どのような活動をしていますか。

《〇はいくつでも》

安全を守るためにしている活動について、「不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている」との回答が7.6%と最も高く、次いで「子どもの登下校の時間帯に路上等での見守りをしている」(5.3%)、「PTAの会合などに積極的に参加して、不審者情報の提供を受けている」(2.4%)などの順となっている。また「特に何もしていない」との回答は86.0%となっている。

年齢別にみると、「不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。

性別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 安全を守るためにしている活動（全体・性別・年齢別・地域別）】

(%)

	全体	パトロール隊の活動に参加している	不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている	PTAの会合などに積極的に参加して、不審者情報の提供を受けている	子どもの登下校の時間帯に路上等での見守りをしている	地域で見慣れない人には、積極的に声をかけをおこなっている	特に何もしていない	無回答	
令和5年度	964	1.1	7.6	2.4	5.3	1.2	86.0	0.8	
性別	男性	393	1.5	3.6	1.3	4.3	1.3	89.6	0.8
	女性	557	0.9	10.4	3.2	6.1	1.3	83.3	0.9
	その他	10	-	10.0	-	-	-	90.0	-
年齢別	18～19歳	47	-	-	-	2.1	-	97.9	-
	20～24歳	124	-	3.2	0.8	0.8	2.4	91.1	1.6
	25～29歳	158	2.5	4.4	2.5	3.8	0.6	91.8	0.6
	30～34歳	315	0.3	6.0	2.5	4.4	1.0	87.3	1.0
	35～39歳	315	1.9	13.7	3.2	9.2	1.6	77.8	0.6
地域別	備前地域	484	1.2	8.1	2.3	6.0	1.4	85.1	0.6
	備中地域	392	1.0	6.6	2.3	5.4	1.3	87.0	1.0
	美作地域	88	1.1	9.1	3.4	1.1	-	86.4	1.1

問3 1 あなたは、地域の子どもの安全を守るために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。《○は3つまで》

安全を守るために力を入れるべきだと思うことについて、「防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備」との回答が39.7%と最も高く、次いで「警察や行政によるパトロール活動の強化」(38.1%)、「学校の不審者侵入を防止する対策の徹底」(27.0%)などの順となっている。

性別にみると、「地域住民による通学路等のパトロール活動」との回答は女性(27.3%)が男性(19.8%)を7.5ポイント、「警察や行政によるパトロール活動の強化」との回答は男性(41.0%)が女性(35.7%)を5.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、「防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備」との回答は年齢が上がるにつれて高くなっている。また、18～19歳は「通学路等の危険個所の点検や安全マップの作成」との回答が1割未満と低くなっている。

地域別にみると、備前地域は「警察や行政によるパトロール活動の強化」との回答が4割超と高くなっている。

【図表 安全を守るために力を入れるべきだと思うこと(全体・性別・年齢別・地域別)】

(%)

	全体	学校の不審者侵入を防止する対策の徹底	地域住民による学校内の見回り	学校での子ども対象の防犯教室、訓練の徹底	学校での子どもによる登下校のつきそい	教職員やPTAによるパトロール活動	地域住民による通学路等の安全マップの作成	通学路等の危険個所の点検や安全マップの作成	運行やタクシーによる下校の実施	スクールバスの設備の整備	防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備	110番の店の増設	子ども110番の家やかけこみ	警察や行政によるパトロール活動の強化	学校や警察等からの不審者情報の提供	町内会等における研修会や啓発活動	住民同士の連帯意識の向上	その他	無回答
令和5年度	964	27.0	8.6	25.7	15.1	24.4	16.1	12.0	39.7	17.9	38.1	17.8	2.1	16.5	2.7	2.6			
性別	男性	393	28.8	9.9	23.7	13.5	19.8	17.0	13.0	37.9	16.0	41.0	16.5	2.3	17.3	3.3	3.1		
	女性	557	26.0	7.7	27.6	16.7	27.3	15.3	11.1	41.5	19.0	35.7	19.0	2.0	15.8	2.0	2.3		
	その他	10	-	-	10.0	-	20.0	30.0	20.0	30.0	30.0	50.0	10.0	-	20.0	20.0	-		
	年齢別	18～19歳	47	34.0	12.8	21.3	12.8	27.7	4.3	6.4	29.8	34.0	34.0	21.3	6.4	8.5	2.1	2.1	
20～24歳	124	25.8	10.5	25.8	14.5	21.0	17.7	10.5	38.7	22.6	37.9	13.7	1.6	11.3	0.8	3.2			
25～29歳	158	24.1	10.1	35.4	13.9	21.5	18.4	7.6	39.2	20.9	28.5	16.5	3.2	14.6	3.2	1.9			
30～34歳	315	26.0	6.3	21.9	12.7	26.0	13.0	17.5	40.0	13.0	44.8	19.7	1.9	18.4	3.8	1.9			
35～39歳	315	28.6	8.3	25.4	18.4	24.8	19.0	10.2	41.9	17.1	37.1	17.8	1.0	18.1	2.2	3.2			
地域別	備前地域	484	28.1	8.5	25.6	15.3	22.7	15.3	13.6	41.5	18.4	41.5	18.0	1.7	15.5	2.9	1.4		
	備中地域	392	26.3	9.7	26.5	13.8	23.0	17.9	9.4	38.5	16.3	35.7	18.6	2.0	17.3	2.6	3.8		
	美作地域	88	23.9	4.5	22.7	20.5	39.8	12.5	14.8	35.2	22.7	29.5	13.6	4.5	18.2	2.3	3.4		

9 「ヤングケアラー」という言葉の認知について

問32 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。《○は1つ》

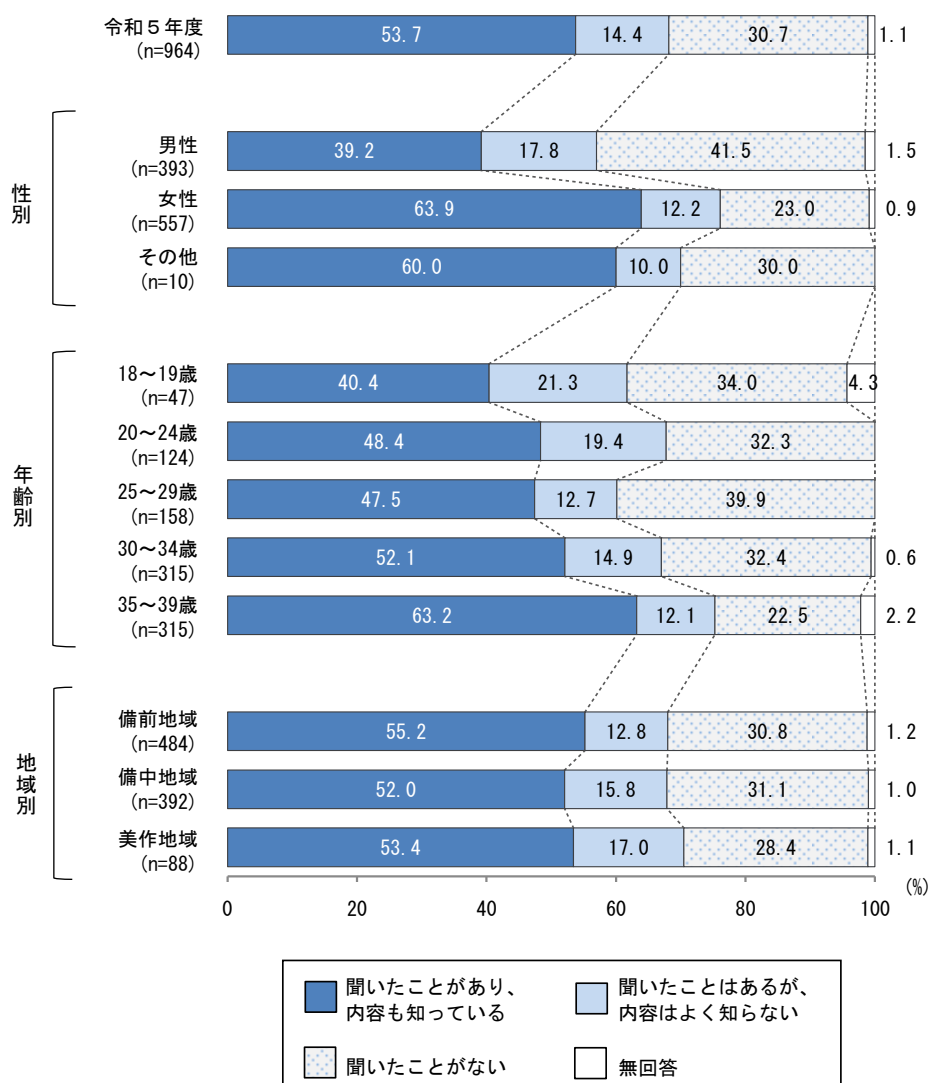
「ヤングケアラー」という言葉の認知について、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答が53.7%と最も高く、次いで「聞いたことがない」(30.7%)、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(14.4%)の順となっている。

性別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答は女性が6割台半ばで、男性を大きく上回っている。

年齢別にみると、35～39歳は「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答が6割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉の認知（全体・性別・年齢別・地域別）】



（問32で「1～2」に○がついた人だけお答えください。）

問32-1 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。《○はいくつでも》

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったかについて、「テレビや新聞、ラジオ」との回答が73.7%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」(44.1%)の順となっている。

性別にみると、「SNSやインターネット」との回答は女性(46.0%)が男性(40.2%)を5.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、18～19歳は「学校」との回答が最も高く、20歳以上の年齢区分はいずれも「テレビや新聞、ラジオ」との回答が最も高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか（全体・性別・年齢別・地域別）】

		(%)										
		全体	テレビや新聞、 ラジオ	雑誌や本	SNSや インターネット	ポスターやチラシ、 広報などの掲示物	イベントや交流会など	学校	友人・知人から聞いた	家族から聞いた	その他	無回答
性別	令和5年度	657	73.7	8.2	44.1	5.6	1.8	9.7	2.3	3.3	2.3	0.3
	男性	224	71.9	9.8	40.2	8.5	2.7	11.2	3.6	3.6	3.1	-
	女性	424	74.5	7.5	46.0	4.2	1.2	9.2	1.7	3.3	1.9	0.5
	その他	7	71.4	-	42.9	-	14.3	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳	29	41.4	6.9	31.0	6.9	6.9	58.6	10.3	10.3	-	-
	20～24歳	84	72.6	4.8	42.9	4.8	1.2	21.4	-	8.3	-	1.2
	25～29歳	95	66.3	8.4	55.8	5.3	2.1	9.5	4.2	5.3	4.2	1.1
	30～34歳	211	75.4	10.4	43.6	6.2	1.9	5.2	3.3	0.5	2.4	-
	35～39歳	237	79.3	7.6	42.2	5.5	1.3	3.8	0.4	2.5	2.5	-
地域別	備前地域	329	73.9	8.8	46.2	6.4	1.2	10.0	1.5	3.0	2.4	-
	備中地域	266	72.6	7.1	42.1	4.9	1.9	9.8	2.6	3.0	2.3	0.8
	美作地域	62	77.4	9.7	41.9	4.8	4.8	8.1	4.8	6.5	1.6	-

10 自由意見

問33 青少年の健全育成に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

全体では114件のご意見・ご要望が寄せられた。区分別では、「地域社会について」が44件と最も多く、次いで「学校、教育について」(39件)、「その他」(26件)などの順となっている。

備前地域、備中地域の青年では、「地域社会について」、「学校、教育について」が多くなっている。

美作地域の青年では、「地域社会について」、「その他」が多くなっている。

【青年（自由記述分類表）】

分類	合計	備前地域	備中地域	美作地域
学校、教育について	39	21	15	3
安全・安心について	15	7	7	1
地域社会について	44	22	18	4
スマホ、インターネットについて	5	4	1	0
家庭生活について	19	10	7	2
大人の反省点について	8	4	3	1
保護者支援、子育て支援について	9	5	4	0
青少年へのより良い指導について	15	9	5	1
その他	26	12	10	4
合計		55	50	9

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容件数は一致しない。

<問 33 の主な自由意見>

(1) 学校、教育について

内容	地域別
教員の負担が大きすぎる。学校では教科の学習を主とし、その他の教育は家庭や地域、学校以外の行政が担うべき。学校に警察や弁護士を配置して、いじめや非行に対応してほしい。	備前地域
家庭での関わり方も大切です。でも、友人と付き合っていくことで成長し、性格なども変わってきます。友人とどのように付き合っていくかでも、大きく変わってくると思います。	備前地域
相談場所の充実。身近な場所に心理職との繋がりがほしい。	備前地域
学校の先生の質をあげてほしい。私の地域の先生達は頼れない方ばかりで困っている。先生が病気で学校を休んでいると、子ども達のトラブルに対応できない。	備前地域
学校側と保護者側のコミュニケーションの充実。	備中地域
各学校に生理用品の配置をしてほしい。	備中地域
自宅近くに高校があるのですが、迷惑行為をしたり交通マナーを守らない生徒がいるので、学校でマナーの教育もしてほしい。	備中地域
学校の安全を守るために学校、幼稚園、保育園等に警備員を配置してほしい。	備中地域
学校や社会人等をつまづいて休んでも、色々な所で人は生きていける、目の前の事だけが世界ではないという事も子ども達に教えていきたい。	美作地域

(2) 安全、安心について

内容	地域別
高齢化社会が進む中、子どもの未来を安全で確実なものにしてほしい。	備前地域
地域の子どもの安全確保のために見守り等を行うことが可能な大人は少ない。そのため、ドローンの活用や防犯カメラの増設が良いのではと思います。もしくは、警察だけでなく警備会社にお金を払って見回りをしてもらいたいのではと思います。	備前地域
スマホを見ながら自転車に通学する生徒が多い。数回ぶつかった事があるが、次の日もスマホを操作しながら自転車に乗っている。警察が本気で取り締まりをしないと、いつか大きな事故が起こる。	備前地域
子どもの登下校が心配です。細い路地を猛スピードの車が走行したり、集団で登下校していても、安全に登下校できるか不安に感じる場面が結構あります。安全な集合場所や付き添いの仕組み、通学路の整備などが進むといいなと思います。	備中地域
ゲームセンターや飲食店への夜間パトロール。登下校時の危険箇所の見回り。	備中地域
環境整備ができてない。街灯やガードレール、舗装路など。子どもが外で遊ばない理由の一つに外の安全性が確保されてないからと思う。	備中地域

内容	地域別
地域の子どもの安全のためにも、防犯灯や防犯カメラは無理のない範囲で設置した方がいいと思う。	備中地域

(3) 地域社会について

内容	地域別
社会での繋がりが大切です。孤立状態やひきこもり状態にならないように、地域のイベントを増やすなどして、近所付き合いを行うことが必要かと思います。	備前地域
行政機関が積極的に各家庭に関わってほしい。ボランティア等も大切だが、自治体に関わっていける場を提供してほしい。	備前地域
青少年の心を育むという観点では、幼少期の頃に様々な経験を積むことが大切だと思います。私の生まれ育った地域では、クリスマス会があったり、旅行に行ったりとご近所との繋がりが多くありました。ご近所の方々との交流は大切だと思います。	備前地域
健全育成のためには、仲間や友達づくりができる場所や機会をつくるのが大切だと思います。	備前地域
ヤングケアラーは声をあげることも誰かに頼ることもできない状態に陥りやすいので、それを救い上げるシステムがほしい。青少年の健全育成のために、教員やPTAに負担をかけるのも難しく、地域ボランティアに頼り切るのもどうかと思う。できれば行政から少額でもいいので予算をあてて、有償ボランティア等ができないか考えてもらいたい。	備前地域
県内中心部だけでなく、県内全体にボランティアの場を拡大していただければ幸いです。	備中地域
子どもたちが幸せに過ごせる環境のために、親が食事で困った時に相談できる場所や、コミュニティーフリッジのような公共冷蔵庫をもっと増加してもらえることを願います。	備中地域
若い世代及び子どもの数が減っている。自治体は子どもが増えるための案を出すべき。育成は大切だが、そのための環境が整っていないので、まず環境を整えてほしい。	備中地域
自分の住んでいる地域がどのような活動をしているか知るためのイベントや授業をしたらいいと思います。	備中地域
昔より地域に関わる機会が減っているように思います。若い人たちはその時には必要性を感じないかもしれないけれど、若いうちから地域と関わり続ける機会があればよいなと思います。	美作地域

(4) スマホ、インターネットについて

内容	地域別
元気に育ってくれたらと思うが、インターネットとなると守り方も難しい。例題として怖い体験は小さい頃から知っている意識は高まるかもしれない。	備前地域
インターネットの利用が問題視されるかもしれないが、核家族で子育てしていると動画に頼らざるをえないし、インターネットを避けて生活できない時代になっている。動画サービスは些細な要求をすぐに満たしてくれるので、便利な反面、我慢のできない子どもになるのではないかとの不安も正直ある。インターネットとの上手な付き合い方は家庭でも学校でも教えていく必要がある。	備前地域
今はネット社会で小学生でもスマホを持っている時代で、連絡手段や子供の安全を守るために持たせている家庭もあると思います。ですが、スマホを持っていない子どもが友達からいじめや仲間外れをされる事があったり、SNSで悪口などを書かれたりする事もあります。スマホを持つとは言えないので、いじめに繋がることのないよう、ルールづくりが必要だと思います。	備中地域

(5) 家庭生活について

内容	地域別
核家族やひとり親世帯の増加による子どもへの愛情不足、コミュニケーション不足が心配だ。また、早いうちから子どもへスマホを与えることによる、ブルーライトの悪影響を感じる。	備前地域
家庭での温かい支えが一番大切だと思います。	備中地域
仕事で家庭や地域に関わる時間が少ない。親が家庭と関わる時間が増えると、育児などで時間が取れるし、夫婦の時間が取れる。未婚者でも恋人探しなどの時間が取れ、将来的に少子化対策になる。うわべだけの働き方改革を直してほしい。	美作地域

(6) 大人の反省点について

内容	地域別
大人が良くないと、子供に対してお手本にはならないと思うので、基本的な挨拶、相手の思いを尊重すること、笑顔で話すこと等を見せていくことも大切だと思います。	備前地域
子どもの問題を抱える保護者に対して、支援を出来ればと思う。	備中地域
子どものことを学校や保育園に丸投げ状態の家庭が増えている気がする。家庭での教育や困りごとについて外部機関と連携したり、相談できる環境づくりが必要だと感じます。	美作地域

(7) 保護者支援、子育て支援について

内容	地域別
少子化対策をしないと税収が減り行政運営自体が崩壊する。子どもを産みやすく育てやすい県や市にする必要がある。そのために、子育て世代に対し手厚い支援策を求める。	備前地域
子育て世帯へのアプローチやサポートが充実してくれると、子どもに割くことの出来る時間やお金が増えて、幸福度が増すのではないかと思います。少子化の日本において、地域で子どもを育てるとい文化が消失している地域も多いと思います。孤立しやすく孤独を感じやすい環境を改善することも、出来たらいいなと思います。	備前地域
ヤングケアラーの子ども達が、自分が進みたい進路や生活を送ることができるよう、お金や生活面の制度を充実させること。	備中地域

(8) 青少年へのより良い指導について

内容	地域別
子どもは大人を見て育つし、環境によって変わると思います。この世に産まれた時は誰もが同じですが、育っていく環境の中で人格形成されていくし、その過程で会う人によっても大きく左右されると思います。少しでも笑顔あふれる世の中になってほしいと思っています。	備前地域
子どものうちから自己肯定感をしっかり持つことで、非行に走ることも少なくなると思います。そのためには周りの大人が気にかけて、声をかけ、いろいろな体験の機会を用意することが重要と考えます。	備前地域
他人と関わることを嫌う人が増えているように思います。未来に希望がもてないことも問題だと思っています。	備前地域
各都道府県警に設置されている学生協助員の活動は非常に効果的・有意義な取り組みだと思う。	備前地域
大人も子どももみんな腹を割って話をするのも楽しそうだし、色々なことが学べるなと思います。	備中地域

IV 保護者編

IV-1 属性

(1) 子どもの学校種別

	小学生	中学生	高校生	合計
回答数(人)	493	537	464	1,494
割合(%)	33.0	35.9	31.1	100.0

(2) 地域別

	備前県民局	備中県民局	美作県民局	合計
回答数(人)	704	579	211	1,494
割合(%)	47.1	38.8	14.1	100.0

(3) 保護者の年齢<問1>

	~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~	無回答	合計
回答数(人)	6	25	182	497	498	226	41	15	4	1,494
割合(%)	0.4	1.7	12.2	33.3	33.3	15.1	2.7	1.0	0.3	100.0

(3) 同居している人<問2> (複数回答)

	配偶者等	子1人	子2人	子3人以上	親	兄弟・姉妹	その他	無回答	合計
回答数(人)	1,247	269	727	479	276	21	42	3	1,494
割合(%)	83.5	18.0	48.7	32.1	18.5	1.4	2.8	0.2	100.0

(4) 子どもとの続柄<問3>

	父親	母親	祖父	祖母	その他	無回答	合計
回答数(人)	138	1,343	1	6	3	3	1,494
割合(%)	9.2	89.9	0.1	0.4	0.2	0.2	100.0

IV-2 調査結果

1 家庭の就労形態について

問4 あなたの家庭は、共働きですか。《○は1つ》

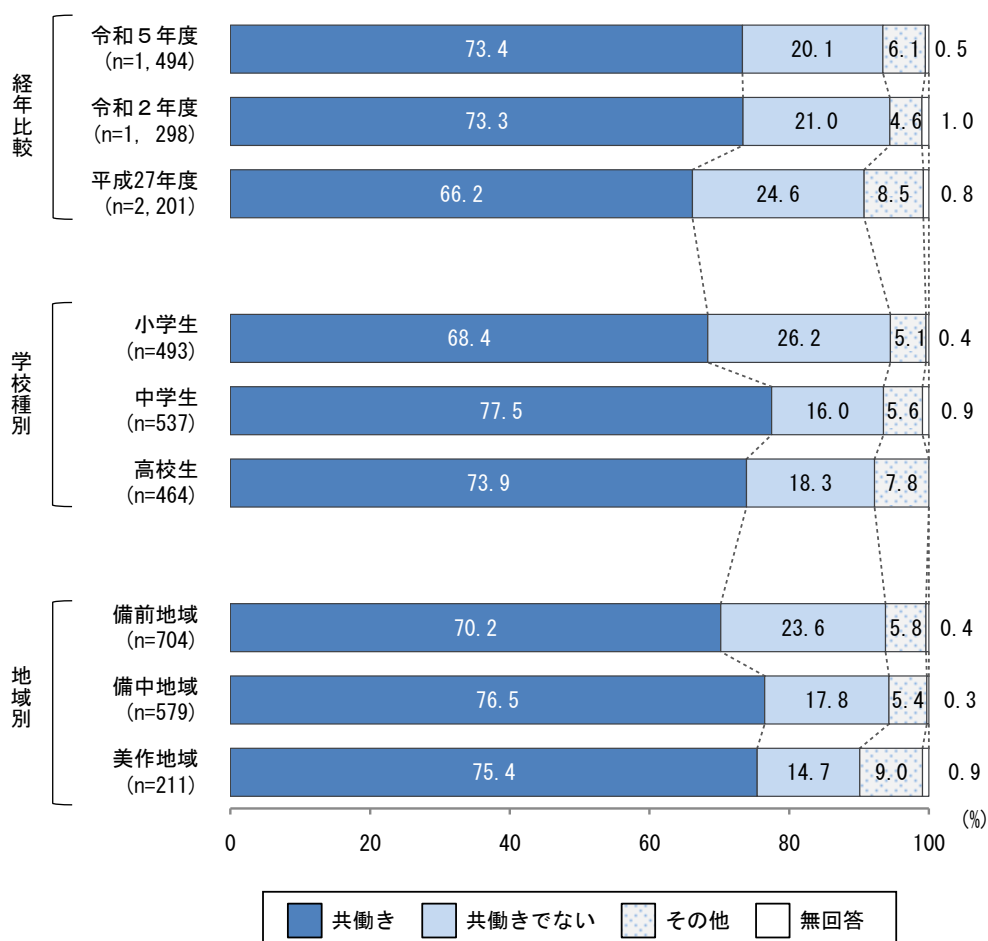
共働きの状況について、「共働き」の家庭は7割台半ばとなっている。

経年比較すると、「共働き」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「共働き」との回答は中学生で約8割と高くなっている。

地域別にみると、「共働き」との回答は備中地域、美作地域で7割台半ばと高くなっている。

【図表 共働きの状況（経年比較・学校種別・地域別）】



2 平日の家庭での生活について

問5 あなたは、朝食を食べていますか。《○は1つ》

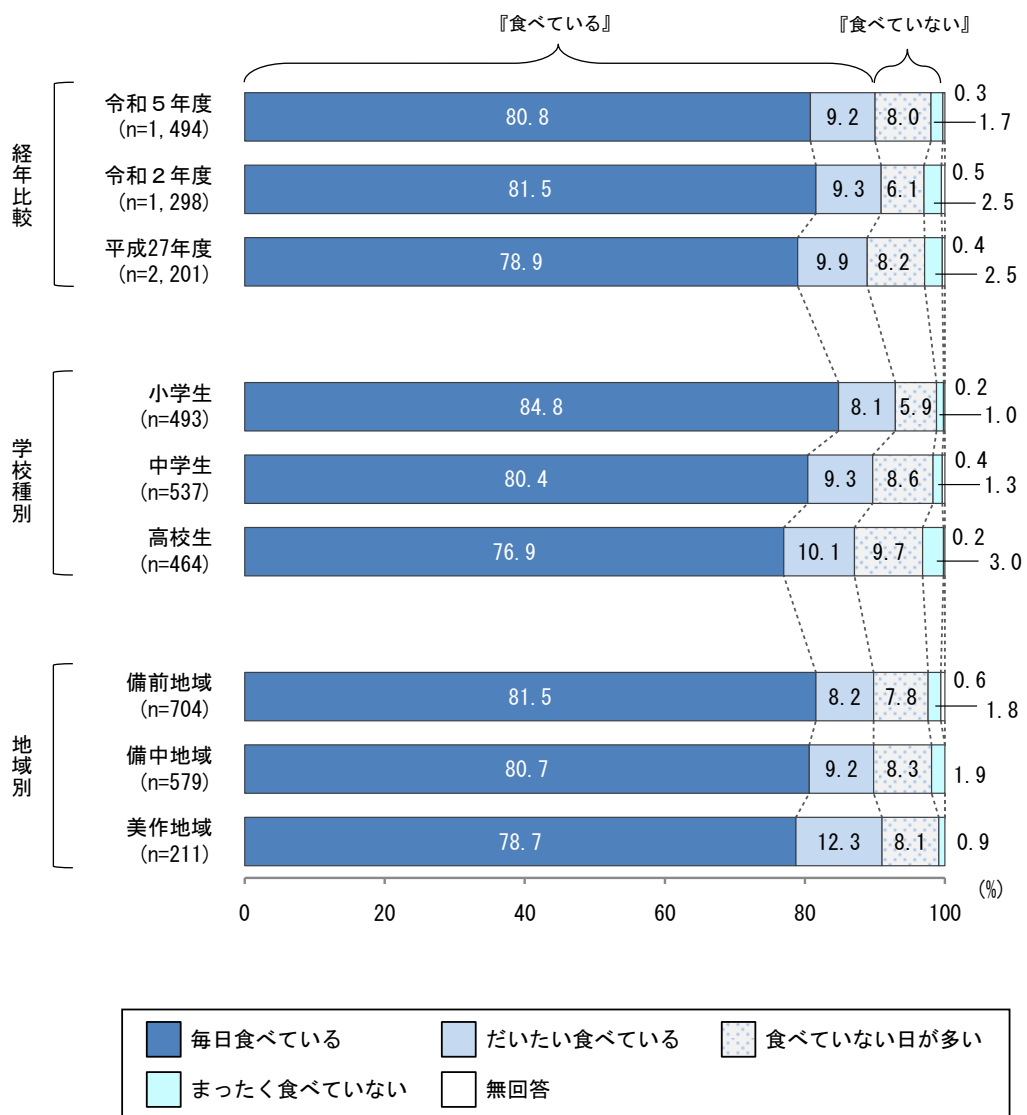
朝食の摂取状況について、約9割が『食べている』（「毎日食べている」と「だいたい食べている」を合わせた割合）と回答している。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、小学生が9割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 朝食の摂取状況（経年比較・学校種別・地域別）】



問6 あなたは、食事をお子さんと一緒に食べていますか。《○は①と②それぞれ1つずつ》

① 朝食

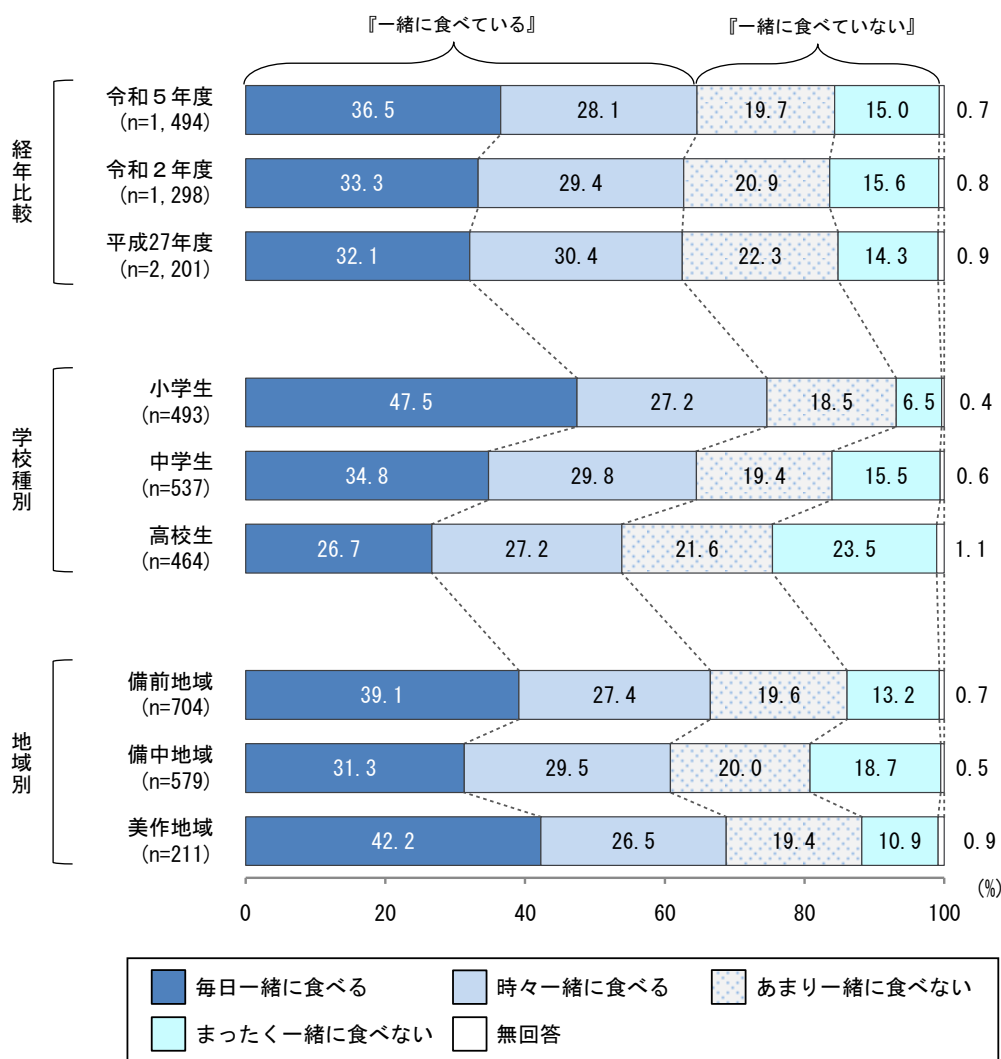
子どもと一緒に食事をするかどうかについて、朝食では、「毎日一緒に食べる」との回答が36.5%と最も高く、次いで「時々一緒に食べる」(28.1%)、「あまり一緒に食べない」(19.7%)、「まったく一緒に食べない」(15.0%)の順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別でみると、「毎日一緒に食べる」との回答は小学生で約5割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「毎日一緒に食べる」との回答は美作地域で4割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 子どもと一緒に食べる朝食の摂取状況（経年比較・学校種別・地域別）】



② 夕食

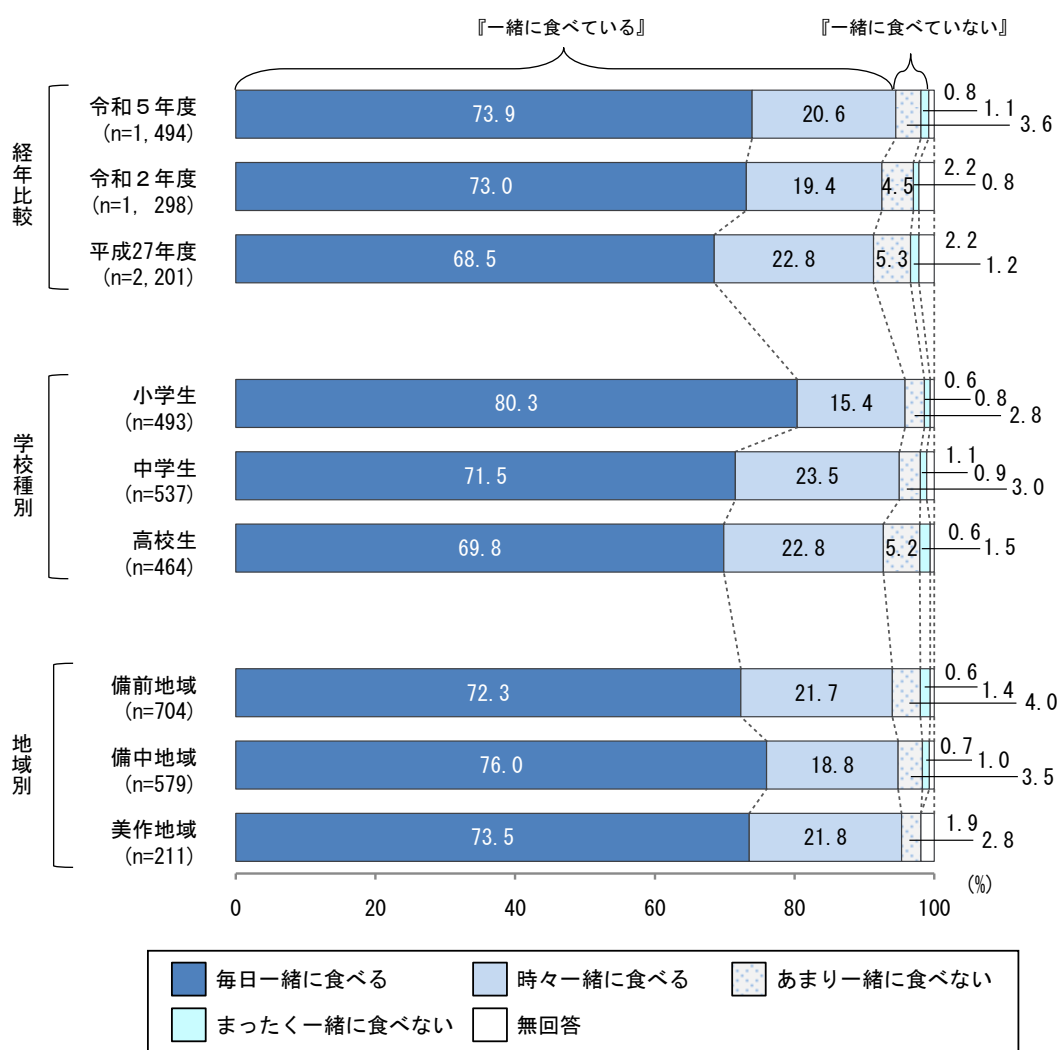
子どもと一緒に食事をするかどうかについて、夕食では、「毎日一緒に食べる」との回答が73.9%と最も高く、次いで「時々一緒に食べる」(20.6%)、「あまり一緒に食べない」(3.6%)、「まったく一緒に食べない」(1.1%)の順となっている。

経年比較すると、「毎日一緒に食べる」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「毎日一緒に食べる」との回答は小学生で約8割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 子どもと一緒に食べる夕食の摂取状況（経年比較・学校種別・地域別）】



3 子どもと一緒に過ごす時間について

問7 あなたが、平日にお子さんと一緒に過ごす時間は、平均どのくらいですか。《○は1つ》

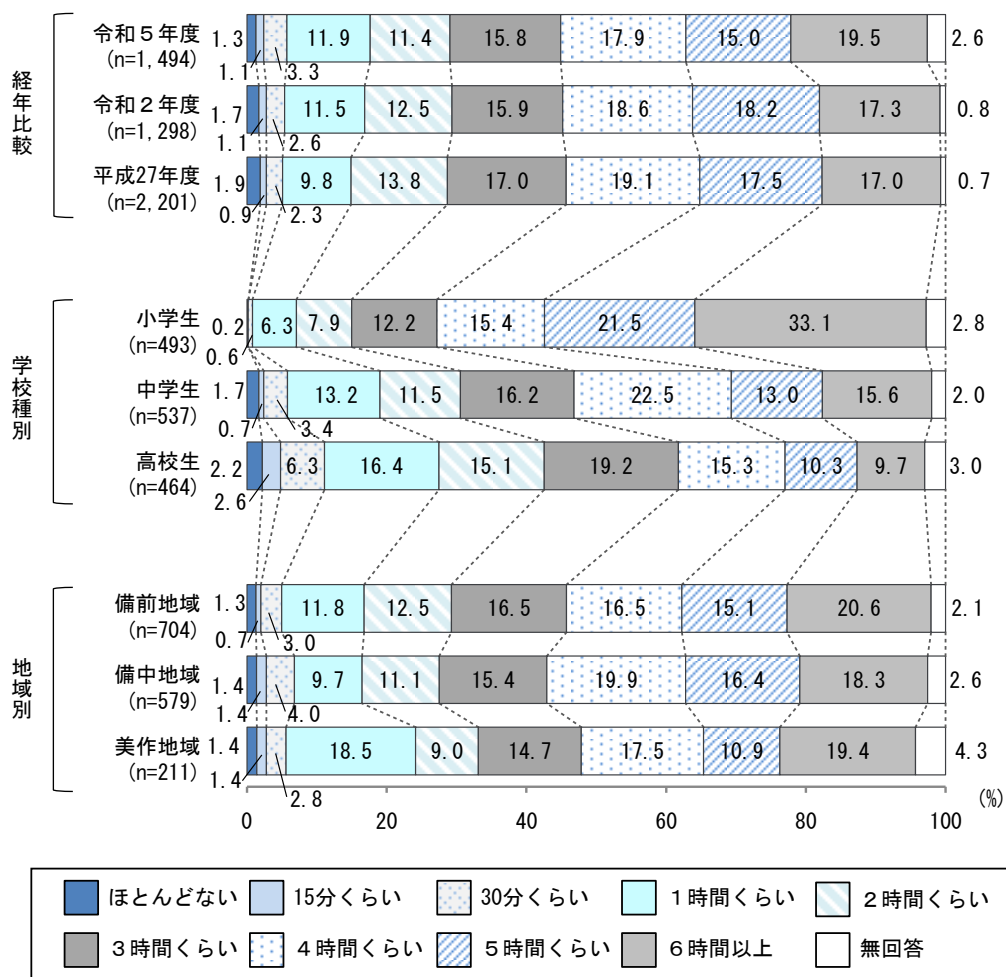
平日に子どもと一緒に過ごす時間について、「6時間以上」との回答が19.5%と最も高く、次いで「4時間くらい」（17.9%）、「3時間くらい」（15.8%）、「5時間くらい」（15.0%）などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『4時間以上』（「4時間くらい」と「5時間くらい」と「6時間以上」を合わせた割合）との回答は小学生で約7割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて一緒に過ごす時間が短くなっている。

地域別にみると、『4時間以上』との回答は備中地域で5割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

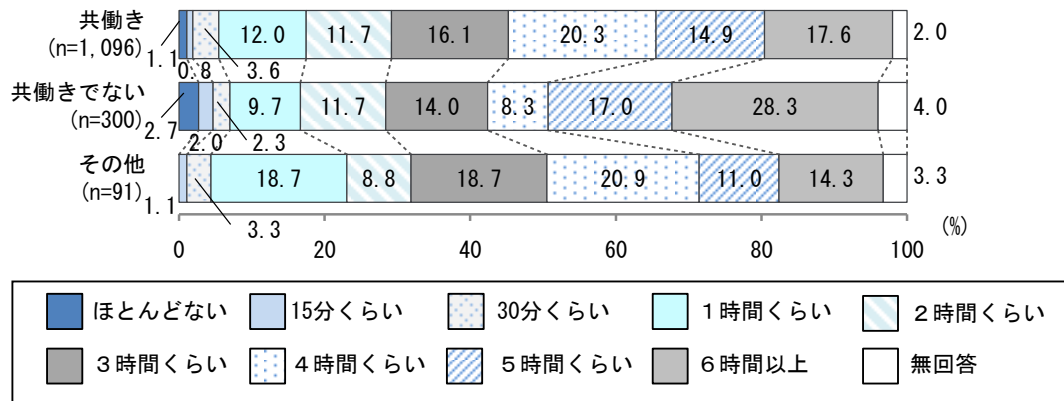
【図表 平日に子どもと一緒に過ごす時間（経年比較・学校種別・地域別）】



<問4 共働き状況との関係>

平日に子どもと一緒に過ごす時間について、共働き状況別にみると、共働きの家庭では「4時間くらい」との回答が約2割、共働きでない家庭では「6時間以上」との回答が約3割と高くなっている。

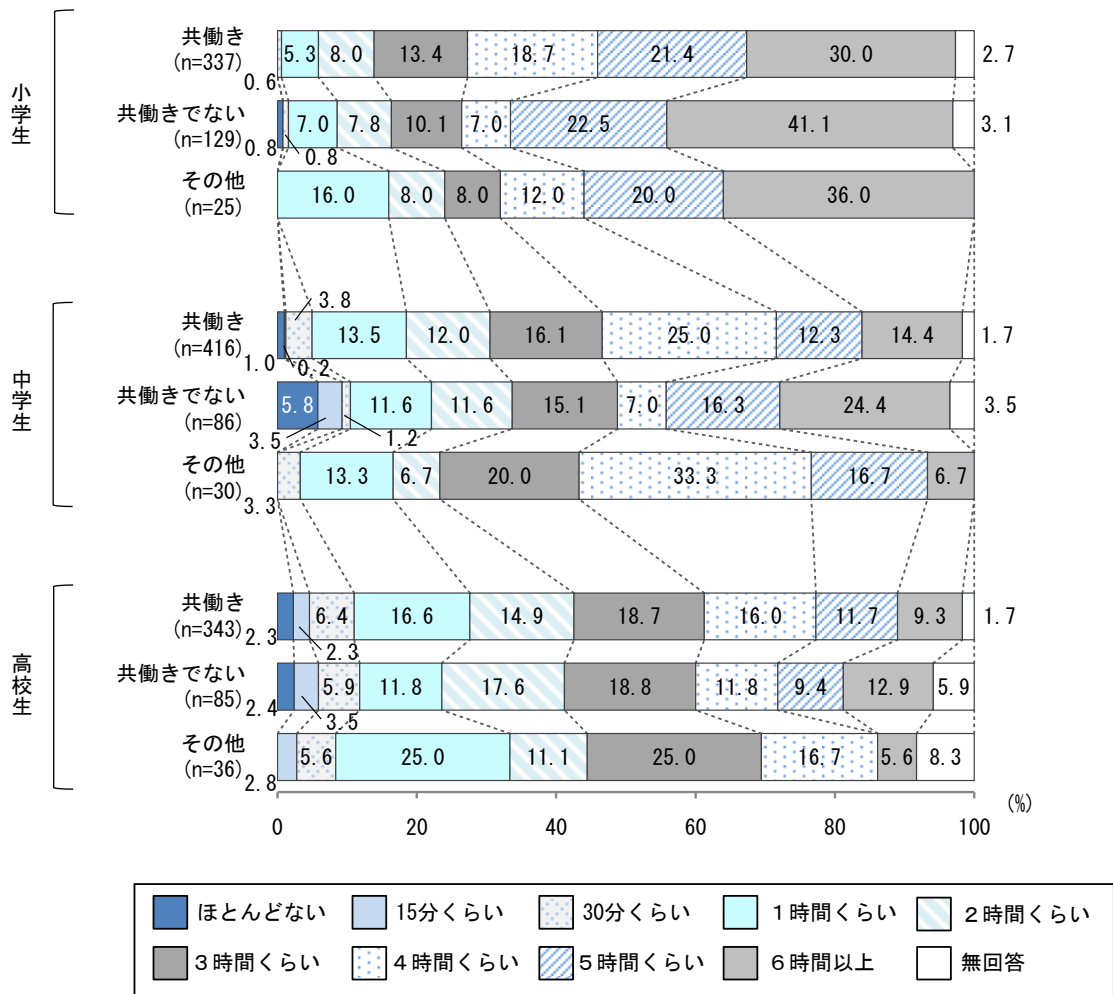
【図表 平日に子どもと一緒に過ごす時間（共働き状況別）】



＜問4 共働き状況との関係：学校種別＞

平日に子どもと一緒に過ごす時間について、共働き状況別に学校種別でみると、小学生では「6時間以上」との回答が、共働きの家庭で3割、共働きでない家庭で4割超と高くなっている。中学生では共働きの家庭で「4時間くらい」との回答が2割台半ば、共働きでない家庭で「6時間以上」との回答が2割台半ばと高くなっている。高校生では「3時間くらい」との回答が、共働きの家庭と共働きでない家庭で、いずれも約2割と高くなっている。

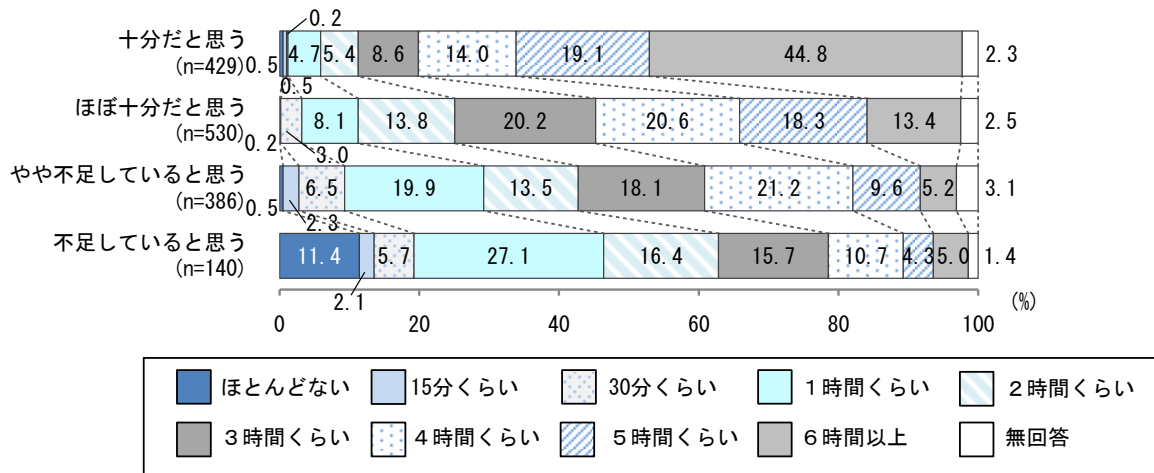
【図表 平日に子どもと一緒に過ごす時間（共働き状況別×学校種別）】



<問8 平日にお子さんと一緒に過ごす時間が十分かどうかとの関係>

平日に子どもと一緒に過ごす時間について、平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分かどうか別にみると、一緒に過ごす時間が十分だと思う人は「6時間以上」との回答が4割台半ばと高くなっている。一方、一緒に過ごす時間が不足していると思う人は「1時間くらい」との回答が約3割と高くなっている。

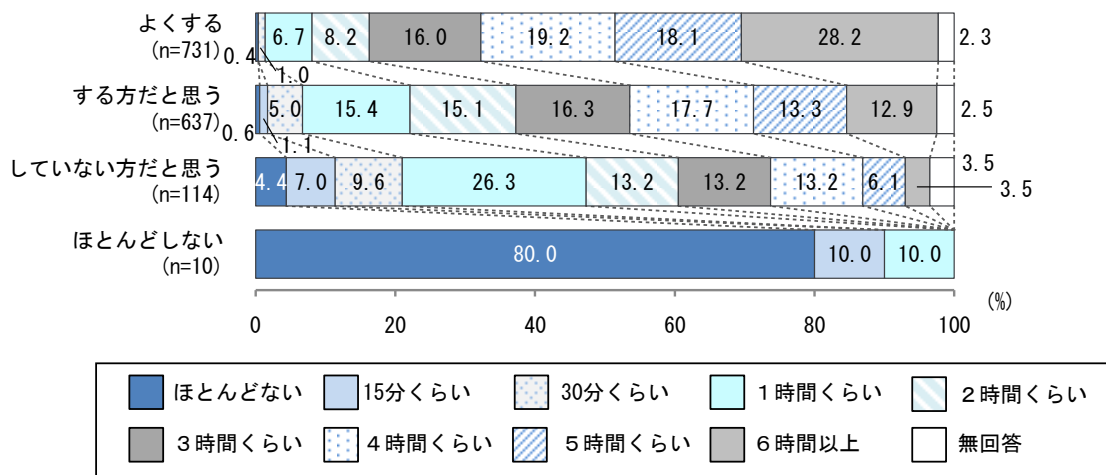
【図表 平日に子どもと一緒に過ごす時間
(平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分かどうか別)】



<問9 お子さんとの会話との関係>

平日に子どもと一緒に過ごす時間について、子どもとの会話状況別にみると、会話をよくする人は子どもと一緒に過ごしている時間が「6時間以上」との回答が約3割と高くなっている。一方、会話をしていない方だと思える人は子どもと一緒に過ごしている時間が「1時間くらい」との回答が2割台半ばと高くなっている。

【図表 平日に子どもと一緒に過ごす時間 (子どもとの会話状況別)】



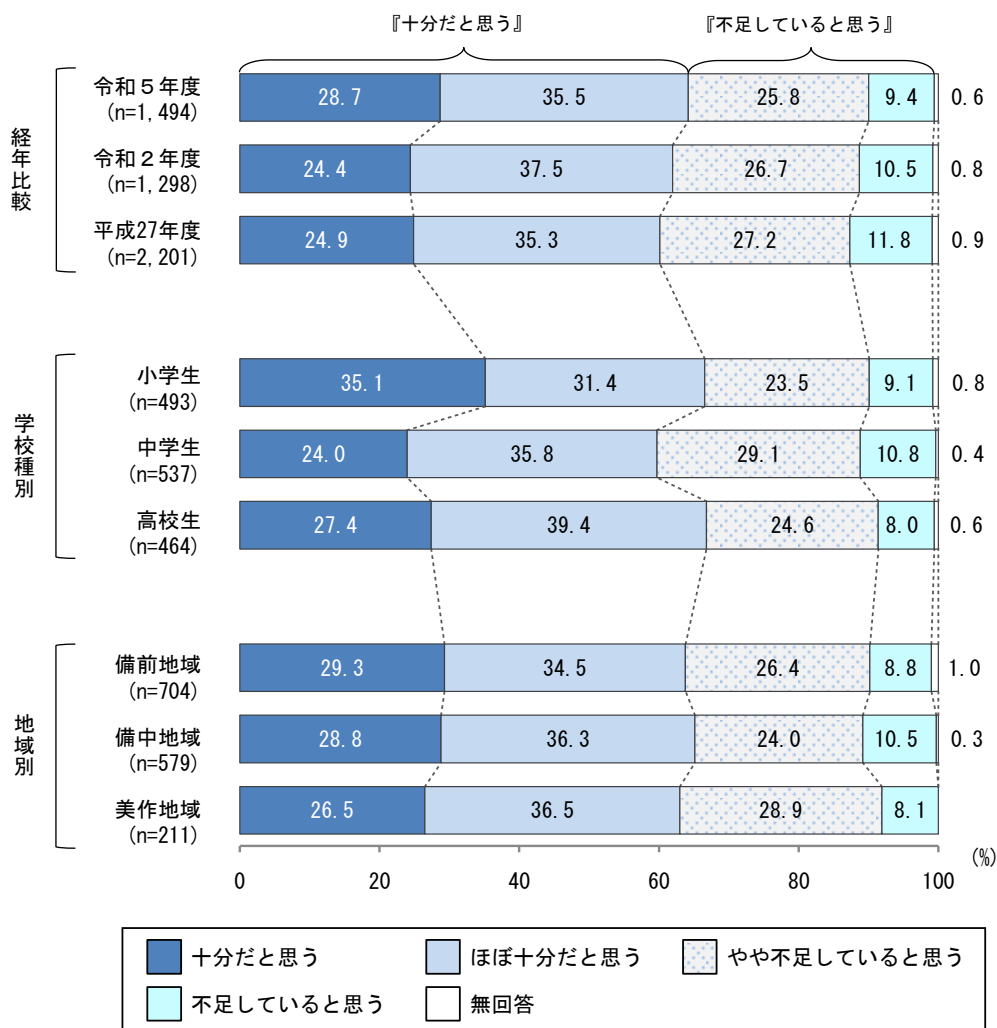
問8 あなたは、問7で○をつけた時間で、十分だと思いますか。《○は1つ》

平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分だと思うかどうかについて、『十分だと思う』（「十分だと思う」と「ほぼ十分だと思う」を合わせた割合）との回答が64.2%、『不足していると思う』（「不足していると思う」と「やや不足していると思う」を合わせた割合）との回答が35.2%となっている。

経年比較すると、『十分だと思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にあり、『不足していると思う』との回答は減少傾向にある。

学校種別にみると、『十分だと思う』との回答は小学生、高校生で6割台半ばと高くなっている。地域別にみると、大きな差はみられない。

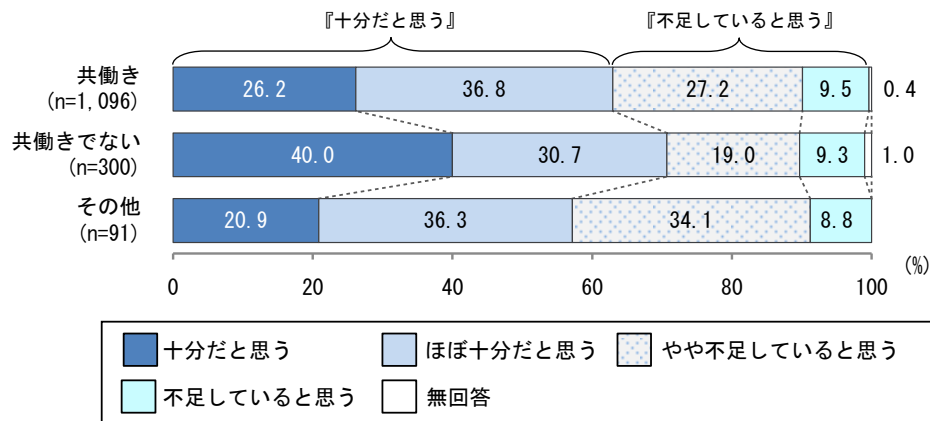
【図表 平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分かどうか（経年比較・学校種別・地域別）】



<問4 共働き状況との関係>

平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分かどうかについて、共働き状況別にみると、『十分だと思う』との回答は共働きの家庭（63.0%）が共働きでない家庭（70.7%）を7.7ポイント下回っている。

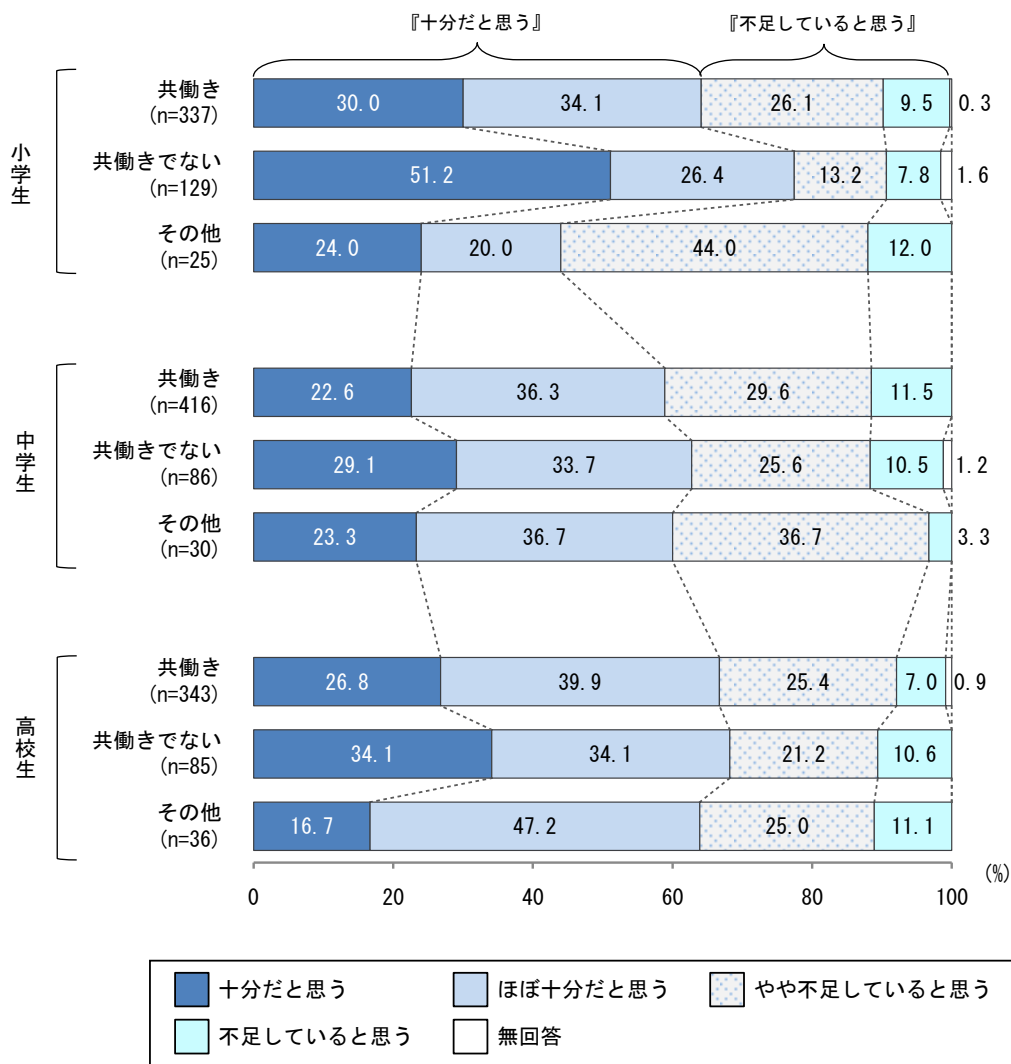
【図表 平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分かどうか（共働き状況別）】



＜問4 共働き状況との関係：学校種別＞

平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分だと思うかどうかについて、学校種別の共働き状況別で見ると、『十分だと思う』との回答は小学生で13.5ポイント、中学生で3.9ポイント、高校生で1.5ポイント共働きの家庭が共働きでない家庭を下回っている。

【図表 平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分かどうか（共働き状況別×学校種別）】



4 子どもとの会話について

問9 あなたは、お子さんと会話をしていますか。《○は1つ》

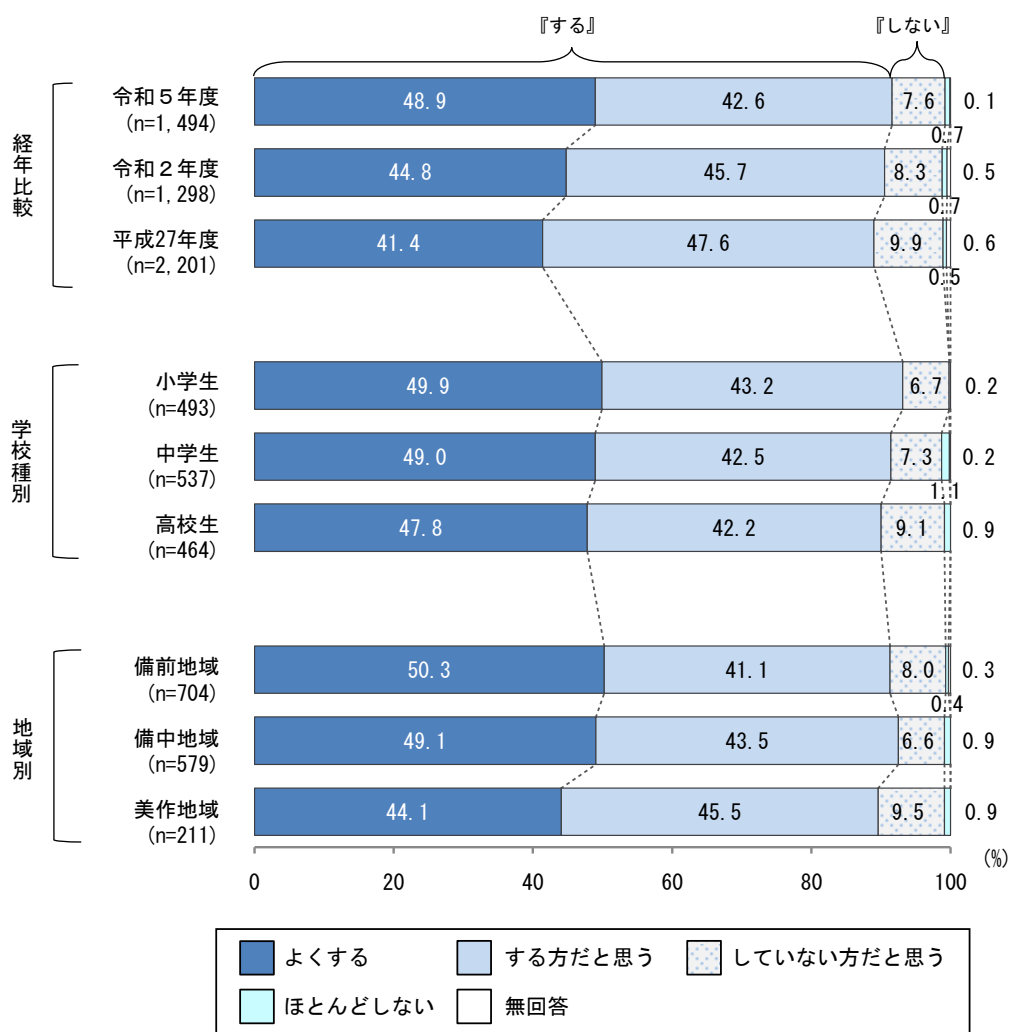
子どもとの会話について、約9割が会話を『する』（「よくする」と「する方だと思う」を合わせた割合）と回答している。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『しない』（「ほとんどしない」と「していない方だと思う」を合わせた割合）との回答は高校生で1割と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

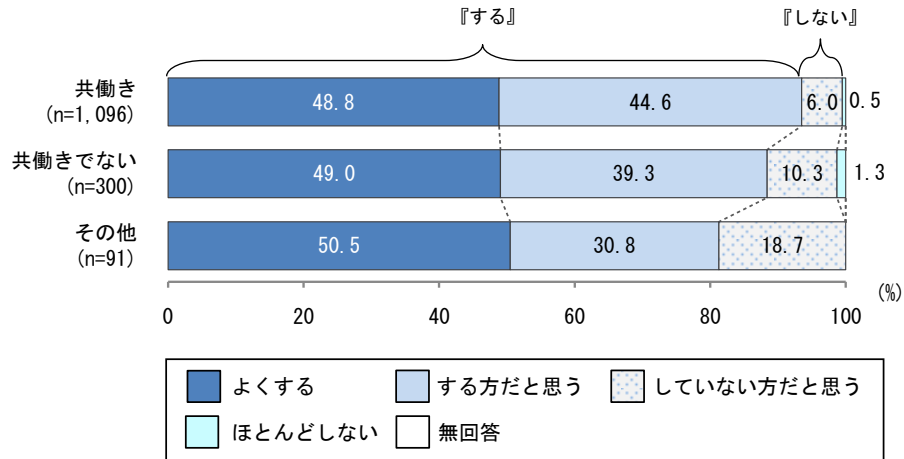
【図表 子どもとの会話（経年比較・学校種別・地域別）】



<問4 共働き状況との関係>

子どもとの会話について、共働き状況別にみると、会話を『する』（「よくする」と「する方だと思ふ」を合わせた回答）と回答した割合は、共働きでない家庭が共働きの家庭を5.1ポイント下回っている。

【図表 子どもとの会話（共働き状況別）】



（問9で「3. していない方だと思ふ」または「4. ほとんどしない」に○がついた人だけ
お答えください。）

問9-1 あなたが、お子さんと会話をしないのはなぜですか。《○はいくつでも》

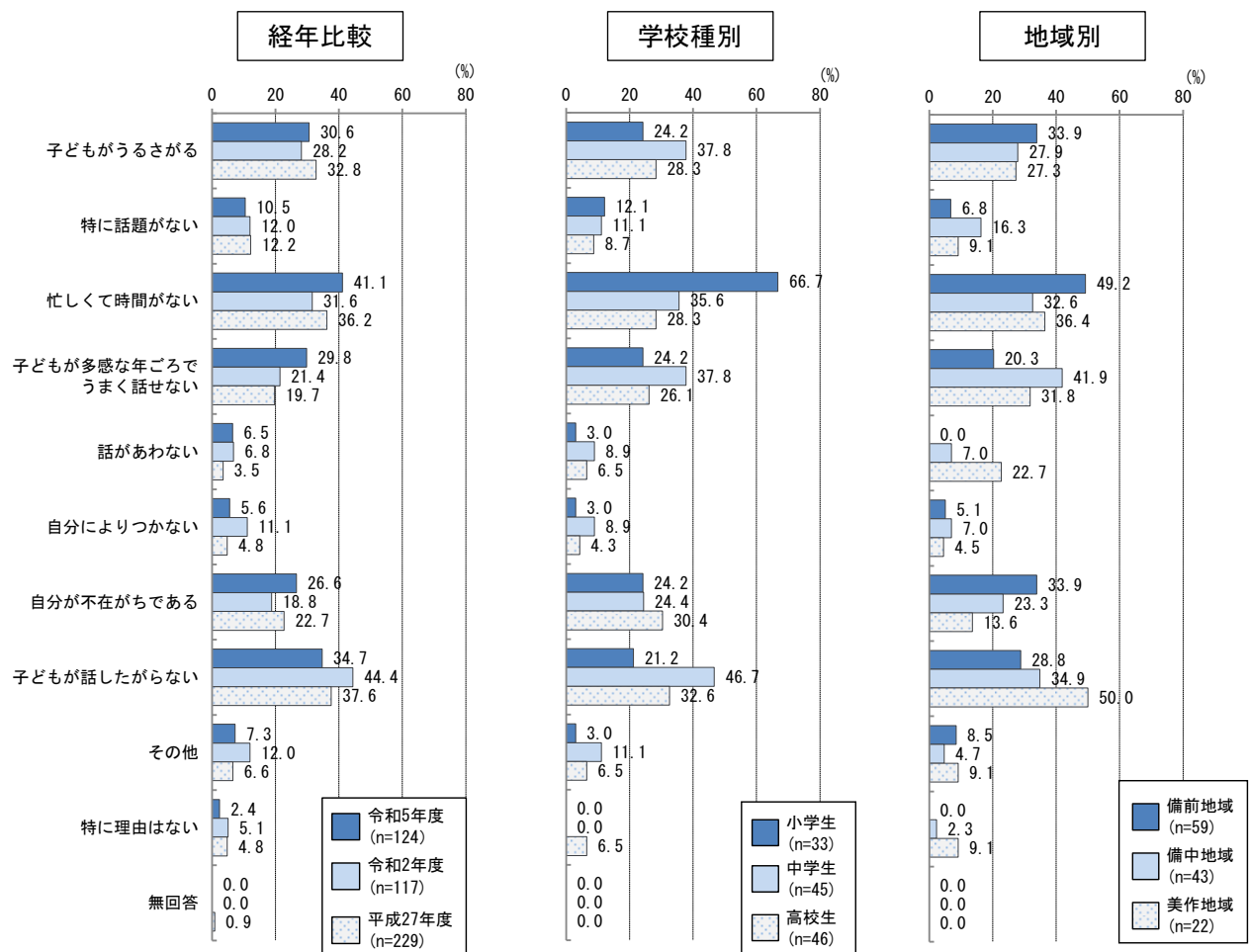
子どもとの会話をしない理由について、「忙しくて時間がない」との回答が41.1%と最も高く、次いで「子どもが話したがらない」(34.7%)、「子どもがうるさがる」(30.6%)などの順となっている。

経年比較すると、「子どもが多感な年ごろでうまく話せない」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「忙しくて時間がない」との回答は小学生で6割台半ばと高くなっている。また、「子どもが話したがらない」、「子どもがうるさがる」、「子どもが多感な年ごろでうまく話せない」は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「子どもが話したがらない」との回答が美作地域で5割、「忙しくて時間がない」との回答は備前地域で約5割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 子どもとの会話をしない理由（経年比較・学校種別・地域別）】



問10 あなたは、お子さんとどのようなことを話していますか。《〇はいくつでも》

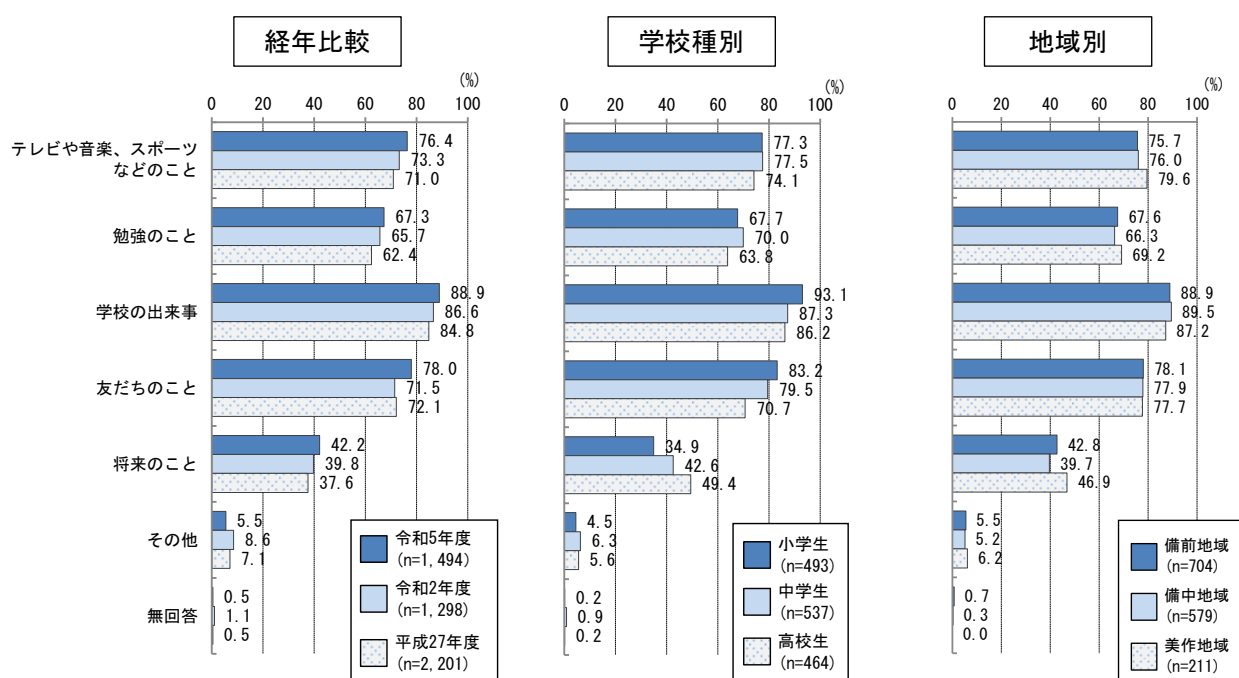
子どもとの会話の内容について、「学校の出来事」との回答が88.9%と最も高く、次いで「友だちのこと」(78.0%)、「テレビや音楽、スポーツなどのこと」(76.4%)、「勉強のこと」(67.3%)などの順となっている。

経年比較すると、すべての選択肢で増加傾向にある。

学校種別にみると、「学校の出来事」、「友だちのこと」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「将来のこと」との回答は高校生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「将来のこと」との回答は美作地域で4割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 子どもとの会話の内容（経年比較・学校種別・地域別）】



5 子どもへのしつけについて

問11 あなたは、お子さんへのしつけについてどう思いますか。《○は1つ》

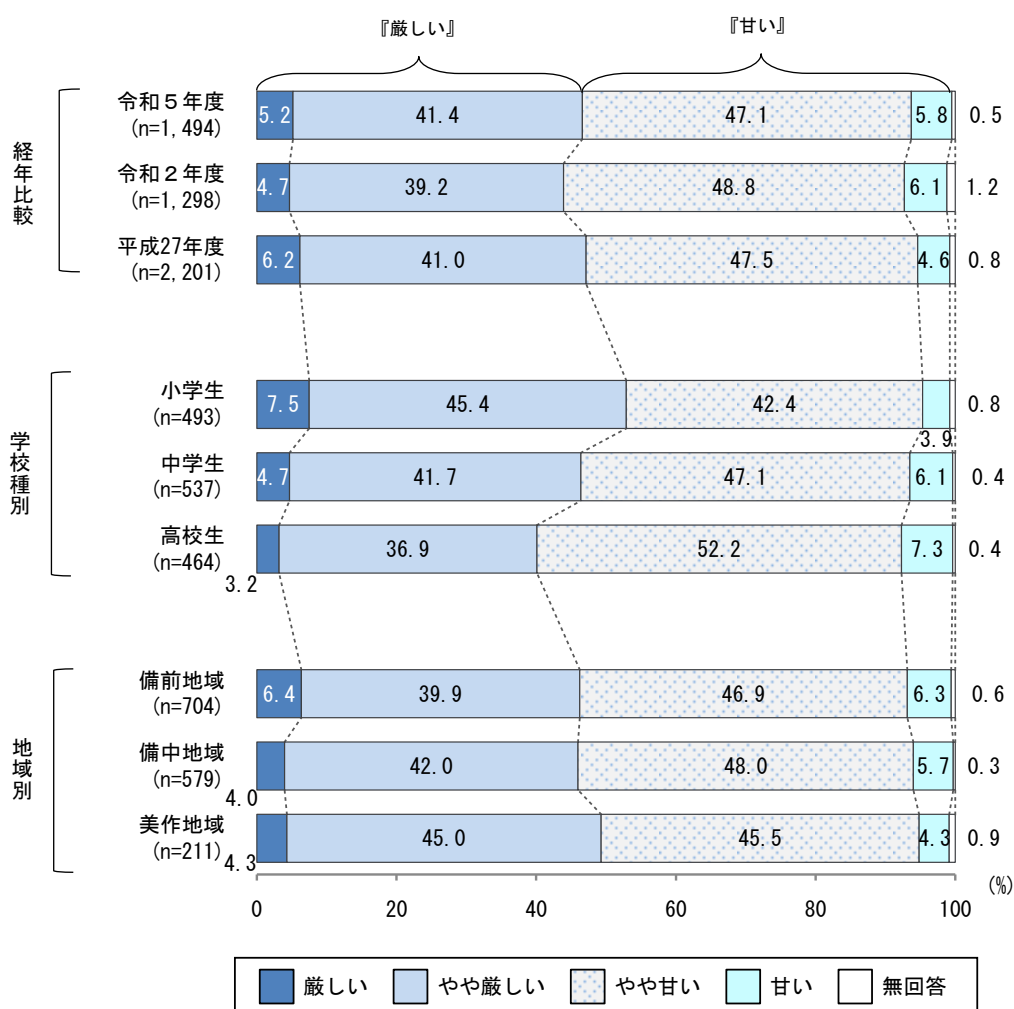
子どもへのしつけについて、『厳しい』（「厳しい」と「やや厳しい」を合わせた割合）との回答が46.6%、『甘い』（「甘い」と「やや甘い」を合わせた割合）との回答が52.9%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『厳しい』との回答が小学生で5割超と高くなっており、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 子どもへのしつけ（経年比較・学校種別・地域別）】



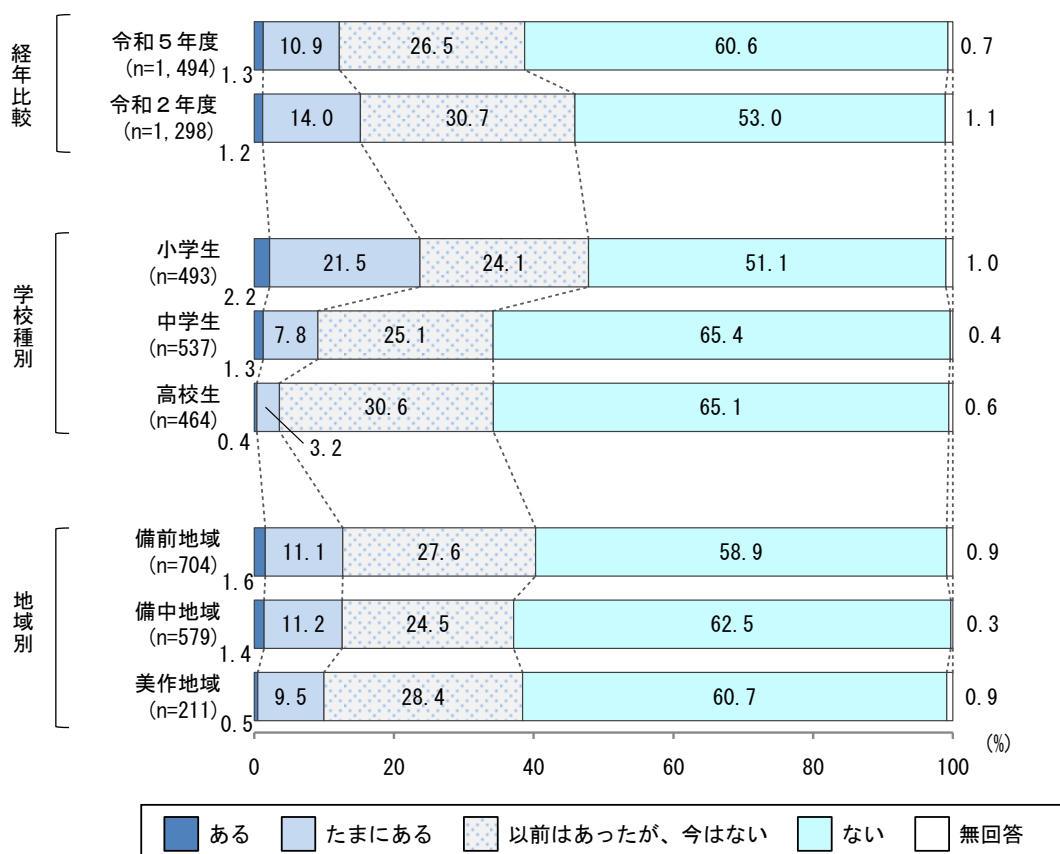
問 1 2 お子さんを叩くことがありますか。《○は1つ》

子どもを叩くことがあるかどうかについて、「ない」との回答が 60.6%と最も高く、次いで「以前はあったが、今はない」(26.5%)、「たまにある」(10.9%)の順となっている。

学校種別にみると、「たまにある」との回答は小学生で2割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 子どもを叩くことがあるか（経年比較・学校種別・地域別）】



問13 あなたが、子育てやしつけなどについて、悩みや不安を感じていることは何ですか。

《〇はいくつでも》

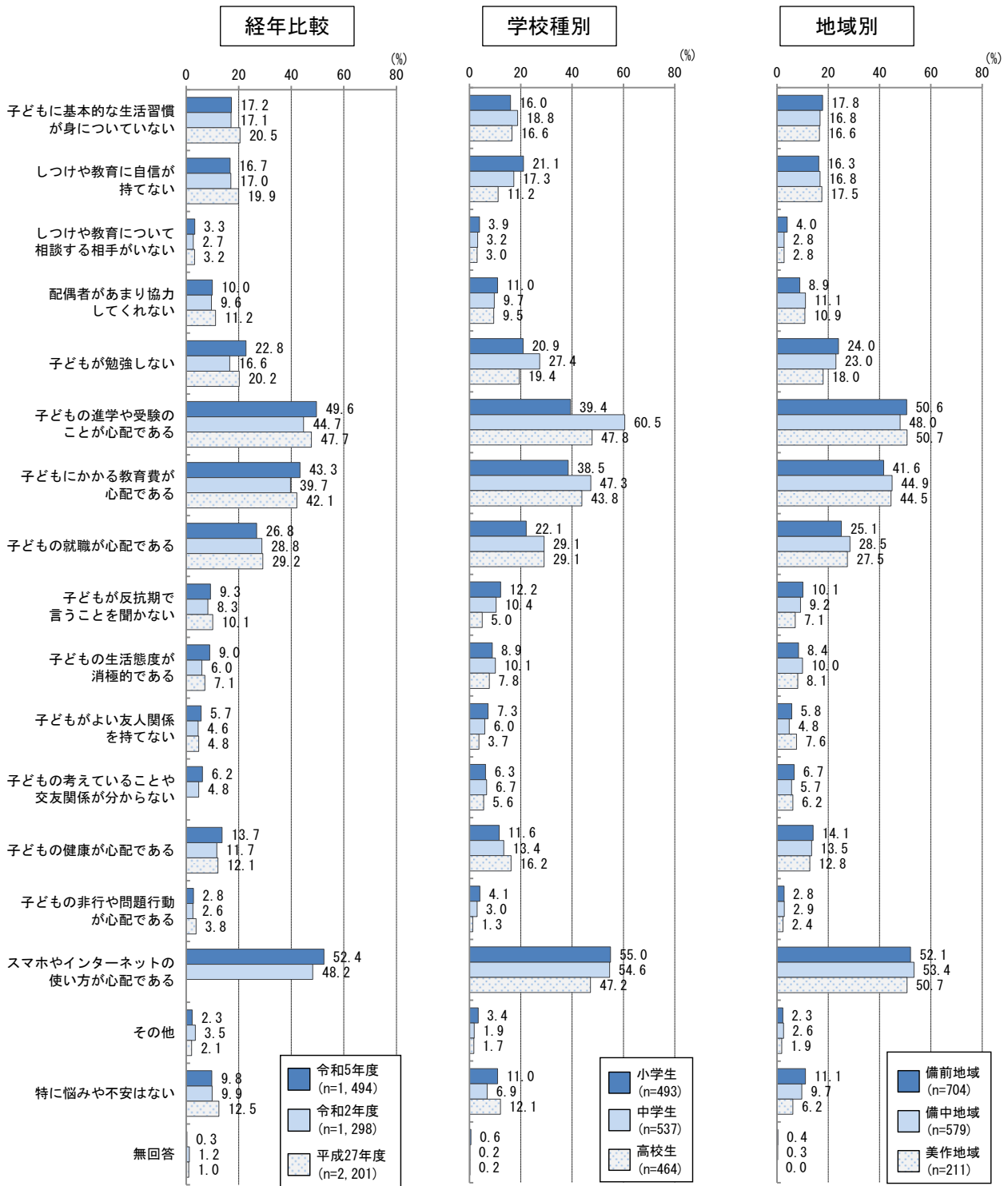
子育てやしつけで悩みや不安を感じていることについて、「スマホやインターネットの使い方が心配である」との回答が52.4%と最も高く、次いで「子どもの進学や受験のことが心配である」(49.6%)、「子どもにかかる教育費が心配である」(43.3%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「子どもの進学や受験のことが心配である」との回答は中学生で約6割と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 子育てやしつけで悩みや不安を感じていること（経年比較・学校種別・地域別）】



＜問8 平日にお子さんと一緒に過ごす時間が十分かどうかとの関係＞

子育てやしつけで悩みや不安を感じていることについて、平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分かどうか別でみると、「子どもの進学や受験のことが心配である」「子どもにかかる教育費が心配である」以外の項目で、子どもと一緒に過ごす時間が不足していると思う人は、悩みや不安を感じている人が多くなる傾向がみられる。

【図表 子育てやしつけで悩みや不安を感じていること
(平日に子どもと一緒に過ごす時間が十分かどうか別)】

(%)

		全体	子どもの進学や受験のことが心配である	スマホやインターネットの使い方が心配である	子どもにかかる教育費が心配である	子どもの就職が心配である	子どもが勉強しない	子どもに基本的な生活習慣が身につけていない	子どもの健康が心配である	しつけや教育に自信が持てない	配偶者があまり協力してくれない
分 か ど う か	令和5年度	464	47.8	47.2	43.8	29.1	19.4	16.6	16.2	11.2	9.5
	平日にお子さんと一緒に過ごす時間が十分だと思う	127	46.5	44.1	37.8	24.4	16.5	14.2	13.4	4.7	8.7
	ほぼ十分だと思う	183	44.3	43.7	47.0	31.1	14.2	14.2	17.5	12.0	7.1
	やや不足していると思う	114	56.1	53.5	44.7	29.8	25.4	18.4	13.2	15.8	13.2
	不足していると思う	37	45.9	54.1	43.2	32.4	32.4	27.0	29.7	16.2	13.5
		全体	子どもの生活態度が消極的である	子どもの考えていることや交友関係が分からない	子どもが反抗期で言うことを聞かない	子どもがよい友人関係を持っていない	しつけや教育について相談する相手がない	子どもの非行や問題行動が心配である	その他	特に悩みや不安はない	無回答
分 か ど う か	令和5年度	464	7.8	5.6	5.0	3.7	3.0	1.3	1.7	12.1	0.2
	平日にお子さんと一緒に過ごす時間が十分だと思う	127	5.5	4.7	6.3	3.9	2.4	0.8	-	18.9	-
	ほぼ十分だと思う	183	7.1	4.4	3.8	5.5	2.2	1.1	1.1	9.3	-
	やや不足していると思う	114	8.8	6.1	2.6	1.8	5.3	1.8	3.5	8.8	0.9
	不足していると思う	37	16.2	13.5	10.8	-	2.7	2.7	5.4	13.5	-

問14 お子さんの手本となるよう、あなたが普段から心がけていることは何ですか。

《〇はいくつでも》

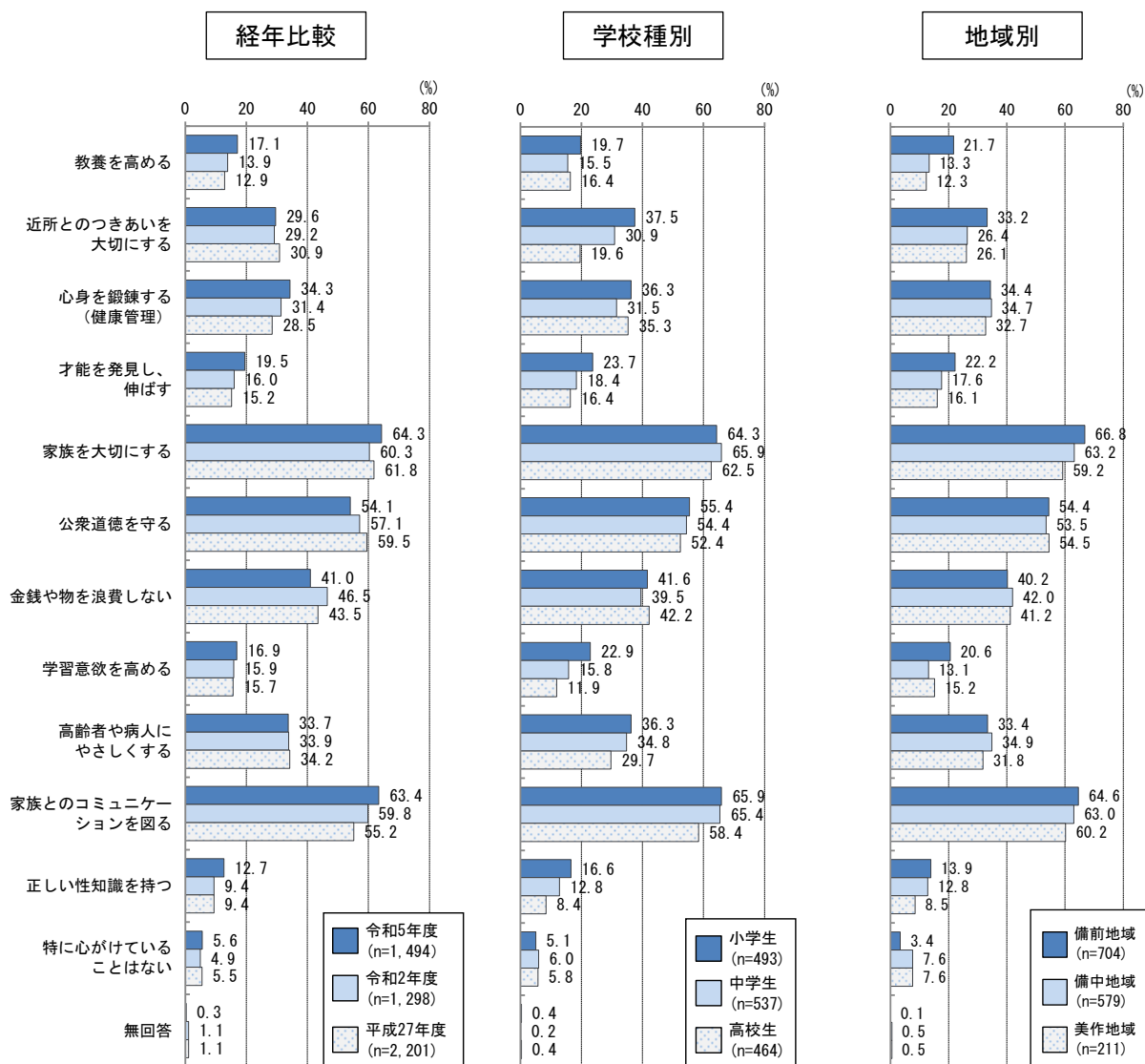
子どもの手本となるよう心がけていることについて、「家族を大切にする」との回答が64.3%と最も高く、次いで「家族とのコミュニケーションを図る」(63.4%)、「公衆道徳を守る」(54.1%)、「金銭や物を浪費しない」(41.0%)などの順となっている。

経年比較すると、「家族とのコミュニケーションを図る」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、ほぼすべての選択肢で小学生が高くなっている。

地域別にみると、「教養を高める」との回答は備前地域で2割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 子どもの手本となるよう心がけていること（経年比較・学校種別・地域別）】



問15 あなたの家庭では、子育てやしつけを主に誰がしていますか。《○は1つ》

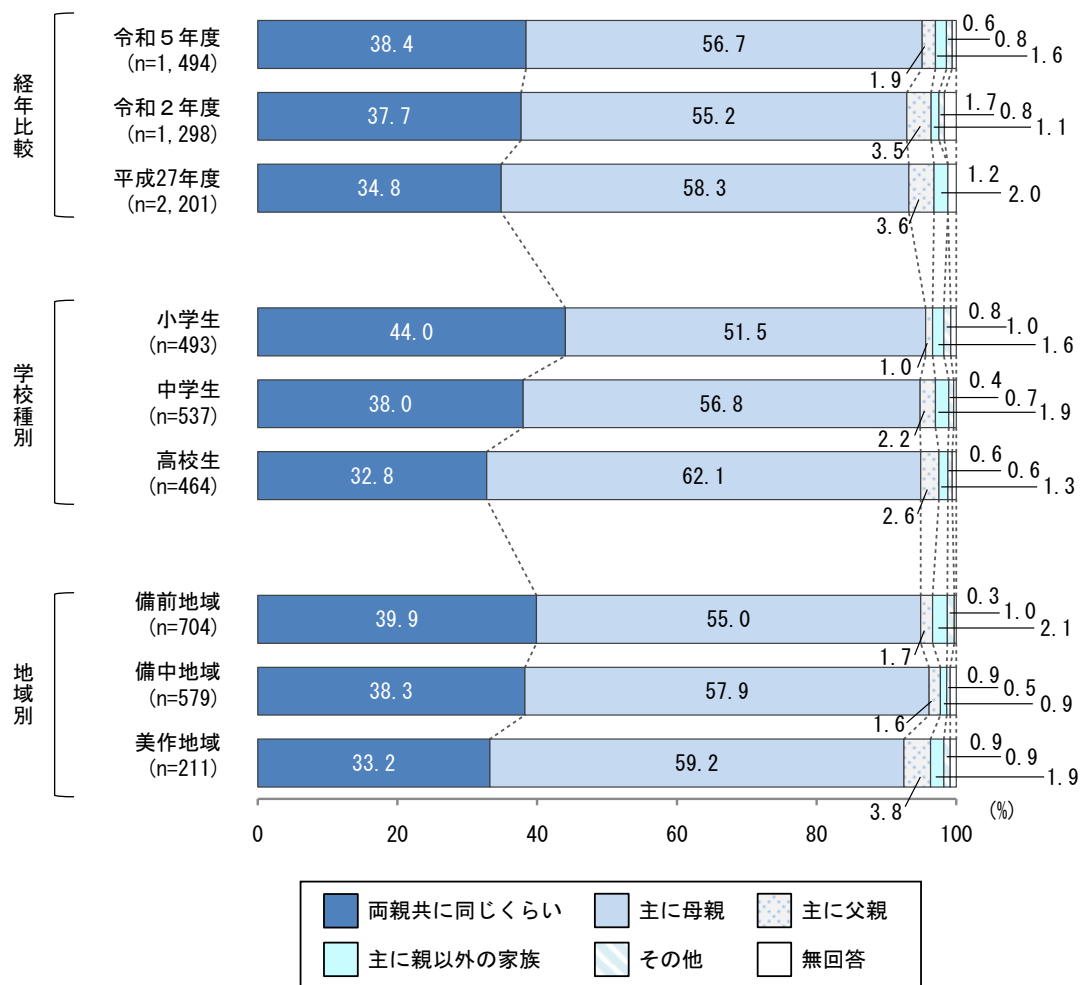
家庭における子育てやしつけをする人について、「主に母親」との回答が56.7%と最も高く、次いで「両親共に同じくらい」(38.4%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「両親共に同じくらい」との回答は小学生で4割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「主に母親」との回答は美作地域で約6割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 家庭における子育てやしつけをする人（経年比較・学校種別・地域別）】



6 学校に希望することについて

問16 あなたは、お子さんの通っている学校に対して、希望することがありますか。

《○は3つまで》

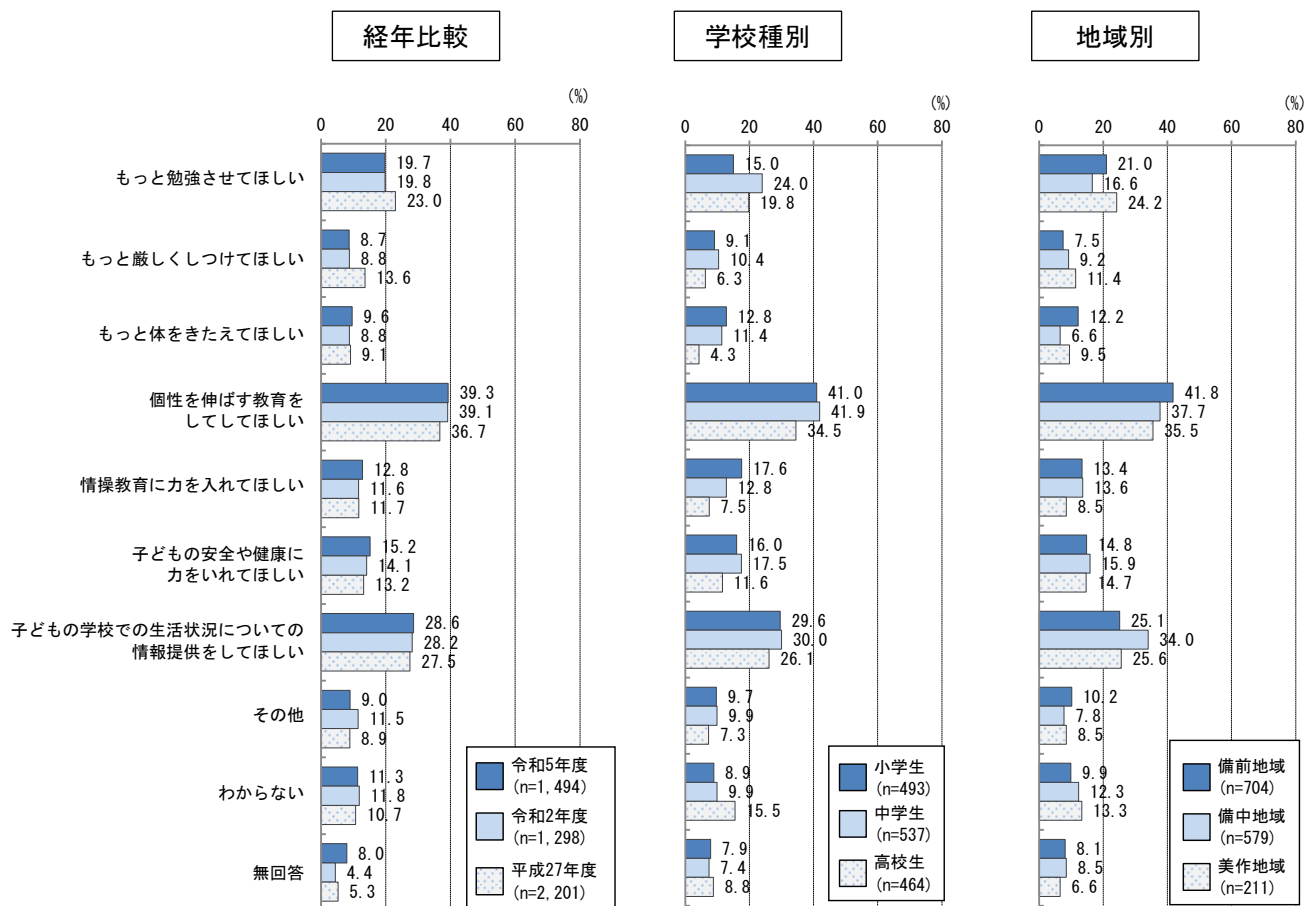
通っている学校に対して希望することについて、「個性を伸ばす教育をしてほしい」との回答が39.3%と最も高く、次いで「子どもの学校での生活状況についての情報提供をしてほしい」(28.6%)、「もっと勉強させてほしい」(19.7%)などの順となっている。

経年比較すると、「もっと勉強させてほしい」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、「子どもの学校での生活状況についての情報提供をしてほしい」との回答が、備中地域で3割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 通っている学校に対して希望すること（経年比較・学校種別・地域別）】



7 通学状況について

問17 お子さんが、学校に行きたくないと言うことがありますか。《○は1つ》

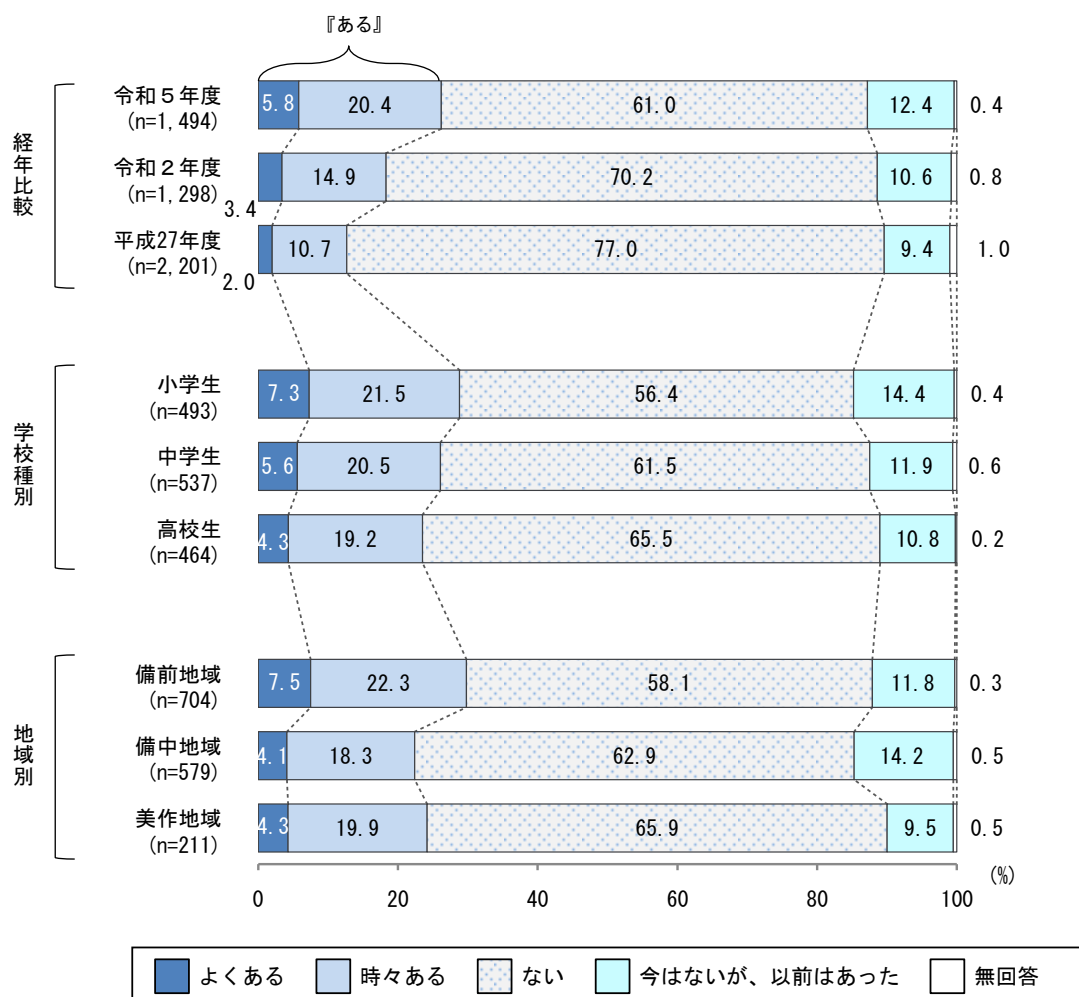
子どもが学校に行きたくないと言うことがあるかどうかについて、『ある』（「よくある」と「時々ある」を合わせた割合）との回答が26.2%、「ない」との回答が61.0%、「今はないが、以前はあった」との回答が12.4%となっている。

経年比較すると、『ある』との回答は今回調査が前回調査を7.9ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、『ある』との回答は小学生で約3割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、『ある』との回答は備前地域で約3割と高くなっている。

【図表 学校に行きたくないと言うことがあるかどうか（経年比較・学校種別・地域別）】



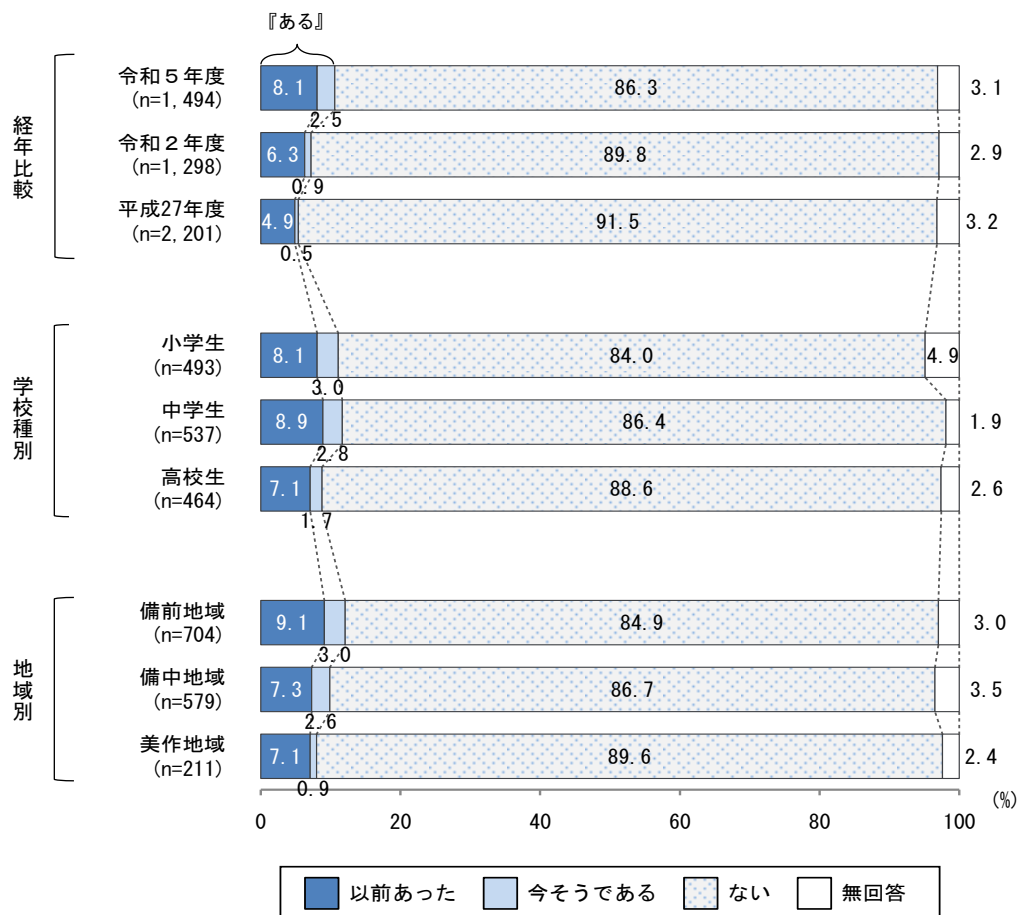
問18 お子さんが、病気などやむを得ない事情がなく、何日も続けて学校に行かない（不登校の状態になった）ことがありますか。《○は1つ》

子どもが不登校の状態になった経験について、「以前あった」との回答が8.1%、「今そうである」との回答が2.5%、「ない」との回答が86.3%となっている。

経年比較すると、『ある』（「以前あった」と「今そうである」を合わせた割合）との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 不登校の状態になった経験（経年比較・学校種別・地域別）】



(問18で「1.以前あった」に○がついた人だけお答えください。)

問18-1 お子さんが、学校へ復帰するうえで、有効だったものはどれですか。

《○はいくつでも》

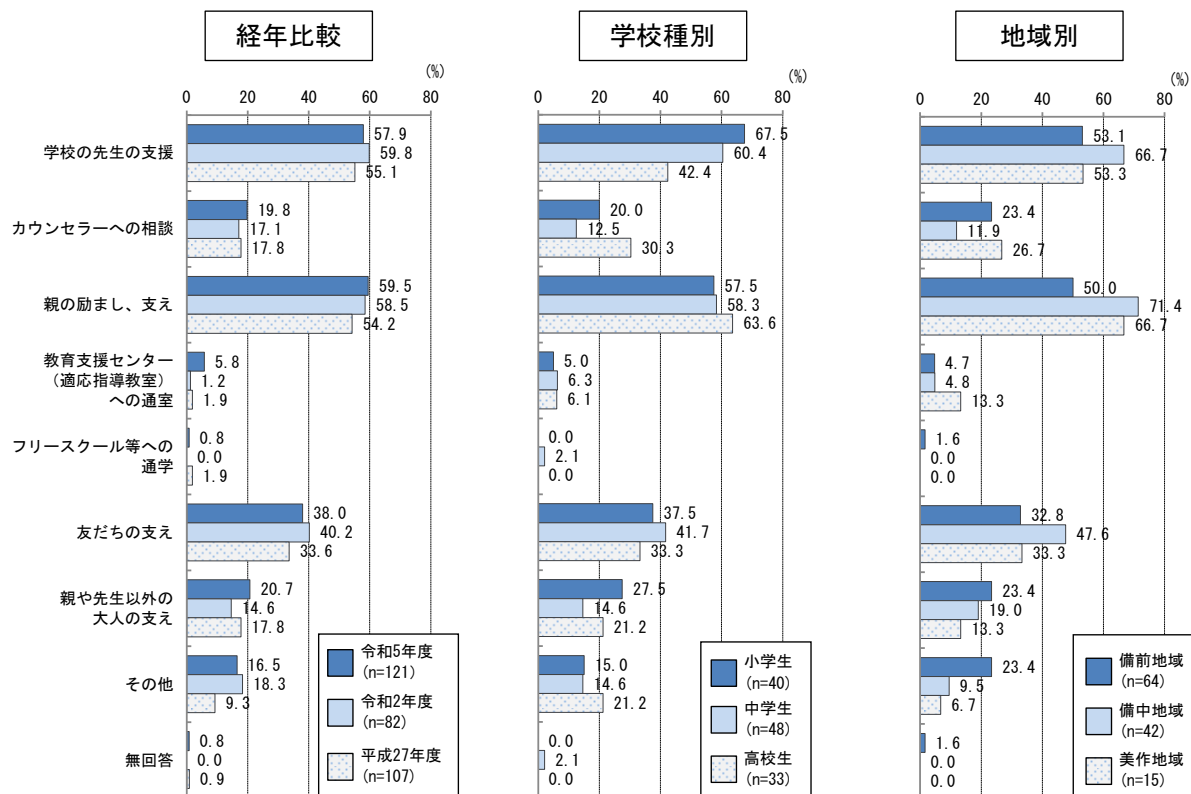
学校へ復帰するうえで有効だったと思うことについて、「親の励まし、支え」との回答が59.5%と最も高く、次いで「学校の先生の支援」(57.9%)、「友だちの支え」(38.0%)などの順となっている。

経年比較すると、「親の励まし、支え」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、小学生では「学校の先生の支援」、中学生では「友だちの支え」、高校生では「親の励まし、支え」との回答が他の学校種別に比べ高くなっている。

地域別にみると、「学校の先生の支援」、「親の励まし、支え」、「友だちの支え」との回答は備中地域で他の地域に比べ高くなっている。

【図表 学校へ復帰するうえで有効だったと思うこと (経年比較・学校種別・地域別)】



8 近所との関わりについて

問19 あなたの家では、近所の方とのつきあいがどの程度ありますか。《○は1つ》

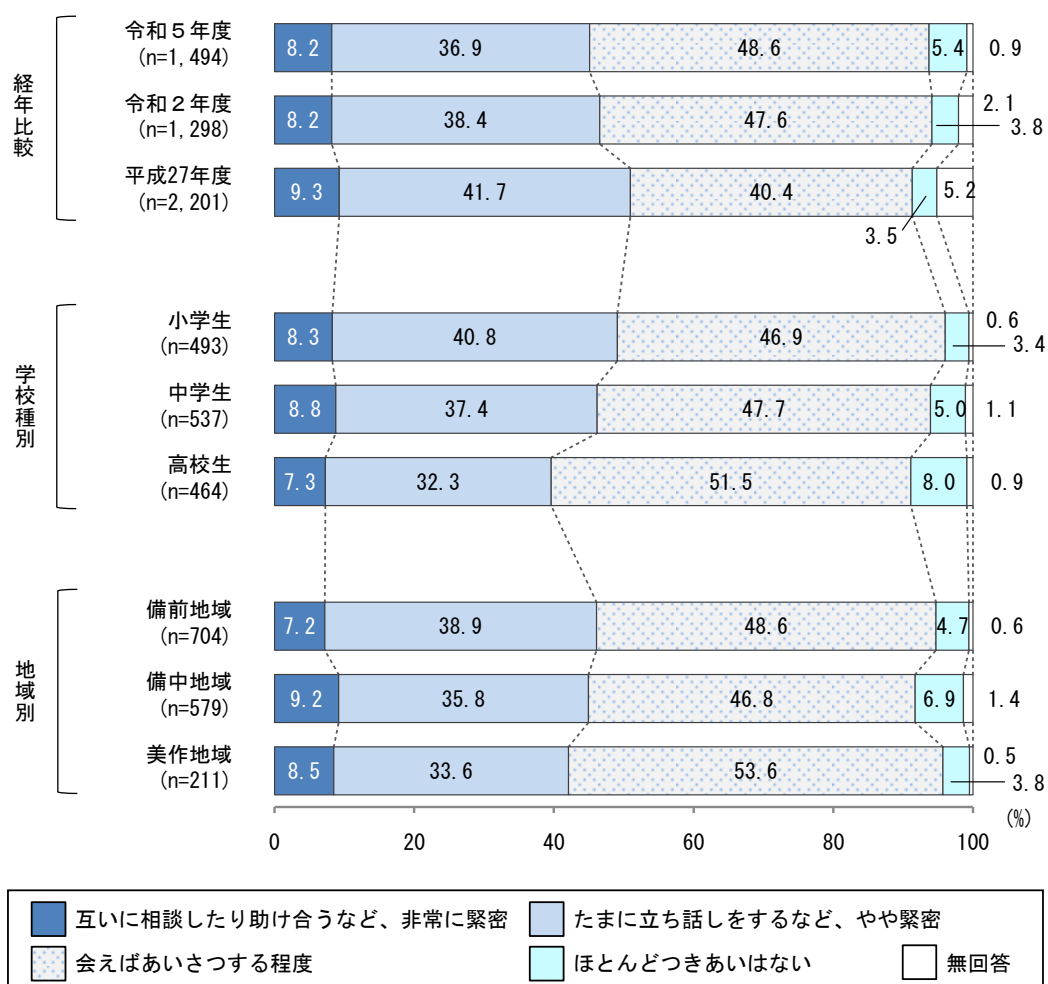
近所付き合いの程度について、「会えばあいさつする程度」との回答が48.6%と最も高く、次いで「たまに立ち話しをするなど、やや緊密」(36.9%)、「互いに相談したり助け合うなど、非常に緊密」(8.2%)などの順となっている。

経年比較すると、「互いに相談したり助け合うなど、非常に緊密」、「たまに立ち話しをするなど、やや緊密」との回答はともに平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「たまに立ち話しをするなど、やや緊密」との回答は高校生で3割超と低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 近所付き合いの程度（経年比較・学校種別・地域別）】



9 地域活動について

問20 あなたは、最近1年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。

《○はいくつでも》

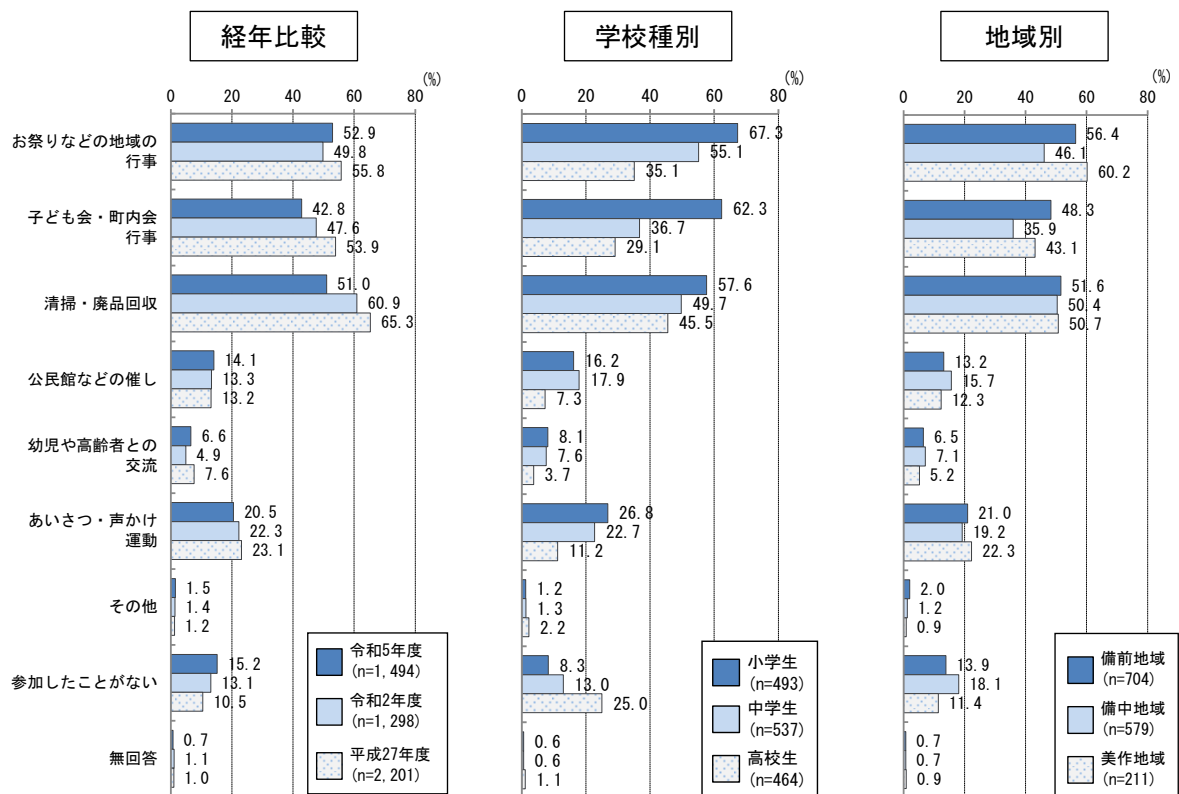
参加した地域活動について、「お祭りなどの地域の行事」との回答が52.9%と最も高く、次いで「清掃・廃品回収」(51.0%)、「子ども会・町内会行事」(42.8%)などの順となっている。

経年比較すると「子ども会・町内会行事」との回答は4.8ポイント、「清掃・廃品回収」との回答は今回調査が前回調査を9.9ポイント下回っている。

学校種別にみると、ほぼすべての選択肢において小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて減少傾向にある。

地域別にみると、「お祭りなどの地域の行事」、「子ども会・町内会行事」との回答は備中地域で他の地域に比べ低くなっている。

【図表 参加した地域活動（経年比較・学校種別・地域別）】



問 2 1 あなたは、ボランティア活動をしていますか。《○は1つ》

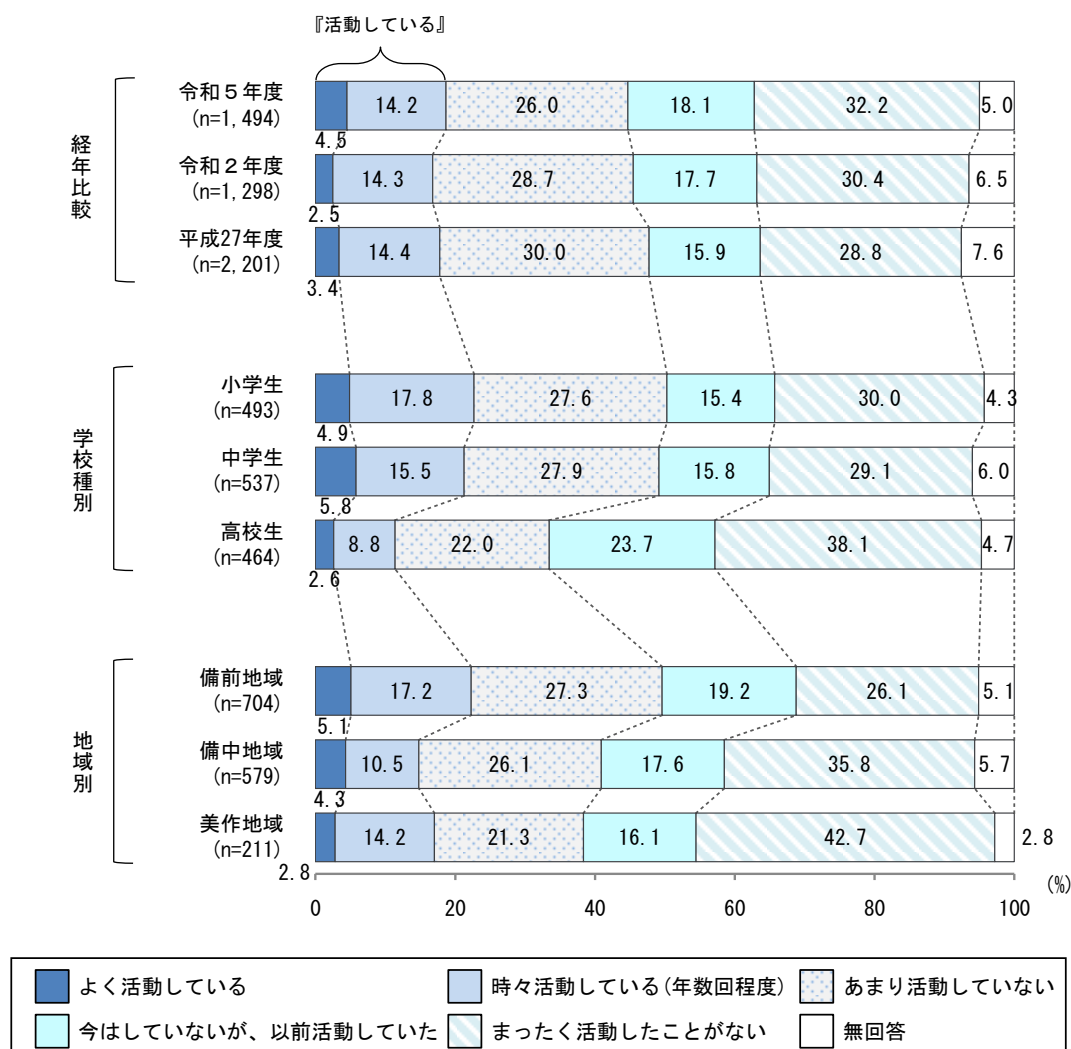
ボランティア活動の状況について、「まったく活動したことがない」との回答が32.2%と最も高く、次いで「あまり活動していない」(26.0%)、「今はしていないが、以前活動していた」(18.1%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『活動している』(「よく活動している」と「時々活動している」を合わせた割合)との回答は小学生、中学生で2割超となっている。

地域別にみると、「まったく活動したことがない」との回答は美作地域で4割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 ボランティア活動の状況（経年比較・学校種別・地域別）】



(問20で「8. 参加したことがない」または問21で「5. まったく活動したことがない」に○がついた人だけお答えください。)

問22 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加しないのは、なぜですか。

《○は3つまで》

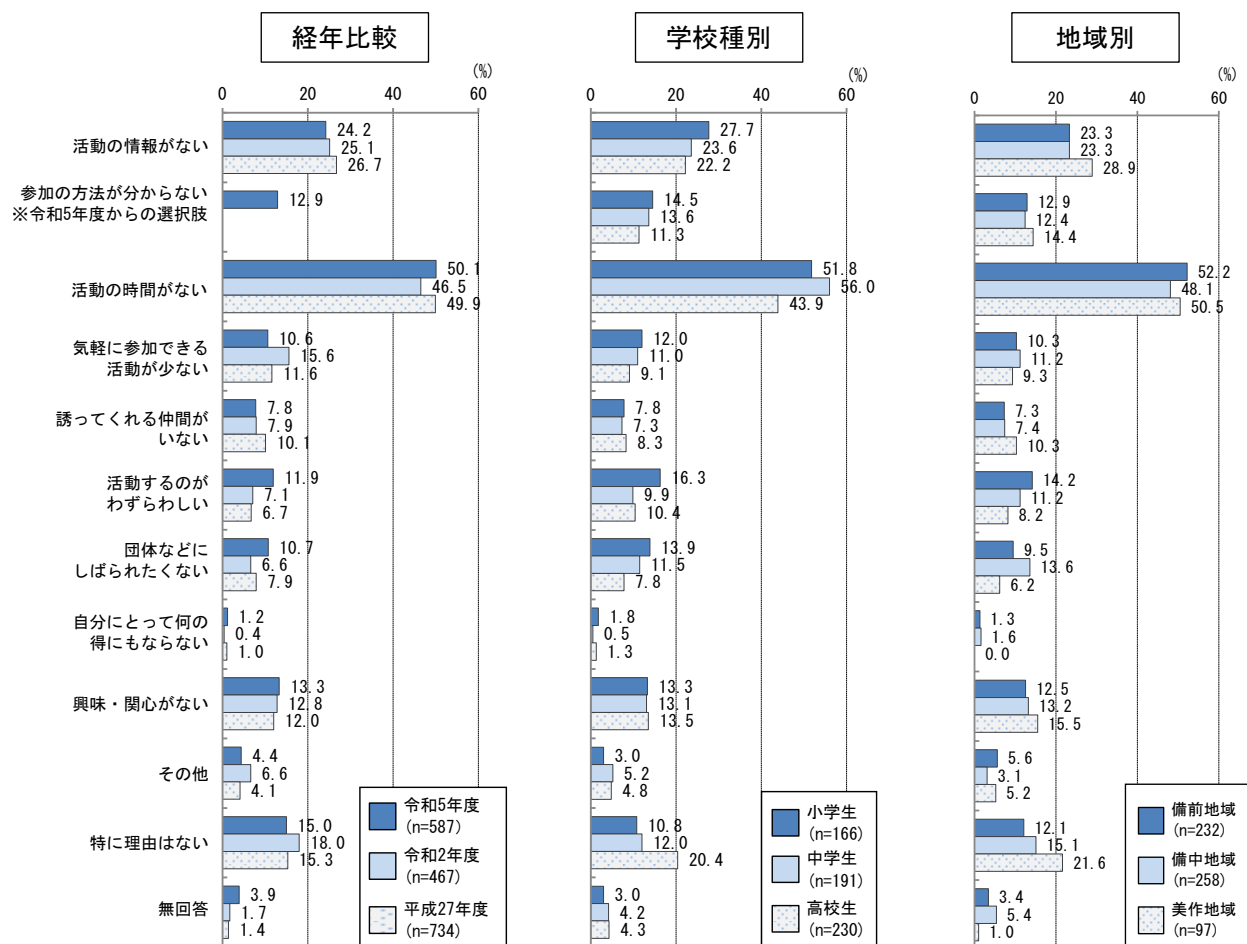
地域活動やボランティア活動に参加しない理由について、「活動の時間がない」との回答が50.1%と最も高く、次いで「活動の情報がない」(24.2%)、「興味・関心がない」(13.3%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「活動するのがわずらわしい」との回答は小学生が中学生、高校生を5.9ポイント上回っている。

地域別にみると、「活動の情報がない」との回答は美作地域で約3割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 地域活動やボランティア活動に参加しない理由（経年比較・学校種別・地域別）】



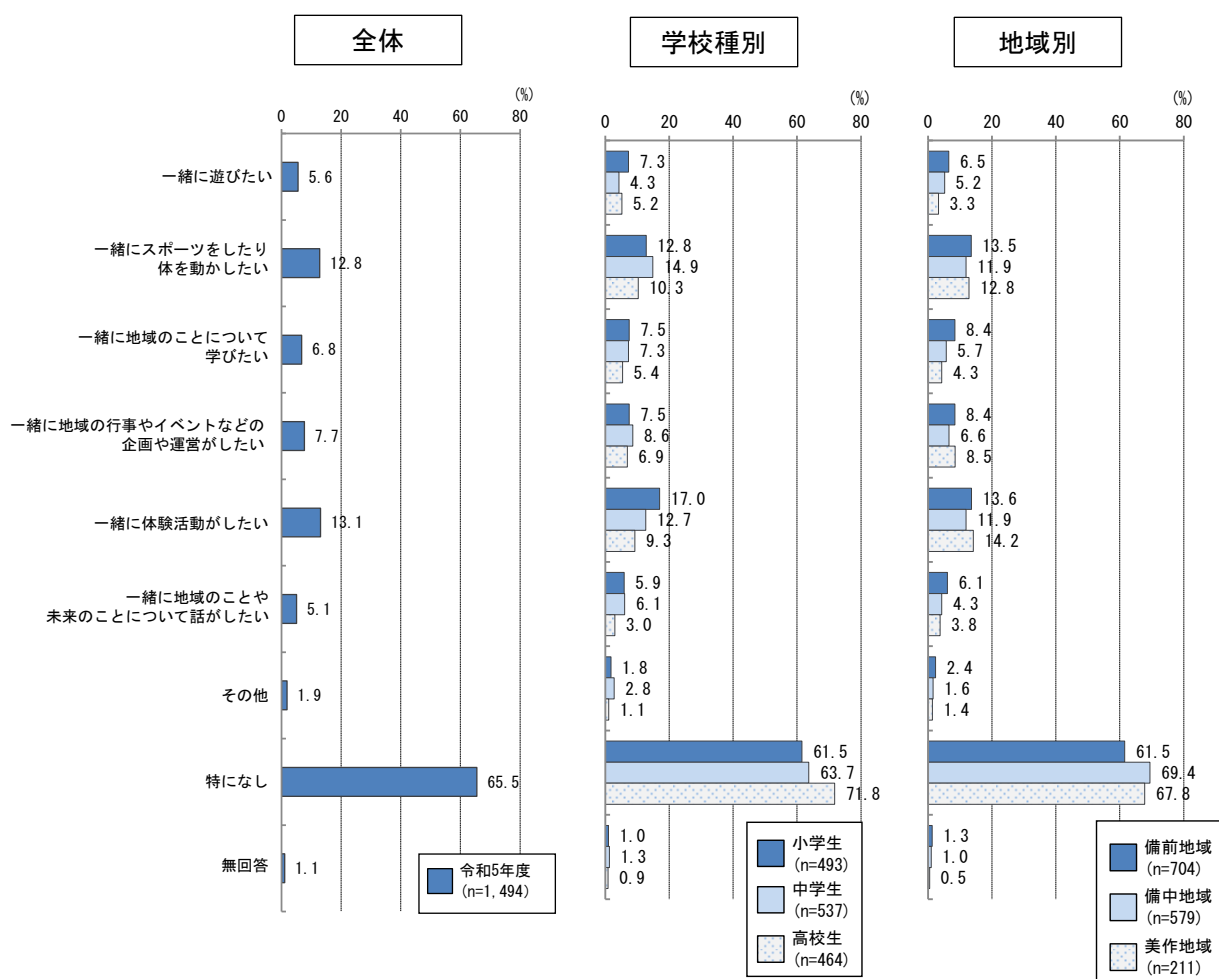
問23 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。《○はいくつでも》

地域の人と一緒にしたいことについて、「一緒に体験活動がしたい」との回答が13.1%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」(12.8%)、「一緒に地域の行事やイベントなどの企画や運営がしたい」(7.7%)などの順となっている。

学校種別にみると、「一緒に体験活動がしたい」との回答は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 地域の人と一緒にしたいこと（全体・学校種別・地域別）】



10 相談相手について

問24 あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。《○は3つまで》

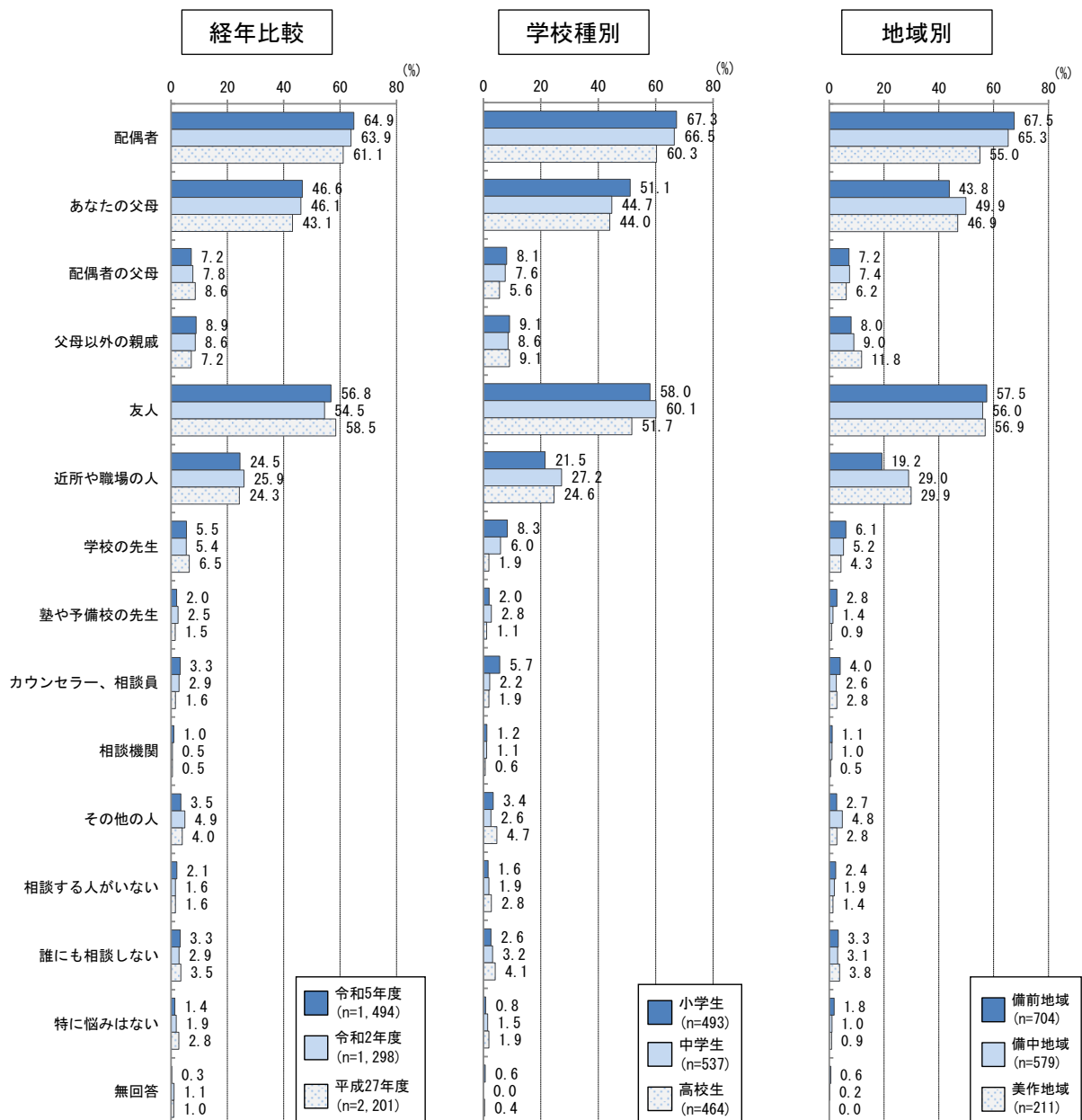
心配事や悩みの相談相手について、「配偶者」との回答が64.9%と最も高く、次いで「友人」(56.8%)、「あなたの父母」(46.6%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「あなたの父母」との回答は小学生で5割超と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 心配事や悩みの相談相手（経年比較・学校種別・地域別）】



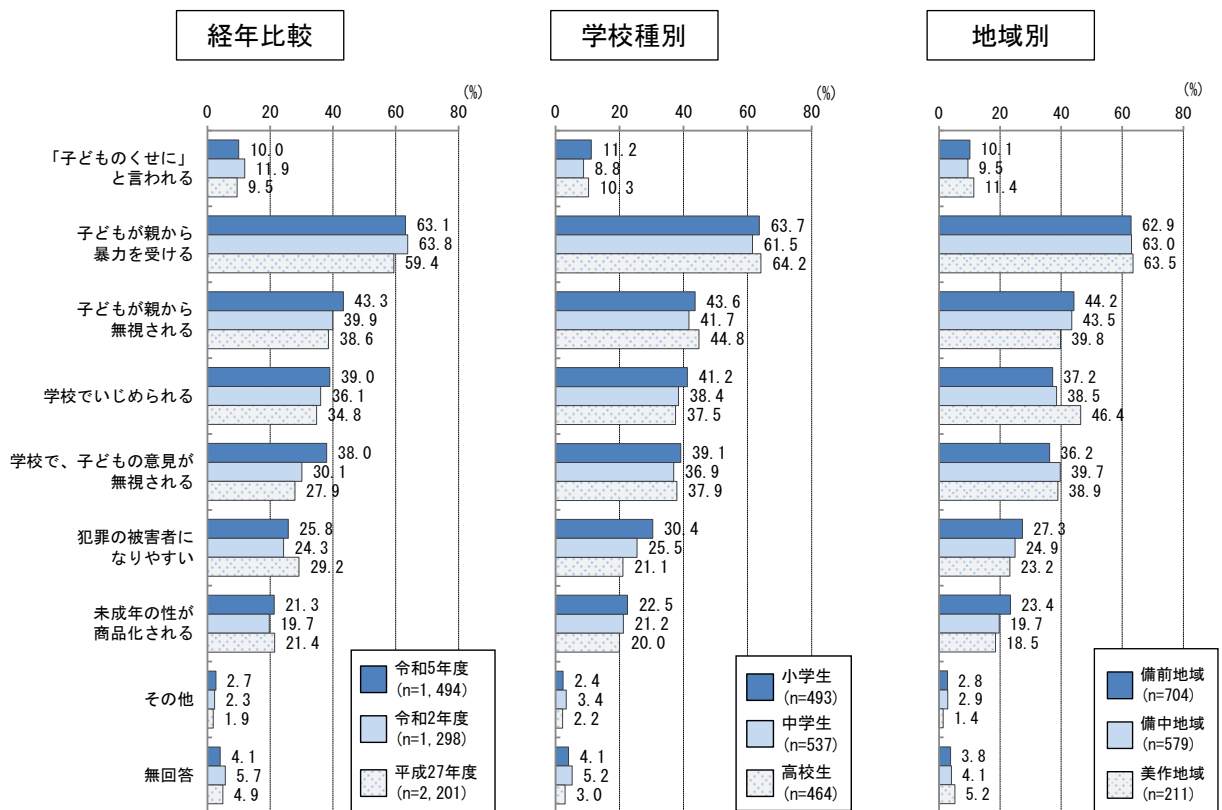
11 子どもの人権が守られていないと思うときについて

問25 あなたが、「子どもの人権（人が生まれながらにして持っている権利）」が守られていないと思うときは、どんなときですか。《○は3つまで》

子どもの人権が守られていないと思うときについて、「子どもが親から暴力を受ける」との回答が63.1%と最も高く、次いで「子どもが親から無視される」(43.3%)、「学校でいじめられる」(39.0%)、「学校で、子どもの意見が無視される」(38.0%)などの順となっている。

経年比較、学校種別、地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 子どもの人権が守られていないと思うとき（経年比較・学校種別・地域別）】



12 子どもについてほしい職業（職場）について

問26 あなたは、将来お子さんにどのような職業（職場）についてほしいと望んでいますか。
《○は2つまで》

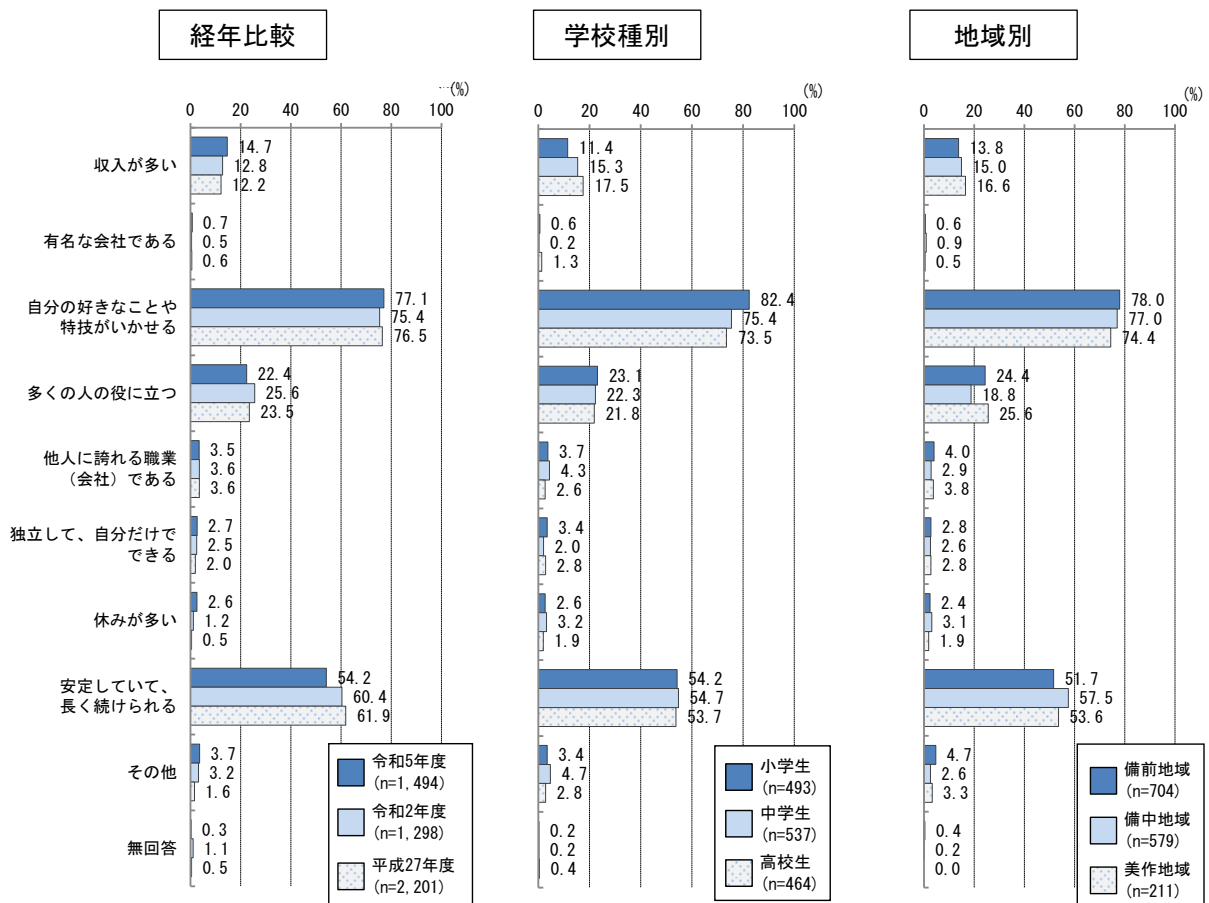
将来子どもについてほしい職業について、「自分の好きなことや特技がいかせる」との回答が77.1%と最も高く、次いで「安定していて、長く続けられる」(54.2%)、「多くの人の役に立つ」(22.4%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「自分の好きなことや特技がいかせる」との回答は小学生で8割超、「収入が多い」との回答は高校生で約2割と他の学校種別に比べ高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 将来子どもについてほしい職業（経年比較・学校種別・地域別）】



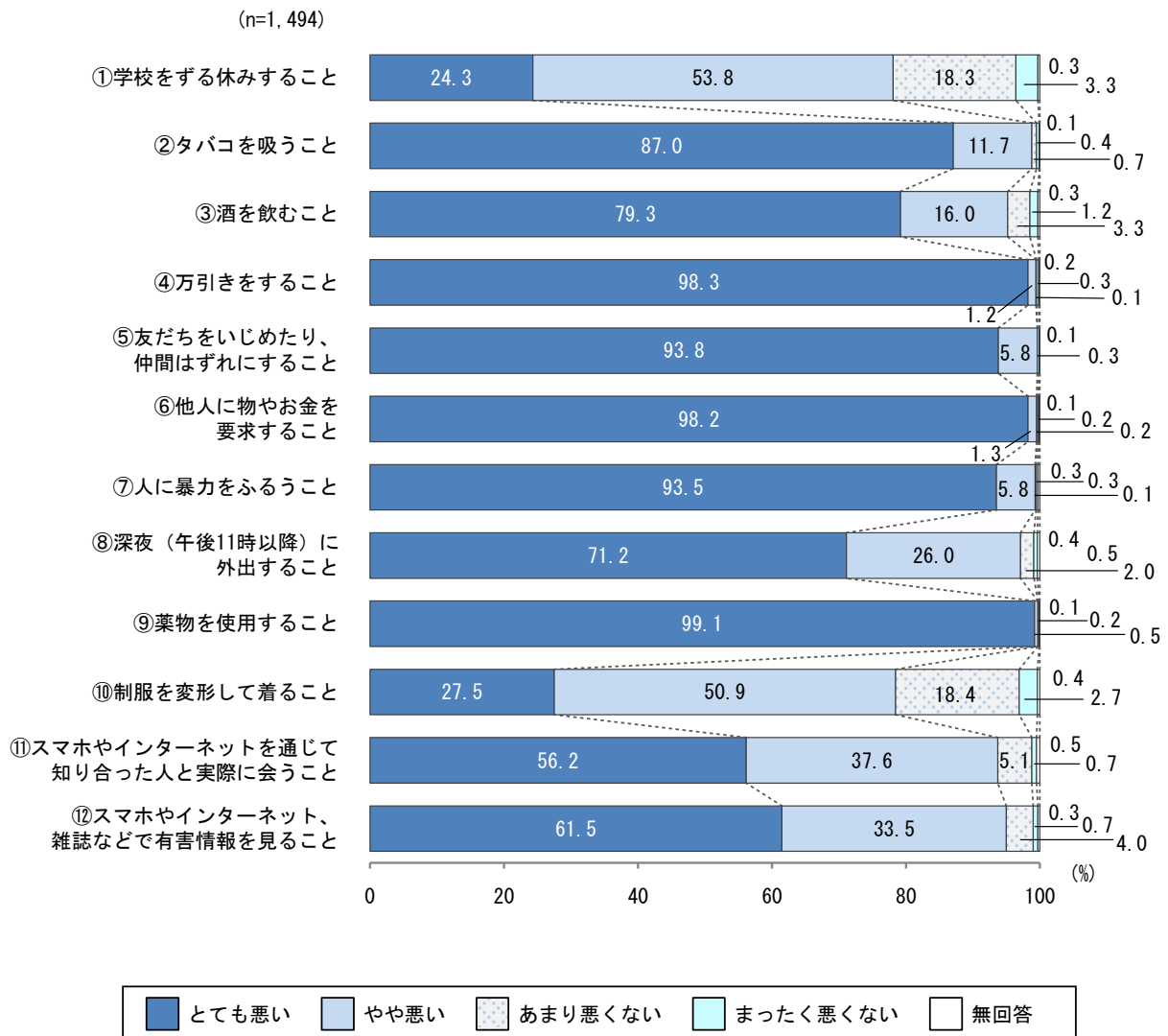
13 不良行為等について

問27 あなたは、次にあげたことを、お子さんが行うことについて、どう思いますか。

《○は①～⑫それぞれ1つずつ》

子どもの行動について、「とても悪い」との回答は「万引きをすること」、「他人に物やお金を要求すること」、「薬物を使用すること」で約10割と高く、「学校をずる休みすること」、「制服を変形して着ること」で2割台半ばと低くなっている。

【図表 子どもの行動について】



① 学校をずる休みすること

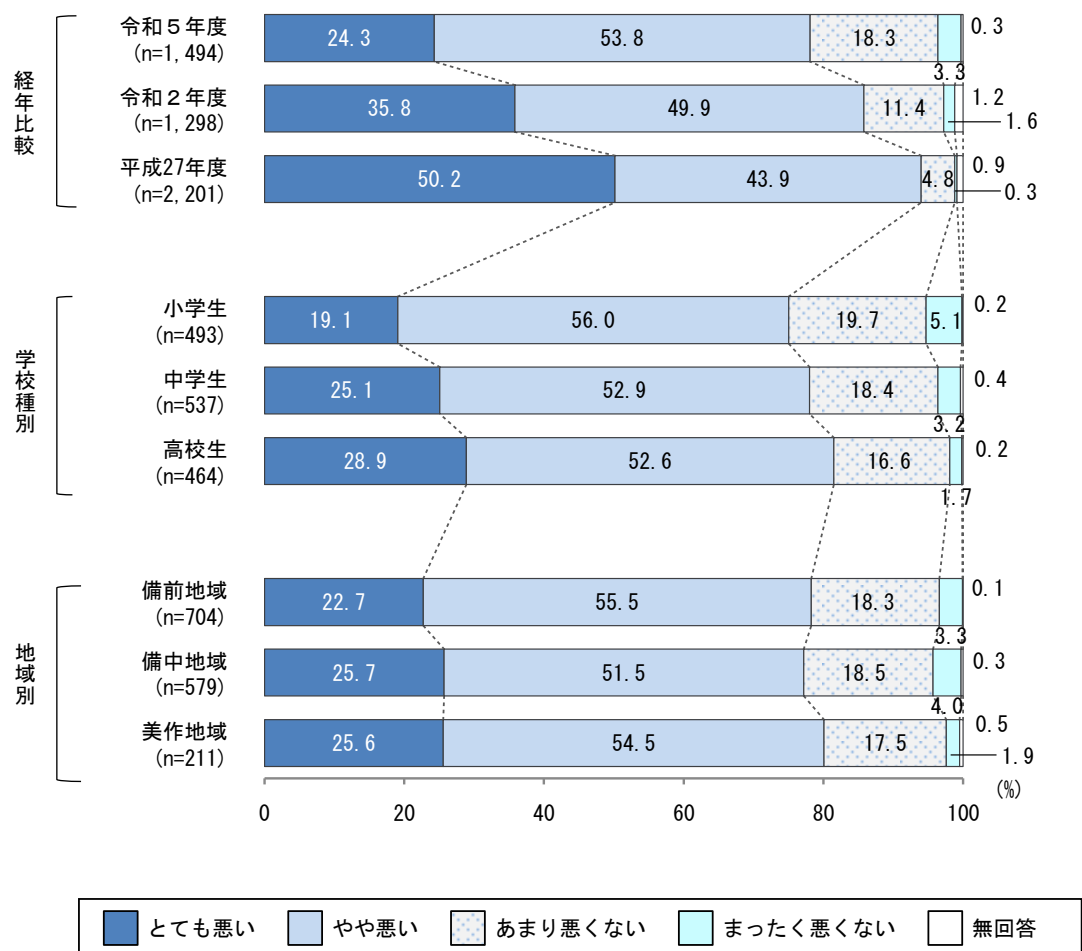
学校をずる休みすることについて、「やや悪い」との回答が 53.8%と最も高く、次いで「とても悪い」(24.3%)、「あまり悪くない」(18.3%)、「まったく悪くない」(3.3%) の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を 11.5 ポイント下回っており、平成 27 年度調査から令和 5 年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は高校生で約 3 割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

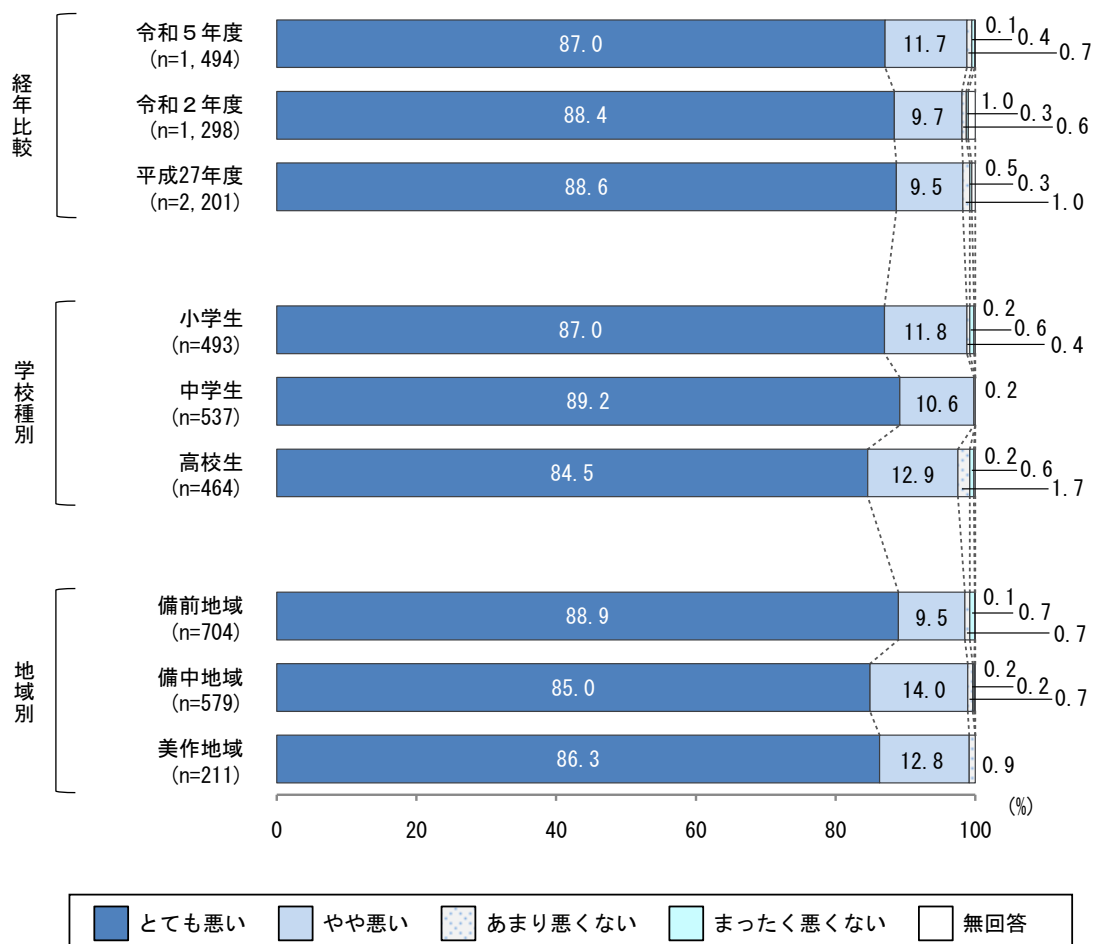
【図表 学校をずる休みすること（経年比較・学校種別・地域別）】



② タバコを吸うこと

タバコを吸うことについて、「とても悪い」との回答が87.0%と最も高くなっている。
 経年比較、学校種別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 タバコを吸うこと（経年比較・学校種別・地域別）】



③ 酒を飲むこと

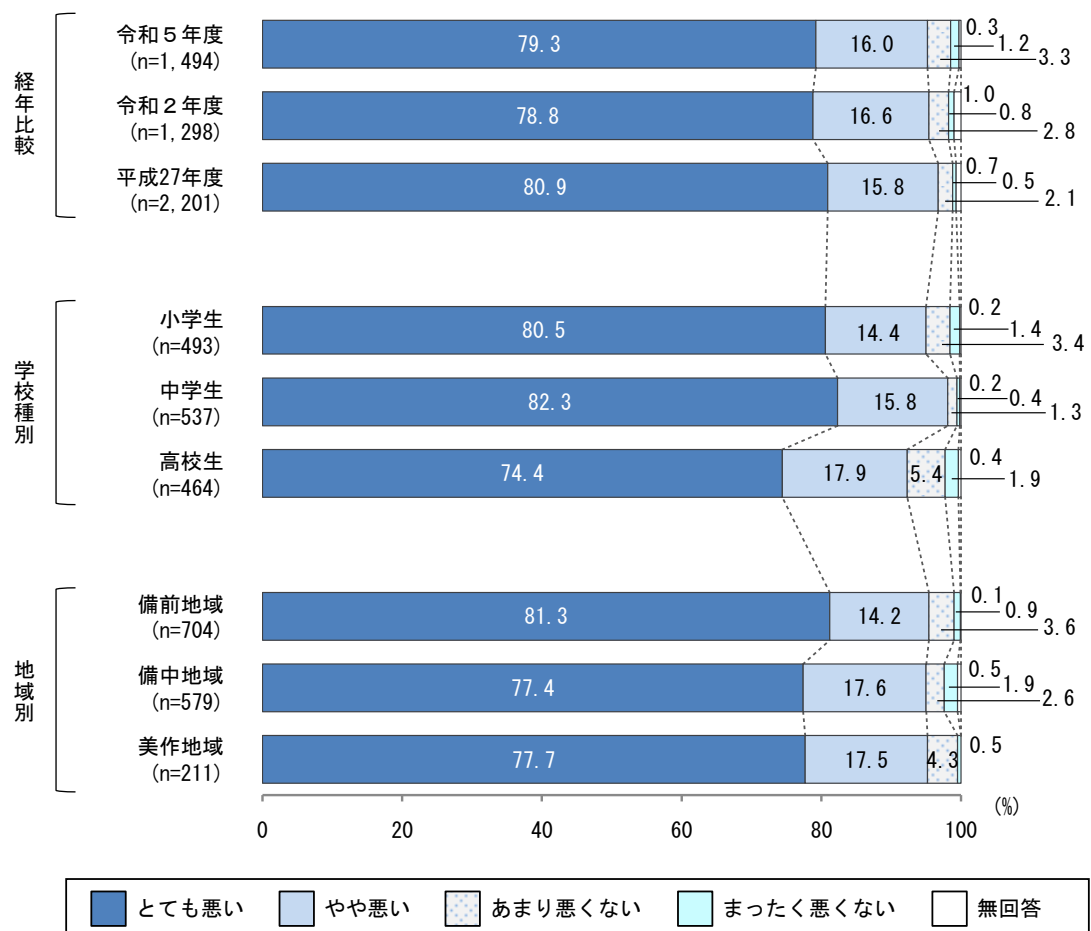
酒を飲むことについて、「とても悪い」との回答が 79.3%、「やや悪い」との回答が 16.0%と高くなっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別でみると、「とても悪い」との回答は小学生、中学生でともに8割超と高くなっている。

地域別にみると、「とても悪い」との回答は備前地域で8割超と他の地域に比べ高くなっている。

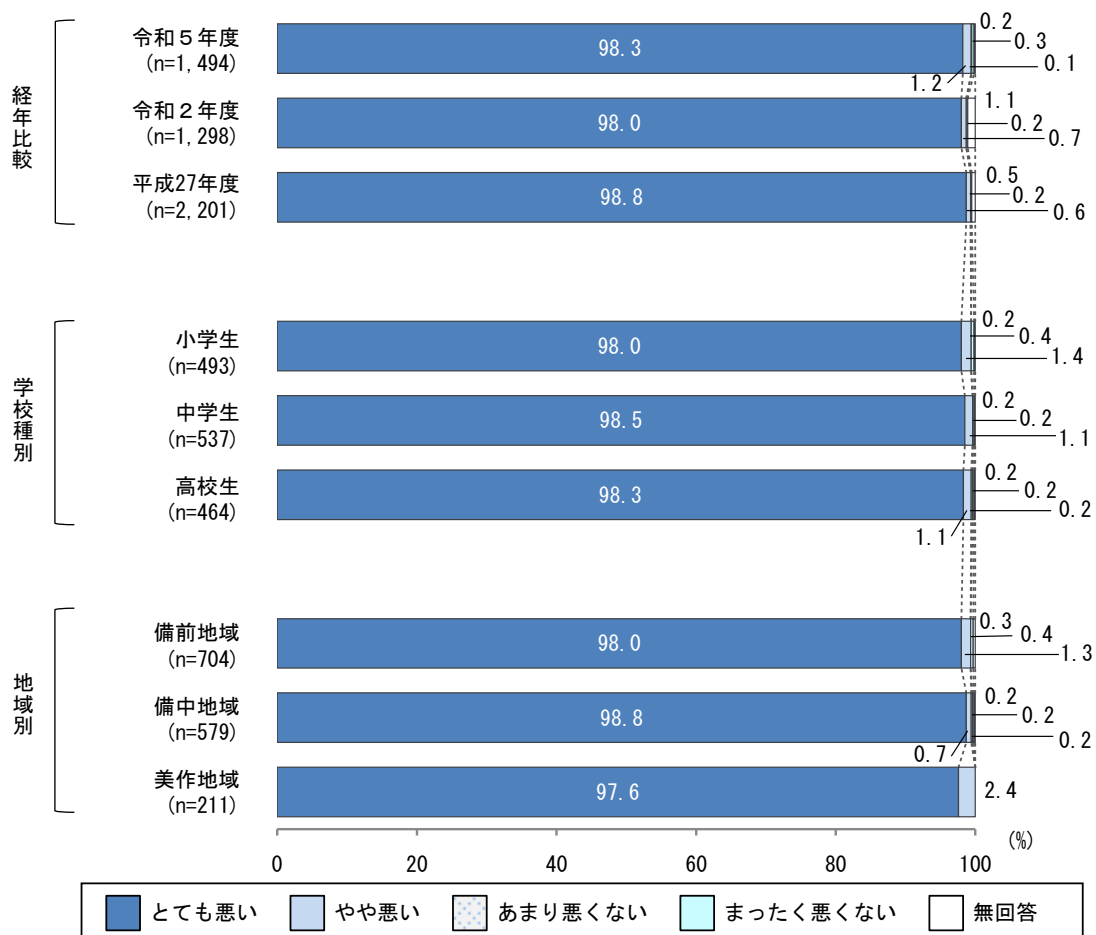
【図表 酒を飲むこと（経年比較・学校種別・地域別）】



④ 万引きをすること

万引きをすることについて、「とても悪い」との回答が98.3%と最も高くなっている。経年比較、学校種別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 万引きをすること（経年比較・学校種別・地域別）】

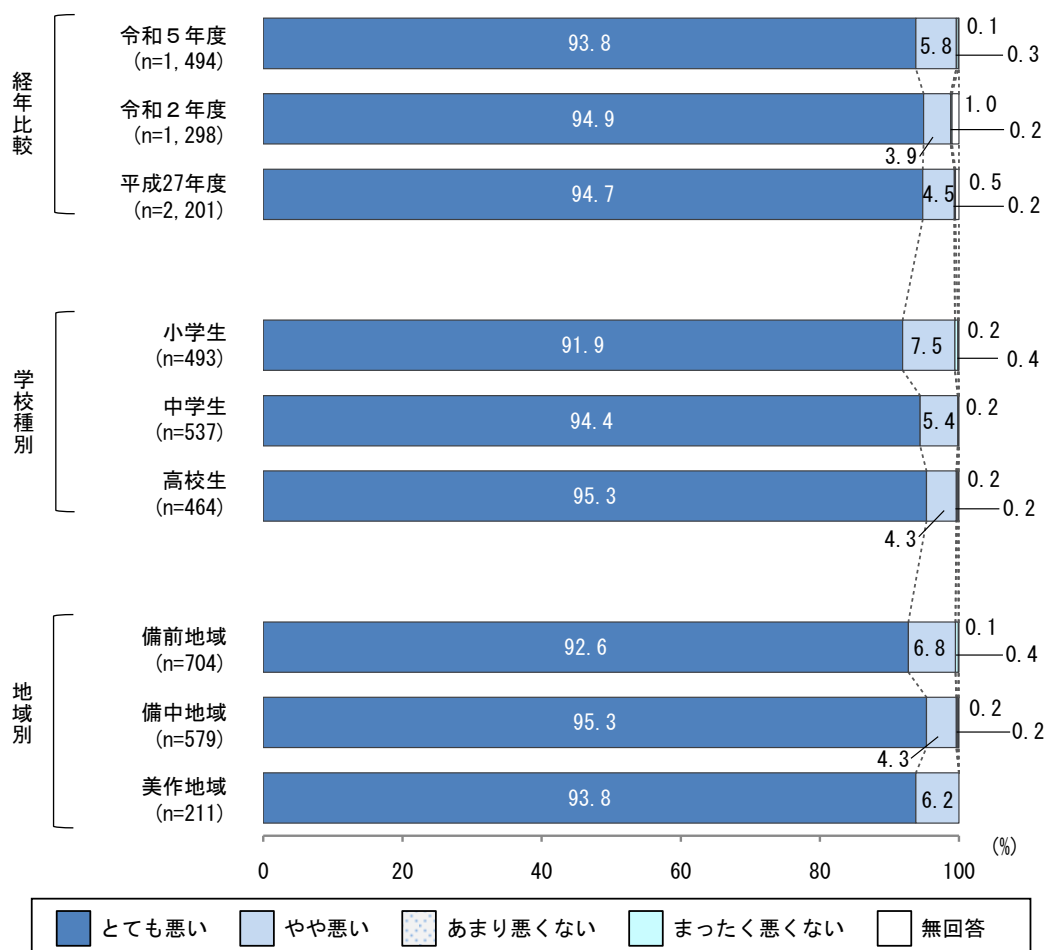


⑤ 友だちをいじめたり、仲間はずれにすること

友だちをいじめたり、仲間はずれにすることについて、「とても悪い」との回答が93.8%と最も高くなっている。

経年比較、学校種別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 友だちをいじめたり、仲間はずれにすること（経年比較・学校種別・地域別）】

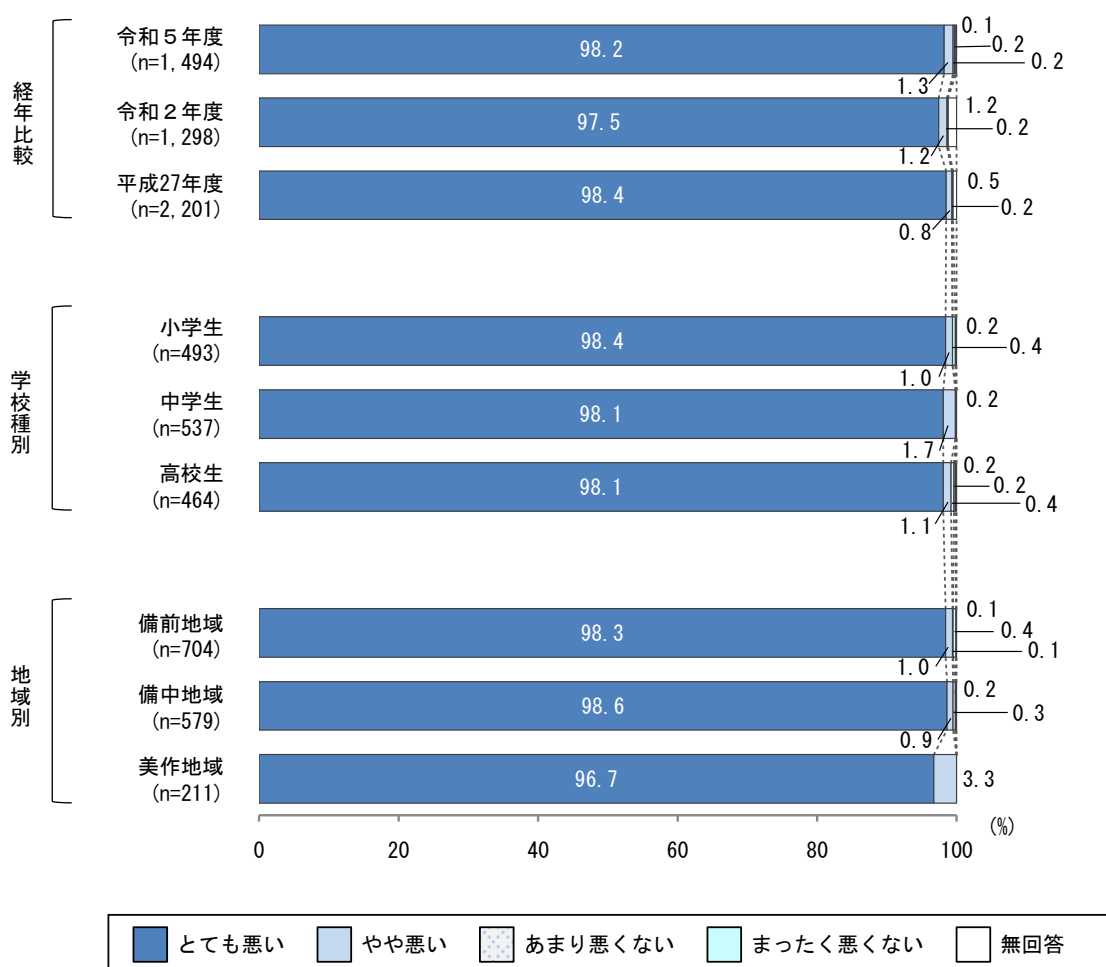


⑥ 他人に物やお金を要求すること

他人に物やお金を要求することについて、「とても悪い」との回答が98.2%と最も高くなっている。

経年比較、学校種別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

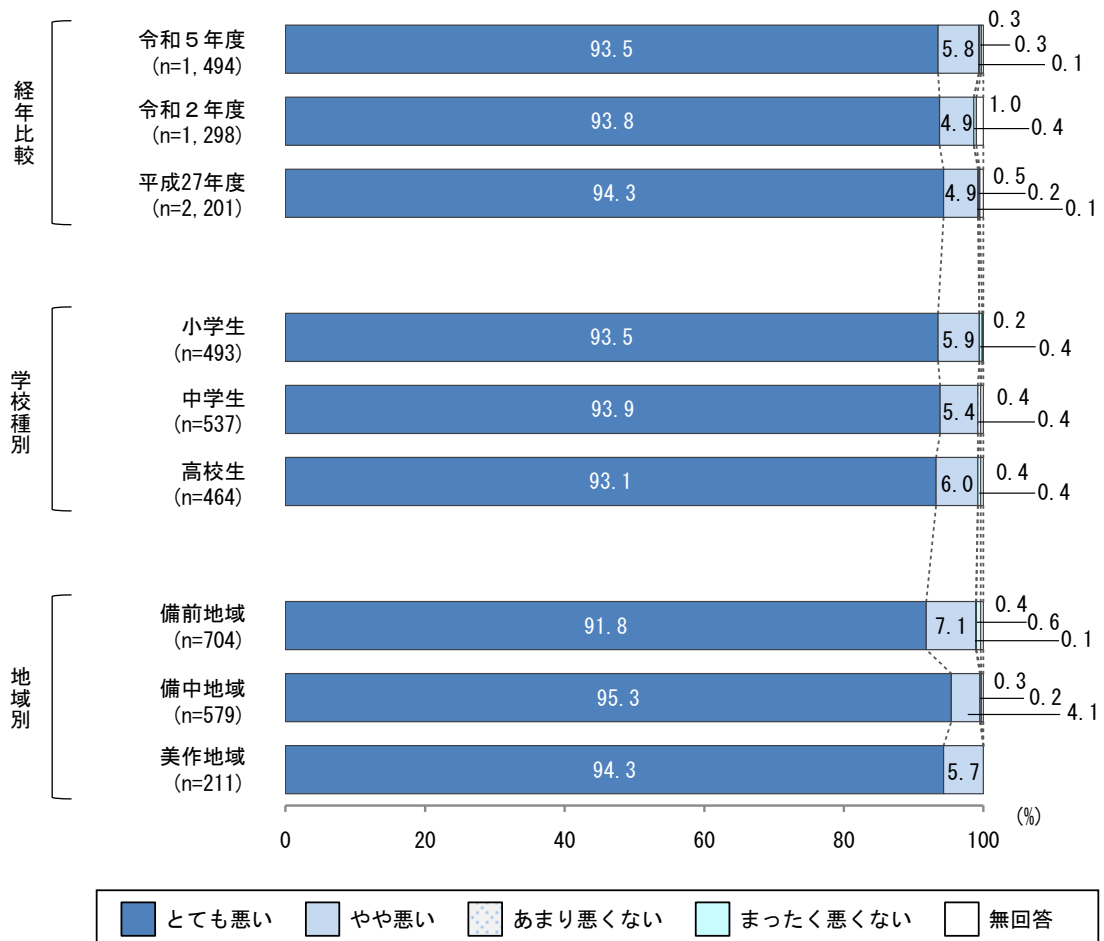
【図表 他人に物やお金を要求すること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑦ 人に暴力をふるうこと

人に暴力をふるうことについて、「とても悪い」との回答が93.5%と最も高くなっている。経年比較、学校種別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 人に暴力をふるうこと（経年比較・学校種別・地域別）】



⑧ 深夜（午後 11 時以降）に外出すること

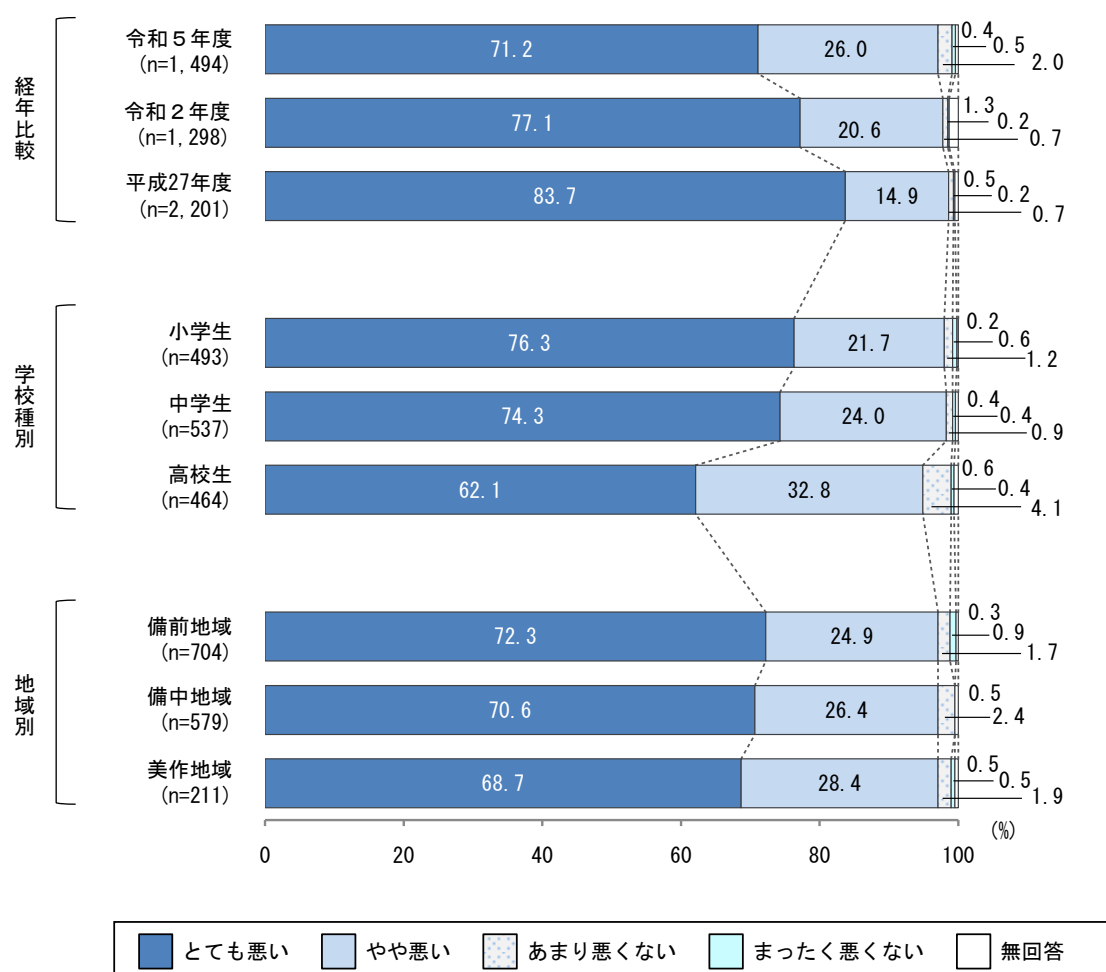
深夜（午後 11 時以降）に外出することについて、「とても悪い」との回答が 71.2%、「やや悪い」との回答が 26.0%と高くなっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を 5.9 ポイント下回っており、平成 27 年度調査から令和 5 年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は高校生で 6 割超と低く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 深夜（午後 11 時以降）に外出すること（経年比較・学校種別・地域別）】

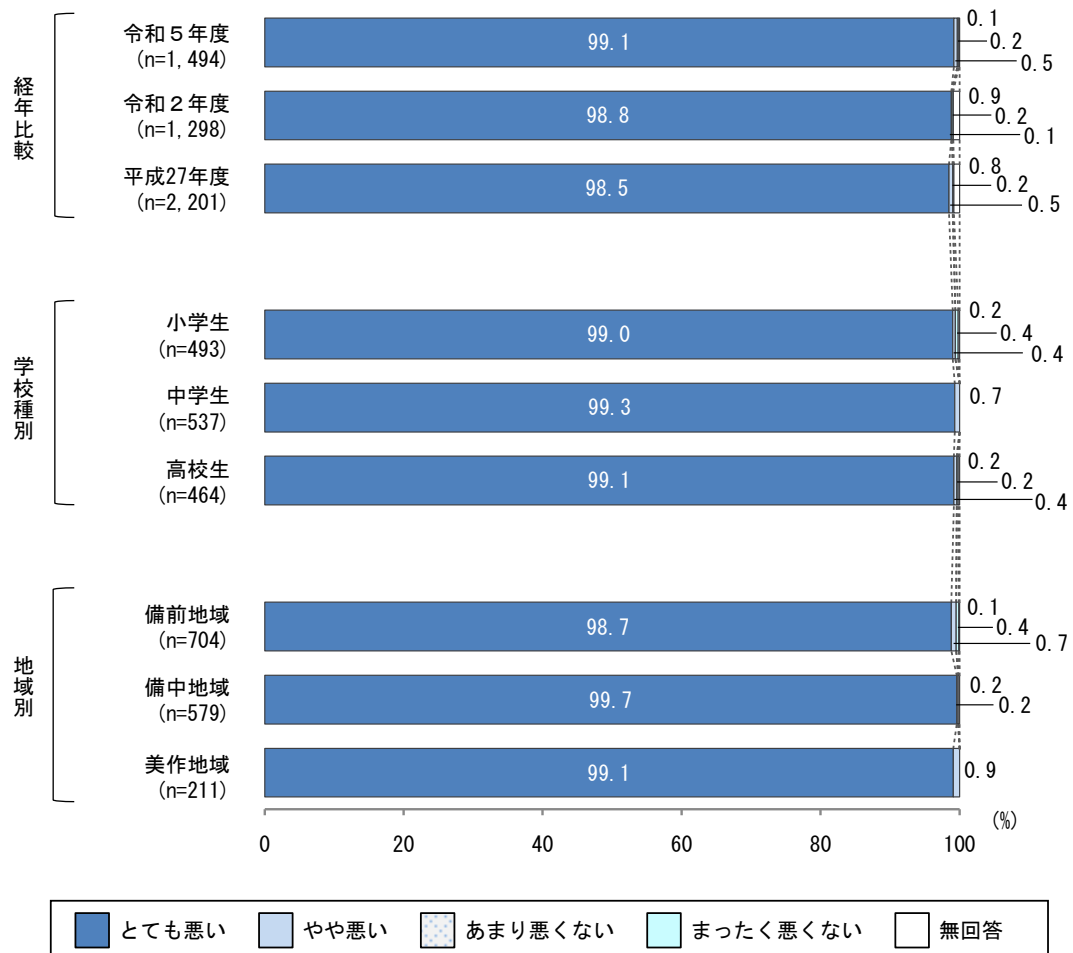


⑨ 薬物（シンナー、危険ドラッグ等）を使用すること

薬物（シンナー、危険ドラッグ等）を使用することについて、「とても悪い」との回答が99.1%と最も高くなっている。

経年比較、学校種別、地域別にみると、いずれも大きな差はみられない。

【図表 薬物（シンナー、危険ドラッグ等）を使用すること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑩ 制服を变形して着ること

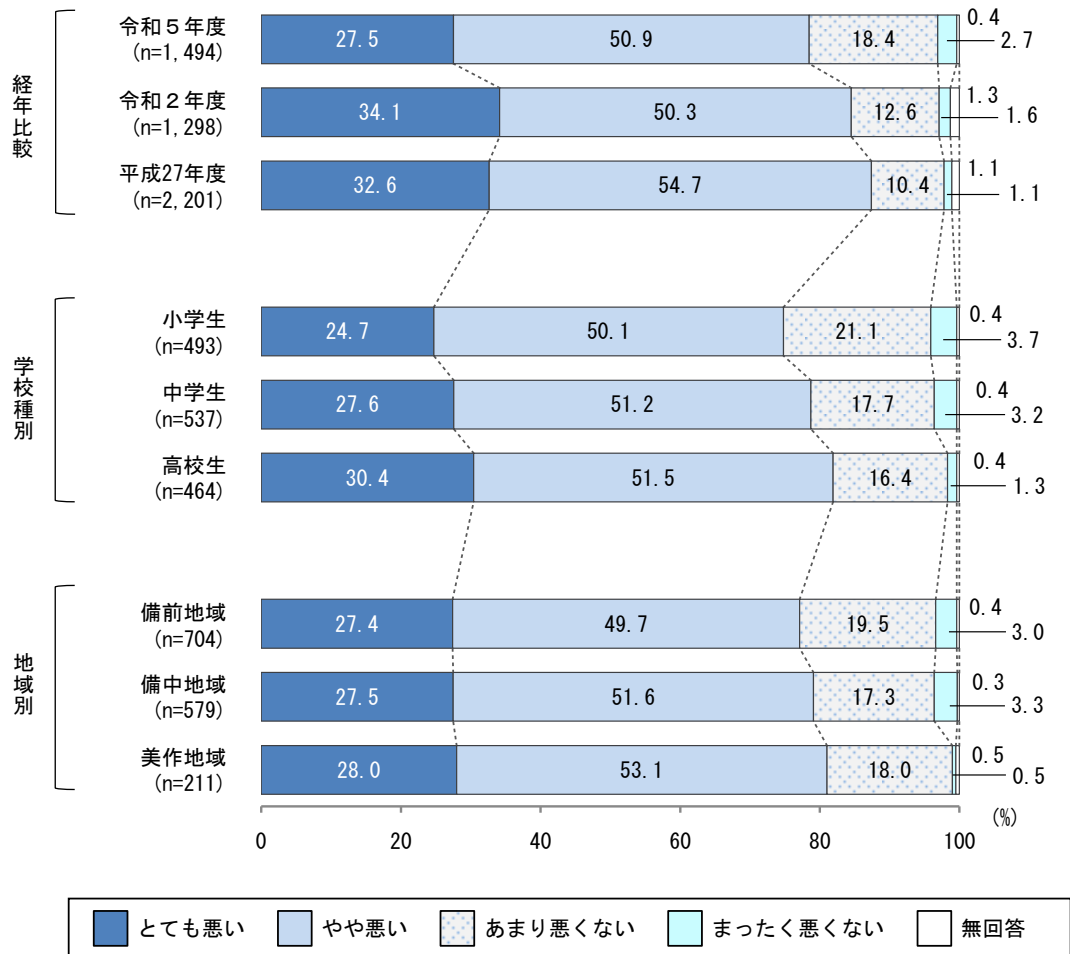
制服を变形して着ることについて、「やや悪い」との回答が50.9%と最も高く、次いで「とても悪い」(27.5%)、「あまり悪くない」(18.4%)などの順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を6.6ポイント下回っている。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は高校生で約3割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 制服を变形して着ること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑪ スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと

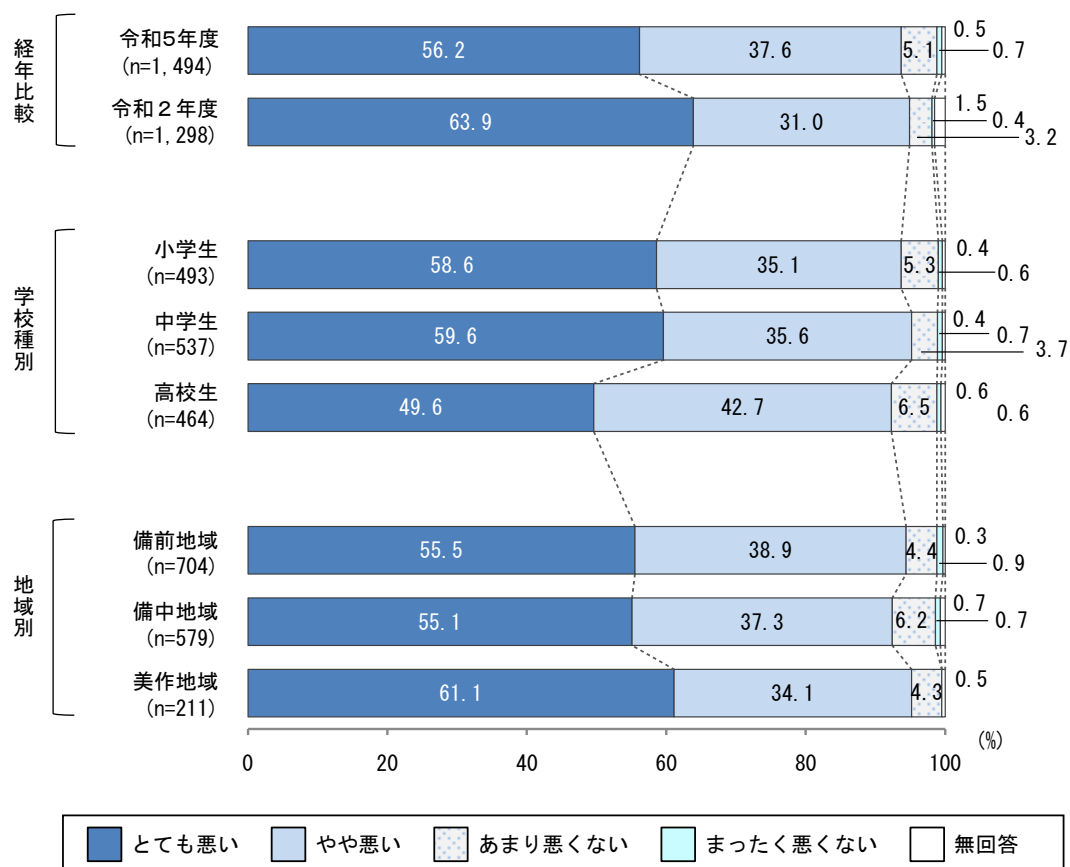
スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うことについて、「とても悪い」との回答が56.2%、「やや悪い」との回答が37.6%と高くなっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を7.7ポイント下回っている。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は高校生で約5割と低くなっている。

地域別にみると、「とても悪い」との回答は美作地域で約6割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと
(経年比較・学校種別・地域別)】



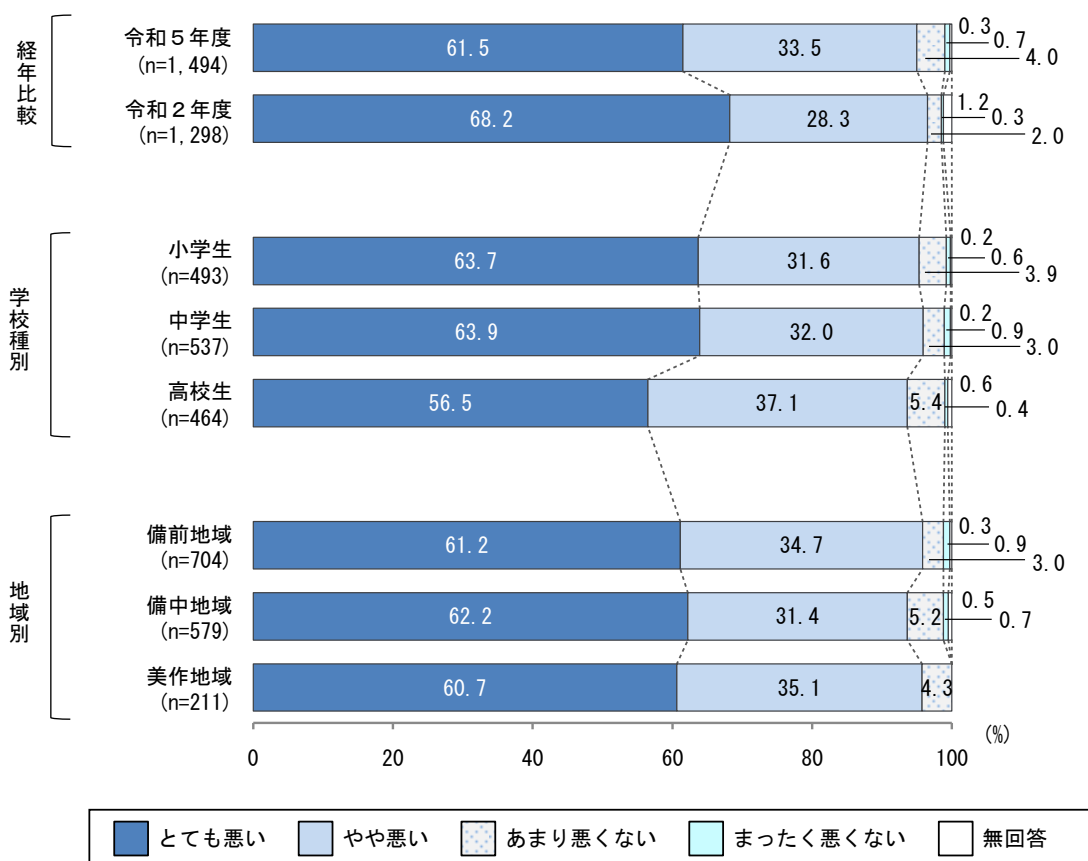
⑫ スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること

スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ることについて、「とても悪い」との回答が61.5%、「やや悪い」との回答が33.5%と高くなっている。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生、中学生で6割台半ばと高く、高校生が5割台半ばと低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること
(経年比較・学校種別・地域別)】



14 青少年の健全育成のために必要なことについて

問28 あなたは、青少年の健全育成のために、特にどのようなことが必要だと思いますか。
《〇は3つまで》

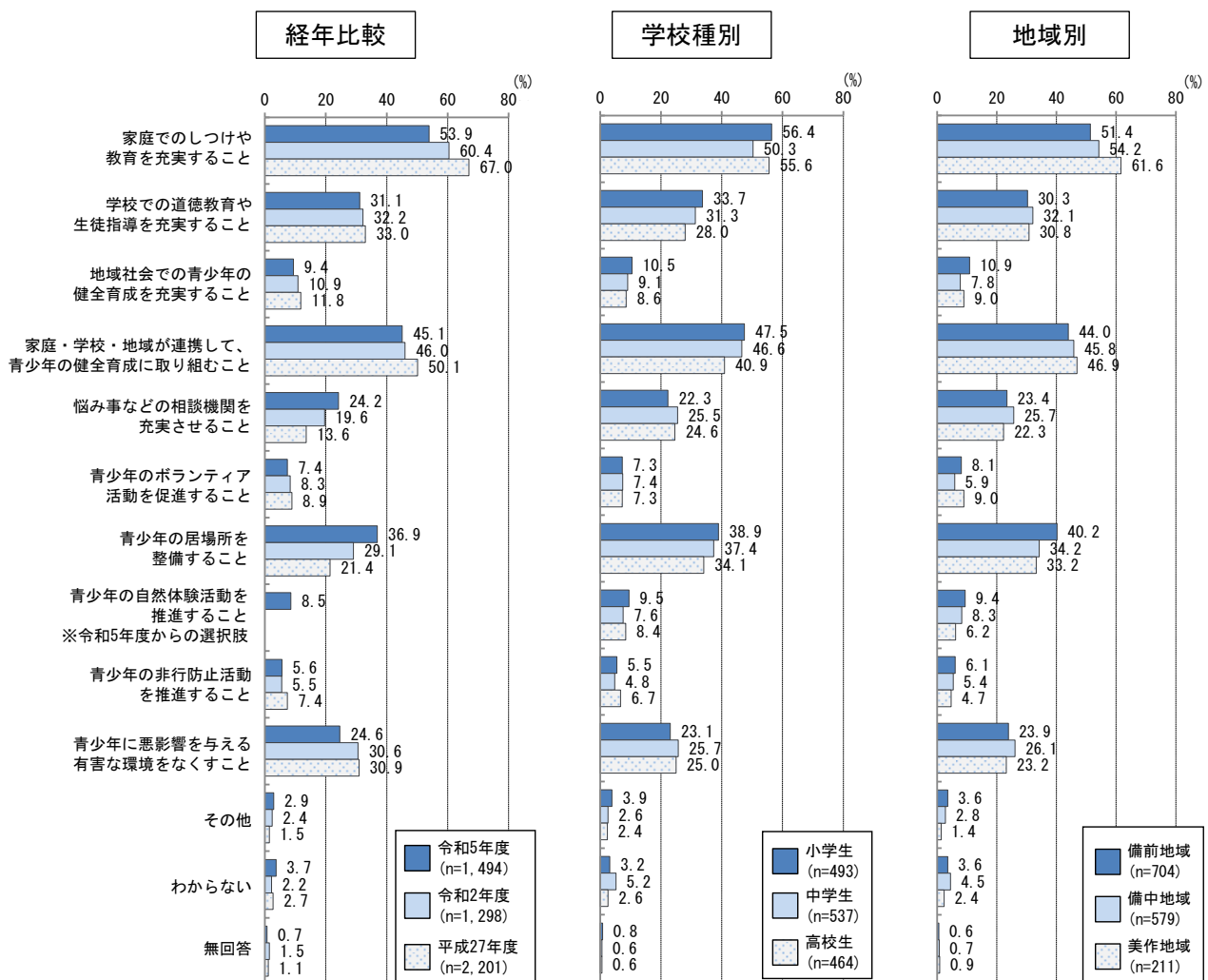
青少年の健全育成のために必要だと思うことについて、「家庭でのしつけや教育を充実すること」との回答が53.9%と最も高く、次いで「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」(45.1%)、「青少年の居場所を整備すること」(36.9%)などの順となっている。

経年比較すると、「家庭でのしつけや教育を充実すること」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。一方、「悩み事などの相談機関を充実させること」、「青少年の居場所を整備すること」との回答は増加傾向にある。

学校種別にみると、「家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと」との回答は小学生、中学性で高校生に比べ高くなっている。

地域別にみると、「家庭でのしつけや教育を充実すること」との回答は美作地域で6割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 青少年の健全育成のために必要だと思うこと（経年比較・学校種別・地域別）】



15 非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要なことについて

問29 あなたは、非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要なことは、何だと思えますか。《○は2つまで》

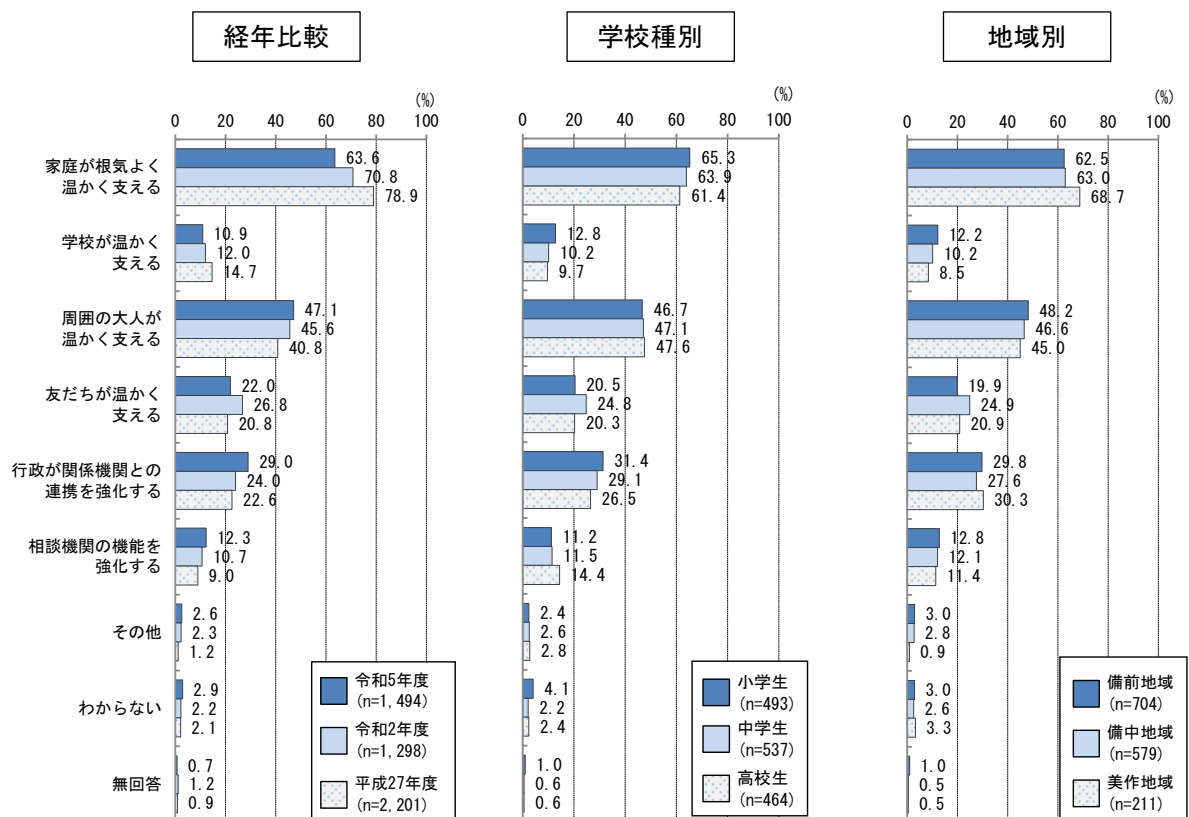
非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要だと思うことについて、「家庭が根気よく温かく支える」との回答が63.6%と最も高く、次いで「周囲の大人が温かく支える」(47.1%)、「行政が関係機関との連携を強化する」(29.0%)、「友だちが温かく支える」(22.0%)などの順となっている。

経年比較すると、「家庭が根気よく温かく支える」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。一方、「行政が関係機関との連携を強化する」との回答は増加傾向にある。

学校種別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、「家庭が根気よく温かく支える」との回答は美作地域で約7割、「友だちが温かく支える」との回答は備中地域で2割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要だと思うこと
(経年比較・学校種別・地域別)】



16 薬物について

問30 シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。《○はいくつでも》

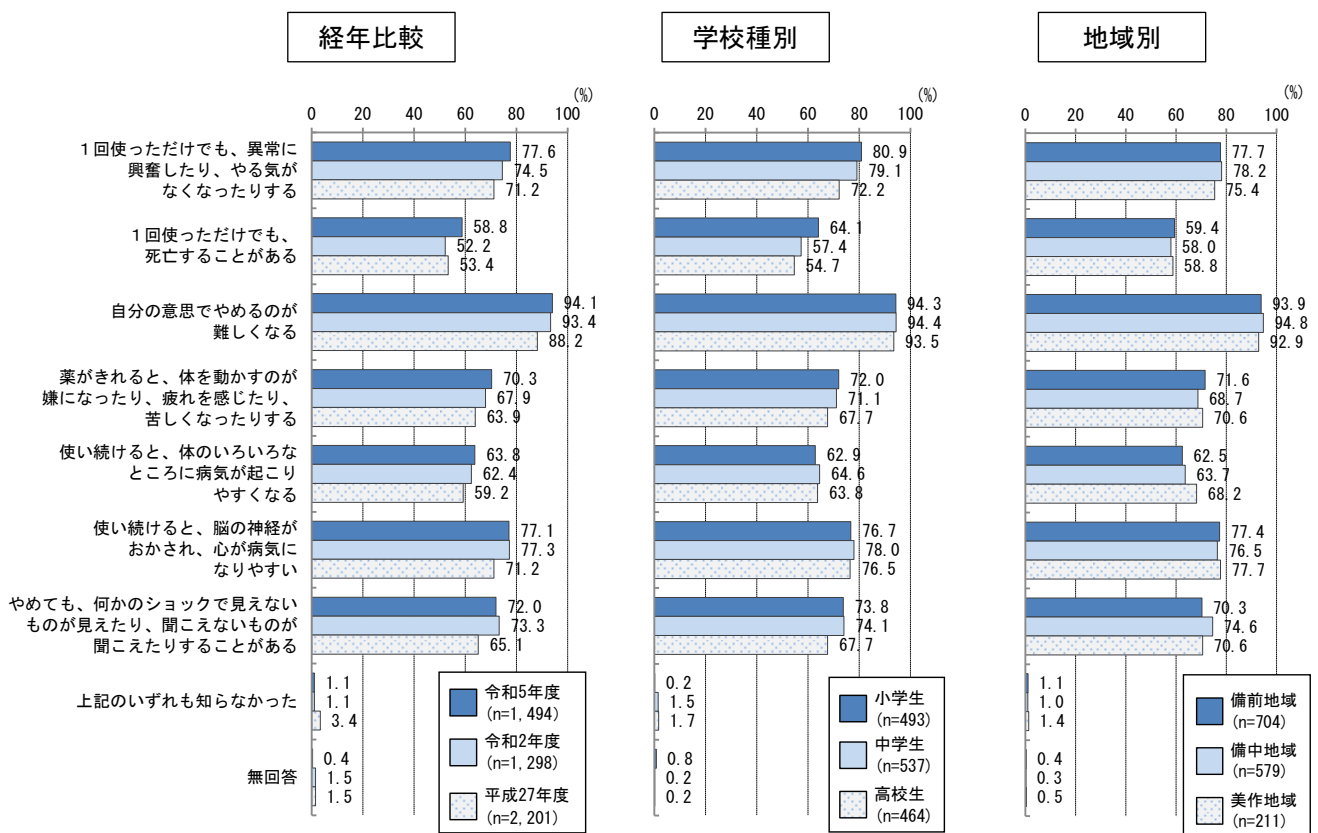
知っている薬物の害について、「自分の意思でやめるのが難しくなる」との回答が94.1%と最も高く、次いで「1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする」(77.6%)、「使い続けると、脳の神経がおかされ、心が病気になりやすい」(77.1%)、「やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある」(72.0%)などの順となっている。

経年比較すると、「1回使っただけでも、死亡することがある」との回答は今回調査が前回調査を6.6ポイント上回っている。

学校種別にみると、「1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする」、「薬がきれると、体を動かすのが嫌になったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「使い続けると、体のいろいろなところに病気が起こりやすくなる」との回答は美作地域で約7割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 知っている薬物の害（経年比較・学校種別・地域別）】



17 スマートフォン、携帯電話、パソコン等の所持について

問31 お子さんは、スマートフォン、携帯電話やパソコン等を持っていますか。

《○はいくつでも》

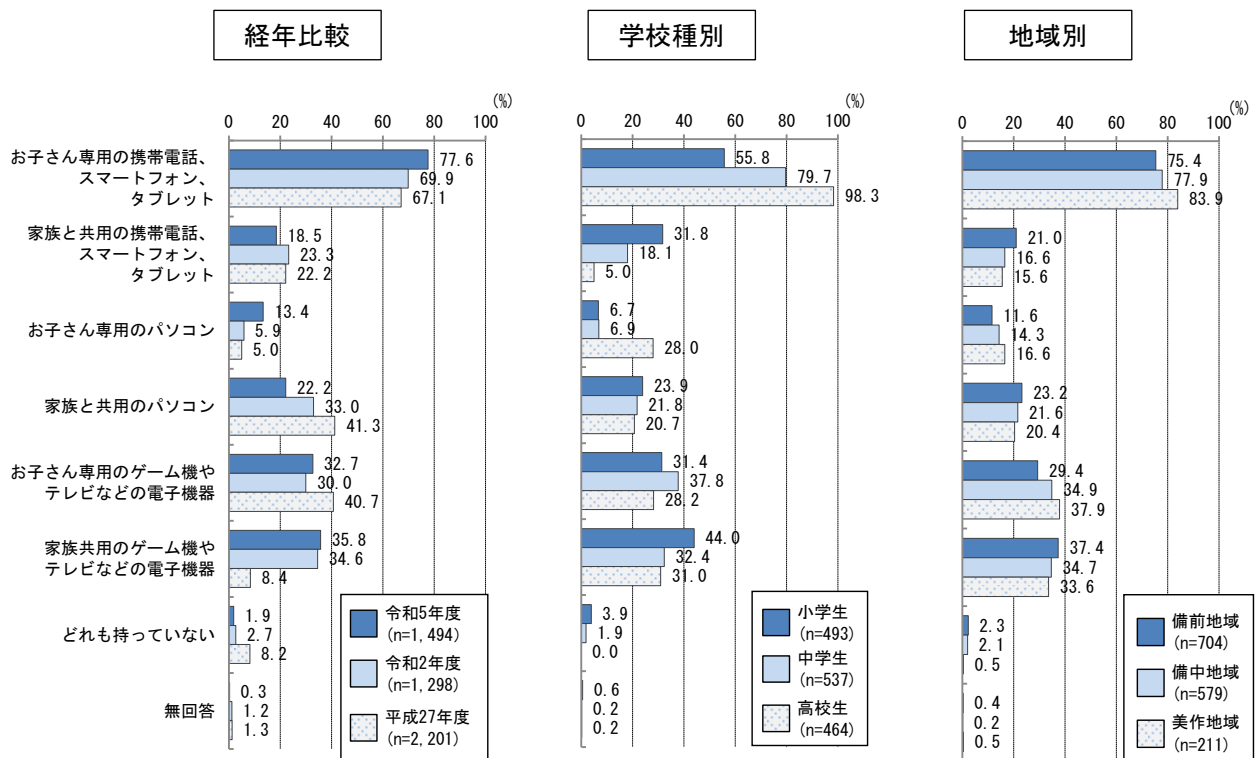
持っている通信機器について、「お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレット」との回答が77.6%と最も高く、次いで「家族共用のゲーム機やテレビなどの電子機器」(35.8%)、「お子さん専用のゲーム機やテレビなどの電子機器」(32.7%)などの順となっている。

経年比較すると、「お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレット」、「お子さん専用のパソコン」との回答は、今回調査が前回調査をともに7ポイント以上上回っている。一方、「家族と共用のパソコン」との回答は今回調査が前回調査を10.8ポイント下回っている。

学校種別にみると、「お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレット」との回答は高校生で約10割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレット」との回答は美作地域で8割半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 持っている通信機器（経年比較・学校種別・地域別）】



※平成27年度では「携帯電話」は含まれていない

18 フィルタリングの利用について

(問31で「1～6」に○がついた人だけお答えください。)

問31-1 お子さんが使用しているスマートフォン等にフィルタリング(*2)を使っていますか。《○は①～③それぞれ1つずつ》

(*2)「フィルタリング」とは、青少年がインターネットを利用する際に、危険なサイトに接触しないように制限することができるツールです。

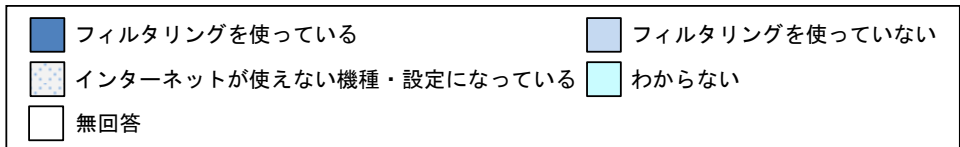
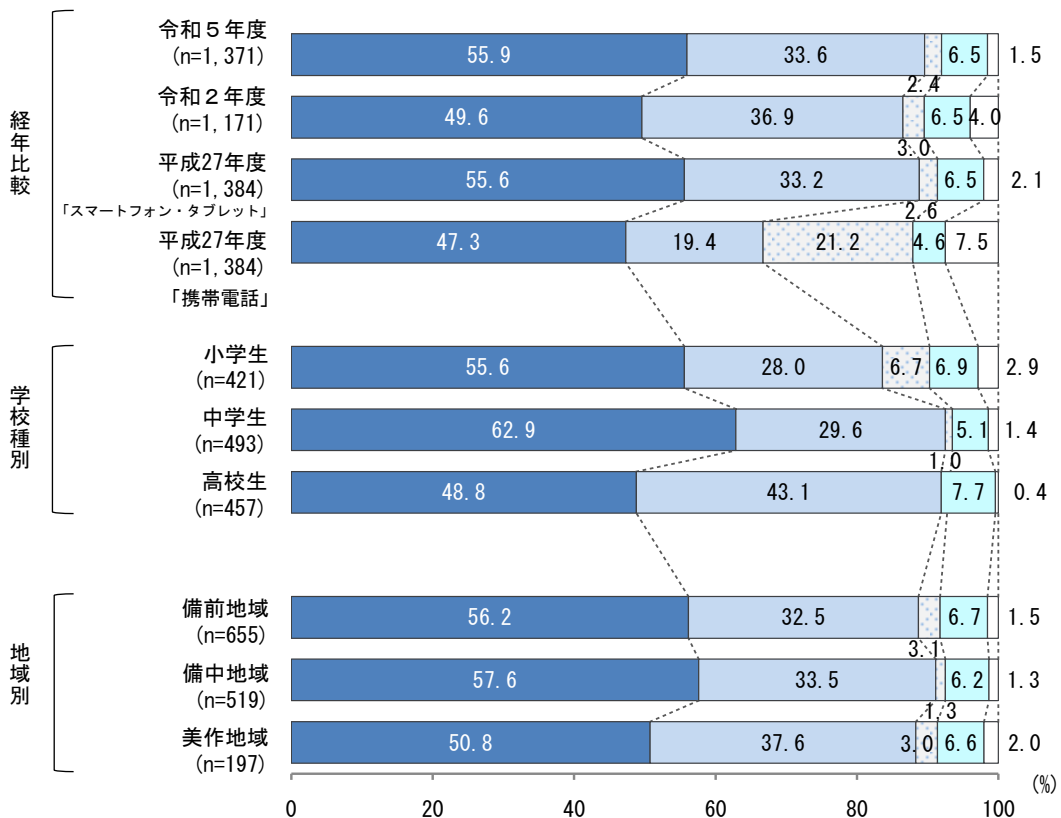
① 携帯電話、スマートフォン、タブレット

携帯電話、スマートフォン、タブレットを使用している人のフィルタリング状況について、「フィルタリングを使っている」との回答が55.9%、「フィルタリングを使っていない」との回答が33.6%となっている。

学校種別にみると、「フィルタリングを使っている」との回答は中学生で6割超、小学生で5割台半ば、高校生で約5割と高くなっている。

地域別にみると、「フィルタリングを使っている」との回答は美作地域で約5割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 携帯電話、スマートフォン、タブレットのフィルタリング状況
(経年比較・学校種別・地域別)】



② パソコン

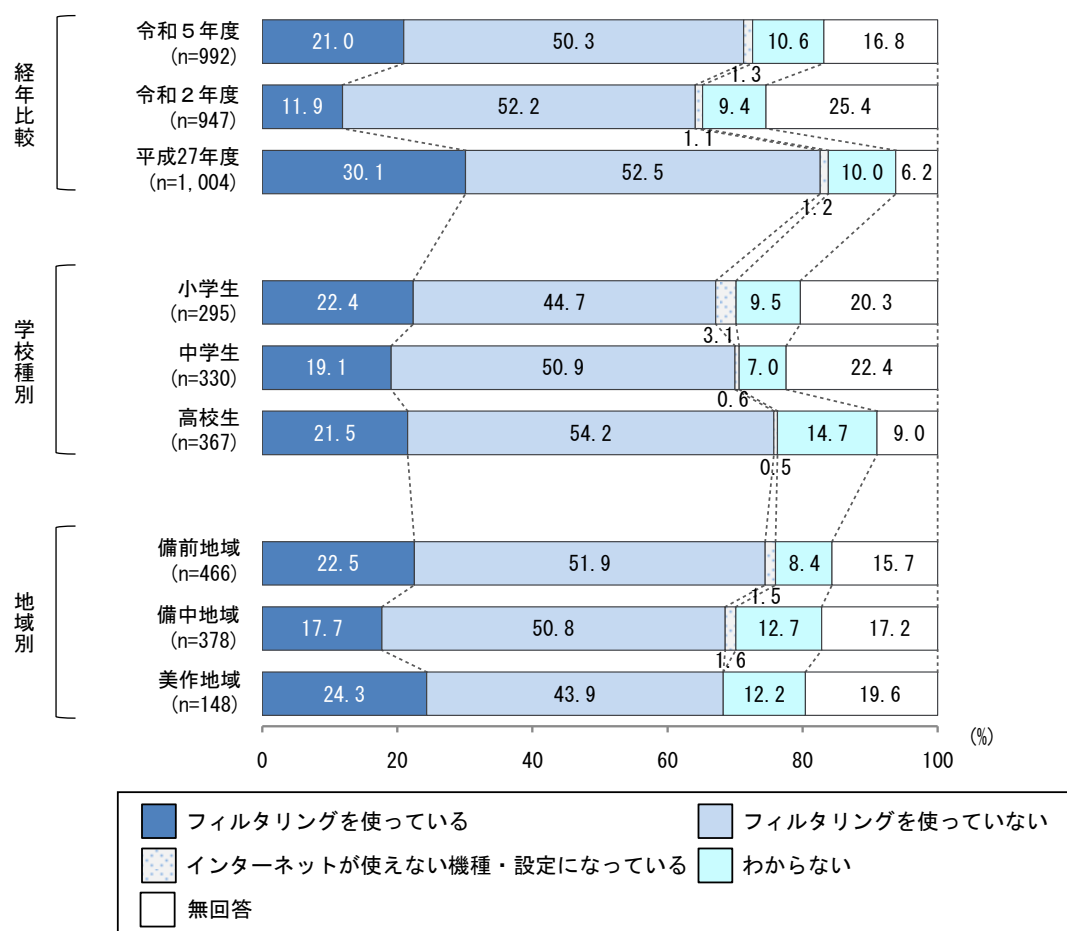
パソコンを使用している人のフィルタリング状況について、「フィルタリングを使っている」との回答が21.0%「フィルタリングを使っていない」との回答が50.3%となっている。

経年比較すると、「フィルタリングを使っている」との回答は今回調査が前回調査を9.1ポイント上回っている。一方「フィルタリングを使っていない」との回答は今回調査が前回調査を1.9ポイント下回っている。

学校種別にみると、「フィルタリングを使っていない」との回答は高校生で5割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、「フィルタリングを使っている」との回答は備中地域で2割未満と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 パソコンのフィルタリング状況（経年比較・学校種別・地域別）】



③ ゲーム機やテレビなどの電子機器

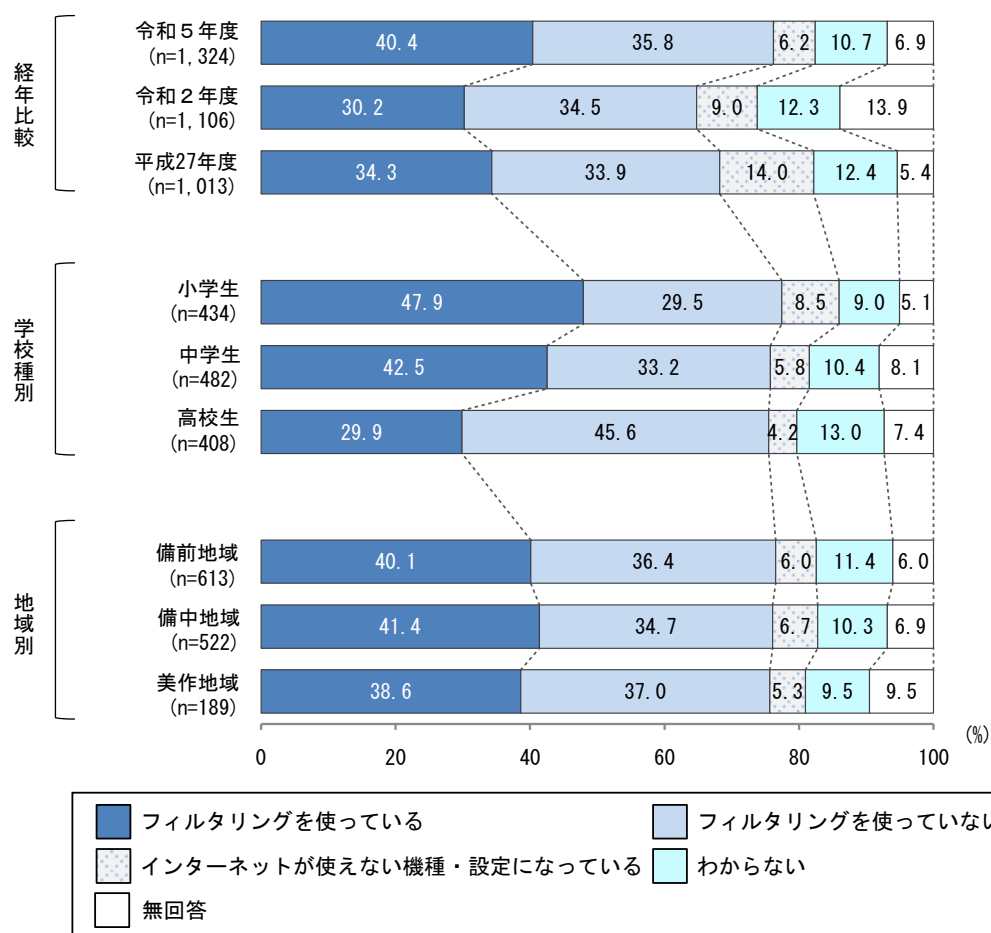
ゲーム機やテレビなどの電子機器を使用している人のフィルタリング状況について、「フィルタリングを使っている」との回答が40.4%、「フィルタリングを使っていない」との回答が35.8%となっている。

経年比較すると、「フィルタリングを使っている」との回答は今回調査が前回調査を10.2ポイント上回っている。

学校種別にみると、「フィルタリングを使っている」との回答は学年が上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 ゲーム機やテレビなどの電子機器のフィルタリング状況
(経年比較・学校種別・地域別)】



19 インターネットの利用について

問32 お子さんがインターネットを利用している端末は何ですか。《○はいくつでも》

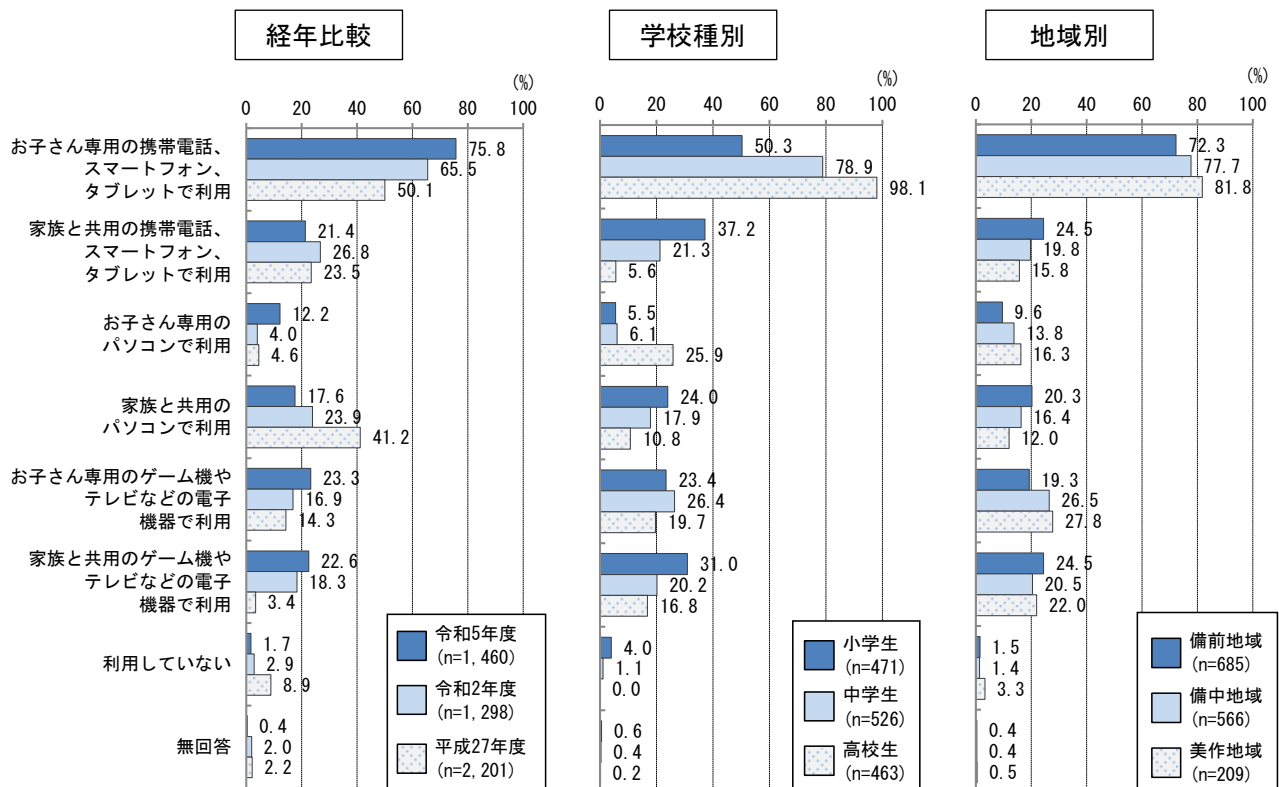
インターネットを利用している端末について、「お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレットで利用」との回答が75.8%と最も高く、次いで「お子さん専用のゲーム機やテレビなどの電子機器で利用」(23.3%)、「家族と共用のゲーム機やテレビなどの電子機器で利用」(22.6%)などの順となっている。

経年比較すると、「お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレットで利用」との回答は今回調査が前回調査を10.3ポイント上回っており、「家族と共用のパソコンで利用」との回答は6.3ポイント下回っている。

学校種別にみると、「お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレットで利用」との回答は高校生で約10割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。一方「家族と共用の携帯電話、スマートフォン、タブレットで利用」との回答は小学生で約4割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレットで利用」との回答は美作地域で8割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 インターネットを利用している端末（経年比較・学校種別・地域別）】



問33 お子さんは、どこでインターネットを利用していますか。《〇はいくつでも》

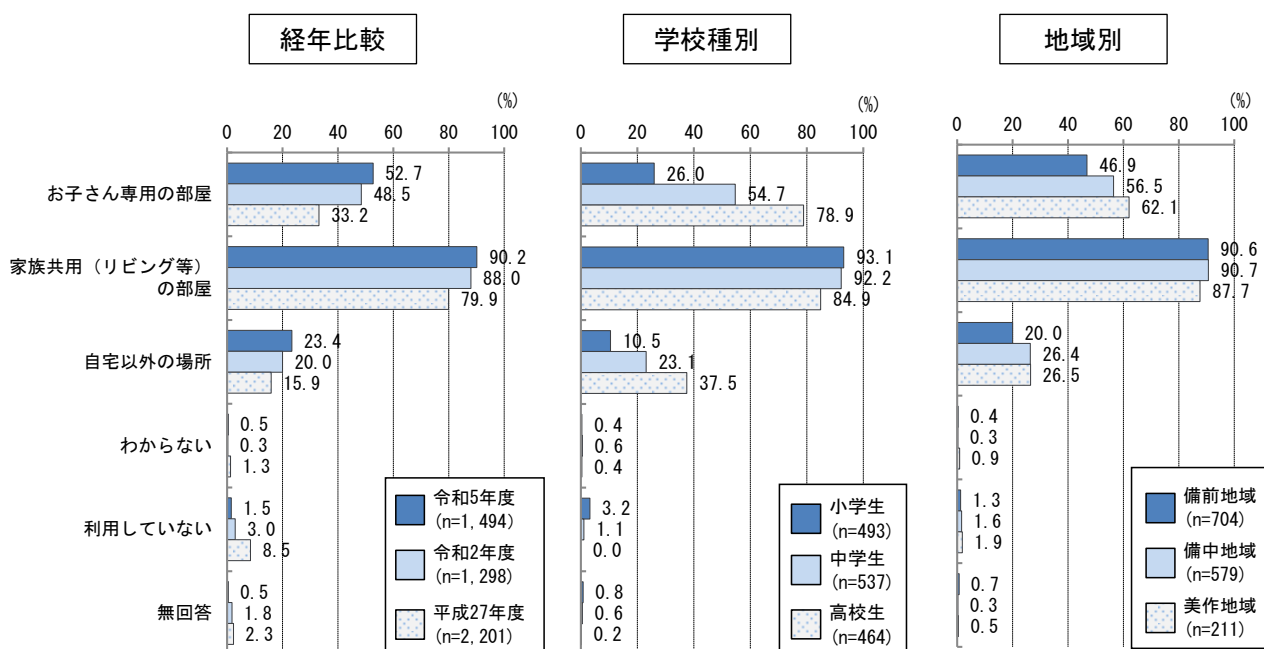
インターネットを利用している場所について、「家族共用(リビング等)の部屋」との回答が90.2%と最も高く、次いで「お子さん専用の部屋」(52.7%)、「自宅以外の場所」(23.4%)の順となっている。

経年比較すると、「お子さん専用の部屋」、「家族共用(リビング等)の部屋」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「お子さん専用の部屋」、「自宅以外の場所」との回答は高校生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「お子さん専用の部屋」との回答は美作地域で6割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 インターネットを利用している場所（経年比較・学校種別・地域別）】



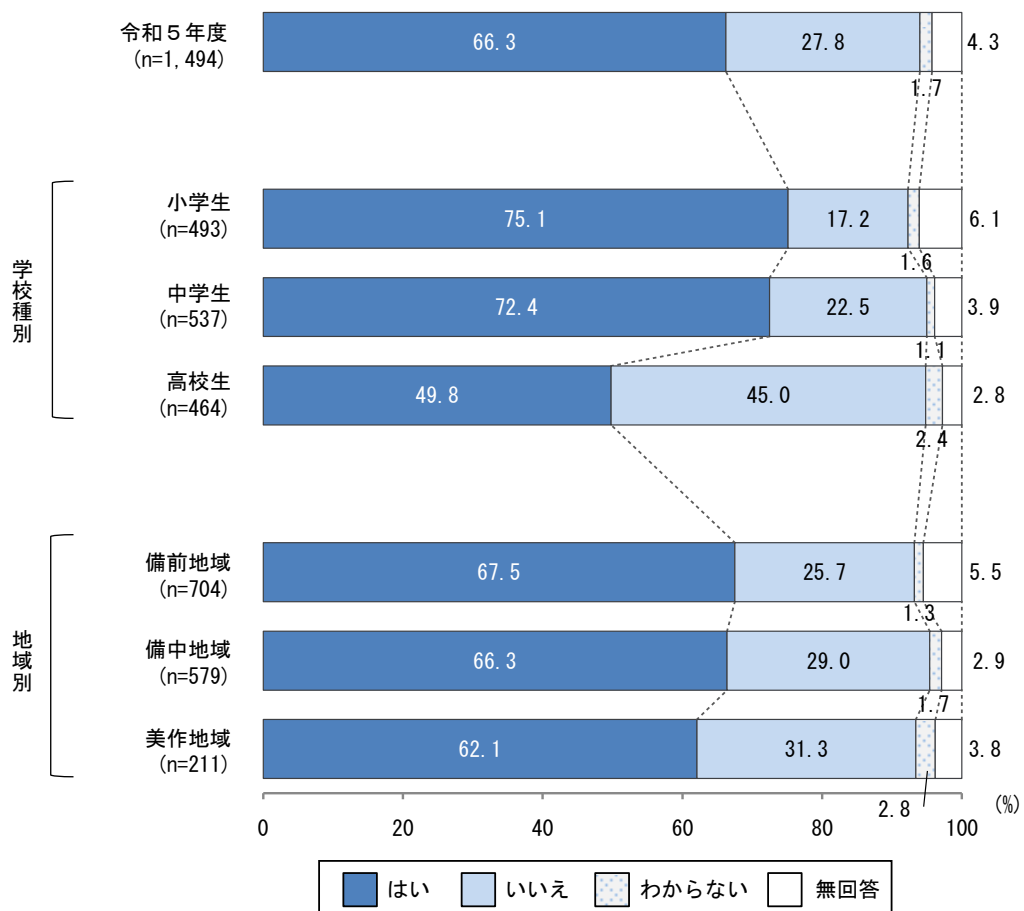
問34 あなたの家では、お子さんのインターネットの使い方について、何か家庭でルールを決めていますか。《○は1つ》

インターネットの使い方に関する家庭でのルールの有無について、「はい」との回答が66.3%、「いいえ」との回答が27.8%、「わからない」との回答が1.7%となっている。

学校種別にみると、「はい」との回答が小学生で7割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差は見られない。

【図表 インターネットの使い方に関する家庭でのルールの有無（経年比較・学校種別・地域別）】



(問34で「1. はい」に○がついた人だけお答えください。)

問34-1 この中から、あなたの家庭で決めている「インターネットの使い方のルール」にあてはまるものを、すべて選んでください。《○はいくつでも》

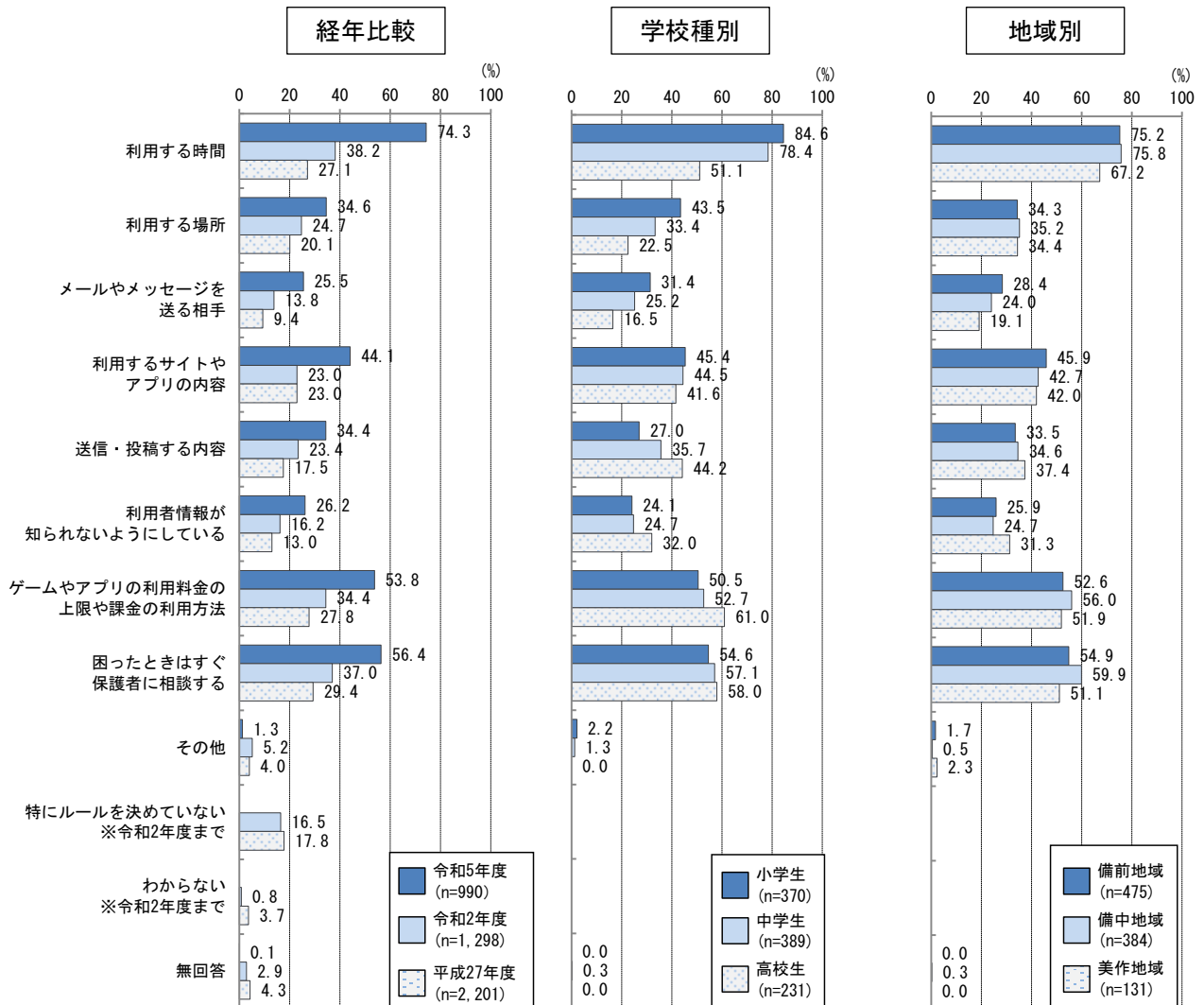
インターネットの使い方では決めているルールの内容について、「利用する時間」との回答が74.3%と最も高く、次いで「困ったときはすぐ保護者に相談する」(56.4%)、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」(53.8%)などの順となっている。

経年比較すると、「何らかのルールを決めている」とする選択肢はすべて今回調査が前回調査を上回っており、特に「利用する時間を決めている」との回答は今回調査が前回調査を36.1ポイントと大きく上回っている。

学校種別にみると、「利用する時間」との回答は小学生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「メールやメッセージを送る相手」との回答は、美作地域で2割未満と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 インターネットの使い方では決めているルールの内容（経年比較・学校種別・地域別）】



問35 お子さんのインターネット利用について、どのような取組が必要だと思いますか。

《〇はいくつでも》

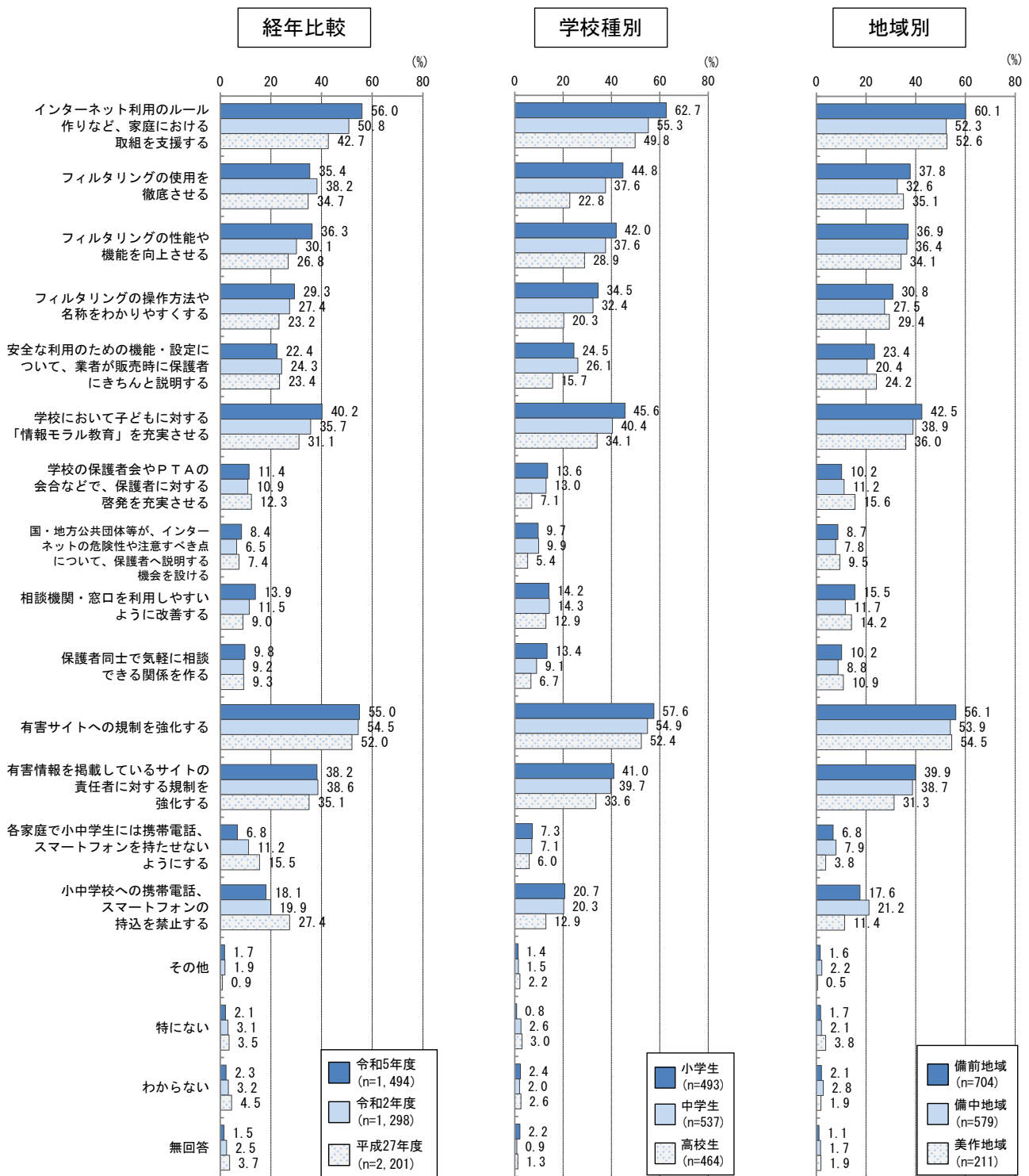
インターネット利用において必要だと思う取組について、「インターネット利用のルール作りなど、家庭における取組を支援する」との回答が56.0%と最も高く、次いで「有害サイトへの規制を強化する」(55.0%)、「学校において子どもに対する「情報モラル教育」を充実させる」(40.2%)「有害情報を掲載しているサイトの責任者に対する規制を強化する」(38.2%)などの順となっている。

経年比較すると、「フィルタリングの性能や機能を向上させる」との回答は今回調査が前回調査を6.2ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、半数以上の選択肢で高校生が低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 インターネット利用において必要だと思う取組（経年比較・学校種別・地域別）】



20 望まない妊娠や性感染症の予防法について

問36 望まない妊娠や性感染症の予防法について、家庭で話すことはありますか。《○は1つ》

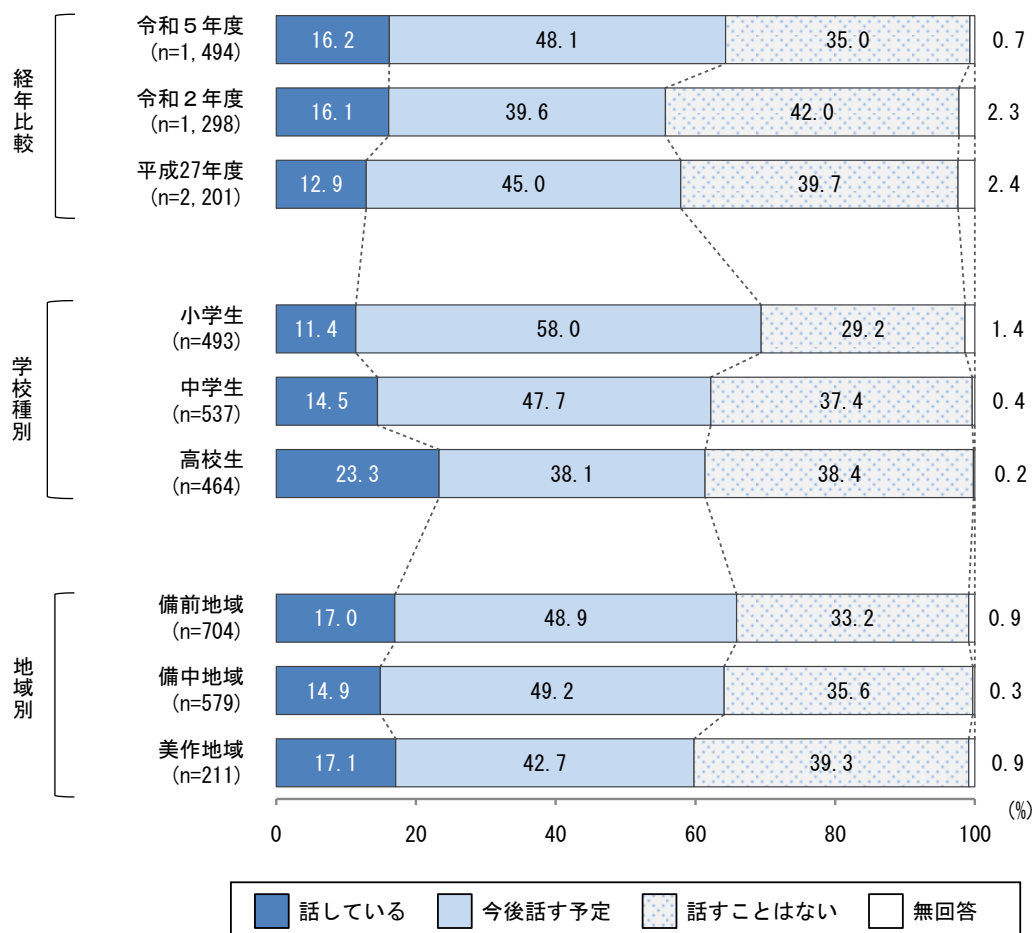
望まない妊娠や性感染症の予防法に関する話し合いについて、「今後話す予定」との回答が48.1%と最も高く、次いで「話している」(16.2%)、「話していない」(35.0%)の順となっている。

経年比較すると、「今後話す予定」との回答は今回調査が前回調査を8.5ポイント上回っている。

学校種別にみると、「話している」との回答は高校生で2割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 望まない妊娠や性感染症の予防法に関する話し合い（経年比較・学校種別・地域別）】



21 不審者等の出没について

問37 あなたのお住まいの地域での不審者等の出没について、聞いたことがありますか。

《○は1つ》

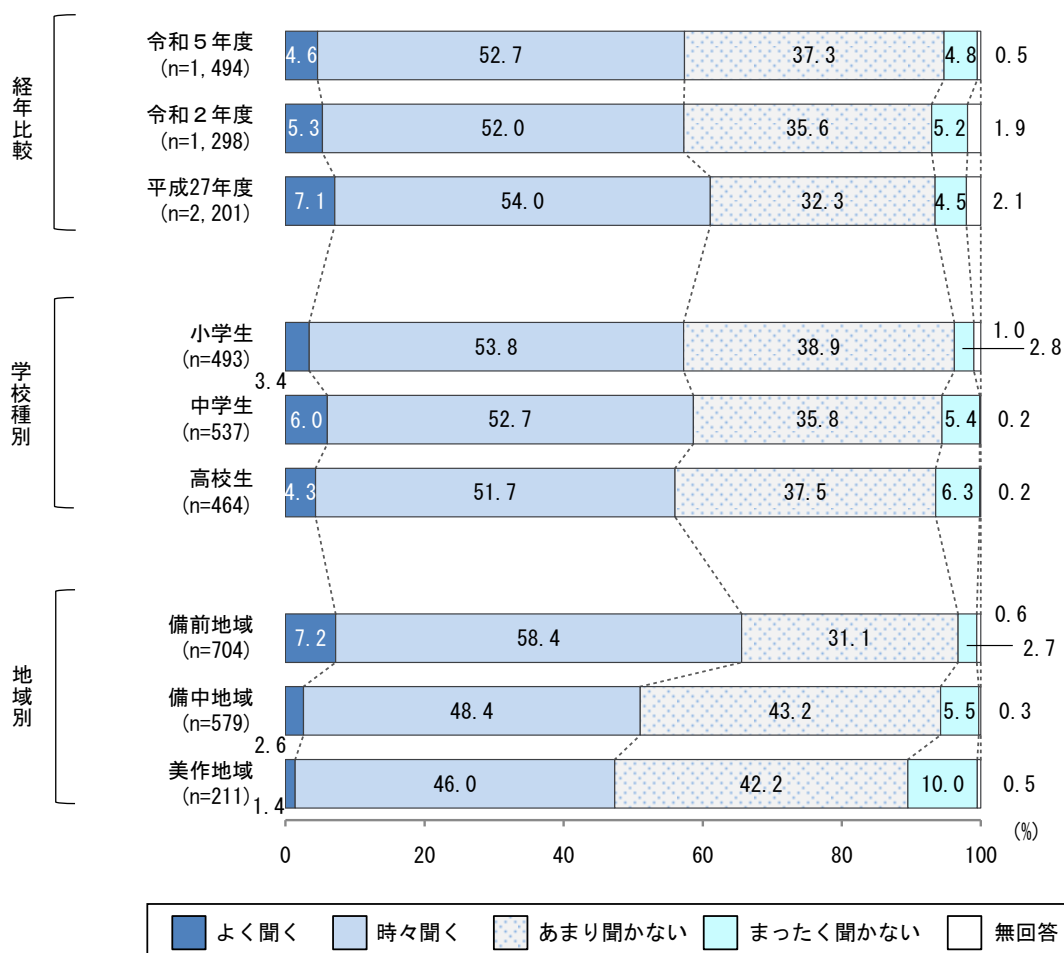
不審者情報に関して聞いた経験について、「時々聞く」との回答が52.7%と最も高く、次いで「あまり聞かない」(37.3%)、「まったく聞かない」(4.8%)、「よく聞く」(4.6%)の順となっている。

経年比較すると、「よく聞く」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、「よく聞く」、「時々聞く」との回答は備前地域で合わせて6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 不審者情報に関して聞いた経験（経年比較・学校種別・地域別）】



22 子どもの安全を守るために行っている活動について

問38 あなたは、お子さんの安全を守るために、どのような活動をしていますか。

《〇はいくつでも》

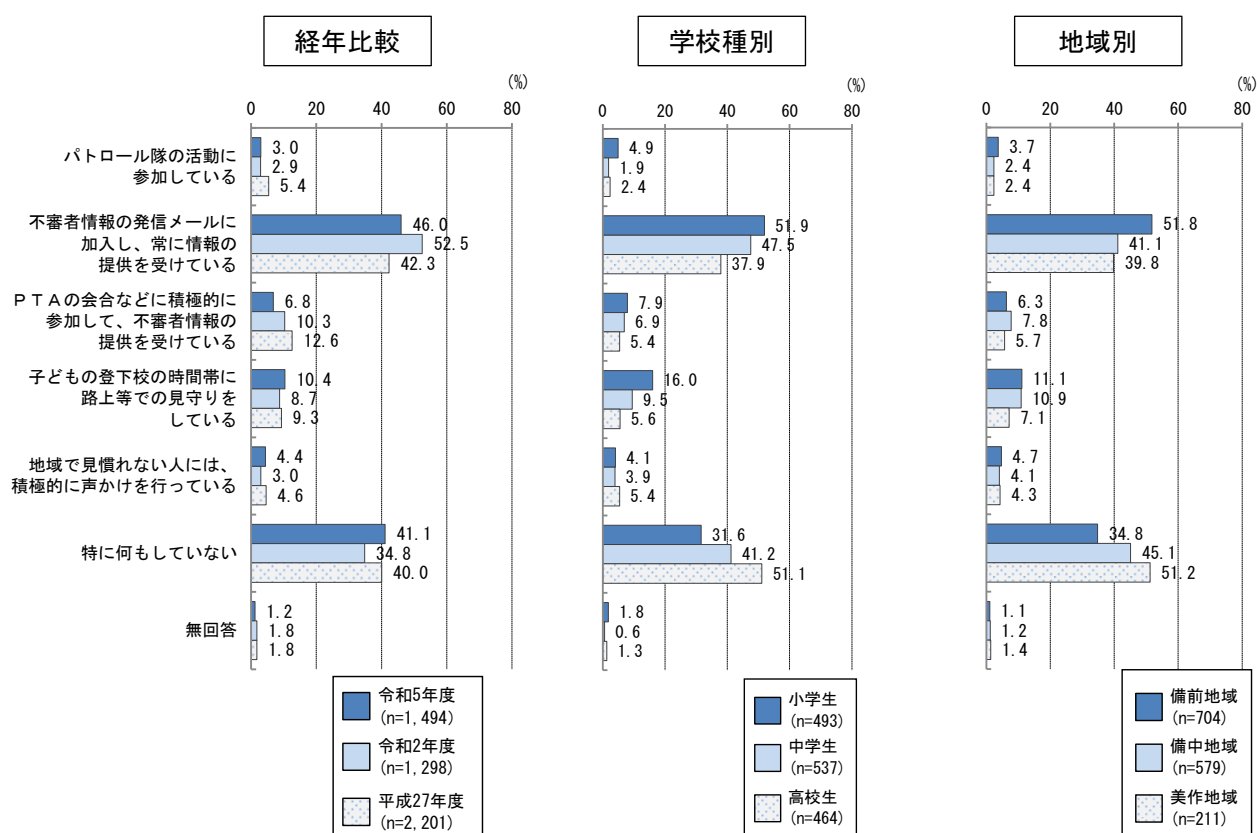
安全を守るためにしている活動について、「不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている」との回答が46.0%と最も高く、次いで「子どもの登下校の時間帯に路上等での見守りを行っている」(10.4%)、「PTAの会合などに積極的に参加して、不審者情報の提供を受けている」(6.8%)などの順となっている。また「特に何もしていない」との回答は41.1%となっている。

経年比較すると、「不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている」との回答は今回調査が前回調査を6.5ポイント下回っている。一方、「特に何もしていない」との回答は今回調査が前回調査を6.3ポイント上回っている。

学校種別にみると、「不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「特に何もしていない」との回答は高校生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている」との回答は備前地域で、「特に何もしていない」との回答は美作地域でともに約5割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 安全を守るためにしている活動（経年比較・学校種別・地域別）】



23 子どもの安全を守るために力を入れるべきことについて

問39 あなたは、お子さんの安全を守るために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。《○は3つまで》

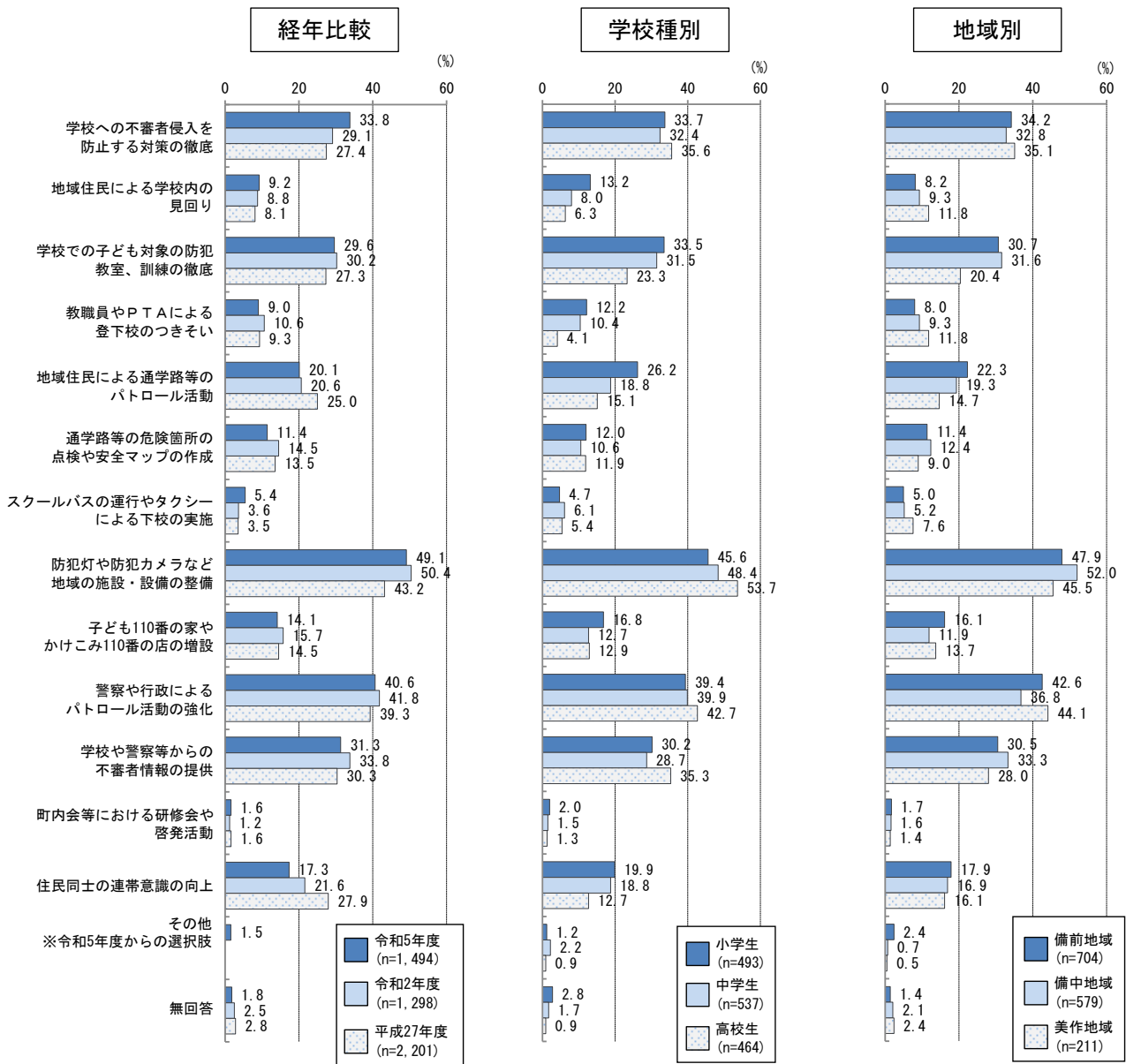
安全を守るために力を入れるべきだと思うことについて、「防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備」との回答が49.1%と最も高く、次いで「警察や行政によるパトロール活動の強化」(40.6%)、「学校への不審者侵入を防止する対策の徹底」(33.8%)などの順となっている。

経年比較すると、「学校への不審者侵入を防止する対策の徹底」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「学校での子ども対象の防犯教室、訓練の徹底」との回答は高校生で2割台半ばと低く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備」との回答は備中地域で5割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 安全を守るために力を入れるべきだと思うこと（経年比較・学校種別・地域別）】



24 「ヤングケアラー」という言葉の認知について

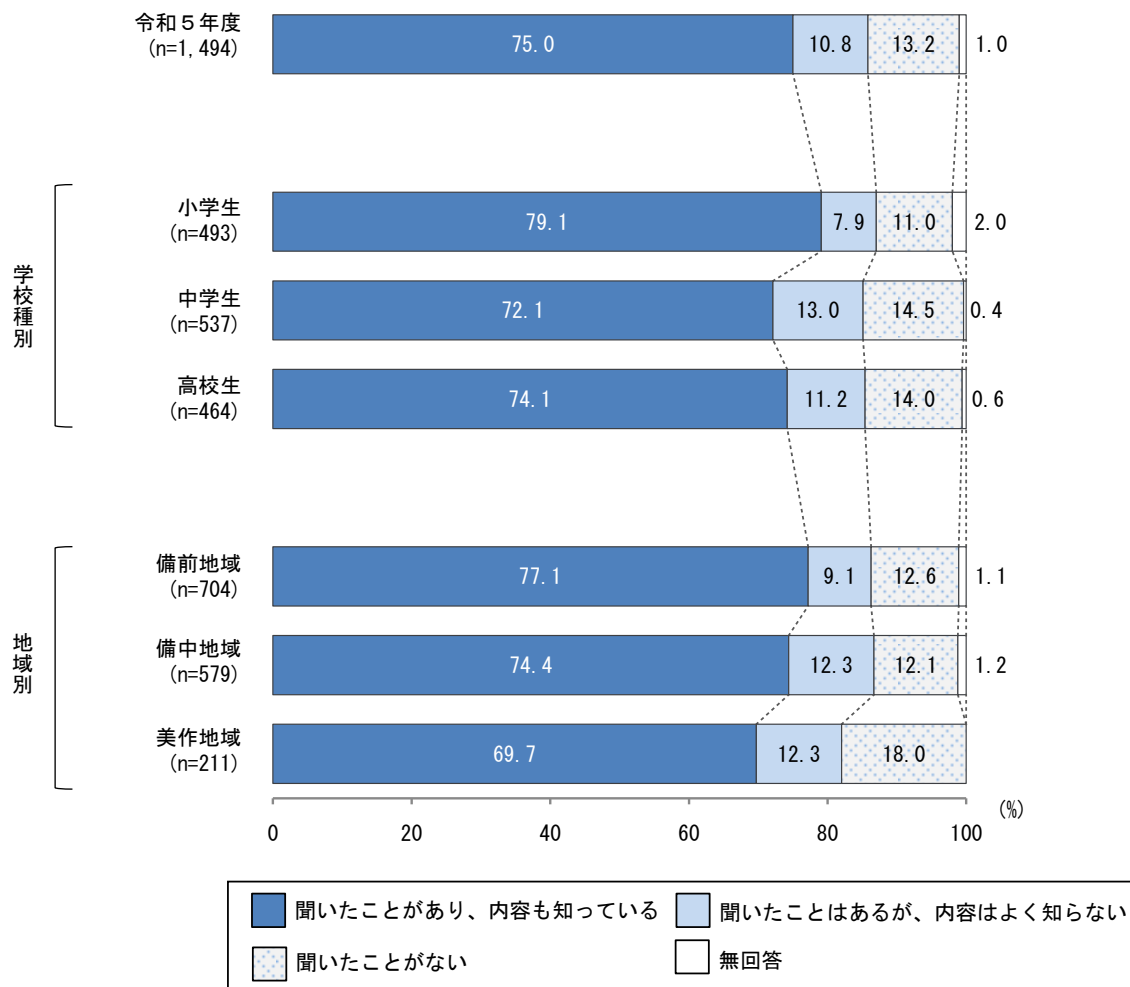
問40 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。《○は1つ》

「ヤングケアラー」という言葉の認知について、「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答が75.0%と最も高く、次いで「聞いたことがない」(13.2%)、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(10.8%)の順となっている。

学校種別にみると、「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答は小学生で約8割と高くなっている。

地域別にみると、「聞いたことがあります、内容も知っている」との回答は美作地域で7割未満と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉の認知（全体・学校種別・地域別）】



(問40で「1~2」に○がついた人だけお答えください。)

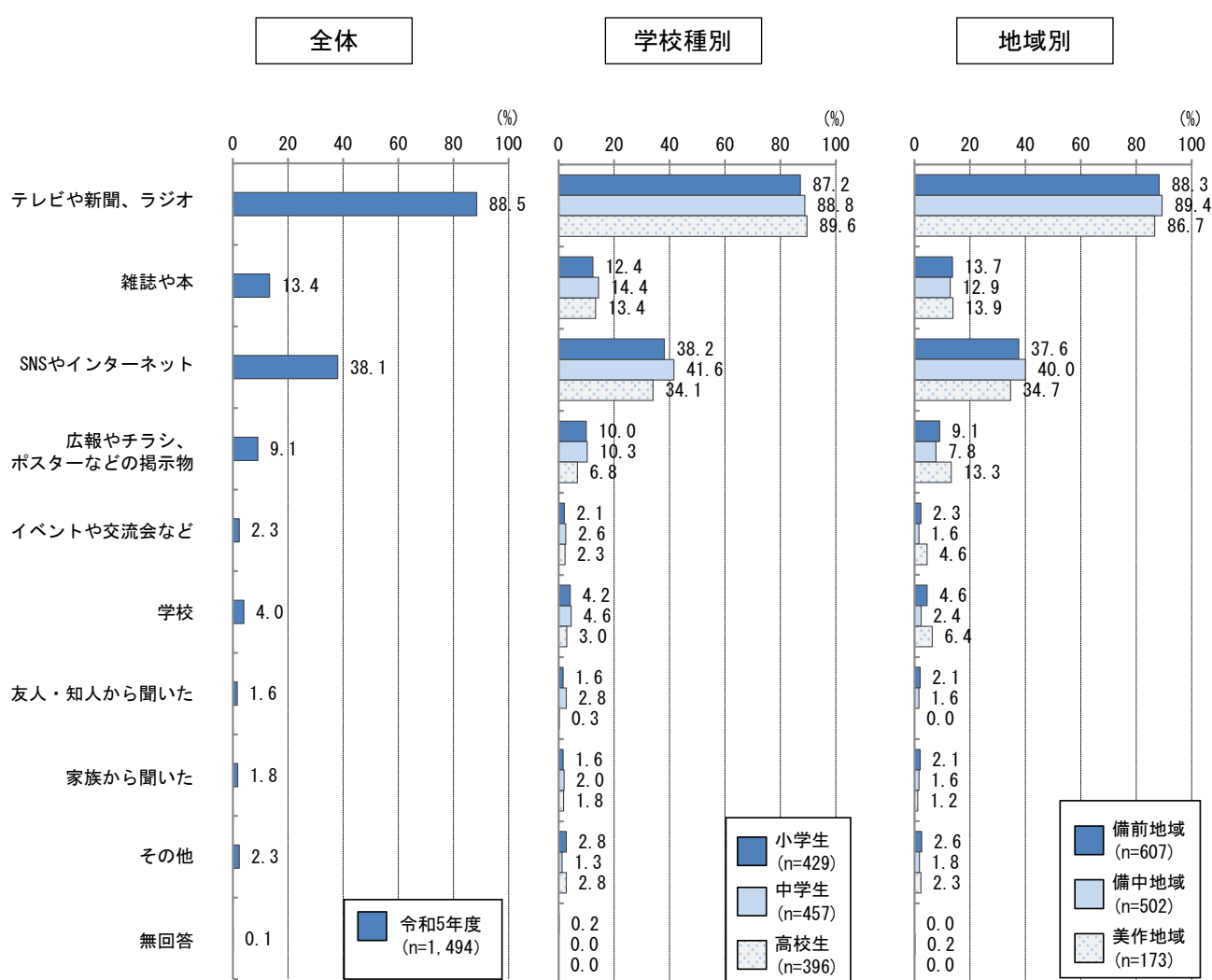
問40-1 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。《○はいくつでも》

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったかについて、「テレビや新聞、ラジオ」との回答が88.5%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」(38.1%)、「雑誌や本」(13.4%)などの順となっている。

学校種別にみると、大きな差は見られない。

地域別にみると、「広報やチラシ、ポスターなどの掲示物」との回答が、美作地域で1割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか (全体・学校種別・地域別)】



25 自由意見

問 4 1 青少年の健全育成に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

全体では 178 件のご意見・ご要望が寄せられた。区分別では、「学校、教育について」(92 件)が最も多く、次いで「地域社会について」(57 件)、「青少年へのより良い指導について」(38 件)などの順となっている。

小学生の保護者では、「学校、教育について」、「地域社会について」、「安心・安全について」が多くなっている。

中学生の保護者では、「学校、教育について」、「地域社会について」、「青少年へのより良い指導について」が多くなっている。

高校生の保護者では、「学校、教育について」、「家庭生活について」、「地域社会について」が多くなっている。

【保護者（自由記述分類表）】

分類	合計	小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者
学校、教育について	92	26	44	22
安全・安心について	24	13	8	3
地域社会について	57	18	28	11
スマホ、インターネットについて	28	10	14	4
家庭生活について	34	7	15	12
大人の反省点について	17	3	8	6
保護者支援、子育て支援について	19	10	6	3
青少年へのより良い指導について	38	9	19	10
その他	30	9	13	8
合計		60	75	43

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容件数は一致しない。

<問 41 の主な自由意見>

(1) 学校、教育について

内容	学校種別
小学校の先生の人数が十分であるようお願いしたい。様々な子どもと一緒に なって学習する環境を目指しているなら、先生の数足りていないように 日々感じている。先生や学校をもっと応援してあげてほしい。	小学生の保護者
気候変動に伴い、下校の時間を見直してほしい。	小学生の保護者
親や学校の先生に反抗的になる思春期は、一方で先輩の言動に憧れを抱く時 期でもあります。年齢が近い世代同士でサポートし合う仕組みを作るのがよ いと思います。	小学生の保護者
昔に比べて、部活動をする時間も場所も減り、一所懸命に何かに打ち込める機 会がかなり少なくなっているように思います。先生方の働き方改革で子ども 達にしわ寄せが行かないよう、先生方の代わりにサポートする機関等を早急 にご検討いただきたいです。	中学生の保護者
家庭でのしつけなどが大切だと思いますが、もう少し学校の先生も厳しく叱 ることも大切なのではないかと感じます。先生、生徒より友達感覚が強いと感 じます。	中学生の保護者
ジェンダーレスの時代の中で個々の人権を大切にするベースになる性教育は 特に大切かと思えます。	中学生の保護者
心の教育も大事にしてほしい。誹謗中傷しないとか、自分の事だけでなく、他 人も大切にするように家庭では話しているが、周りの人もそうであってほし い。立場の弱い人に優しい人や世の中になってほしい。	高校生の保護者
コロナ禍における行き過ぎた感染症対策は青少年の健全育成を大きく阻害す るものでした。マスク着用義務、黙食、様々な学校行事の中止や縮小。これら は感染症の予防にどこまで効果があったか疑問が残るだけでなく、むしろ子 ども達、若者の心身にとってデメリットの方が大きかったと思います。今後も しコロナのような感染症問題が起きた場合には、子ども達が健全に成長する ための自由や権利を尊重してほしい。	高校生の保護者
学校が決めた古いルールに疑問を感じる。公立・私立を問わず、学校教育で のルールづくりを明確化し、時代に合った教育のあり方に常にリフレッシュ させていく必要を感じる。	高校生の保護者

(2) 安全、安心について

内容	学校種別
子どもが中学生になり自転車で移動するようになると、日が暮れると辺りが本当に暗くて、部活や習い事の帰り道が心配です。地域にもよると思いますが、せめて大きい道沿いは街灯を増やして、ここを通れば安心、というようにしてほしいです。交通安全や不審者対策として必要だと思います。	小学生の保護者
自転車事故が多いので、学校での交通安全教室などを充実してほしい。	中学生の保護者

(3) 地域社会について

内容	学校種別
各家庭の努力、周りの大人に気軽に相談できる人間関係があれば、子ども達が健全に育成できると思う。ただし、各家庭の事情もあるので、子ども会や地域行事への参加の強制は控えてほしい。	小学生の保護者
地域の方の見守る目が何より力になる。子どもたちの登下校時に地域の方と触れ合えるような工夫ができれば良いと思う。	小学生の保護者
地域の大人が、子どもを見かけた時に声かけなどをもっと積極的にしてほしいと思います。無関心な大人が多いなと感じます。	小学生の保護者
スポーツ参加は良い活動だと思う。	中学生の保護者
家庭教育が一番大切だとは思いますが、核家族化が進んでおり子どもに関わる大人が減っている。地域の大人や学校の協力も必要だと思う。	高校生の保護者
家庭や学校で健全育成の取り組みをするだけでなく、地域全体で見守ることも大切だと思います。行事やボランティアに参加するということだけでなく、登下校の際にちょっと庭先に出てあいさつや声かけをするなどでも良いと思うので、自分で出来る小さな事でも続けて見守っていただけると嬉しいです。	高校生の保護者

(4) スマホ、インターネットについて

内容	学校種別
スマホのルールが守れない子どもにスマホを持たせるのは反対だが、スマホを持っていないことで仲間外れにならないか心配でもある。	小学生の保護者
スマホやタブレットの使用は、大人でもコントロールが難しいが、子どもにはなおさらコントロールが難しいものと思っています。ある程度使用制限をかけないと感じていますが、高校生くらいになるとそれも難しくなります。中高生には親以外の人からの教育を受けられる機会を増やしてほしいです。	小学生の保護者
情報がたくさんありすぎて、子どもよりも大人の方が迷ってしまいます。インターネットの使い方、何がどう正しいのかよく分かりません。	中学生の保護者
家庭での教育は勿論だけど、できていない家庭は沢山あると思う。学校でしっかりインターネットやSNSなどの使い方を教育し、子ども達自身も適切な使い方を考えてほしい。	中学生の保護者
タブレットを使用した学習は小・中学生には不要である。情報機器を操る能力だけが長けても学習の意味がない。低学年から日記や読書感想文など自分で考えること、自分の言葉で表現することを学習させてほしい。スポーツや創作活動など、言葉以外の表現でもよい。	中学生の保護者

(5) 家庭生活について

内容	学校種別
放任の家庭では、ゲームやスマホ、お金についてとてもルーズなことが多く、悪影響が心配。	小学生の保護者
親が無関心では教育もしつけも難しいと思う。各家庭が健全とは限らないし、色々な家庭がある中、各家庭でしっかりしていかないといけないと感じています。	中学生の保護者
不登校の子どもに対する受け皿が少なく、家庭の負担が大きいと感じる。	高校生の保護者

(6) 大人の反省点について

内容	学校種別
子どもは自分のことは自分で決める。大人は自分たちの常識、考え方を押しつけない。	小学生の保護者
親がもっと自分の子どもに関心を持つべきだと思う。子どもが何をしているか、分かっていない親も多いし、子どもが親に嘘をつく事が当たり前になってきているのは問題だと思う。	中学生の保護者
親に放置された子どもの方が愛情不足からか非行に走るような気がします。そのため子育てに一生懸命な親にアンケートを取るよりも、子育てに積極的に関わらない親をどうするかを考えた方が良くと思います。	中学生の保護者
子どもに対していつも命令口調だったり、自分の都合を押し付けている保護者が本当に多くて、驚く事が多い。とても残念な気持ちになる。	高校生の保護者

(7) 保護者支援、子育て支援について

内容	学校種別
教育にかかる費用負担が大きすぎます。給食費だけでも国、市が負担してほしい。	小学生の保護者
ひとり親等の低収入の家庭では、子どもの年齢に関わらず昼夜問わず働きます。塾に通わせてやりたくても難しく、家では子どもだけの時間が多くなり心配しています。子どもへの支援金等が充実すればそのような心配は減り、リスクも減るのになと思っています。一人の時間は多ければ多いほど健全育成とは程遠くなると感じています。子どもと過ごす時間がほしくても、作れない家庭状況もあるのです。	小学生の保護者
親同士の情報交換の場が増えたらありがたいです。	中学生の保護者
問題を抱える子どもや保護者を支援するには、家庭、学校、福祉等の協力が必要だと思います。学校の先生の負担が大きいため、先生にも心の余裕が持てるような体制がとれたらいいのにと感じています。	中学生の保護者
親の経済力や家庭環境で、子供の体験や学習機会の差が大きくなるのは貧富の差の連鎖につながる。優秀な人材はだれでも高等教育を受けられるように大学までは授業料を無償化すべきだと思う。	高校生の保護者

(8) 青少年へのより良い指導について

内容	学校種別
<p>現在住んでいる地域では、文化活動、子ども達の登下校時の見守り、公園の整備や清掃などを積極的に行って下さる先輩方に囲まれており、安心感に包まれて毎日を過ごしています。子ども達が将来大人になって、ふるさとを思い出す時に、ここで育って良かった、楽しい子ども時代だった、と思ってもらえるような地域づくりが大切だと思っています。</p>	<p>小学生の保護者</p>
<p>コロナ禍で、子ども達が遊ぶ場所が一点集中し思った事ですが、公園でボール遊び禁止とあるボードをよく目にしました。書いている内容もそれぞれで低学年には理解しにくい内容もあり近隣住人とのトラブルにたびたびなりました。統一した看板にして、デザイン性を前面に出したものがいいなと思っています。</p>	<p>小学生の保護者</p>
<p>健全な心の教育には、親はもとより子の育つ環境で決まってくると思う。何が大切なのかは親の考えや大人たちの価値観の違いもあり一概に言えないが、親は信念を持って子どもを育て社会の一員として役立つ人間に育てることが大切だ。</p>	<p>中学生の保護者</p>
<p>子どもの意見を尊重して、やりたい気持ちを応援しています。自分自身が厳しく育って若いときにしかできない事をしないできました。成長してからは勇気がなかったり、しがらみがあってなかなかできません。何でも否定しないで応援できればと思っています。</p>	<p>中学生の保護者</p>
<p>大人がきちんとした行動や言葉を子どもに示していかないと、青少年は健全にはならないと思います。まずは大人が道徳を学ぶべき時代です。</p>	<p>高校生の保護者</p>
<p>自身を含めて、人を幸せにする事が一番大切だと教えるべきだと思います。</p>	<p>高校生の保護者</p>

V 資料編

青少年の意識等に関する調査

《調査ご協力のお願い》

令和5年（2023年）10月

岡山県

このアンケートは、みなさんが家や学校でのふだんの生活の中で感じていること、行っていることについておたずねするものです。アンケートの結果は、どのようにして今後の社会を良くするかを考えるために役立てられます。

回答は、先生にはわからないようになっており、あなた個人のことをとりあげたり、あなたの名前や学校名が公表されることはありませんので、ありのままを書いてください。アンケートに答えるときには、あまり考えこまずに、気持ちを楽にして答えてください。



うらっち ももっち
岡山県マスコット

書き方について

- アンケートは、他の人に相談したりせずに、あなた自身の考えを書いてください。
- 質問の中で、あなたにあてはまらなかったり、意味がわからないもの、答えられないもの、答えたくないものがある場合は、とばして次の質問に進んでください。
- 回答は、問1から順番に、質問ごとに用意した回答の中から、あなたの考えにあてはまる番号に○印をつけてください。
- 回答は、鉛筆またはボールペンで、はっきりと書いてください。
- 書き終わったら、封筒に入れて封をしてください。

問1 あなたが、今、一緒に住んでいる人をすべて教えてください。

《○はいくつでも》

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. お父さん | 5. おばあさん |
| 2. お母さん | 6. おじさん、おばさん、その他の親せき |
| 3. 兄弟・姉妹 | 7. その他の人 |
| 4. おじいさん | |

問2 あなたは、朝食を食べていますか。

《○は1つ》

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 毎日食べている | 3. 食べていない日が多い |
| 2. だいたい食べている | 4. まったく食べていない |

問3 あなたは、だれと一緒に夕食を食べることが多いですか。

《○はいくつでも》

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. お父さん | 5. おばあさん |
| 2. お母さん | 6. おじさん、おばさん、その他の親せき |
| 3. 兄弟・姉妹 | 7. その他の人 |
| 4. おじいさん | 8. 一緒に食べる人がいない |

問4 あなたは、平日（次の日に学校がある日）は何時頃に寝ていますか。

《○は1つ》

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 午後9時より前 | 4. 午後11時～午前0時 |
| 2. 午後9時～10時 | 5. 午前0時以降 |
| 3. 午後10時～11時 | |

問5 あなたは、深夜（午後11時以降）に外出していることがありますか。

《○は①と②それぞれ1つずつ》

	よくある	ときどき時々ある	あまりない	まったくない
① 1人で、または友だちなど 保護者以外の人と	1	2	3	4
② 保護者の人と	1	2	3	4

問6 あなたが、平日（学校がある日）に次のことをしている時間（1日平均）は、どれくらいですか。

《○は①～④それぞれ1つずつ》

	見 み ない・ し ない	30 分 未 満 ぶん み ま ん	30 分 ～ 1 時 間 未 満 ぶん じ か ん み ま ん	1 時 間 ～ 1 時 間 半 未 満 じ か ん はん み ま ん	1 時 間 半 ～ 2 時 間 未 満 じ か ん はん み ま ん	2 時 間 ～ 3 時 間 未 満 じ か ん み ま ん	3 時 間 ～ 4 時 間 未 満 じ か ん み ま ん	4 時 間 以 上 じ か ん い じ ょう
① 学校の授業以外で勉強する時間 (家での学習、塾、家庭教師、インターネットを使った学習など)	1	2	3	4	5	6	7	8
② テレビやDVD、録画映像を見る時間	1	2	3	4	5	6	7	8
③ ゲーム（スマホやゲーム機器を使ったオンラインゲームを含む）をする時間	1	2	3	4	5	6	7	8
④ ゲーム以外でスマホやインターネット (Youtubeなどの動画視聴やLINEなどのSNSを含む)をする時間	1	2	3	4	5	6	7	8

▼（問6の②～④で「8.（4時間以上）」に○がついた人だけお答えください。）

問6-1 自分の部屋などで一人きりでしていますか。

（オンライン上では友達とつながっていても、「1. はい」とお答えください）

《○は1つ》

1. はい

2. いいえ

問7 あなたの家庭についておたずねします。

《○は①～⑤それぞれ1つずつ》

	そう 思 う そう お も う	やや そう 思 う そう お も う	あまり そう お も わ ない お も わ ない	まったく そう お も わ ない お も わ ない	わからない
① 家庭での生活は楽しい	1	2	3	4	5
② 家庭でのしつけや注意は厳しい	1	2	3	4	5
③ 保護者からたたかれることがある	1	2	3	4	5
④ 家に帰りたくない	1	2	3	4	5
⑤ 保護者とよく話をする	1	2	3	4	5

▼（次のページに続きます）

(問7の⑤で「3.あまりそう思わない」または「4.まったくそう思わない」に○がついた人だけお答えください。)

問7-1 あなたが、保護者と話をしないのはなぜですか。

- | | | |
|------------------|------------------|-----------|
| 1. 気持ちをわかってもらえない | 6. いそがしそう | 《○はいくつでも》 |
| 2. めんどくさい | 7. あなたの話を聞こうとしない | |
| 3. たよりない | 8. 話しかけてこない | |
| 4. 話題がない | 9. その他 () | |
| 5. すぐにおこる、しかる | | |

問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. お父さん | 5. 兄弟・姉妹 | 《○はいくつでも》 |
| 2. お母さん | 6. その他 | |
| 3. おじいさん | 7. いない | |
| 4. おばあさん | | |
| | | |

(問8で「1～6」に○がついた人だけ、問8-1、問8-2、問8-3にお答えください。)

問8-1 あなたはどのようなお世話をしていますか。あなたが何人かお世話をしている場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

- | | | |
|--------------------------|-----------------------------|-----------|
| 1. 家事(食事の準備や買い出し、掃除、洗濯) | 7. 病院や施設へのお見舞い | 《○はいくつでも》 |
| 2. 兄弟・姉妹のお世話や送り迎え | 8. 話し相手になる | |
| 3. 入浴やトイレ、食事のお世話 | 9. けがや事故にあわないように気を付けて見守っている | |
| 4. 買い物や散歩と一緒にいく | 10. 通訳(日本語や手話など) | |
| 5. 重い物を持ち上げたり運んだりするのを手伝う | 11. お金の支払いや管理 | |
| 6. 病院へ一緒に行く | 12. 薬の管理や薬を飲むのを手伝う | |
| | 13. 家計を助ける(働く) | |
| | 14. その他 () | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

問8-2 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あなたが何人かのお世話をしている場合、合わせてどのくらいお世話をしていますか。)

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 1か月に数日 | 《○は1つ》 |
| 2. 週に3～5日 | 5. その他 () | |
| 3. 週に1～2日 | | |

問 8-3 お世話をしていることで、次のような経験をしたことはありますか。

《○はいくつでも》

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 学校を休んでしまう | 6. 習い事ができない |
| 2. 遅刻や早退をしてしまう | 7. 自分の時間が取れない |
| 3. 宿題など勉強する時間がない | 8. その他 () |
| 4. 眠る時間がたりない | 9. 特にない |
| 5. 友だちと遊ぶことができない | |

問 9 あなたは、最近1年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。

《○はいくつでも》

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. お祭りなどの地域の行事 | 5. 幼児(小さな子)やお年寄りとの交流 |
| 2. 子ども会・町内会行事 | 6. あいさつ・声かけ運動 |
| 3. 清掃・廃品回収 | 7. その他 () |
| 4. 公民館などの催し | 8. 参加したことがない |

問 10 あなたは、近所(同じ町内会)の人とのかかわりはどの程度ですか。

《○は1つ》

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 自分からあいさつする | 4. あいさつしないよう、さける |
| 2. あいさつしてくれれば返す | 5. あいさつ以上の会話をすることがある |
| 3. あいさつしてくれても無視する | 6. 近所の人をほとんど知らない |

問 11 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。

《○はいくつでも》

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 一緒に遊びたい | 5. 一緒に体験活動がしたい(海や川、山での自然体験やものづくりなどの生活体験も含む) |
| 2. 一緒にスポーツをしたり体を動かしたい | 6. 一緒に地域のことや未来のことについて話したい |
| 3. 一緒に地域のことについて学びたい | 7. その他 () |
| 4. 一緒に地域の行事やイベントなどの企画や運営がしたい | 8. 特にない |

問 1 2 あなたの心配事や悩みの相談相手はだれですか。

《○は3つまで》

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. お父さん | 9. 保健室の先生 |
| 2. お母さん | 10. スクールカウンセラー |
| 3. 兄弟・姉妹 | 11. 電話相談・メール相談・SNS相談 |
| 4. おじいさん・おばあさん | 12. 塾の先生 |
| 5. 友だち | 13. その他の人 () |
| 6. 先輩 | 14. 相談相手がない |
| 7. インターネット上の友だち | 15. だれにも相談しない |
| 8. 担任の先生 | 16. 特に悩みはない |

問 1 3 あなた自身のことについておたずねします。

《○は①～⑧それぞれ1つずつ》

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
① きまりやルールをきちんと守るほうだ	1	2	3	4
② どんなことでも積極的なほうだ	1	2	3	4
③ キレやすい	1	2	3	4
④ つまらないことですぐに落ちこむ	1	2	3	4
⑤ 人とつきあうのが苦手だ	1	2	3	4
⑥ 自信を持ってやれることがない	1	2	3	4
⑦ 自分が好きである	1	2	3	4
⑧ 自分には良いところがある	1	2	3	4

問 1 4 あなたは、将来にどのような夢を持っていますか。

《○はいくつでも》

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 希望する職業につきたい | 7. お金や名誉より、安定した生活をしたい |
| 2. 自分の個性や才能をのばしたい | 8. 思いやりのあるやさしい人になりたい |
| 3.好きなことをしながら生活したい | 9. 家族や周りの人たちと、楽しく過ごしたい |
| 4. 社会のために役立ちたい | 10. その他 () |
| 5. 有名人になりたい | 11. 夢は特にない |
| 6. お金持ちになって豊かな生活をしたい | |

問 1 5 あなたは、現在住んでいる地域が好きですか。

《○は1つ》

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| 1. 好き | 2. きらい | 3. どちらともいえない |
|-------|--------|--------------|

問 16 あなたが^{かんしん}関心のあることはどのようなことですか。

《○はいくつでも》

- | | |
|---|---|
| 1. ^{しんがく} 進学のこと | 8. ^{しゃかい} 社会のこと |
| 2. ^{しょうらい} 将来の ^{しごと} 仕事のこと | 9. ^{じぶん} 自分の ^{せいかく} 性格のこと |
| 3. ^{かぶどう} クラブ活動のこと | 10. ^{じぶん} 自分の ^{かお} 顔や ^{たいけい} 体型のこと |
| 4. ^{かぞく} 家族のこと | 11. ^{じぶん} 自分の ^{けんこう} 健康のこと |
| 5. ^{とも} 友だちのこと | 12. その他 () |
| 6. ^す 好きな人 (^{れんあい} 恋愛) のこと | 13. ^{とく} 特にない |
| 7. ^{かね} お金のこと | |

問 17 あなたは、^{しょうらい}将来したい^{しごと}仕事や^{しょくぎょう}つきたい職業がありますか。

《○は1つ》

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 18 あなたは、^{つぎ}次にあげたことを^{しょうがくせい}小学生が^{おこな}行うことについて、^{おも}どう思いますか。

《○は①～⑨それぞれ1つずつ》

	とても ^{わる} 悪い	やや ^{わる} 悪い	あまり ^{わる} 悪くない	まったく ^{わる} 悪くない
① ^{がっこう} 学校を ^{やす} ずる休みすること	1	2	3	4
② ^す タバコを吸うこと	1	2	3	4
③ ^{さけ} 酒を ^の 飲むこと	1	2	3	4
④ ^{まんび} 万引きをすること	1	2	3	4
⑤ ^{とも} 友だちをいじめたり、 ^{なかま} 仲間はずれにすること	1	2	3	4
⑥ ^{たにん} 他人に ^{もの} 物や ^{かね} お金を ^{ようきゅう} 要求すること	1	2	3	4
⑦ ^{ひと} 人に ^{ぼうりょく} 暴力をふるうこと	1	2	3	4
⑧ ^{しんや} 深夜 (午後11時以降) に ^{がいしゅつ} 外出すること	1	2	3	4
⑨ ^{つう} スマホやインターネットを ^{つう} 通じて ^し 知り ^あ 合った人と ^{じっさい} 実際に ^あ 会うこと	1	2	3	4

問 2 2 あなたが、^{とうげこうちゅう きけん め}登下校中に危険な目にあわないために特に^{とく じゅうよう おも}重要だと思ふことは何ですか。

《○は2つまで》

1. ^{ちいき あんぜん}地域安全マップづくりをする
2. ^{がっこう ぼうはんくんれん}学校で防犯訓練をする
3. あいさつをしっかりと、^{きんじょ なかよ}近所の人と仲良くなる
4. ^{きんじょ みまも}近所の人に見守ってもらう
5. ^{ちいき たい}地域のパトロール隊やPTAが^{みまも かつどう}見守り活動をする
6. ^こ子ども110番の家や^{ばん いえ}かけこみ110番の店をふやす
7. ^{きけん ばしょ}危険な場所をなくす
8. ^{ぼうはん つうがくろ}防犯カメラを通学路などに^{せっち}設置する
9. その他 ()

問 2 3 あなたは、「ヤングケアラー」という^{ことば き}言葉を聞いたことがありますか。

《○は1つ》

1. ^き聞いたことがあります、^{ないよう し}内容も知っている
2. ^き聞いたことはあるが、^{ないよう し}内容はよく知らない
3. ^き聞いたことがない

(問23で「1～2」に○がついた人だけお答えください。)

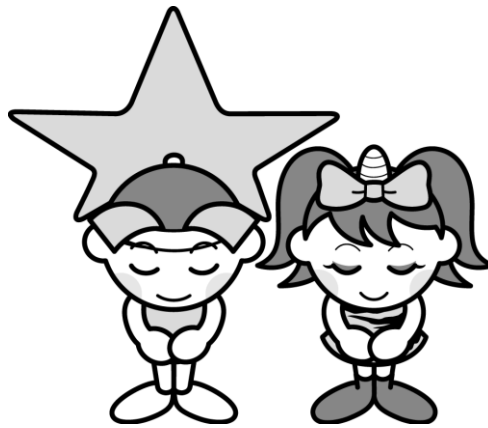
問 2 3 - 1 「ヤングケアラー」という^{ことば}言葉を、どこで知りましたか。

《○はいくつでも》

1. テレビや^{しんぶん}新聞、ラジオ
2. ^{ざっし ほん}雑誌や本
3. SNSやインターネット
4. ^{こうほう}広報やチラシ、^{けいじぶつ}ポスターなどの掲示物
5. イベントや^{こうりゅうかい}交流会など
6. ^{がっこう}学校
7. ^{ゆうじん ちじん}友人・知人から^き聞いた
8. ^{かぞく}家族から^き聞いた
9. その他 ()

問24 あなたが、^{まわ}周りの^{おとな}大人たち^{たい}に対して^{のぞ}望むことがあれば、^{じゆう}自由に^か書いてください。

～^{きょうりょく}ご協力いただきありがとうございました～



ももっち うらっち
^{おかやまけん}
岡山県マスコット

青少年の意識等に関する調査

《調査ご協力のお願ひ》

令和5年（2023年）10月
岡山県

このアンケートは、みなさんが家や学校でのふだんの生活の中で感じていること、行っていることについておたずねするものです。アンケートの結果は、どのようにして今後の社会を良くするかを考えるために役立てられます。

回答は、先生にはわからないようになっており、あなた個人のことをとりあげたり、あなたの名前や学校名が公表されることはありませんので、ありのままを記入してください。

アンケートに答えるときには、あまり考えこまずに、気持ちを楽にして答えてください。



うらっち ももっち
岡山県マスコット

書き方について

- アンケートは、他の人に相談したりせずに、あなた自身の判断で記入してください。
- 質問の中で、あなたにあてはまらなかったり、意味がわからないもの、答えられないもの、答えたくないものがあれば、とばして次の質問に進んでください。
- 回答は、問1から順番に、質問ごとに用意した回答の中から、あなたの考えにあてはまる番号に○印をつけてください。
- 回答は、鉛筆またはボールペンで、はっきりと記入してください。
- 記入し終わったら、封筒に入れて封をしてください。

問1 あなたが、今、一緒に住んでいる人をすべて教えてください。 《○はいくつでも》

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 父 | 5. 祖母 |
| 2. 母 | 6. おじさん、おばさん、その他の親せき |
| 3. 兄弟・姉妹 | 7. その他の人 |
| 4. 祖父 | |

問2 あなたは、朝食を食べていますか。 《○は1つ》

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 毎日食べている | 3. 食べていない日が多い |
| 2. だいたい食べている | 4. まったく食べていない |

問3 あなたは、誰と一緒に夕食を食べることが多いですか。 《○はいくつでも》

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 父 | 5. 祖母 |
| 2. 母 | 6. おじさん、おばさん、その他の親せき |
| 3. 兄弟・姉妹 | 7. その他の人 |
| 4. 祖父 | 8. 一緒に食べる人がいない |

問4 あなたは、平日（翌日に学校がある日）は何時頃に寝ていますか。 《○は1つ》

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 午後9時より前 | 4. 午後11時～午前0時 |
| 2. 午後9時～10時 | 5. 午前0時以降 |
| 3. 午後10時～11時 | |

問5 あなたは、深夜（午後11時以降）に外出していることがありますか。

《○は①と②それぞれ1つずつ》

	よくある	時々ある	あまりない	まったくない
① 1人で、または友だちなど 保護者以外の人と	1	2	3	4
② 保護者の人と	1	2	3	4

問6 あなたが、平日（学校がある日）に次のことをしている時間（1日平均）は、どれくらいですか。

《○は①～④それぞれ1つずつ》

	見ない・しない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上
① 学校の授業以外で勉強する時間（家での学習、塾、家庭教師、インターネットを使った学習など）	1	2	3	4	5	6	7	8
② テレビやDVD、録画映像を見る時間	1	2	3	4	5	6	7	8
③ ゲーム（スマホやゲーム機器を使ったオンラインゲームを含む）をする時間	1	2	3	4	5	6	7	8
④ ゲーム以外でスマホやインターネット（Youtubeなどの動画視聴やLINEなどのSNSを含む）をする時間	1	2	3	4	5	6	7	8

（問6の②～④で「8.（4時間以上）」に○がついた人だけお答えください。）

問6-1 自分の部屋などで1人きりでしていますか。

（オンライン上では友だちとつながっていても、「1. はい」と答えてください）

《○は1つ》

1. はい

2. いいえ

問7 あなたの家庭についておたずねします。

《○は①～⑤それぞれ1つずつ》

	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	わからない
② 家庭での生活は楽しい	1	2	3	4	5
② 家庭でのしつけや注意は厳しい	1	2	3	4	5
③ 保護者からたたかれることがある	1	2	3	4	5
④ 家に帰りたくない	1	2	3	4	5
⑤ 保護者とよく話をする	1	2	3	4	5

（次のページに続きます）

(問7の⑤で「3. あまりそう思わない」または「4. まったくそう思わない」に○がついた人だけ問7-1にお答えください。)

問7-1 あなたが、保護者と話をしないのはなぜですか。

《○はいくつでも》

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 気持ちを分かってもらえない | 6. 忙しそう |
| 2. めんどくさい | 7. あなたの話を聞こうとしない |
| 3. 頼りない | 8. 話しかけてこない |
| 4. 話題がない | 9. その他 () |
| 5. すぐに怒る、叱る | |

問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)

《○はいくつでも》

- | | |
|-------|----------|
| 1. 父 | 5. 兄弟・姉妹 |
| 2. 母 | 6. その他 |
| 3. 祖父 | 7. いない |
| 4. 祖母 | |

(問8で「1~6」に○がついた人だけ、問8-1、問8-2、問8-3にお答えください。)

問8-1 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人いる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

《○はいくつでも》

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 家事(食事の準備や買い出し、掃除、洗濯) | 8. 話し相手になる |
| 2. 兄弟・姉妹のお世話や送迎 | 9. けがや事故にあわないように気を付けて見守っている |
| 3. 入浴やトイレ、食事のお世話 | 10. 通訳(日本語や手話など) |
| 4. 買い物や散歩に一緒に行く | 11. お金の支払いや管理 |
| 5. 重い物を持ち上げたり運んだりするのを手伝う | 12. 薬の管理や薬を飲むのを手伝う |
| 6. 病院へ一緒に行く | 13. 家計を助ける(働く) |
| 7. 病院や施設へのお見舞い | 14. その他 () |

問8-2 あなたはどのくらいお世話をしていますか。

(あなたが何人かのお世話をしている場合、合わせてどのくらいお世話をしていますか。)

《○は1つ》

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 1か月に数日 |
| 2. 週に3~5日 | 5. その他 |
| 3. 週に1~2日 | |

問 8-3 お世話をしていることで、次のような経験をしたことはありますか。 《○はいくつでも》

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 学校を休んでしまう | 6. 部活動ができない |
| 2. 遅刻や早退をしてしまう | 7. 塾や習い事ができない |
| 3. 宿題や予習復習など勉強する時間がない | 8. 自分の時間が取れない |
| 4. 睡眠時間が足りない | 9. その他 () |
| 5. 友人と遊ぶことができない | 10. 特にない |

問 9 あなたは、最近 1 年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。 《○はいくつでも》

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. お祭りなどの地域の行事 | 5. 幼児（小さな子）やお年寄りとの交流 |
| 2. 子ども会・町内会行事 | 6. あいさつ・声かけ運動 |
| 3. 清掃・廃品回収 | 7. その他 () |
| 4. 公民館などの催し | 8. 参加したことがない |

問 10 あなたは、ボランティア活動をしていますか。 《○は 1 つ》

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. よく活動している | 4. 今はしていないが、以前活動していた |
| 2. 時々活動している（年数回程度） | 5. まったく活動したことがない |
| 3. あまり活動していない | |

（問 9 で「8. 参加したことがない」、または問 10 で「5. まったく活動したことがない」に○がついた人だけお答えください。）

→ 問 11 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加しないのは、なぜですか。 《○は 3 つまで》

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 活動の情報がない | 7. 団体などにしぼられたくない |
| 2. 参加の方法が分からない | 8. 自分にとって何の得にもならない |
| 3. 活動の時間がない | 9. 興味・関心がない |
| 4. 気軽に参加できる活動が少ない | 10. その他 () |
| 5. 誘ってくれる仲間がいない | 11. 特に理由はない |
| 6. 活動するのがわずらわしい | |

問 12 あなたは、近所（同じ町内会）の人とのかかわりはどの程度ですか。 《○は 1 つ》

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 自分からあいさつする | 4. あいさつしないよう、避ける |
| 2. あいさつしてくれれば返す | 5. あいさつ以上の会話をすることがある |
| 3. あいさつしてくれても無視する | 6. 近所の人をほとんど知らない |

問 1 3 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。

《○はいくつでも》

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 一緒に遊びたい | 5. 一緒に体験活動がしたい（海や川、山での自然体験やものづくりなどの生活体験も含む） |
| 2. 一緒にスポーツをしたり体を動かしたい | 6. 一緒に地域のことや未来のことについて話したい |
| 3. 一緒に地域のことについて学びたい | 7. その他（ ） |
| 4. 一緒に地域の行事やイベントなどの企画や運営がしたい | 8. 特になし |

問 1 4 あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。

《○は3つまで》

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 父 | 9. 保健室の先生 |
| 2. 母 | 10. スクールカウンセラー |
| 3. 兄弟・姉妹 | 11. 電話相談・メール相談・SNS相談 |
| 4. 祖父母 | 12. 塾の先生 |
| 5. 友だち | 13. その他の人（ ） |
| 6. 先輩 | 14. 相談相手がない |
| 7. インターネット上の友だち | 15. だれにも相談しない |
| 8. 担任の先生 | 16. 特に悩みはない |

問 1 5 あなた自身のことについておたずねします。

《○は①～⑧それぞれ1つずつ》

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
① きまりやルールをきちんと守るほうだ	1	2	3	4
② どんなことでも積極的なほうだ	1	2	3	4
③ キレやすい	1	2	3	4
④ つまらないことですぐに落ちこむ	1	2	3	4
⑤ 人とつきあうのが苦手だ	1	2	3	4
⑥ 自信を持ってやれることがない	1	2	3	4
⑦ 自分が好きである	1	2	3	4
⑧ 自分には良いところがある	1	2	3	4

問 16 あなたが、今の大人を見て、悪いと思うところはどんなところですか。

《○はいくつでも》

1. けじめがなく、マナーが悪い
2. 子どもが悪いことをしてもしからない
3. 夢や希望を持って生きていない
4. 大人としての責任感がない
5. 法律違反をしても罪の意識がない
6. 自己中心的で怒りやすい
7. お金や仕事のことばかり考えている
8. 子どもの話を聞かず、自分の考えを押しつける
9. 子どもを信用しない
10. 自分の間違いを素直に認めない
11. 外見だけで子どもを判断する
12. 歩きスマホや長時間利用など、スマホ等の使い方が悪い
13. その他 ()
14. 特に悪いとは思わない

問 17 あなたは、将来にどのような夢を持っていますか。

《○はいくつでも》

1. 希望する職業につきたい
2. 自分の個性や才能をのばしたい
3. 好きなことをしながら生活したい
4. 社会のために役立ちたい
5. 有名人になりたい
6. お金持ちになって豊かな生活をしたい
7. お金や名誉より、安定した生活をしたい
8. 思いやりのあるやさしい人になりたい
9. 家族や周りの人たちと、楽しく暮らしたい
10. その他 ()
11. 夢は特にない

問 18 あなたは、現在住んでいる地域が好きですか。

《○は1つ》

1. 好き
2. 嫌い
3. どちらともいえない

問 19 あなたは、岡山県は将来どのような県になってほしいと思いますか。

《○は3つまで》

1. 趣味やスポーツを気軽に楽しめる県
2. 産業が盛んで、いきいきと働ける豊かな県
3. ゴミのリサイクルが進み環境にやさしい県
4. 災害や犯罪などが少ない安全な県
5. 心豊かに生きがいをもって暮らせる県
6. 道路や鉄道などの交通が整備された県
7. 新鮮、良質、安全な地元の食材に恵まれた県
8. 空気や水がきれいで、自然が豊かな県
9. 福祉や医療サービスなどが充実し、安心して暮らせる県
10. 教育環境がととのった県
11. 文化や芸術活動の盛んな県
12. その他 ()

問 20 あなたが関心のあることはどのようなことですか。

《○はいくつでも》

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 進学のこと | 8. 社会のこと |
| 2. 将来の仕事のこと | 9. 自分の性格のこと |
| 3. クラブ活動のこと | 10. 自分の顔や体型のこと |
| 4. 家族のこと | 11. 自分の健康のこと |
| 5. 友だちのこと | 12. その他 () |
| 6. 好きな人(恋愛)のこと | 13. 特にない |
| 7. お金のこと | |

問 21～23は働くということについておたずねします。

問 21 あなたは、将来したい仕事やつきたい職業がありますか。

《○は1つ》

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 22 あなたは、「働く」ということをどう思いますか。

《○は1つ》

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 働くことは楽しくてやりがいがある | 3. 働くことは仕方がないことだ |
| 2. 働くことは必要なことだ | 4. 生活できるなら働きたくない |

問 2 5 シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。

《○はいくつでも》

1. 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする
2. 1回使っただけでも、死亡することがある
3. 自分の意思でやめるのが難しくなる
4. 薬が切れると、体を動かすのが嫌になったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする
5. 使い続けると、体のいろいろなところに病気が起こりやすくなる
6. 使い続けると、脳の神経がおかされ、心が病気になりやすい
7. やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある
8. 上記のいずれも知らなかった

問 2 6 あなたは、タバコを吸ったことがありますか。

《○は1つ》

1. 吸ったことはない
2. 吸ったことはないが、吸いたと思ったことがある
3. これまでに何回か吸ったことがある
4. 以前よく吸っていたが、今は吸っていない
5. ほぼ毎日吸っている

問 2 7 あなたは、お酒を飲んだことがありますか。

《○は1つ》

1. 飲んだことはない
2. 飲んだことはないが、飲みたいと思ったことがある
3. これまでに何回か飲んだことがある
4. 以前よく飲んでしたが、今は飲んでいない
5. 月1回以上飲んでいる

問30 あなたの住んでいる地域では、登下校中などに不審者から子どもを守るため、どのような活動が行われていますか。

《○はいくつでも》

1. 保護者や地域の人、登下校につきそう
2. 通学路に保護者や地域の人立つ
3. 地域の人が見回る
4. 子ども110番の家やかけこみ110番の店
5. 警察のパトロール
6. 防犯カメラの設置
7. その他 ()
8. わからない

問31 あなたが、登下校中に危険な目にあわないために特に重要だと思うことは何ですか。

《○は2つまで》

1. 地域安全マップづくりをする
2. 学校で防犯訓練をする
3. あいさつをしっかりと、近所の人と仲良くなる
4. 近所の人に見守ってもらう
5. 地域のパトロール隊やPTAが見守り活動をする
6. 子ども110番の家やかけこみ110番の店を増やす
7. 危険な場所をなくす
8. 防犯カメラを通学路などに設置する
9. その他 ()

問32 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。 《○は1つ》

- 1. 聞いたことがあります、内容も知っている
- 2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 3. 聞いたことがない

▼ (問32で「1～2」に○がついた人だけお答えください。)

問32-1 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。 《○はいくつでも》

- 1. テレビや新聞、ラジオ
- 2. 雑誌や本
- 3. SNSやインターネット
- 4. 広報やチラシ、ポスターなどの掲示物
- 5. イベントや交流会など
- 6. 学校
- 7. 友人・知人から聞いた
- 8. 家族から聞いた
- 9. その他 ()

問33 あなたが、周りの大人たちに対して望むことがあれば、ご自由にご記入ください。

～ご協力いただきありがとうございました～



ももっち うらっち
岡山県マスコット

高校生用

い か かいと つか
以下はインターネットで回答するときに使ってください。

ID

青少年の意識等に関する調査

《調査ご協力をお願い》

令和5年（2023年）10月
岡山県

このアンケートは、みなさんが家や学校での普段の生活の中で感じていること、行っていることについておたずねするものです。アンケートの結果は、どのようにして今後の社会を良くするかを考えるために役立てられます。

回答は、先生にはわからないようになっており、あなた個人のことを取り上げたり、あなたの名前や学校名が公表されることはありませんので、ありのままを記入してください。

アンケートに答えるときには、あまり考えこまずに、気持ちを楽にして答えてください。

回答方法について

- アンケートは、他の人に相談したりせずに、あなた自身の判断で記入してください。
- 回答は、問1から順番に、質問ごとに用意した回答の中から、あなたの考えにあてはまる番号を選んでください。
質問の中で、あなたにあてはまらなかったり、意味がわからないもの、答えられないもの、答えたくないものがあれば、とばして次の質問に進んでください。
- インターネットで令和5年（2023年）●月●日までに回答してください。

右に記載の二次元バーコードまたは下記URLにアクセスして
回答をお願いします。

https://

※ログイン後は調査票右上のIDを入力してください。

なおこのIDは、インターネットでの重複した回答や、郵送による回答とインターネットによる回答の重複を防ぐために使用するもので、個人を特定するものではありません。

- この調査についてのお問い合わせ先

岡山県子ども・福祉部 子ども家庭課
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
電話：086-226-0557（直通）
E-mail：kodomokatei@pref.okayama.lg.jp

<質問一覧>

※皆さんにご回答いただく調査の質問項目は下記のとおりです。(こちらは見本であり、実際はスマートフォンやパソコンから回答いただきます。)

問 1	あなたが、今、一緒に住んでいる人をすべて教えてください。	〇はいくつでも
問 2	あなたは、朝食を食べていますか。	〇は 1 つ
問 3	あなたは、誰と一緒に夕食を食べることが多いですか。	〇はいくつでも
問 4	あなたは、平日（翌日に学校がある日）は何時頃に寝ていますか。	〇は 1 つ
問 5	あなたは、深夜（午後 11 時以降）に外出していることがありますか。 ① 1人で、または友だちなど保護者以外の人と ② 保護者の人と	〇は①と②それぞれ 1 つずつ
問 6	あなたが、平日（学校がある日）に次のことをしている時間（1日平均）は、どれくらいですか。 ① 学校の授業以外で勉強する時間 ② テレビやDVD、録画映像を見る時間 ③ ゲームをする時間 ④ ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間	〇は①～④それぞれ 1 つずつ
問 6-1	（問 6 ②～④で「8.（4時間以上）」を選んだ人だけ） 自分の部屋などで 1人きりでしていますか。	〇は 1 つ
問 7	あなたの家庭についておたずねします。 ① 家庭での生活は楽しい ② 家庭でのしつけや注意は厳しい ③ 保護者からたたかれることがある ④ 家に帰りたくない ⑤ 保護者とよく話をする	〇は①～⑤それぞれ 1 つずつ
問 7-1	（問 7 ⑤で「3. あまりそう思わない」「4. まったくそう思わない」を選んだ人だけ） あなたが、保護者と話をしないのはなぜですか。	〇はいくつでも
問 8	家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。 「お世話」：通常大人が行うような家事や家族のお世話	〇はいくつでも
問 8-1	（問 8 で「1～6」を選んだ人だけ） あなたはどのようなお世話をしていますか。	〇はいくつでも
問 8-2	（問 8 で「1～6」を選んだ人だけ） あなたはどのくらいお世話をしていますか。	〇は 1 つ
問 8-3	（問 8 で「1～6」を選んだ人だけ） お世話をしていることで、次のような経験をしたことがありますか。	〇はいくつでも
問 9	あなたは、最近 1 年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。	〇はいくつでも
問 10	あなたは、ボランティア活動をしていますか。	〇は 1 つ

問 1 1	(問 9 で「8. 参加したことがない」、または問 1 0 で「5. まったく活動したことがない」を選んだ人だけ) あなたが、地域活動やボランティア活動に参加しないのは、なぜですか。	○は 3 つまで
問 1 2	あなたは、近所(同じ町内会)の人とのかかわりはどの程度ですか。	○は 1 つ
問 1 3	近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。	○はいくつでも
問 1 4	あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。	○は 3 つまで
問 1 5	あなた自身のことについておたずねします。 ①きまりやルールをきちんと守るほうだ ②どんなことでも積極的な方だ ③キレやすい ④つまらないことですぐに落ち込む ⑤人とつきあうのが苦手だ ⑥自信を持ってやれることがない ⑦自分が好きである ⑧自分には良いところがある	○は①～⑧それぞれ 1 つずつ
問 1 6	あなたが、今の大人を見て、悪いと思うところはどんなところですか。	○はいくつでも
問 1 7	あなたは、将来にどのような夢を持っていますか。	○はいくつでも
問 1 8	あなたは、現在住んでいる地域が好きですか。	○は 1 つ
問 1 9	あなたは、岡山県は将来どのような県になってほしいと思いますか。	○は 3 つまで
問 2 0	あなたが関心のあることはどのようなことですか。	○はいくつでも
問 2 1	あなたは、将来したい仕事やつきたい職業がありますか。	○は 1 つ
問 2 2	あなたは、「働く」ということをどう思いますか。	○は 1 つ
問 2 3	あなたが職業を選ぶとき、特に大事だと思うことはどんなことですか。	○は 2 つまで
問 2 4	あなたは、次にあげたことを中学生や高校生が行うことについて、どう思いますか。 ①学校をずる休みすること ②タバコを吸うこと ③酒を飲むこと ④万引きをすること ⑤友だちをいじめたり、仲間はずれにすること ⑥他人に物やお金を要求すること ⑦人に暴力を振るうこと ⑧深夜(午後 1 1 時以降)に外出すること ⑨薬物(シンナー、危険ドラッグ等)を使用すること ⑩制服を变形して着ること ⑪スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと ⑫スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること	○は①～⑫それぞれ 1 つずつ

問 2 5	シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。	○はいくつでも
問 2 6	あなたは、タバコを吸ったことがありますか。	○は1つ
問 2 7	あなたは、お酒を飲んだことがありますか。	○は1つ
問 2 8	あなたの家では、インターネットの使い方について、何か家庭でルールを決めていますか。	○は1つ
問28-1	(問28で「1」を選んだ人だけ) あなたの家庭で決めている「インターネットの使い方のルール」にあてはまるものを、すべて選んでください。	○はいくつでも
問 2 9	あなたは、次のような時、危険な目にあうかもしれないと、不安になることがありますか。 ①登下校中 ②塾や習い事の行き帰り ③近所の公園などで遊んでいるとき ④買い物や遊びで、繁華街などに行くとき ⑤スマホやインターネットをしているとき	○は①～⑤それぞれ1つずつ
問 3 0	あなたの住んでいる地域では、登下校中などに不審者から子どもを守るため、どのような活動が行われていますか。	○はいくつでも
問 3 1	あなたが、登下校中に危険な目にあわないために特に重要だと思うことは何ですか。	○は2つまで
問 3 2	あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。	○は1つ
問32-1	(問32で「1～2」を選んだ人だけ) 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。	○はいくつでも
問 3 3	あなたが、周りの大人たちに対して望むことがあれば、ご自由にご記入ください。	自由記述



うらっち ももっち
岡山県マスコット

青少年の意識等に関する調査

《調査ご協力をお願い》

令和5年（2023年）10月
岡山県

この調査は、青少年の意識等を把握し、家庭や地域等でのかかわり等を分析し、岡山県の今後の青少年対策の基礎資料とすることを目的に行うものです。

ご回答いただく方は、県内にお住まいの18歳から39歳まで（令和5年4月1日時点）の方の中から、約2,500人を無作為に選ばせていただきました。

この調査票には、お名前を書いていただく必要はありません。お答えいただいた内容は、本調査の目的以外に利用することはありませんので、個人情報公表されたり、学校や職場等にご迷惑をおかけすることは決してございません。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答方法について

■ アンケートは、封筒のあて名の方が調査の対象者です。その方がご自身の判断で記入してください。

■ 回答は「郵送」または「インターネット」で行うことができます。

【郵送で回答する場合】

- ・ 回答は、問1から順番に、質問ごとに用意した回答の中から、ご自身の考えにあてはまる番号に○印をつけてください。
- ・ 回答は、鉛筆またはボールペンで、はっきりと記入してください。
- ・ 記入し終わったら、封筒に入れて封をし、令和5年（2023年）●月●日（●）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

【インターネットで回答する場合】

- ・ 右に記載の二次元バーコードまたは下記URLにアクセスして令和5年（2023年）●月●日（●）までに回答をお願いします。

https://

※ ID は、インターネットでの重複した回答や、郵送による回答とインターネットによる回答の重複を防ぐために使用するもので、個人を特定するものではありません。

- 質問の中で、判断しかねたり、答えられないもの、答えたくないものがあれば、とばして次の質問に進んでください。
- この調査についてのお問い合わせ先

岡山県子ども・福祉部 子ども家庭課
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
電話：086-226-0557（直通）
E-mail：kodomokatei@pref.okayama.lg.jp

問1 あなたの性別を教えてください。

《○は1つ》

1. 男性 2. 女性 3. どちらとも言えない 4. 答えたくない

問2 あなたは、今、何歳ですか。

《○は1つ》

1. 18～19歳 4. 30～34歳
2. 20～24歳 5. 35～39歳
3. 25～29歳

問3 あなたが、今、一緒に住んでいる人をすべて教えてください。(あなたから見た続柄で)

《○はいくつでも》

1. 父 5. 配偶者
2. 母 6. 自分の子
3. 兄弟・姉妹 7. その他の人
4. 祖父母 8. 同居家族はいない

問4 あなたの主な職業を教えてください。

《○は1つ》

1. 正規の社員 6. 学生(高校生、専門学校生、大学生、
大学院生、予備校生など)
2. パート・アルバイト
3. 契約社員・派遣 7. 休職中
4. 自営業・自由業 8. 専業主婦・主夫
5. 無職(求職中を含む) 9. その他(家事手伝い、自宅で勉強中など)

問5～8はあなたの家庭での生活についておたずねします。

問5 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。

《○は1つ》

1. 非常によく話すほうだ 3. あまり話さないほうだ
2. 話すほうだ 4. ほとんど話さない

(次のページに続きます)

(問5で「3. あまり話さないほうだ」または「4. ほとんど話さない」に○がついた人だけ問5-1にお答えください。

問5-1 あなたが家で話さないのは、なぜですか。

《〇はいくつでも》

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 気持ちを分かってもらえない | 6. 忙しそう |
| 2. 面倒くさい | 7. あなたの話を聞こうとしない |
| 3. 頼りない | 8. 話しかけてこない |
| 4. 話題がない | 9. 一人暮らしだから |
| 5. すぐに怒る、叱る | 10. その他 () |

問6 あなたは家族のことなどで、何か困っていることや嫌なことはありますか。

《〇はいくつでも》

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 家族との団らんや会話が少ない | 9. 家族から暴力や暴言などを受けている |
| 2. 親と自分の仲が悪い | 10. 家族の中に問題行動を起こす人がいる |
| 3. 親同士の仲が悪い | 11. その他 () |
| 4. 自分と兄弟姉妹の仲が悪い | 12. 特にない |
| 5. 家には落ち着いて過ごせる環境がない | |
| 6. 家族の世話が大変である | |
| 7. 家の中が散らかっている | |
| 8. 家にお金がなく、食事や着る服がないときがある | |

問7 あなたが普段自宅にいるときによくしていることを教えてください。

《〇はいくつでも》

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 何もしないでのんびりする | 13. テレビを見る |
| 2. 家族とおしゃべりする、一緒に遊ぶ | 14. 読書をする |
| 3. 家事をする | 15. マンガや雑誌を見る |
| 4. 育児、子どもと遊ぶ | 16. 新聞を読む |
| 5. 家族の世話をする | 17. ラジオや音楽を聴く |
| 6. 勉強する | 18. ゲーム機でゲームをする |
| 7. 仕事をする | 19. ネットでゲームをする |
| 8. 趣味を楽しむ | 20. SNSでやり取りする |
| 9. 料理をする | 21. ニュースサイトなどを見る |
| 10. 散歩する | 22. 動画サイトを見る |
| 11. 運動をする | 23. その他 () |
| 12. ペットの世話をする | 24. 特にない |

問10 あなたは子どもの頃、次のような経験をしたことはありますか。

《○はいくつでも》

① 自然体験

1. 自然の中でハイキングやキャンプをした
2. 太陽が昇るところや沈むところ、夜空の星を見たりした
3. 海や川、雪の中で遊んだ
4. 生き物を飼った
5. 自分でナイフや包丁を使って作った料理を食べておいしいと思った
6. その他の印象的な自然体験 ()
7. 特にない

《○はいくつでも》

② 印象的な経験

1. 困っている人を助けてお礼を言われた
2. 弱いものいじめやケンカをやめさせたり、仲直りさせた
3. 道に落ちているゴミを拾ったり、落とし物を拾って交番へ届けたりした
4. 赤ちゃんのお世話をしたり、自分より小さな子と一緒に遊んだりした
5. 友達と協力して何かを作り上げた
6. 一生懸命にやったことが認められた
7. 困ったときや悲しいときに、まわりの人が助けてくれた
8. 仕事の経験をして興味が湧いた
9. その他の印象的な経験 ()
10. 特にない

問11 あなたは、あなたが小・中学校、高校に通学していた頃、「学校に行きたくない」と思ったことがありますか。また、その頻度について、教えてください。

《○は1つ》

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 毎日 | 5. ほとんどなかった |
| 2. 1日おき | 6. 一度もなかった |
| 3. 週に1回くらい | 7. 答えたくない |
| 4. 月に1回くらい | |

(問11で「1～4」に○がついた人だけ、問11-1にお答えください。)

問11-1 あなたが、「学校に行きたくない」と思った理由は何ですか。

《○はいくつでも》

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 友達のこと | 7. 交際相手や恋愛のこと |
| 2. 学校の先生のこと | 8. 部(クラブ)活動のこと |
| 3. 成績や進学のこと | 9. 家族のこと |
| 4. 授業のこと | 10. その他 () |
| 5. いじめや暴力のこと | 11. 特にない |
| 6. 外見や性格のこと | 12. 答えたくない |

問 17 あなた自身のことについておたずねします。

《○は①～⑨それぞれ1つずつ》	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
① 今の自分が好きである	1	2	3	4
② 自分にはよいところがあると思う	1	2	3	4
③ 自分は社会のために役に立つことができると思う	1	2	3	4
④ きまりやルールをきちんと守るほうだ	1	2	3	4
⑤ どんなことでも積極的なほうだ	1	2	3	4
⑥ キレやすい	1	2	3	4
⑦ つまらないことですぐに落ちこむ	1	2	3	4
⑧ 人とつきあうのが苦手だ	1	2	3	4
⑨ 自信を持ってやれることがない	1	2	3	4

問 18 あなたが、普段の生活の中で一番楽しさを感じるのはどんなときですか。

《○は3つまで》	
1. 家族と一緒に過ごしているとき	9. まちで買い物などをしているとき
2. 仕事をしているとき	10. ひとりで過ごしているとき
3. 友達や交際相手と一緒に過ごしているとき	11. テレビを見ているとき
4. 学校で授業を受けているとき	12. ゲームをしているとき
5. 何かを学んでいるとき	13. パソコンやスマートフォンを使っているとき
6. 趣味に没頭しているとき	14. その他（ ）
7. スポーツなどで体を動かしているとき	15. 特にない
8. 地域の行事や活動に参加しているとき	

問 19 あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。

《○は3つまで》	
1. 配偶者	9. 先輩
2. あなたの父母	10. 学校・塾・予備校等の先生
3. 配偶者の父母	11. 近所や職場の人
4. 兄弟・姉妹	12. 電話相談・メール相談・SNS 相談
5. 祖父母	13. その他の人（ ）
6. その他の親戚	14. 相談相手がない
7. 友人	15. 誰にも相談しない
8. インターネット上の友人	16. 特に悩みはない

問20～23は仕事についておたずねします。

問20 (就職している方だけお答えください。) あなたは、今の仕事について、どう考えていますか。

- 《○は1つ》
- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 今の仕事を続けたい | 6. 自営をやめて企業に勤めたい |
| 2. しかたがないから続ける | 7. 将来はやめたい |
| 3. 勤め先を変えたい | 8. すぐにやめたい |
| 4. 仕事の内容を変えたい | 9. その他 () |
| 5. 独立して仕事をはじめたい | |

問21 (就職している方だけお答えください。) あなたが、今の仕事に対して不満に感じていることは何ですか。

- 《○は2つまで》
- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 賃金・収入や待遇 | 5. 自分の能力が適正に評価されない |
| 2. 勤務時間や休暇 | 6. 今後どのような役職・立場になるか不安 |
| 3. 仕事の内容 | 7. その他 () |
| 4. 上司や同僚との人間関係 | 8. 不満はない |

問22 (就職していない方(学生は除く)だけお答えください。) あなたが就職していない主な理由は何ですか。

- 《○は1つ》
- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 自分にあった仕事が見つからない | 5. 働く必要性を感じない |
| 2. 働きたいが求人がない | 6. 家庭の事情 |
| 3. 働きたいがどうすればいいかわからない | 7. 健康上の理由 |
| 4. 仕事をする意欲が持てない | 8. その他 () |

問23 近年、15歳～34歳の若者で、家事・通学・仕事もしておらず、職業訓練も受けていないニート(若年無業者)の存在がクローズアップされていますが、ニートに対する取組として、特にどのようなことが必要だと思いませんか。

- 《○は3つまで》
1. 家庭教育の見直しや、家庭内でのコミュニケーションの充実
 2. 学校における職業に関する教育の充実
 3. 専門的な技術・能力を習得できる職業訓練の充実
 4. 雇用の拡大
 5. 学校中退・卒業者対象の相談場所やカウンセリングの充実
 6. 国や地方公共団体における若者自立支援策の充実
 7. 町内会等の地域のつながりの強化
 8. その他 ()

問24～26は青少年の健全育成についておたずねします。

問24 あなたは、青少年の健全育成のために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

《○は3つまで》

1. 家庭でのしつけや教育を充実すること
2. 学校での道徳教育や生徒指導を充実すること
3. 地域社会での青少年の健全育成を充実すること
4. 家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと
5. 悩み事などの相談機関を充実させること
6. 青少年のボランティア活動を促進すること
7. 青少年の居場所を整備すること
8. 青少年の自然体験活動を推進すること
9. 青少年の非行防止活動を推進すること
10. 青少年に悪影響を与える有害な環境をなくすこと
11. その他 ()
12. わからない

問25 あなたは、非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要なことは、何だと思いますか。

《○は2つまで》

1. 家庭が根気よく温かく支える
2. 学校が温かく支える
3. 周囲の大人が温かく支える
4. 友だちが温かく支える
5. 行政が関係機関（学校、警察、更生保護施設等）との連携を強化する
6. 相談機関の機能を強化する
7. その他 ()
8. わからない

問26 シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。

《○はいくつでも》

1. 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする
2. 1回使っただけでも、死亡することがある
3. 自分の意思でやめるのが難しくなる
4. 薬がきれると、体を動かすのが嫌になったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする
5. 使い続けると、体のいろいろなところに病気が起こりやすくなる
6. 使い続けると、脳の神経がおかされ、心が病気になりやすい
7. やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある
8. 上記のいずれも知らなかった

問27～29はインターネットについておたずねします。

問27 あなたは、インターネットを使って何をしていますか。

《○はいくつでも》

1. 投稿やメッセージ交換をする (メールやチャットを含む)	8. マンガを読む
2. ニュースをみる	9. ゲームをする
3. 検索する	10. 買い物をする
4. 地図を使う	11. 勉強をする
5. 音楽を聴く	12. 撮影や制作、記録をする (動画撮影や音楽制作、編集を含む)
6. 動画を見る	13. その他 ()
7. 読書をする	

問28 あなたは、授業や仕事以外の自由な時間に、1日に平均してどのくらいの時間、インターネットを使いますか。

《○は①～②それぞれ1つずつ》

	見ない・しない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	5時間以上
① 平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
② 休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問29 あなたは、次のようなインターネットを介したトラブルに巻き込まれたことはありますか。

《○はいくつでも》

1. インターネット上で知り合った人に会って、怖い思いをした
2. インターネット上で口論になった
3. あやしいメールに返信してしまい、その後何度も迷惑メールが来た
4. 身に覚えのない料金の請求が来た
5. ゲームで課金して、多額の支払い請求が来た
6. コンピューターウイルスに感染してしまった
7. あやしいサイトにアクセスし、個人情報が漏れてしまった
8. インターネット上で誹謗中傷を受けたり、嘘の情報を流されたりした
9. 他人に見られたくない写真や情報をインターネット上に掲載された
10. 画像などをアップロードして著作権侵害と言われた
11. 勝手に個人情報を流された
12. その他 ()
13. 特にない

問30、31は地域の安全・安心についておたずねします。

問30 あなたは、地域の子どもの安全を守るために、どのような活動をしていますか。 《〇はいくつでも》

1. パトロール隊の活動に参加している
2. 不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている
3. P T Aの会合などに積極的に参加して、不審者情報の提供を受けている
4. 子どもの登下校の時間帯に路上等での見守りをしている
5. 地域で見慣れない人には、積極的に声かけをおこなっている
6. 特に何もしていない

問31 あなたは、地域の子どもの安全を守るために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 《〇は3つまで》

1. 学校の不審者侵入を防止する対策の徹底
2. 地域住民による学校内の見回り
3. 学校での子ども対象の防犯教室、訓練の徹底
4. 教職員やP T Aによる登下校のつきそい
5. 地域住民による通学路等のパトロール活動
6. 通学路等の危険個所の点検や安全マップの作成
7. スクールバスの運行やタクシーによる下校の実施
8. 防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備
9. 子ども110番の家やかけこみ110番の店の増設
10. 警察や行政によるパトロール活動の強化
11. 学校や警察等からの不審者情報の提供
12. 町内会等における研修会や啓発活動
13. 住民同士の連帯意識の向上
14. その他（)

問32 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。

《○は1つ》

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
3. 聞いたことがない

▼ (問32で「1～2」に○をつけた人だけお答えください。)

問32-1 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。

《○はいくつでも》

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNSやインターネット
4. 広報やチラシ、ポスターなどの掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友人・知人から聞いた
8. 家族から聞いた
9. その他 ()

問33 青少年の健全育成に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

～ご協力いただきありがとうございました～



ももっち うらっち
岡山県マスコット

保護者用

以下はインターネットで回答するときに使ってください。

ID

青少年の意識等に関する調査

《調査ご協力のお願い》

令和5年（2023年）10月
岡山県

この調査は、青少年自身と保護者の意識を把握し、家庭、学校、地域等でのかかわり等を分析し、岡山県の今後の青少年対策の基礎資料とすることを目的に行うものです。

ご回答いただく方は、県内にお住まいの小学5年生から高校生までの児童・生徒の方とその保護者の中から、約5,000人を無作為に選ばせていただきました。

この調査票には、お名前を書いていただく必要はありません。お答えいただいた内容は、本調査の目的以外に利用することはありませんので、個人情報公表されたり、学校にご迷惑をおかけすることは決してございません。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答方法について

- アンケートは、保護者の方がご自身の判断で記入してください。
- 回答は「郵送」または「インターネット」で行うことができます。

【郵送で回答する場合】

- ・ 回答は、問1から順番に、質問ごとに用意した回答の中から、ご自身の考えにあてはまる番号に○印をつけてください。
- ・ 回答は、鉛筆またはボールペンで、はっきりと記入してください。
- ・ 記入し終わったら、封筒に入れて封をし、令和5年（2023年）●月●日（●）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

【インターネットで回答する場合】

- ・ 右に記載の二次元バーコードまたは下記URLにアクセスして令和5年（2023年）●月●日（●）までに回答をお願いします。

https://

※ ID は、インターネットでの重複した回答や、郵送による回答とインターネットによる回答の重複を防ぐために使用するもので、個人を特定するものではありません。

- 質問の中で、判断しかねたり、答えられないもの、答えたくないものがあれば、とばして次の質問に進んでください。
- この調査についてのお問い合わせ先

岡山県子ども・福祉部 子ども家庭課
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
電話：086-226-0557（直通）
E-mail：kodomokatei@pref.okayama.lg.jp

問1 あなたは、今、何歳ですか。

《○は1つ》

1. ~29歳	4. 40~44歳	7. 55~59歳
2. 30~34歳	5. 45~49歳	8. 60歳以上
3. 35~39歳	6. 50~54歳	

問2 あなたが、今、一緒に住んでいる人をすべて教えてください。

《○はいくつでも》

1. 配偶者等	5. 親
2. 子1人	6. 兄弟・姉妹
3. 子2人	7. その他
4. 子3人以上	

問3 今回アンケートをお願いしたお子さんとあなたの続柄を教えてください。

《○は1つ》

1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. その他
-------	-------	-------	-------	--------

問4 あなたの家庭は、共働きですか。

《○は1つ》

1. 共働き	2. 共働きでない	3. その他 ()
--------	-----------	------------

問5~8はあなたの平日の家庭での生活についておたずねします。

問5 あなたは、朝食を食べていますか。

《○は1つ》

1. 毎日食べている	3. 食べていない日が多い
2. だいたい食べている	4. まったく食べていない

問6 あなたは、食事をお子さんと一緒に食べていますか。

《○は①と②それぞれ1つずつ》

	毎日一緒に食べる	時々一緒に食べる	あまり一緒に食べない	まったく一緒に食べない
① 朝食	1	2	3	4
② 夕食	1	2	3	4

問7 あなたが、平日にお子さんと一緒に過ごす時間は、平均どのくらいですか。

《○は1つ》

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほとんどない | 4. 1時間くらい | 7. 4時間くらい |
| 2. 15分くらい | 5. 2時間くらい | 8. 5時間くらい |
| 3. 30分くらい | 6. 3時間くらい | 9. 6時間以上 |

問8 あなたは、問7で○をつけた時間で、十分だと思いますか。

《○は1つ》

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 十分だと思う | 3. やや不足していると思う |
| 2. ほぼ十分だと思う | 4. 不足していると思う |

問9 あなたは、お子さんと会話をしていますか。

《○は1つ》

- | | |
|------------|---------------|
| 1. よくする | 3. していない方だと思う |
| 2. する方だと思う | 4. ほとんどしない |

(問9で「3. していない方だと思う」または「4. ほとんどしない」に○がついた人だけ
お答えください。)

問9-1 あなたが、お子さんと会話をしないのはなぜですか。

《○はいくつでも》

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 子どもがうるさがる | 6. 自分によりつかない |
| 2. 特に話題がない | 7. 自分が不在しがちである |
| 3. 忙しくて時間がない | 8. 子どもが話したがらない |
| 4. 子どもが多感な年ごろでうまく話せない | 9. その他() |
| 5. 話が合わない | 10. 特に理由はない |

問10 あなたは、お子さんとどのようなことを話していますか。

《○はいくつでも》

- | |
|---------------------|
| 1. テレビや音楽、スポーツなどのこと |
| 2. 勉強のこと |
| 3. 学校の出来事 |
| 4. 友だちのこと |
| 5. 将来のこと |
| 6. その他() |

問 1 1 あなたは、お子さんへのしつけについてどう思いますか。

《○は1つ》

1. 厳しい 2. やや厳しい 3. やや甘い 4. 甘い

問 1 2 お子さんを叩くことがありますか。

《○は1つ》

1. ある 2. たまにある 3. 以前はあったが、今はない 4. ない

問 1 3 あなたが、子育てやしつけなどについて、悩みや不安を感じていることは何ですか。

《○はいくつでも》

1. 子どもに基本的な生活習慣が身についていない
2. しつけや教育に自信が持てない
3. しつけや教育について相談する相手がいない
4. 配偶者があまり協力してくれない
5. 子どもが勉強しない
6. 子どもの進学や受験のことが心配である
7. 子どもにかかる教育費が心配である
8. 子どもの就職が心配である
9. 子どもが反抗期で言うことを聞かない
10. 子どもの生活態度が消極的である
11. 子どもがよい友人関係を持てない
12. 子どもの考えていることや交友関係が分からない
13. 子どもの健康が心配である
14. 子どもの非行や問題行動が心配である
15. スマホやインターネットの使い方が心配である
16. その他 ()
17. 特に悩みや不安はない

問20 あなたは、最近1年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。 《○はいくつでも》

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. お祭りなどの地域の行事 | 5. 幼児や高齢者との交流 |
| 2. 子ども会・町内会行事 | 6. あいさつ・声かけ運動 |
| 3. 清掃・廃品回収 | 7. その他（ ） |
| 4. 公民館などの催し | 8. 参加したことがない |

問21 あなたは、ボランティア活動をしていますか。 《○は1つ》

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. よく活動している | 4. 今はしていないが、以前活動していた |
| 2. 時々活動している（年数回程度） | 5. まったく活動したことがない |
| 3. あまり活動していない | |

（問20で「8. 参加したことがない」、または問21で「5. まったく活動したことがない」に○がついた人だけお答えください。）

▶問22 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加しないのは、なぜですか。 《○は3つまで》

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 活動の情報がない | 7. 団体などにしぼられたくない |
| 2. 参加の方法が分からない | 8. 自分にとって何の得にもならない |
| 3. 活動の時間がない | 9. 興味・関心がない |
| 4. 気軽に参加できる活動が少ない | 10. その他（ ） |
| 5. 誘ってくれる仲間がいない | 11. 特に理由はない |
| 6. 活動するのがわずらわしい | |

問23 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。 《○はいくつでも》

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 一緒に遊びたい | 5. 一緒に体験活動がしたい（海や川、山での自然体験やものづくりなどの生活体験も含む） |
| 2. 一緒にスポーツをしたり体を動かしたい | 6. 一緒に地域のことや未来のことについて話したい |
| 3. 一緒に地域のことについて学びたい | 7. その他（ ） |
| 4. 一緒に地域の行事やイベントなどの企画や運営がしたい | 8. 特になし |

問 2 4 あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。

《○は3つまで》

- | | |
|------------|------------------------------|
| 1. 配偶者 | 8. 塾や予備校の先生 |
| 2. あなたの父母 | 9. カウンセラー、相談員 |
| 3. 配偶者の父母 | 10. 相談機関（電話やメール、SNSによる相談を含む） |
| 4. 父母以外の親戚 | 11. その他の人（) |
| 5. 友人 | 12. 相談する人がいない |
| 6. 近所や職場の人 | 13. 誰にも相談しない |
| 7. 学校の先生 | 14. 特に悩みはない |

問 2 5 あなたが、「子どもの人権（人が生まれながらにして持っている権利）」が守られていないと思うときは、どんなときですか。

《○は3つまで》

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 「子どものくせに」と言われる | 5. 学校で、子どもの意見が無視される |
| 2. 子どもが親から暴力を受ける | 6. 犯罪の被害者になりやすい |
| 3. 子どもが親から無視される | 7. 未成年の性が商品化される |
| 4. 学校でいじめられる | 8. その他（) |

問 2 6 あなたは、将来お子さんにどのような職業（職場）についてほしいと望んでいますか。

《○は2つまで》

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 収入が多い | 6. 独立して、自分だけでできる |
| 2. 有名な会社である | 7. 休みが多い |
| 3. 自分の好きなことや特技がいかせる | 8. 安定していて、長く続けられる |
| 4. 多くの人の役に立つ | 9. その他（) |
| 5. 他人に誇れる職業（会社）である | |

問 2 7 あなたは、次にあげたことを、お子さんが行うことについて、
どう思いますか。

《○は①～⑫それぞれ1つずつ》

	とても悪い	やや悪い	あまり悪くない	まったく悪くない
① 学校をずる休みすること	1	2	3	4
② タバコを吸うこと	1	2	3	4
③ 酒を飲むこと	1	2	3	4
④ 万引きをすること	1	2	3	4
⑤ 友だちをいじめたり、仲間はずれにすること	1	2	3	4
⑥ 他人に物やお金を要求すること	1	2	3	4
⑦ 人に暴力をふるうこと	1	2	3	4
⑧ 深夜（午後11時以降）に外出すること	1	2	3	4
⑨ 薬物（シンナー、危険ドラッグ等）を使用すること	1	2	3	4
⑩ 制服を变形して着ること	1	2	3	4
⑪ スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと	1	2	3	4
⑫ スマホやインターネット、雑誌などで有害情報(*)を見ること	1	2	3	4

(*)「有害情報」とは、アダルト情報（アダルト画像・動画を含む）、暴力や犯罪行為（殺人、死体、薬物など）、ギャンブルや過激な誹謗中傷などの情報のことを言います。

問 28 あなたは、青少年の健全育成のために、特にどのようなことが必要だと思いますか。 《○は3つまで》

1. 家庭でのしつけや教育を充実すること
2. 学校での道徳教育や生徒指導を充実すること
3. 地域社会での青少年の健全育成を充実すること
4. 家庭・学校・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組むこと
5. 悩み事などの相談機関を充実させること
6. 青少年のボランティア活動を促進すること
7. 青少年の居場所を整備すること
8. 青少年の自然体験活動を推進すること
9. 青少年の非行防止活動を推進すること
10. 青少年に悪影響を与える有害な環境をなくすこと
11. その他 ()
12. わからない

問 29 あなたは、非行や問題行動を犯した少年が立ち直るために特に重要なことは、何だと思いますか。

- 《○は2つまで》
1. 家庭が根気よく温かく支える
 2. 学校が温かく支える
 3. 周囲の大人が温かく支える
 4. 友だちが温かく支える
 5. 行政が関係機関（学校、警察、更生保護施設等）との連携を強化する
 6. 相談機関の機能を強化する
 7. その他 ()
 8. わからない

問 3 0 シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。

《○はいくつでも》

1. 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする
2. 1回使っただけでも、死亡することがある
3. 自分の意思でやめるのが難しくなる
4. 薬がきれると、体を動かすのが嫌になったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする
5. 使い続けると、体のいろいろなところに病気が起こりやすくなる
6. 使い続けると、脳の神経がおかされ、心が病気になりやすい
7. やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある
8. 上記のいずれも知らなかった

問 3 1 お子さんは、スマートフォン、携帯電話やパソコン等を持っていますか。

《○はいくつでも》

1. お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレット
2. 家族と共用の携帯電話、スマートフォン、タブレット
3. お子さん専用のパソコン
4. 家族と共用のパソコン
5. お子さん専用のゲーム機やテレビなどの電子機器
6. 家族共用のゲーム機やテレビなどの電子機器
7. どれも持っていない

(問31で「1～6」に○がついた人だけお答えください。)

問 3 1-1 お子さんが使用しているスマートフォン等にフィルタリング(*2)を使っていますか。

(*2)「フィルタリング」とは、青少年がインターネットを利用する際に、危険なサイトに接触しないように制限することができるツールです。

《○は①～③それぞれ1つずつ》

	フィルタリングを使っている	フィルタリングを使っていない	インターネットが使えない機種・設定になっている	わからない	この機器は持っていない・使っていない
① 携帯電話、スマートフォン、タブレット	1	2	3	4	5
② パソコン	1	2	3	4	5
③ ゲーム機やテレビなどの電子機器	1	2	3	4	5

問32 お子さんがインターネットを利用している端末は何ですか。

《○はいくつでも》

1. お子さん専用の携帯電話、スマートフォン、タブレットで利用
2. 家族と共用の携帯電話、スマートフォン、タブレットで利用
3. お子さん専用のパソコンで利用
4. 家族と共用のパソコンで利用
5. お子さん専用のゲーム機やテレビなどの電子機器で利用
6. 家族と共用のゲーム機やテレビなどの電子機器で利用
7. 利用していない

問33 お子さんは、どこでインターネットを利用していますか。

《○はいくつでも》

1. お子さん専用の部屋
2. 家族共用（リビング等）の部屋
3. 自宅以外の場所
4. わからない
5. 利用していない

問34 あなたの家では、お子さんのインターネットの使い方について、何か家庭でルールを決めていますか。

《○は1つ》

1. はい
2. いいえ
3. わからない

（問34で「1. はい」に○がついた人だけお答えください。）

問34-1 この中から、あなたの家庭で決めている「インターネットの使い方のルール」にあてはまるものを、すべて選んでください。

《○はいくつでも》

1. 利用する時間
2. 利用する場所
3. メールやメッセージを送る相手
4. 利用するサイトやアプリの内容
5. 送信・投稿する内容
（悪意のある書き込み、言葉による攻撃をしないなど）
6. 利用者情報（パスワードや電話帳情報、位置情報（GPS）など）が知られないようにしている
7. ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法
8. 困ったときはすぐ保護者に相談する
9. その他（ ）

問35 お子さんのインターネット利用について、どのような取組が必要だと思いますか。

《○はいくつでも》

1. インターネット利用のルール作りなど、家庭における取組を支援する
2. フィルタリングの使用を徹底させる
3. フィルタリングの性能や機能を向上させる
4. フィルタリングの操作方法や名称をわかりやすくする
5. 安全な利用のための機能・設定について、業者が販売時に保護者にきちんと説明する
6. 学校において子どもに対する「情報モラル教育」を充実させる
7. 学校の保護者会やPTAの会合などで、保護者に対する啓発を充実させる
8. 国・地方公共団体等が、インターネットの危険性や注意すべき点について、保護者へ説明する機会を設ける
9. 相談機関・窓口を利用しやすいように改善する
10. 保護者同士で気軽に相談できる関係を作る
11. 有害サイトへの規制を強化する
12. 有害情報を掲載しているサイトの責任者に対する規制を強化する
13. 各家庭で小中学生には携帯電話、スマートフォンを持たせないようにする
14. 小中学校への携帯電話、スマートフォンの持込を禁止する
15. その他（)
16. 特にない
17. わからない

問36 望まない妊娠や性感染症の予防法について、家庭で話すことはありますか。

《○は1つ》

1. 話している
2. 今後話す予定
3. 話すことはない

問37 あなたのお住まいの地域での不審者等の出没について、聞いたことがありますか。

《○は1つ》

1. よく聞く
2. 時々聞く
3. 余り聞かない
4. まったく聞かない

問38 あなたは、お子さんの安全を守るために、どのような活動をしていますか。

《○はいくつでも》

1. パトロール隊の活動に参加している
2. 不審者情報の発信メールに加入し、常に情報の提供を受けている
3. P T Aの会合などに積極的に参加して、不審者情報の提供を受けている
4. 子どもの登下校の時間帯に路上等での見守りをしている
5. 地域で見慣れない人には、積極的に声かけを行っている
6. 特に何もしていない

問39 あなたは、お子さんの安全を守るために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

《○は3つまで》

1. 学校への不審者侵入を防止する対策の徹底
2. 地域住民による学校内の見回り
3. 学校での子ども対象の防犯教室、訓練の徹底
4. 教職員やP T Aによる登下校のつきそい
5. 地域住民による通学路等のパトロール活動
6. 通学路等の危険箇所の点検や安全マップの作成
7. スクールバスの運行やタクシーによる下校の実施
8. 防犯灯や防犯カメラなど地域の施設・設備の整備
9. 子ども110番の家やかけこみ110番の店の増設
10. 警察や行政によるパトロール活動の強化
11. 学校や警察等からの不審者情報の提供
12. 町内会等における研修会や啓発活動
13. 住民同士の連帯意識の向上
14. その他 ()

問40 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。

《○は1つ》

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
3. 聞いたことがない

▼ (問40で「1～2」に○をつけた人だけお答えください。)

問40-1 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。

《○はいくつでも》

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNSやインターネット
4. 広報やチラシ、ポスターなどの掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友人・知人から聞いた
8. 家族から聞いた
9. その他 ()

問41 青少年の健全育成に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

～ご協力いただきありがとうございました～



ももっち うらっち
岡山県マスコット

**青少年の意識等に関する調査
報告書**

令和6年3月

岡山県子ども・福祉部子ども家庭課
〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号
TEL 086-226-0557 FAX 086-234-5770